



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant Compute DL320 Gen12サーバーユーザーガイド

部品番号: 30-1DEA6CD6-001-ja-JP
発行: 2025年3月
版数: 1

HPE ProLiant Compute DL320 Gen12サーバーユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterpriseでは、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解し、ラック設置時の重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。

部品番号: 30-1DEA6CD6-001-ja-JP

発行: 2025年3月

版数: 1

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel®、Xeon®、およびIntel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC) は、Intel Corporationまたはその子会社の商標です。

Microsoft®、Windows®、およびWindows Server®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

NVIDIA®およびNVIDIAロゴは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標および/または登録商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

VMware®は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

- コンポーネントの識別
 - フロントパネルのコンポーネント
 - フロントパネルのLEDとボタン
 - リアパネルのコンポーネント
 - リアパネルのLED
 - システムボードと分電盤のコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMスロットの番号
 - DIMMラベルの識別
 - コンポーネントのタッチポイント
 - Systems Insight DisplayのLED
 - Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明
 - ドライブベイの番号
 - SFF (2.5型) ドライブベイの番号
 - LFF (3.5型) ドライブベイの番号
 - E3.Sドライブベイの番号
 - 混合ドライブベイの番号
 - GPU最適化構成のドライブベイの番号
 - HPEのベーシックドライブのLEDの定義
 - EDSFF SSDのLEDの定義
 - GPUライザースロットの番号
 - ドライブバックプレーンの命名
 - ファン番号
 - ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント
 - クローズドループ液冷のコンポーネント
 - ファンとヒートシンクの要件
 - データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント
 - OCP NIC 3.0スロットの番号
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義
 - ライザーボードのコンポーネント
- セットアップ
 - HPEインストレーションサービス
 - サーバーのセットアップ
 - 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
 - 静電気対策
- 操作
 - iLOサービスポート

- Intel VROCのサポート
- サーバーのUID LED
 - UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示
- ディスプレイ装置のセットアップ
- Trusted Platform Module 2.0
- Trusted Platform Module 2.0のガイドライン
- Systems Insight Displayへのアクセス
- システムバッテリーの情報
- ハードウェアオプションを取り付ける
 - Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン
 - 取り付け前の手順
 - サーバーデータバックアップ
 - サーバーの電源を切る
 - ケーブルマネジメントアームを解放する
 - ラックからサーバーを引き出す
 - サーバーをラックから取り外す
 - フロントベゼルを取り外す
 - アクセスパネルを取り外す
 - 中央カバーを取り外す
 - ファンを取り外す
 - ファンフレームを取り外す
 - ライザーケージを取り外す
 - ライザーケージブランクを取り外す
 - 電源装置を取り外す
 - 取り付け後の手順
 - フロントベゼルを取り付ける
 - アクセスパネルを取り付ける
 - 中央カバーを取り付ける
 - ファンフレームを取り付ける
 - ライザーケージを取り付ける
 - サーバーをラックに取り付ける
 - サーバーの電源を入れる
 - ラックレールとCMA
 - ラックレールのオプション
 - ラックレールオプションを取り付ける
 - ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
 - レール識別マーカー
 - ラックマウントインターフェイス
 - ケーブルマネジメントアームの取り付け
 - ドライブ
 - ドライブの取り付けのガイドライン
 - ホットプラグ対応ドライブの取り付け
 - ホットプラグ対応ドライブのボックス3またはボックス5への取り付け
 - E3.Sドライブの取り付け
 - ドライブケージ

- 2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け
- 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンの取り付け
- GPUオプション
 - GPUのGPUライザーケースへの取り付け
 - GPUのリアライザーケースへの取り付け
- メモリオプション
 - DIMMの取り付けに関するガイドライン
 - HPE Smartメモリの速度と取り付け情報
 - DIMMの取り付け
- 管理
 - シリアルポートの取り付け
 - Systems Insight Displayの取り付け
- ファン
 - ファンの取り付け
- ネットワーク
 - フロントOCP NICイネーブルメントキットについて
 - フロントOCP NICアダプターの取り付け
 - OCP NIC 3.0アダプターを取り付ける
 - iLO共有ネットワーク接続の有効化
- 電源装置オプション
 - ホットプラグ対応電源装置に関する計算
 - 電源装置に関する警告と注意事項
 - 電源装置を取り付ける
- ライザーおよびライザーケースオプション
 - ライザーケースブランクの取り付け
 - プライマリライザーケースの取り付け
 - GPUキャプティブライザーの取り付け
 - 拡張カードの取り付け
- オプティカルドライブとメディアベイ
 - 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBアセンブリの取り付け
 - 4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルドライブケースの取り付け
 - 8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け
 - 混合フロントエンドDisplayPort/USB/オプティカルブランクおよびオプティカルドライブオプションの取り付け
- OSブートデバイス
 - ボックス3へのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け
 - シャーシへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け
 - 電源装置ベイへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け
 - ロープロファイルライザーケース横へのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け
- セキュリティ
 - シャーシ侵入検知スイッチの取り付け
- Energy Pack
 - HPE Smartストレージバッテリー
 - HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - 最小ファームウェアバージョン

- Energy Packの取り付け
- ストレージコントローラー
 - ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備
 - タイポストレージコントローラーの取り付け
 - タイプpコントローラーの取り付け
- プロセッサーとヒートシンク
 - プロセッサーに関する注意事項
 - プロセッサーヒートシンクアセンブリの取り付け
- 内部USBデバイスのオプション
 - 内部USBデバイスの取り付け
- ケーブル接続
 - ケーブル接続のガイドライン
 - 内部ケーブル管理
 - ケーブル配線図
 - ストレージのケーブル接続
 - ドライブ電源のケーブル接続
 - ストレージコントローラーのケーブル接続
 - SFF (2.5型) ドライブコントローラーのケーブル接続
 - LFF (3.5型) ドライブコントローラーのケーブル接続
 - E3.Sドライブコントローラーのケーブル接続
 - 混合ドライブコントローラーのケーブル接続
 - GPU最適化構成のドライブコントローラーのケーブル接続
 - Energy Packのケーブル接続
 - ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続
 - ファンのケーブル接続
 - クローズドループ液冷ヒートシンクのケーブル接続
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続
 - GPUのケーブル接続
 - GPU補助電源のケーブル接続
 - GPUライザーのケーブル接続
 - シリアルポートのケーブル接続
 - オプティカルドライブのケーブル接続
 - ディスプレイポートのケーブル接続
 - Systems Insight Displayのケーブル接続
 - フロントOCP NICおよびPHYボードのケーブル接続
 - リアOCPアップグレードのケーブル接続
 - フロントI/Oのケーブル接続
 - シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続
- 構成関連情報
 - ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - サーバーの構成
 - ストレージコントローラーの構成
 - HPE NS204i-uブートデバイスV2の管理
 - オペレーティングシステムの展開
 - セキュリティの構成
 - サーバー管理

- Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理
- [トラブルシューティング](#)
 - [NMI機能](#)
 - [フロントパネルのLED電源障害コード](#)
 - [トラブルシューティングの資料](#)
- [安全、保証および規制に関する情報](#)
 - [規定に関する情報](#)
 - [Notices for Eurasian Economic Union（ユーラシア経済連合）](#)
 - [Turkey RoHS material content declaration](#)
 - [Ukraine RoHS material content declaration](#)
 - [保証情報](#)
- [仕様](#)
 - [環境仕様](#)
 - [機械仕様](#)
 - [電源装置の仕様](#)
 - [HPE 1000 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ（HPE 1000 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply）](#)
 - [HPE 1500 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ（HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply）](#)
 - [HPE 2400 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ（HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply）](#)
- [Webサイト](#)
- [サポートと他のリソース](#)
 - [Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス](#)
 - [HPE製品登録](#)
 - [アップデートへのアクセス](#)
 - [カスタマーセルフリペア（CSR）](#)
 - [リモートサポート](#)
 - [ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

コンポーネントの識別

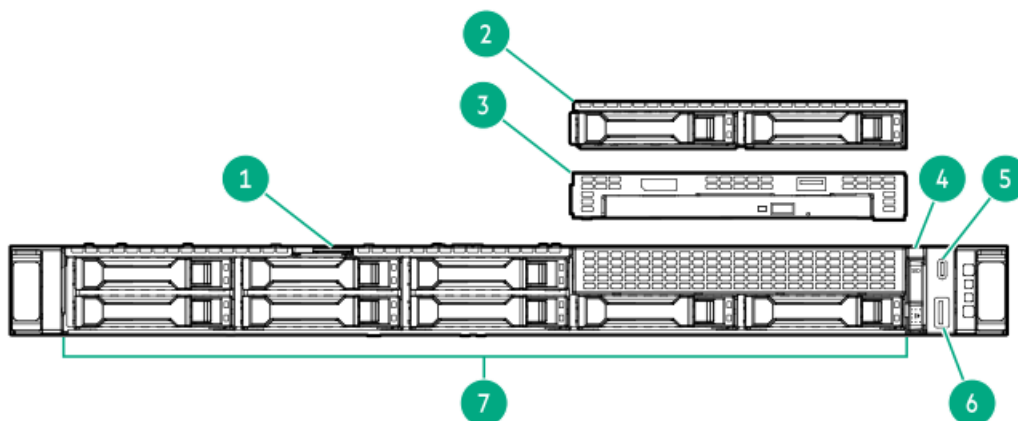
この章では、外付および内蔵のサーバーの機能とコンポーネントについて説明します。

サブトピック

- [フロントパネルのコンポーネント](#)
- [フロントパネルのLEDとボタン](#)
- [リアパネルのコンポーネント](#)
- [リアパネルのLED](#)
- [システムボードと分電盤のコンポーネント](#)
- [コンポーネントのタッチポイント](#)
- [Systems Insight DisplayのLED](#)
- [Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)
- [ドライブベイの番号](#)
- [HPEのベーシックドライブのLEDの定義](#)
- [EDSFF SSDのLEDの定義](#)
- [GPUライザーロットの番号](#)
- [ドライブバックプレーンの命名](#)
- [ファン番号](#)
- [ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント](#)
- [クローズドループ液冷のコンポーネント](#)
- [ファンとヒートシンクの要件](#)
- [データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント](#)
- [OCP NIC 3.0スロットの番号](#)
- [HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント](#)
- [HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義](#)
- [ライザーボードのコンポーネント](#)

フロントパネルのコンポーネント

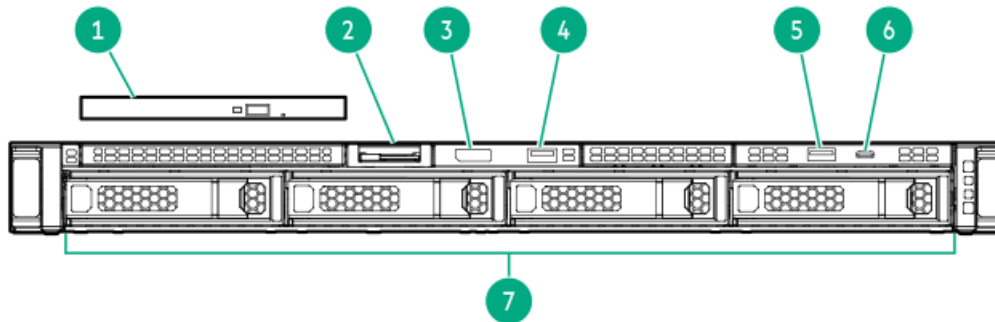
8 + 2 SFF (2.5型) ドライブ構成



番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ ¹
2	2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケースアセンブリ (オプション) ²
3	オプティカルドライブケースアセンブリ (オプション) ³
4	Systems Insight Display (オプション)
5	iLOサービスポート
6	USB 3.2 Gen 1ポート
7	8 SFF (2.5型) ドライブ

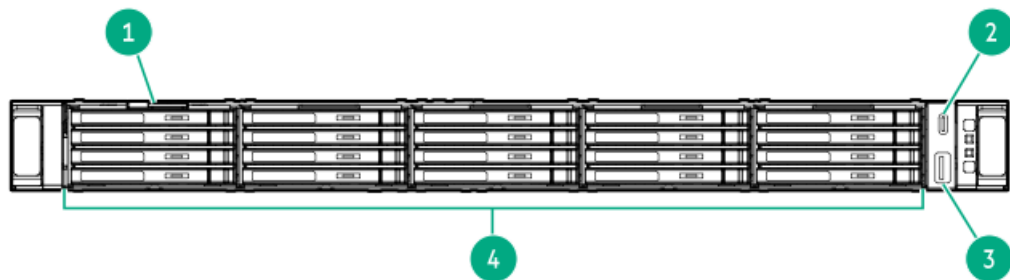
- ¹ シリアル番号/iLO情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルトiLOアカウント情報が記載されています。
- ² 取り付けられているドライブバックプレーンに応じて、サーバーではSATA、SAS、U.2 NVMe、およびU.3 NVMeドライブがサポートされています。
- ³ このアセンブリには以下が含まれます。
- 1つのDisplayPort 1.1a
 - 1つのUSB 2.0
 - 1つのオプティカルドライブベイ

4 LFF (3.5型) ドライブ構成



番号	説明
1	オプティカルドライブケース (オプション)
2	シリアル番号/iLO情報プルタブ
3	DisplayPort 1.1a (オプション)
4	USB 2.0ポート (オプション)
5	USB 3.2 Gen 1ポート
6	iLOサービスポート
7	4 LFF (3.5型) ドライブ

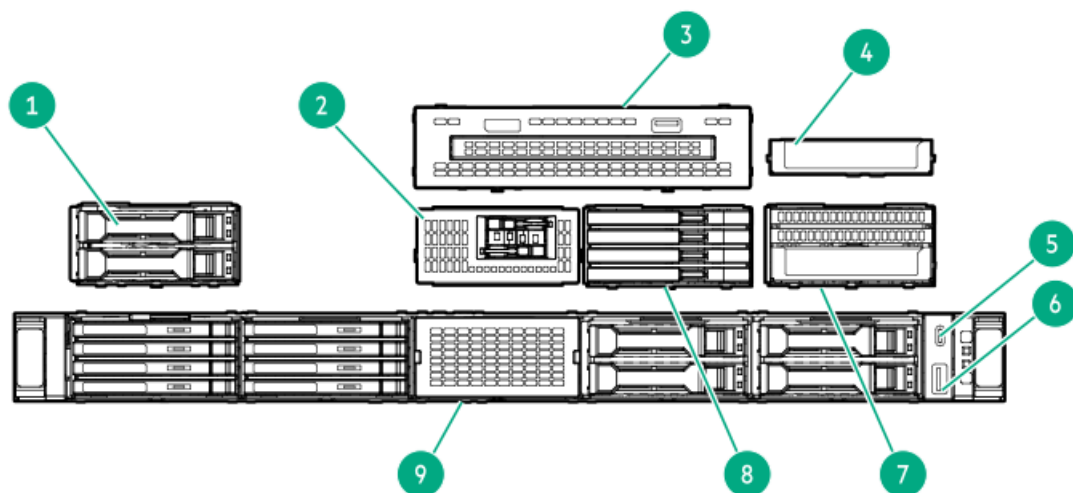
20 E3.Sドライブ構成



番号 説明

1	シリアル番号/iLO情報プルタブ
2	iLOサービスポート
3	USB 3.2 Gen 1ポート
4	20 E3.Sドライブ

10 SFF (2.5型) または20 E3.S混合ドライブ構成とオプション



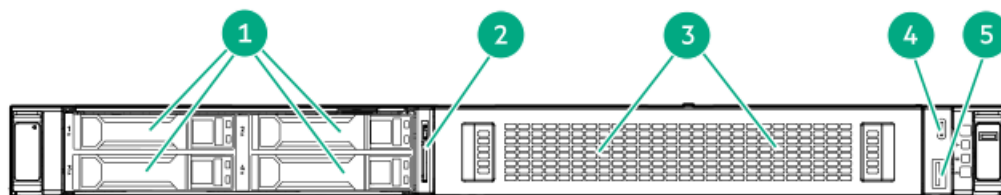
番号 説明

1	2 SFF (2.5型) ドライブ (オプション)
2	NS204i-uブートデバイス (オプション) ¹
3	ユニバーサルメディアベイ (オプション) ²
4	フロントOCP (オプション) ³
5	iLOサービスポート
6	USB 3.2 Gen 1ポート
7	フロントOCPケージ ⁴
8	4 E3.Sドライブ (オプション)
9	フロントOCPブランク

¹ このオプションは、ボックス3に取り付けます。
² このオプションは、ボックス4と5に取り付けます。
³ このオプションは、ボックス3のベイ1またはベイ3に取り付けます。

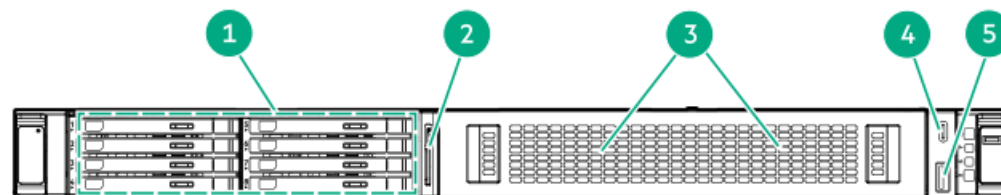
4 このオプションは、ボックス3に取り付けます。

GPUライザーケージを備えた4 SFF (2.5型) ドライブ構成



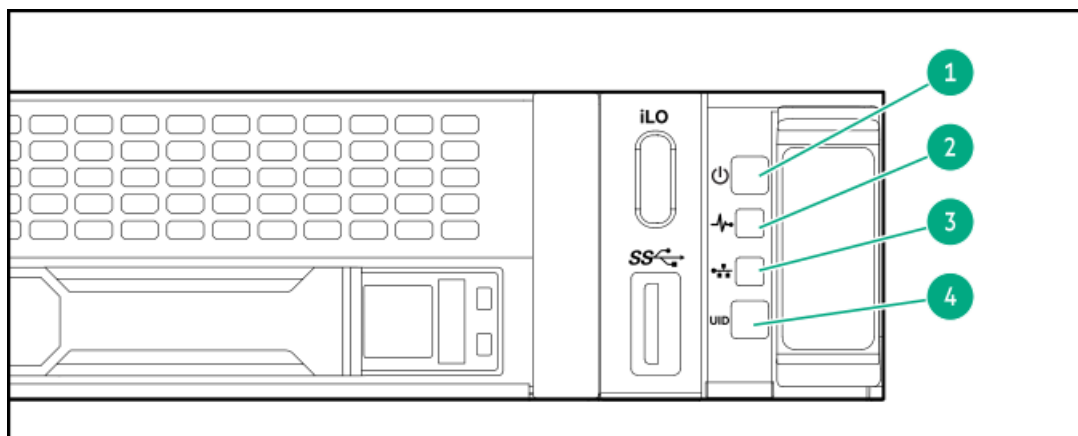
番号	説明
1	4 SFF (2.5型) ドライブ
2	シリアル番号/iLO情報プルタブ
3	GPUライザーケージ
4	iLOサービスポート
5	USB 3.2 Gen 1ポート

GPUライザーケージを備えた8 E3.Sドライブ構成



番号	説明
1	8 E3.Sドライブ
2	シリアル番号/iLO情報プルタブ
3	GPUライザーケージ
4	iLOサービスポート
5	USB 3.2 Gen 1ポート

フロントパネルのLEDとボタン

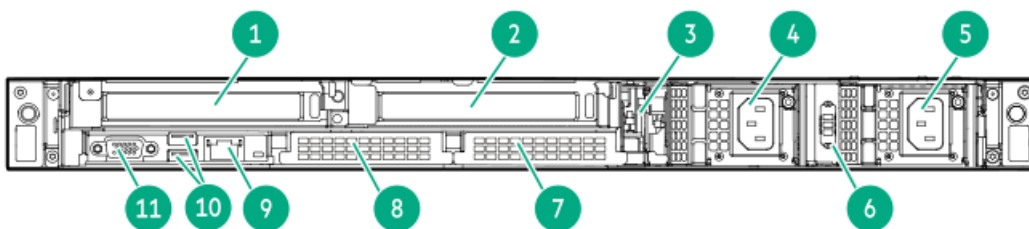


番号	説明	ステータス	定義
1	電源ボタンおよびシステム電源LED ¹	緑色で点灯	システムの電源はオンです
		緑色で点滅	電源投入手順を実行中です
		オレンジ色で点灯	システムはスタンバイ状態です
		消灯	電源が供給されていません ²
2	ヘルスLED ³	緑色で点灯	正常
		緑色で点滅	iLOが再起動中
		オレンジ色で点滅	システムの劣化 ³
		赤色で点滅	システムに重大な障害が発生しています ³
3	NICのステータスLED ¹	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED ¹	青色で点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	- 毎秒1回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です - 毎秒4回点滅 - iLOの手動リブートシーケンスが開始されました - 毎秒8回点滅 - iLOの手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み

- ¹ すべてのLEDが同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。詳しくは、[フロントパネルのLED電源障害コード](#)を参照してください。
- ² 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、または電源装置に障害が発生しています。
- ³ ヘルスLEDが劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、[システムのインテグレートドマネジメントログ \(IML\)](#)を確認するか、またはHPE iLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

リアパネルのコンポーネント

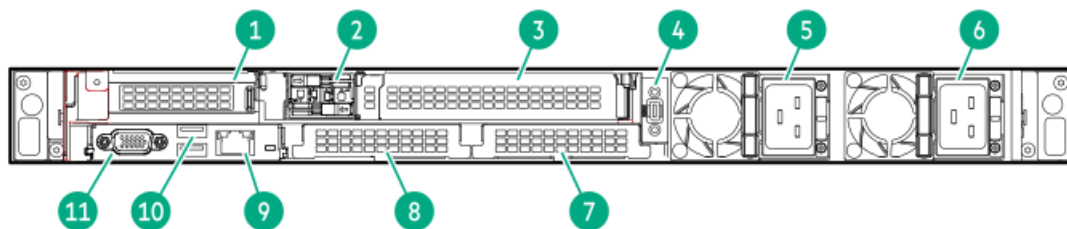
60 mm PSU付きリアパネル



番号	説明
1	スロット1 PCIe5 x16 (オプション)
2	スロット2 PCIe5 x16 (オプション)
3	NS204i-uブートデバイス (オプション)
4	M-CRPS 2 (オプション)
5	M-CRPS 1
6	ixポート (オプション) ¹
7	スロット21 OCP B PCIe5 x16 (オプション)
8	スロット20 OCP A PCIe5 x16
9	iLO専用ネットワークポート ²
10	USB 3.2 Gen 1ポート ²
11	VGAポート ³

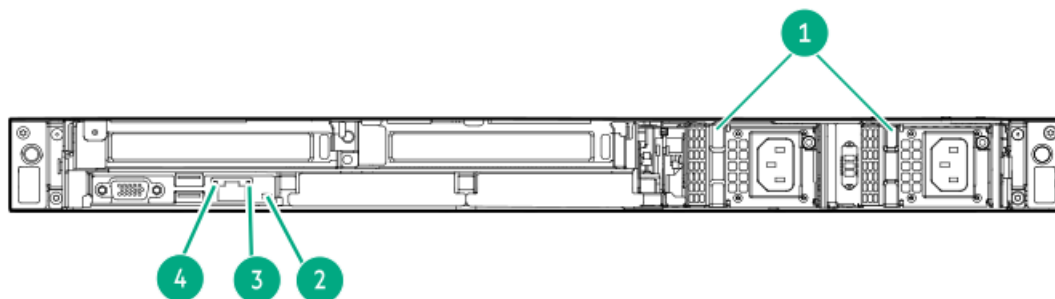
- ¹ ixポートは外部シリアルポートドングルに接続します。
² これらのコンポーネントはDC-SCMオプション上にあります。
³ ディスプレイデバイスをVGAポートに接続します。何らかの種類のアダプター、変換ケーブル、またはドングルを使用すると、表示品質が低下したり、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

73.5 mm PSU付きリアパネル



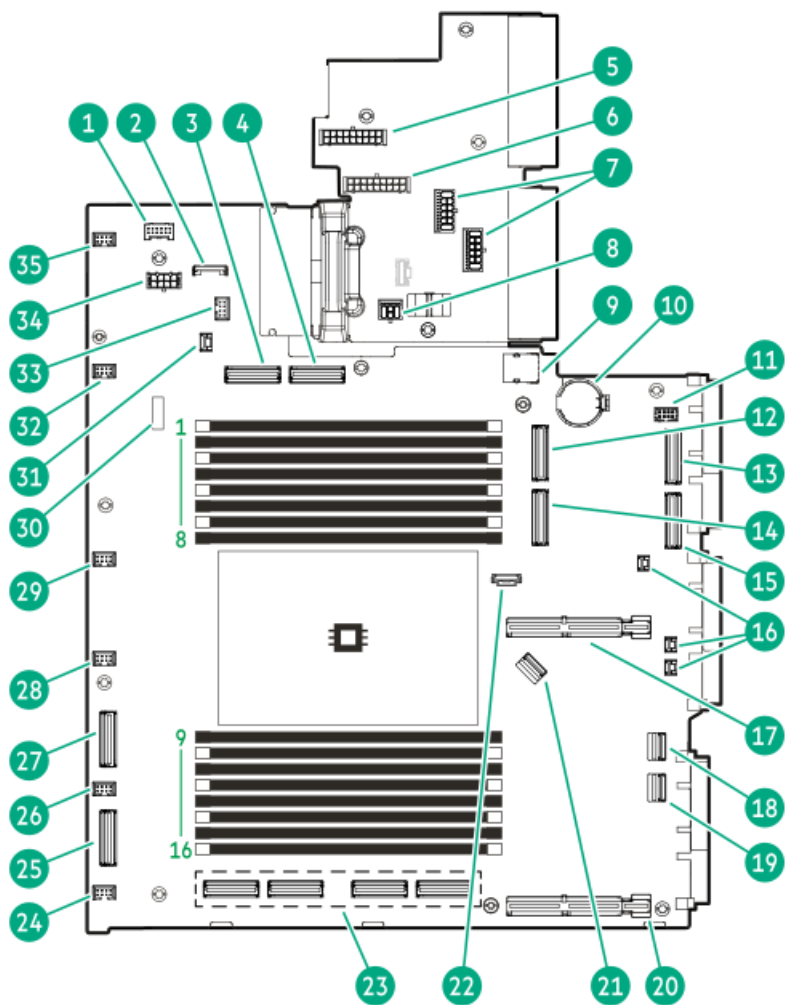
番号	説明
1	スロット1 PCIe5 x16 (オプション)
2	NS204i-uブートデバイス (オプション)
3	スロット2 PCIe5 x16 (オプション)
4	ixポート (オプション)
5	M-CRPS 2 (オプション)
6	M-CRPS 1
7	スロット21 OCP B PCIe5 x16 (オプション)
8	スロット20 OCP A PCIe5 x16
9	iLO専用ネットワークポート
10	USB 3.2 Gen 1ポート
11	VGAポート

リアパネルのLED



番号	LED	ステータス	定義
1	電源装置	緑色で点灯	電源装置は正常に動作しています。
		緑色で点滅	- 毎秒1回点滅 - 電源装置がスタンバイモードに入っています - 毎秒2回点滅 - 電源装置のファームウェアがアップデート中です
		オレンジ色で点灯	以下の1つ以上の条件が発生 - 電源装置で障害が発生している - 電源装置のエラー
		消灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 - 電源が供給されていない - 電源コードが外れている。
2	UID	青色に点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	- 毎秒1回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です - 毎秒4回点滅 - iLOの手動リブートシーケンスが開始されました - 毎秒8回点滅 - iLOの手動リブートシーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み
3	iLOステータス	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	iLOリンク	緑色に点灯	ネットワークにリンクされています
		消灯	ネットワークにリンクしていません

システムボードと分電盤のコンポーネント



番号	説明
1	Energy Packコネクター
2	SIDコネクター
3	M-XIOポート6
4	M-XIOポート4
5	ボックス1、2のドライブバックプレーン電源コネクター
6	ボックス3、4のドライブバックプレーン電源コネクター
7	2 x 6 M-PIC電源コネクター
8	2 x 3 M-PIC電源コネクター
9	USB 3.2 Gen1ポート
10	システムバッテリー
11	NS204i-u電源コネクター
12	M-XIOポート17
13	MCIO OCP B-1入力ポート
14	M-XIOポート13
15	MCIO OCP B-2入力ポート
16	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター
17	セカンダリライザーコネクター
18	フロントI/Oコネクター
19	USB 2.0 DisplayPortケーブルコネクター
20	プライマリライザーコネクター
21	NS204i-u信号コネクター
22	CLCコネクター
23	M-XIOポート ¹
24	ファンコネクター7
25	M-XIOポート0
26	ファンコネクター6
27	M-XIOポート2
28	ファンコネクター5
29	ファンコネクター4
30	システムメンテナンススイッチ
31	シャーシ侵入検知スイッチコネクター
32	ファンコネクター3
33	ファンコネクター1
34	ボックス5のドライブバックプレーン電源コネクター
35	ファンコネクター2

¹ これらのM-XIOポートには、左から右へ7、5、1、3の番号が割り当てられています。

サブトピック

システムメンテナンススイッチの説明

DIMMスロットの番号

DIMMラベルの識別

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト機能	
S1 ¹	オフ	- オフ - iLO 7セキュリティは有効です。 - オン - iLO 7セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 ¹	オフ	- オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 - オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ^{1, 2, 3}	オフ	- オフ - 動作していません - オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

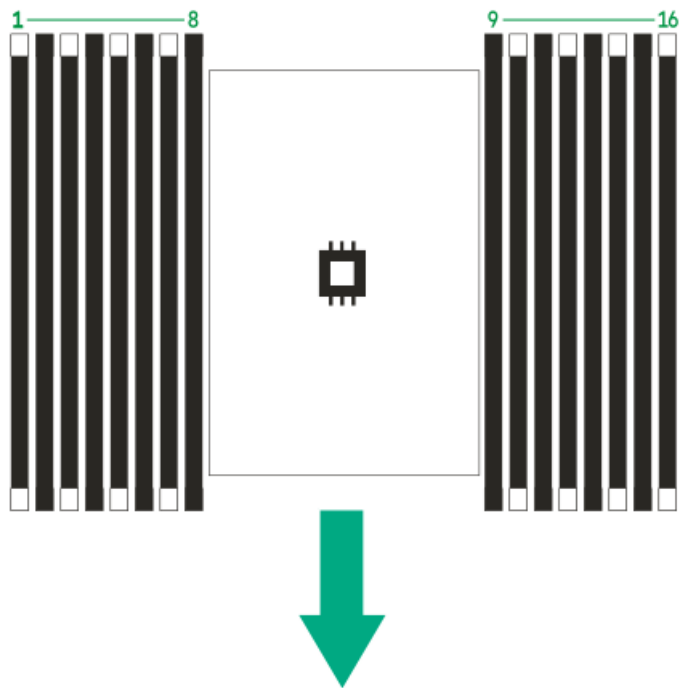
冗長ROMにアクセスするには、S1、S5、およびS6をオンに設定します。

¹ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。

³ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、[サーバーの構成](#)を参照してください。

DIMMスロットの番号

矢印は、サーバーの正面側を指しています。

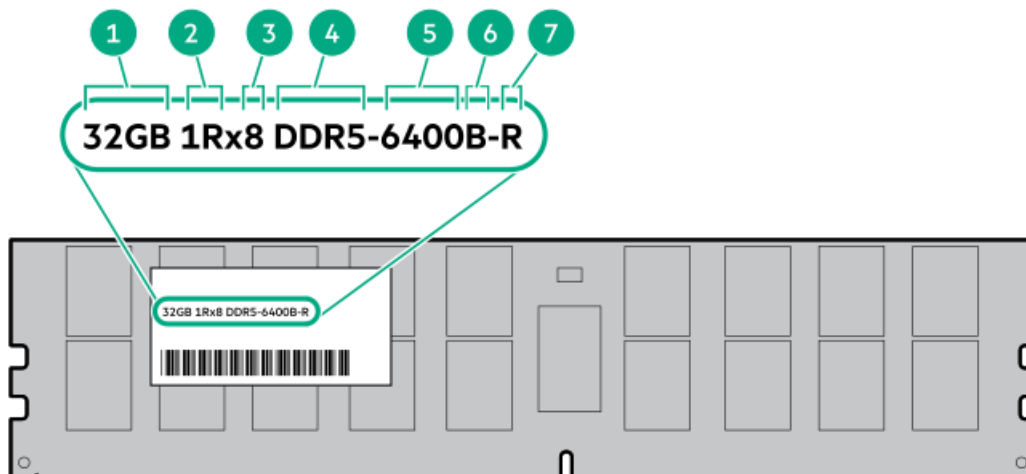


DIMMラベルの識別

DIMMの特長を確認するには、DIMMに貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用してDIMMの仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 SmartメモリのQuickSpecsを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	説明	例
1	容量*	16 GB 32 GB 64 GB 96 GB 128 GB 256 GB
2	ランク	1R - シングルランク 2R - デュアルランク 4R - クアッドランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度*	6400 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42
7	DIMMタイプ	R - RDIMM (レジスター付き)

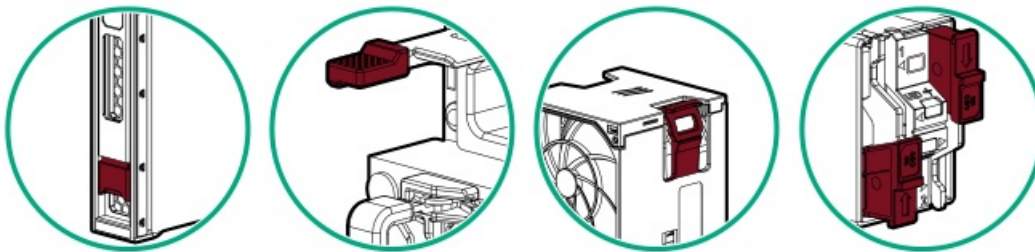
*メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサモデルの総合的な組み合わせによって決まります。

コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPEホットプラグレッド



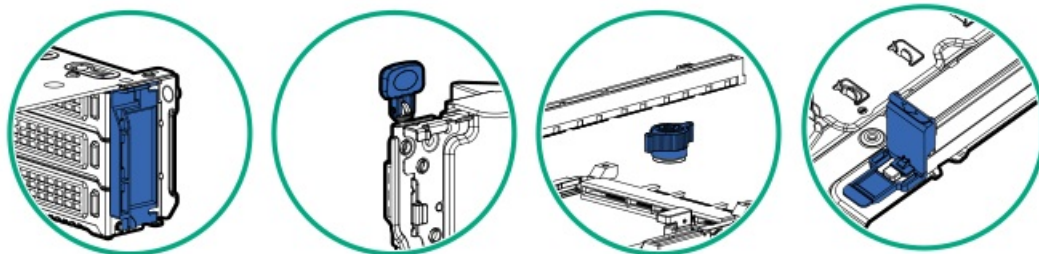
ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例：

- 冗長電源構成の電源装置
- ホットプラグ対応ファン
- ホットプラグ対応ドライブ

- ホットプラグ対応ブートデバイス内のM.2 SSD

HPEタッチポイントブルー



タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムのシャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

コンポーネントの例：

- ストレージデバイス
- ファンケージ
- システムボード
- Energy Pack

Systems Insight DisplayのLED

Systems Insight Display (SID) のLEDは、システムボードのコンポーネントを表しています。このディスプレイによって、アクセスパネルが取り付けられてもコンポーネントの問題の診断が可能になります。

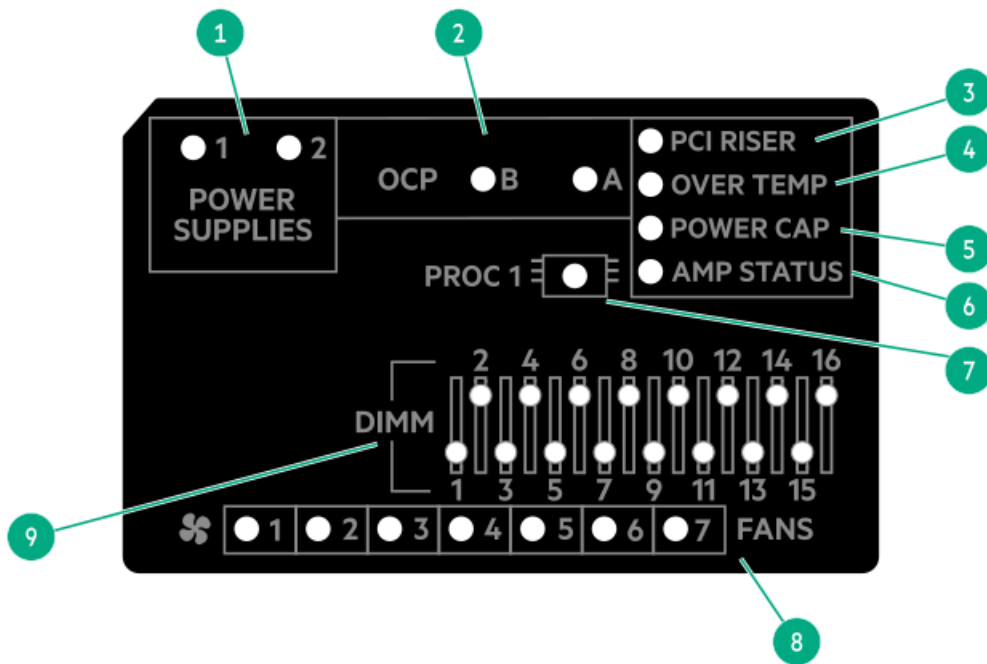


重要

複数のDIMMスロットLEDが点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが必要です。他のすべてのDIMMを取り外して、DIMMの各バンクをテストしてください。バンクにある各DIMMを正常に動作しているDIMMと交換して、障害のあるDIMMを特定してください。

メモリの取り付けルールについては、関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	LED	ステータス	説明
1	電源装置LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生していません。 - 電源サブシステムの劣化 - 電源装置の障害 - 入力電源の切断
2	OCP LED	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークにリンクされていません
3	PCIライザーLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	PCIライザーケーシングが正しく取り付けられていません
4	温度超過LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	高温を検出
5	消費電力上限LED	緑色で点灯	消費電力上限が適用されます
		消灯	以下に示す1つ以上の状態が発生していません。 - システムはスタンバイ状態です - 上限が設定されていません
6	AMP ¹	緑色で点灯	AMPモードが有効です
		オレンジ色で点灯	フェイルオーバー
		オレンジ色で点滅	構成が無効です
		消灯	AMPモードが無効
7	プロセッサLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	プロセッサに障害が発生しています
8	ファンLED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
9	DIMM LED	消灯	正常
		オレンジ色で点灯	DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります

¹ アドバンスドメモリプロテクション (AMP) を有効にするには、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらのLEDの組み合わせについては、[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

以下のLEDの状態の組み合わせによってシステムのステータスを確認することができます。

- SIDのLED

- システム電源LED
- ヘルスLED

SID LEDステータス	ヘルスLEDステータス	システム電源LEDステータス	定義
電源装置（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 • 取り付けられている電源装置が1台のみであり、その電源装置がスタンバイ状態になっています。 • 電源装置の障害です。 • システムボードの障害。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	以下に示す1つ以上の状態が発生しています。 • 冗長電源装置が取り付けられており、1台の電源装置のみが機能しています。 • 冗長電源装置にAC電源コードが接続されていません。 • 冗長電源装置の障害です。 • POSTの実行中に電源装置の不一致が検出されたか、またはホットプラグによる追加のため電源装置が一致しなくなりました。
PCIライザー（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	PCIライザーケースが適切に取り付けられていません。
温度超過（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ヘルスドライバーが注意温度レベルを検出しました。
	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	サーバーは、ハードウェアの温度がクリティカルなレベルに達したことを検出しました。
消費電力上限（緑色で点灯）	–	緑色で点灯	電力が使用可能です。
消費電力上限（緑色で点灯）	–	緑色で点滅	電源投入を待っています
消費電力上限（オレンジ色で点滅）	–	オレンジ色で点灯	電力が使用できません。
消費電力上限（消灯）	–	オレンジ色で点灯	スタンバイ
プロセッサ（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	オレンジ色で点灯	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 • ソケットXのプロセッサに障害が発生しました。 • プロセッサXがソケットに取り付けられていない。 • プロセッサXはサポートされていない。 • POST実行中に、故障したプロセッサをROMが検出しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	ソケットXのプロセッサが障害発生の前段階にあります。
ファン（オレンジ色で点灯）	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	1つのファンが故障したか取り外されています。
	赤色で点滅	緑色で点灯	2つ以上のファンが故障したか取り外されています。
DIMM（オレンジ色で点灯）	赤色で点滅	緑色で点灯	1つ以上のDIMMが故障しました。
	オレンジ色で点滅	緑色で点灯	スロットXのDIMMが障害発生の前段階にあります。

ドライブベイの番号



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

サブトピック

SFF (2.5型) ドライブベイの番号

LFF (3.5型) ドライブベイの番号

E3.Sドライブベイの番号

混合ドライブベイの番号

GPU最適化構成のドライブベイの番号

SFF (2.5型) ドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンオプションがサポートされています。

2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン :

- 2 SFF (2.5型) 16G x4 U.2 NVMe UBM4 BC
- 2 SFF (2.5型) 16G x4 U.2 NVMe UBM6 BC
- 2 SFF (2.5型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM4 BC
- 2 SFF (2.5型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC
- 2 SFF (2.5型) 16G x4 NVMe UBM10 BC (積み重ね)
- 2 SFF (2.5型) 16G x4 NVMe UBM11 BC (積み重ね)

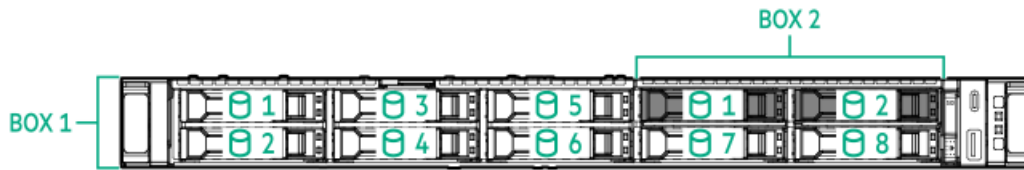
8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン :

- 8 SFF (2.5型) 16G x4 U.2 NVMe / SAS UBM4 BC
- 8 SFF (2.5型) 16G x4 U.2 NVMe / SAS UBM6 BC
- 8 SFF (2.5型) 24G x1 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
- 8 SFF (2.5型) 24G x1 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC
- 8 SFF (2.5型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
- 8 SFF (2.5型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM 6 BC

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、ドライブバックプレーンの命名を参照してください。



8 + 2 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



10 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



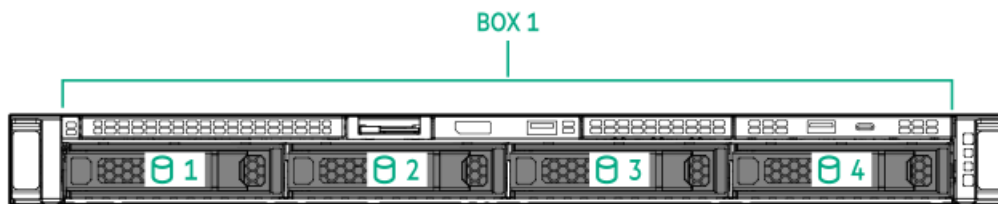
LFF (3.5型) ドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンオプションがサポートされています。

- 4 LFF (3.5型) 12G x1 U.2 SAS UBM2 BC
- 4 LFF (3.5型) 12G x1 U.2 SAS UBM6 BC

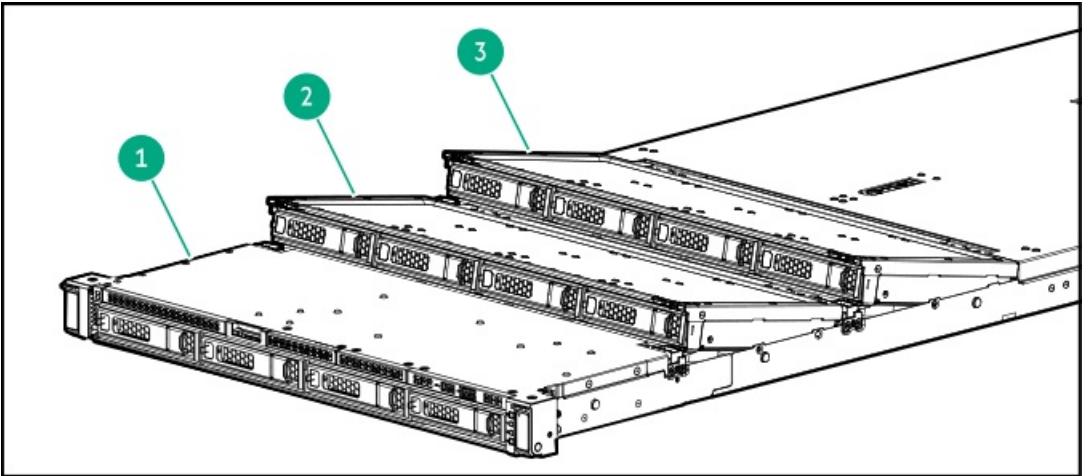
ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

4 LFF (3.5型)



12 LFF (3.5型)

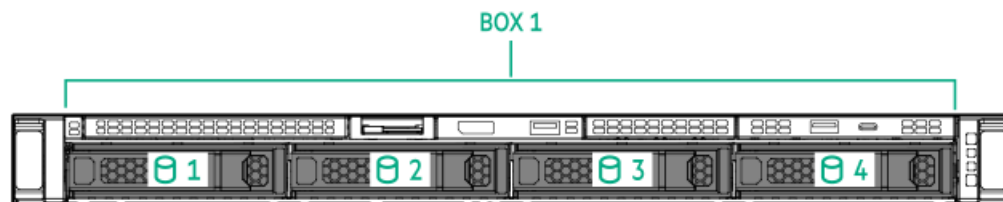
ドライブボックスの番号



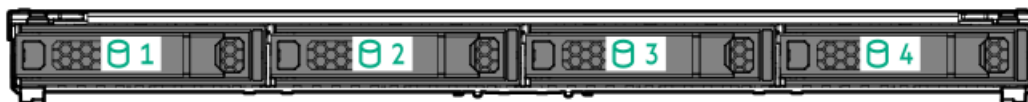
番号	説明
1	ボックス1
2	ボックス3
3	ボックス5

ドライブベイの番号

- ボックス1



- ボックス3および5



E3.Sドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンオプションがサポートされています。

- 2 E3.S 32G x8 NVMe UBM10 BC
- 4 E3.S 32G x4 NVMe UBM10 BC
- 4 E3.S 32G x4 NVMe UBM11 BC

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

20 E3.Sドライブベイの番号



混合ドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンオプションがサポートされています。

2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン :

- 2 SFF (2.5型) 16G x4 NVMe UBM10 BC (積み重ね)
- 2 SFF (2.5型) 16G x4 NVMe UBM11 BC (積み重ね)

4 E3.Sドライブバックプレーン：

- 4 E3.S 32G x4 NVMe UBM10 BC
- 4 E3.S 32G x4 NVMe UBM11 BC

8 SFF (2.5型) + 4 E3.Sドライブベイの番号



GPU最適化構成のドライブベイの番号

次のドライブバックプレーンがサポートされています。

2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン：

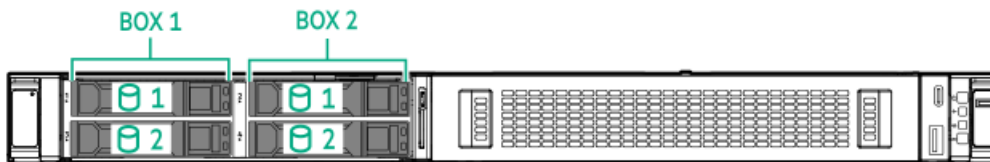
- 2 SFF (2.5型) 16G x4 NVMe UBM10 BC (積み重ね)
- 2 SFF (2.5型) 16G x4 NVMe UBM11 BC (積み重ね)

E3.Sドライブバックプレーン：

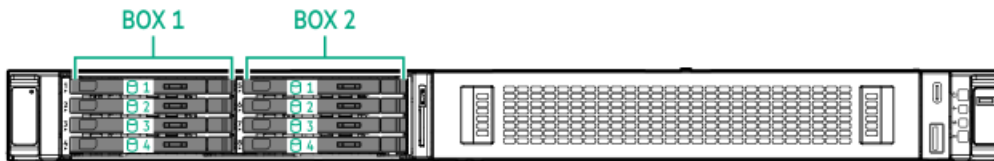
- 4 E3.S 32G x4 NVMe UBM10 BC
- 4 E3.S 32G x4 NVMe UBM11 BC

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

4 SFF (2.5型) ドライブベイの番号



8 E3.Sドライブベイの番号



HPEのベーシックドライブのLEDの定義

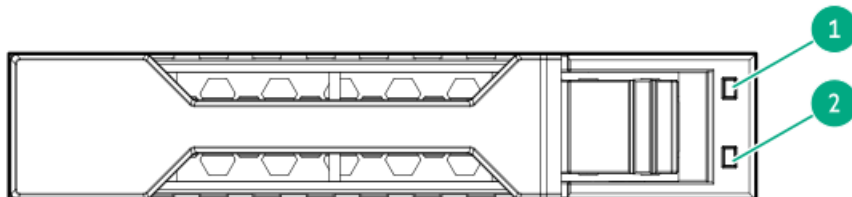
HPEのベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブの

ステータスを示すために使用されます。

- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

SFF (2.5型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグNVMeをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅 (毎秒1回点滅)	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅 (毎秒1回点滅)	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 ● RAIDの再構築または実行 ● ストリップサイズの移行の実行 ● 容量拡張の実行 ● 論理ドライブの拡張の実行 ● 消去 ● スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅 (毎秒4回点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがあります。
		消灯	ドライブでは、RAIDコントローラーにより構成されていないか、スペアドライブです。

EDSFF SSDのLEDの定義

EDSFFドライブキャリアには、次の2つのLEDがあります。

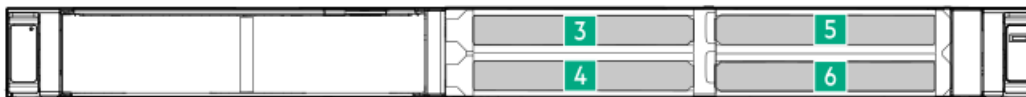
- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがあります。
		消灯	電源が供給されていません。

GPUライザースロットの番号

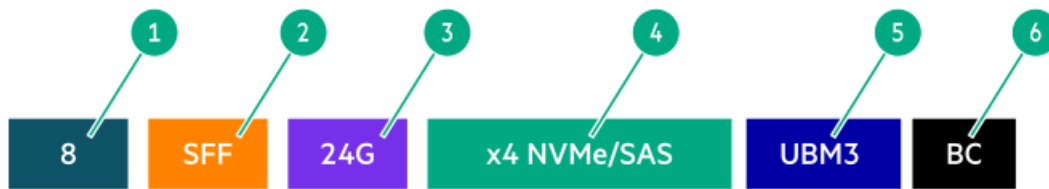
このサーバーは、4 SFF（2.5型）SAS/ SATA/ NVMeドライブまたは8 E3.Sドライブで4つのシングル幅GPUをサポートします。



ドライブバックプレーンの命名

このトピックでは、ドライブバックプレーンの命名で示されている機能について説明します。この命名規則は、HPE Gen11サーバーリリースから採用されています。サーバーは、このトピックに記載されているすべての機能をサポートしているとは限りません。サーバー固有のサポート情報については、サーバーのガイドを参照してください。

- ドライブバックプレーンのサポートについては、[ドライブベイの番号](#)を参照してください。
- ドライブバックプレーンのケーブル接続については、[ストレージのケーブル接続](#)を参照してください。

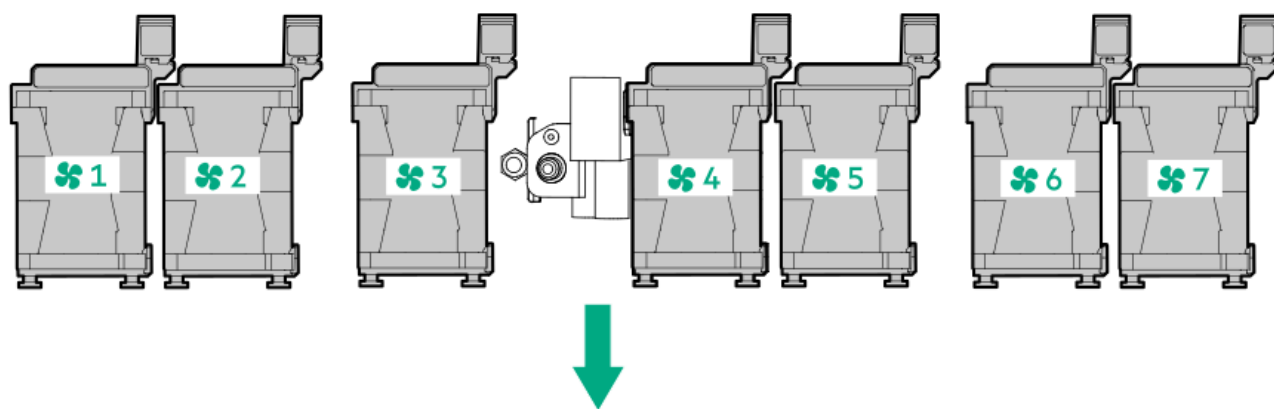


番号	説明	値
1	ドライブベイの数	バックプレーンでサポートされているドライブベイの数。
2	ドライブのフォームファクター	LFF (3.5型) – ラージフォームファクター SFF (2.5型) – スモールフォームファクター E3.S – Enterprise and Datacenter Standard Form Factor (EDSFF E3.S)
3	レーンあたりの最大リンク速度 (GT/s)	12G 16G 24G 32G
4	ポートリンク幅とインターフェイス	x1 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、またはSATA ¹ x4 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、またはSATA ² x4 NVMe – U.2 NVMe ³ x4 NVMe – E3.S
5	Universal Backplane Manager (UBM) モデル	UBMモデルは、バックプレーンで使用するUBMファームウェアを定義します。 UBMモデルの例：UBM2、UBM3など
6	ドライブキャリアのタイプ	BC – ベーシックキャリア (SFF (2.5型)) LP – ロープロファイルキャリア (LFF (3.5型)) EC – E3.Sキャリア

- ¹ x1 U.3 NVMe、SAS、およびSATAドライブに対するトライモードコントローラーのサポート。システムボード接続は、SATAドライブのみをサポートします (Gen12では利用できません)。
- ² x4 U.3 NVMe、x2 (スプリッターケーブル経由) U.3 NVMe、またはx1 SASおよびSATAドライブに対するCPU直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。
- ³ x4 U.2 NVMeドライブに対するCPU直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。

ファン番号

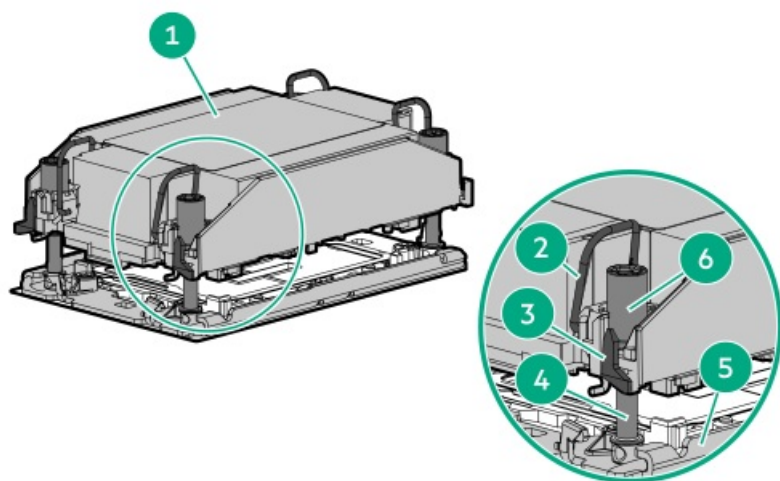
システムに十分なエアフローが確保されるように、サーバーには7台の高性能ファンが取り付けられています。



矢印は、サーバーの前面方向を示します。

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

標準的なヒートシンクを示します。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサヒートシンクモジュール*
2	傾き防止ワイヤー
3	プロセッサキャリアのリリースタブ
4	ボルスタープレートのガイドポスト
5	ボルスタープレート
6	ヒートシンクのネジ

*このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサに接続されたヒートシンクで構成されています。

クローズドループ液冷のコンポーネント

270 W < TDP ≤ 350 WのIntel Xeonプロセッサが搭載されている場合は、クローズドループ液冷ヒートシンクと液冷ファンのオプションが必要です。

- 液冷ヒートシンクのポンプ-コールドプレートは、プロセッサから熱を取ります。
- 熱はクーラントチューブを介してラジエータに移されます。
- クーラントチューブと液冷ファンが連動してシステムを冷却します。クーラントは純水とエチレングリコールの混合液で、耐食性のための添加剤が追加されています。



注記

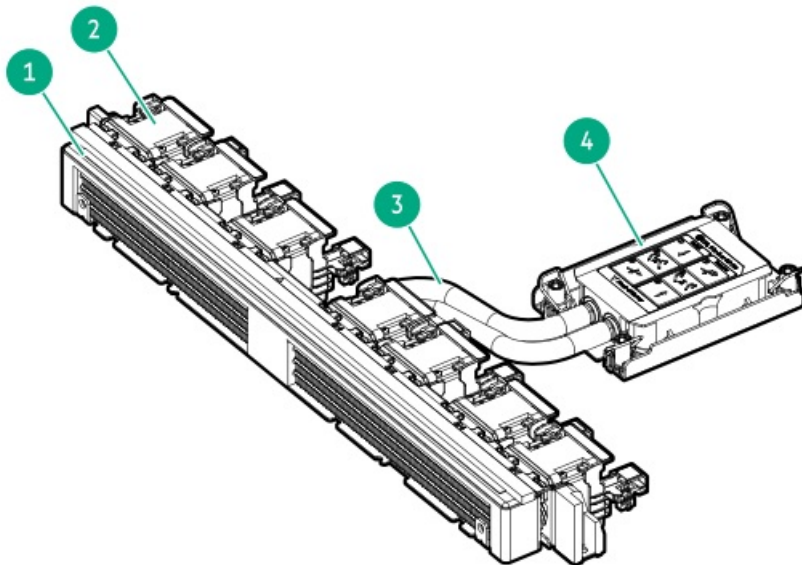
液冷モジュール内のクーラントには腐食防止添加剤が含まれており、時間が経つと劣化してシステムに漏れが生じる可能性があります。HPEでは、システムを保護するためにモジュールを5年ごとに交換することをお勧めします。詳細については、各地域のHPEの担当者までお問い合わせください。



注意

ヒートシンクのクーラント漏れ

- クローズドループ液冷 (CLLC) ヒートシンクのチューブには、クーラントがあらかじめ充填されています。iLOは、クーラント漏れが発生した場合に自動的に検出し、以下を実行します。
 - iLOメールアラートを送信します
 - イベントをインテグレートドマネジメントログ (IML) に記録します
 - 漏れイベントがクリアされるまでサーバーの電源がオンにならないようにし、システムリカバリのためにREST APIを実行します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
- クーラント漏れが発生した場合は、サーバーメンテナンスガイドのAppendix I: Server coolant spill responseの推奨手順に従ってください。CLLCヒートシンクのクーラントを交換しないでください。サービスに関するお問い合わせは、お近くのサービスプロバイダーにお問い合わせください。



番号	説明
1	ラジエータ
2	液冷ファン（7、シングルローター）
3	クーラントチューブ ¹
4	ポンプ-コールドプレート

¹ 液冷ヒートシンクには、冗長性のために2つのポンプがあります。

ファンとヒートシンクの要件



注意

システムの適切な冷却を維持するために、特定のハードウェア構成に必要な正しいタイプのファンとヒートシンクを取り付けます。

この表には、ドライブ構成とハードウェアオプションに応じた、サーバーのファンとヒートシンクの要件が示されています。詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

8 SFF（2.5型）および4 LFF（3.5型）ドライブ構成

プロセッサTDP	ファン	ヒートシンク
≤ 185 W	標準	標準
185 W < プロセッサTDP ≤ 270 W 高性能		高性能
270 W < プロセッサTDP ≤ 350 W 液冷		クローズドループ液冷

¹

推奨される動作時の最高周囲温度は27° Cです。

12 LFF（3.5型）ドライブおよびGPU構成

プロセッサTDP	ファン	ヒートシンク
≤ 185 W	高性能	標準
185 W < プロセッサTDP ≤ 270 W 高性能		高性能
270 W < プロセッサTDP ≤ 350 W 液冷		クローズドループ液冷

ハードウェアオプション

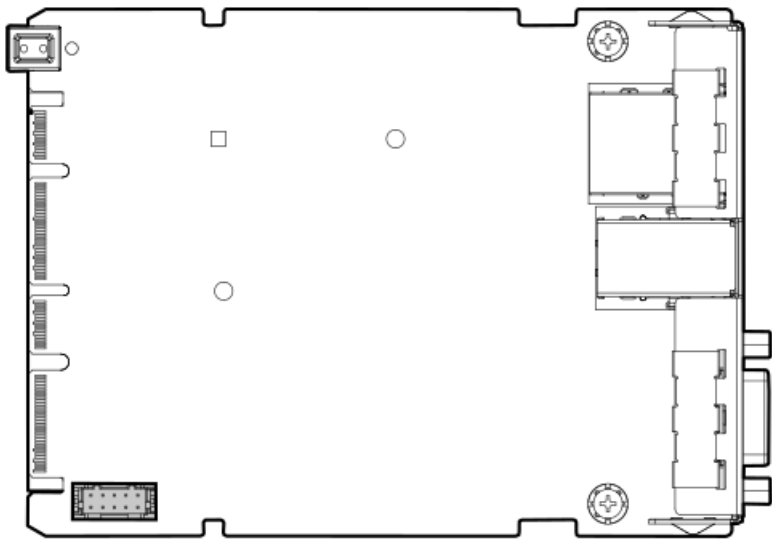
システムの適切な冷却を維持するために、次のハードウェアオプションに応じて、高性能ファンと標準または高性能ヒートシンクを取り付けます。

- Energy Pack
- E3.S / NVMe / SAS4ドライブ / HPE NS204i-uブートデバイスV2
- 96 GB以上の容量のDIMM*
- 100/200 Gb速度のタイプpイーサネットアダプターまたはタイプo InfiniBandアダプター
- 100/200 Gb速度のOCP NIC 3.0アダプター
- GPUカード

データセンターセキュアコントロールモジュールのコンポーネント

このサーバーは、データセンターモジュラーハードウェアシステム（DC-MHS）ベースの製品です。

- システムボード上のプロセッサとDIMMがコンピュータ機能を提供します。システムボードはホストプロセッサモジュール（HPM）として機能します。
- データセンターセキュアコントロールモジュール（DC-SCM）に組み込まれているiLOとTrusted Platform Module 2.0（TPM 2.0）チップセットが、このサーバーの管理機能とセキュリティ機能を提供します。このモジュールには、シリアルポートオプション用のコネクタもあります。



OCP NIC 3.0スロットの番号

このサーバーは、最大2つのOCP NIC 3.0スロットをリアパネルまたはフロントパネルでサポートします。

リアOCP NIC 3.0スロット

リアOCP NIC 3.0スロットはシステムの標準です。



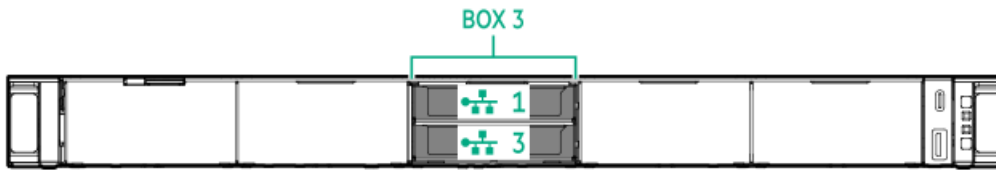
番号	スロット番号	サポートされるオプション
1	スロット20 OCP A PCIe5 x16	- OCP NICアダプター - タイプ0ストレージコントローラー
2	スロット21 OCP B PCIe5 x16	

1

OCP NICアダプターを1つ取り付ける場合は、スロット20 OCP Aに取り付けます。

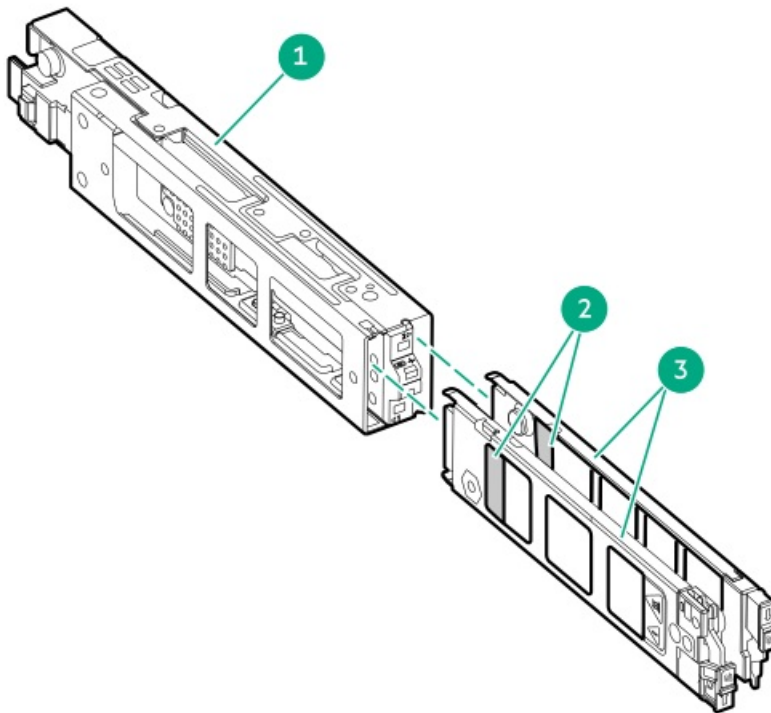
フロントOCP NIC 3.0スロット

フロントOCP NIC 3.0スロットはボックス3にあります。これらはフロントOCPイネーブルメントオプションキット（ベイ1：P77261-B21、ベイ3：P76982-B21）を必要とし、NICアダプターオプションをサポートします。



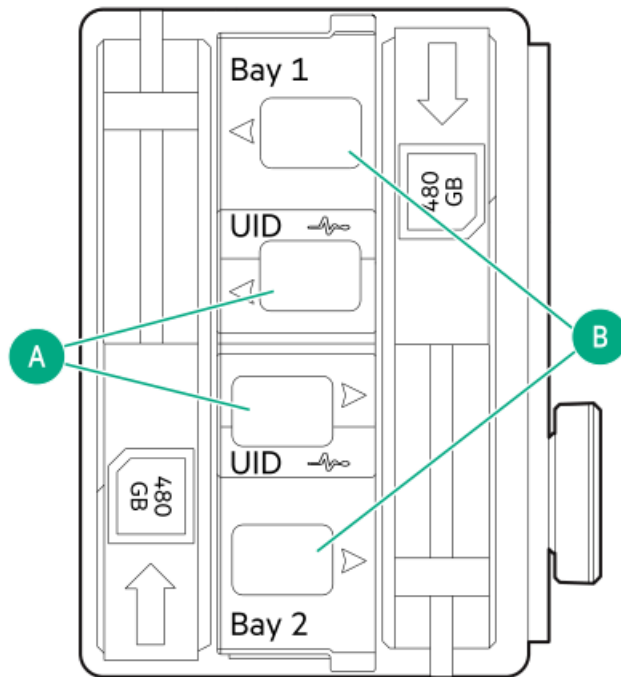
ベイ	スロット番号
1	OCPスロットPCIe5
3	x16

HPE NS204i-uブートデバイスV2のコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケージ
2	M.2スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-uブートデバイスV2のLEDの定義



注記

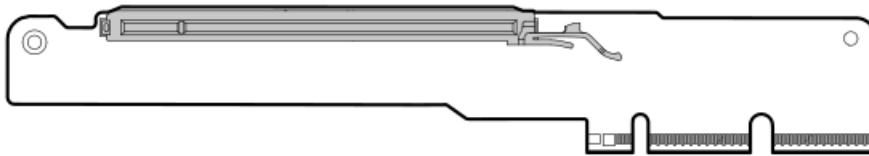
ベイ番号はSSDキャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
A	障害または位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色で点滅（1秒に1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別されていません。
B	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 - RAIDの再構築または実行 - 消去
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAIDコントローラーによる構成は行われていません。

ライザーボードのコンポーネント

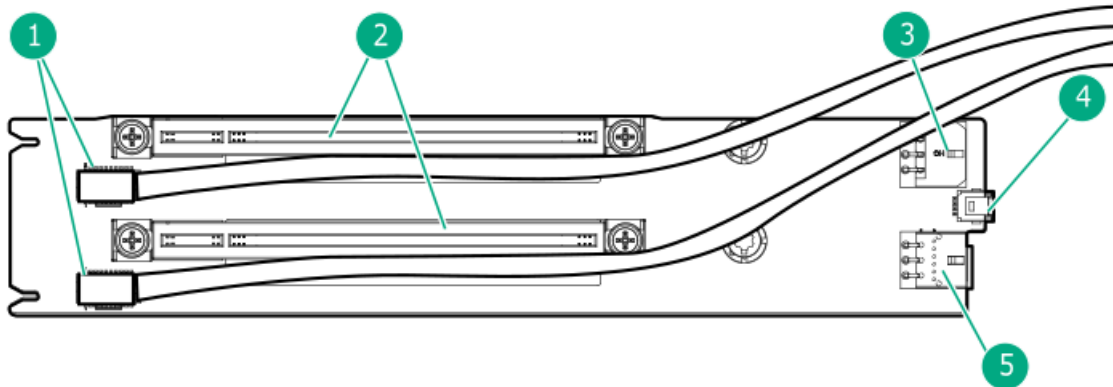
1スロットPCIe x16ライザーボード

このライザーボードは、PCIe5 x16（16、8、4、2）およびフルハイト、ハーフレングスの拡張カードをサポートします。



2スロットPCIe x16キャプティブライザーボード

このライザーボードは、GPUに最適化されたドライブ構成で、シングル幅、フルハイト、フルレングスのフォームファクターをサポートします。



番号	説明
1	PCIeスロット側波帯信号コネクタ
2	PCIe5 x16 (16、8、4、2)
3	GPU補助電源コネクタ
4	GPU側波帯コネクタ
5	キャプティブライザー電源コネクタ

セットアップ

この章では、サーバーの初期セットアップ手順のほか、一般的な操作要件と安全上の注意事項についても説明します。

サブトピック

- [HPEインストレーションサービス](#)
- [サーバーのセットアップ](#)
- [動作要件](#)
- [ラックに関する警告と注意事項](#)
- [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- [静電気対策](#)

HPEインストレーションサービス

HPEインストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise製品、ソフトウェア製品、HPEまたはHPE製品販売店によって販売される他のベンダーのHPEサポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレーションサービスは、HPEおよびHPEサポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計されたHPEスペシャリストによるHPE導入サービスです。

HPEインストレーションサービスには以下の利点があります。

- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。
- サービス実施のスケジュール調整。
- お客様は本来の業務に集中することが可能。
- HPE認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPEインストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記Webサイトを参照してください：

<https://www.hpe.com/jp/supportservices-tc>

サーバーのセットアップ

前提条件

- ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterpriseでは、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Managementは、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的なSoftware-as-a-Serviceプラットフォームです。HPE Compute Ops Managementの使用については、<https://www.hpe.com/info/com-docs>を参照してください。
 - Intelligent Provisioningのファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioningは、HPE ProLiantサーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioningにアクセスするには、サーバーのブートプロセス中にF10キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioningのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>) を参照してください。
 - Service Pack for ProLiantをダウンロードします。SPPは、単一のISOイメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Managerを展開ツールとして使用します。
 - 推奨されるSPPのダウンロード方法は、<https://www.hpe.com/servers/spp/custom>でSPPカスタムダウンロードを作成することです。

このオプションでは、不要なOSおよびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPPのサイズを縮小できます。
 - SPPは、<https://www.hpe.com/servers/spp/download>にあるSPPダウンロードページからもダウンロードすることができます。
- ご使用のOSまたは仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- サーバーの動作要件を確認します。
- 安全性とコンプライアンス情報を確認します。
<https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>

手順

1. サーバーの箱を開けて内容を確認します。

- サーバー
- 電源コード
- ラックマウント用ハードウェア部品（オプション）
- 印刷されたセットアップドキュメント

サーバーには、OSメディアは同梱されません。すべてのシステムソフトウェアとファームウェアは、あらかじめサーバーにロードされています。

2. （オプション）ハードウェアオプションを取り付けます。

3. サーバーをラックに取り付けます。

4. サーバーの管理方法を決定します。

- ローカル管理の場合：KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
- リモート管理の場合：iLO Webインターフェイスに接続し、リモートコンソールを実行します。
 - a. 次のことを確認します。
 - iLOに、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。
iLOのライセンスがない場合は、HPEのWebサイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- iLO専用ネットワークポートが、安全なネットワークに接続されている。

b. ブラウザーを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

`https://<iLOホスト名またはIPアドレス>`

以下の点に注意してください。

- DHCPサーバーからIPアドレスが割り当てられると、ブート画面にIPアドレスが表示されます。
- 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。

c. iLOログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。

d. ナビゲーションツリーで、リモートコンソール&メディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。

5. 電源ボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

6. サーバーの初期セットアップを構成します。

7. ストレージをセットアップします。

8. OSまたは仮想化ソフトウェアを展開します。

9. OSのインストール後、ドライバーをアップデートします。

10. サーバーを登録します。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- 空間および通気要件

- [温度要件](#)
- [電源要件](#)
- [アース要件](#)

環境要件については、[環境仕様](#)を参照してください。

サブトピック

[空間および通気要件](#)

[温度要件](#)

[電源要件](#)

[アース要件](#)

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ラックの前面に63.50 cm (25.00インチ)
- ラックの背面に76.20 cm (30.00インチ)
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に121.90cm (48.00インチ)

次の注意事項に従ってください。

- サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃がすために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。



注意

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。



注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けられない棚は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。
 - 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm (830平方インチ) の通気孔 (通気に必要な64パーセントの開口部と同等) を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
 - 側面 - 取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm (2.75インチ) 以上空けてください。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください

い。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度（TMRA）は、35° C（95° F）です。ラックを設置する室内の温度は、35° C（95° F）を超えてはなりません。



注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition（全国的な電気規約）およびNFPA-75, 1992（電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約）の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterpriseでは、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用することをお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は11.05 kg (24.36ポンド) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で17.25 kg (38.03ポンド) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は11.05 kg (24.36ポンド) を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック (脚) は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック (脚) にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してください。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kgで、高さは2.1 mを超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支えてください。



注意

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。



注意

ラックにサーバーを取り付ける前に、ラックの制限事項の範囲を適切に定めてください。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、ラックの重量に対応できることを確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項



警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



警告

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために：

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い空気圧にさらさないでください。
- Energy Packを60° C以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が1秒から160秒間残る可能性があります。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われず、冷却機構が正常に動作しなくなるため、高温によって装置が損傷する可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
 - 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

この章では、ハードウェアコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う前後に実行するハードウェアの操作、またはサーバーメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の実行について説明します。これらのハードウェア操作を実行する前に、以下を確認してください。

- ラックに関する警告と注意事項
- サーバーに関する警告と注意事項

サブトピック

[iLOサービスポート](#)
[Intel VROCのサポート](#)
[サーバーのUID LED](#)
[ディスプレイ装置のセットアップ](#)
[Trusted Platform Module 2.0](#)
[Trusted Platform Module 2.0のガイドライン](#)
[Systems Insight Displayへのアクセス](#)
[システムバッテリーの情報](#)

iLOサービスポート

iLOサービスポートは、サーバーの前面にある、iLOのラベルが付けられているUSBポートです。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、iLOサービスポートを使用して次のことができます。

- サポートされているUSBフラッシュドライブにActive Health Systemログをダウンロードします。
この機能を使用する場合、接続されているUSBフラッシュドライブにホストOSはアクセスできません。
- 標準のUSB Type A – Type CケーブルまたはUSB Type C – Type Cケーブルを使用してホストシステム (Windows/Mac/Linuxラップトップまたはデスクトップ) を接続し、以下にアクセスします。
 - iLOのWebインターフェイス
 - リモートコンソール
 - iLO RESTful API
 - CLI

iLOサービスポートを使用すると、次のようになります。

- 操作がiLOイベントログに記録されます。
- iLOサービスポートのステータスを示すようにサーバーのUIDが点滅します。
RESTクライアントとiLO RESTful APIを使用してiLOサービスポートのステータスを取得することもできます。
- iLOサービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- iLOサービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

iLOサービスポートについて詳しくは、iLOユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

Intel VROCのサポート

Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC)は、エンタープライズレベルのハイブリッドRAIDサポートを提供します。以下の情報に注意してください。

- Intel VROCは、直接接続されたNVMe SSDにRAIDサポートを提供します。
- Intel VROCドライバーが必要です。OS固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/VROC-UG>

- NVMeデバイスでIntel VROCを有効にする予定の場合は、Intel VROCハイブリッドRAIDライセンスを確保してください。Intel VROCライセンスについて詳しくは、サーバーのQuickSpecsを参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

- Intel VROCではサーバー起動モードをUEFIモードに設定する必要があります。
- デフォルトでは、Intel VROC RAIDサポートは無効になっています。OS起動前環境では、UEFIシステムユーティリティを使用してIntel VROCを有効にし、VROC RAIDボリュームを作成します。これらのタスクはIntelligent Provisioningではサポートされていません。
- VROC RAIDボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- Intel VROCでは、次のツールを通じたRAID管理がサポートされています。
 - 任意のOS : UEFIシステムユーティリティ
 - Windows : Intel VROC GUIおよびIntel VROC CLI
 - Linux : `mdadm` CLI

Intel VROCの機能と構成について詳しくは、[ストレージコントローラーの構成](#)を参照してください。

サーバーのUID LED

UID LEDを使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちます。また、リモート管理、ファームウェアのアップグレード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サブトピック

[UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示](#)

UIDボタンを使用したサーバーヘルスの概要の表示

前提条件

- 外部モニターが接続されています。
- iLO Webインターフェイスのアクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

UIDボタンを使用すると、iLOのサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源がオンまたはオフのときに使用できます。この機能は、サーバーが起動しない場合のトラブルシューティングに使用してください。



注意

UIDボタンを押して放します。5秒以上押し続けると、正常なiLOの再起動またはハードウェアiLOの再起動を開始します。ハードウェアiLO再起動中にデータの損失やNVRAMの破損が発生する可能性があります。

手順

1. UIDボタンを押して放します。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。詳しくは、iLOトラブルシューティングガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

2. 再度UIDボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

ディスプレイ装置のセットアップ

このサーバーでは、VGAポートとDisplayPort 1.1aの両方がサポートされています。ディスプレイデバイスを接続する前に、以下の点に注意してください。

- 表示出力モード：
 - VGAポートとDisplayPortの両方を使用して2台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方のデバイスにミラーリングされます。
 - iLOチップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
 - DisplayPort用にHDMIまたはDVIアダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。
- 可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターにVGAポートしかない場合は、サーバーのVGAポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、またはドングルを使用すると、表示品質が低下したり、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

Trusted Platform Module 2.0

Trusted Platform Module 2.0 (TPM) は、プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます。

TPM 2.0はDC-SCMIに組み込まれています。

TPM 2.0は、特定のオペレーティングシステムサポート (Microsoft Windows Server 2012 R2以降など) でサポートされます。オペレーティングシステムサポートについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品のQuickSpecsを参照してください。Microsoft WindowsのBitLockerドライブ暗号化機能について詳しくは、MicrosoftのWebサイト (<https://www.microsoft.com>) を参照してください。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン



注意

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
 - サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア (システムボードやドライブなど) の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
 - OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。
- TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Moduleオプションを選択します。詳しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。

- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- HPEは、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

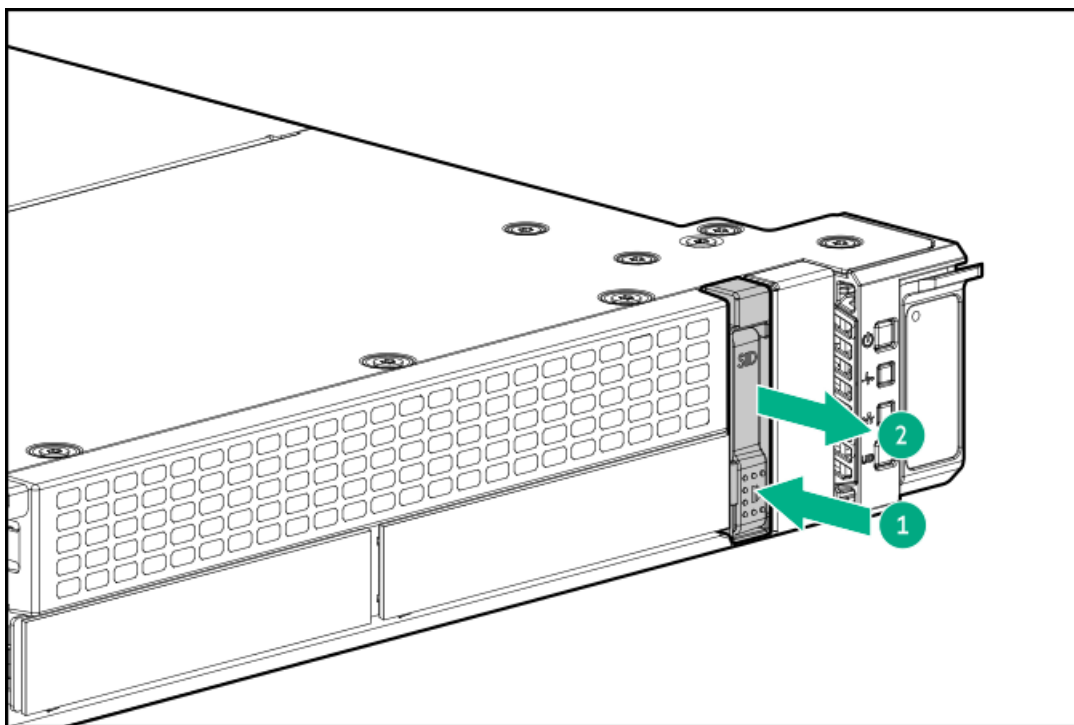
Systems Insight Displayへのアクセス

このタスクについて

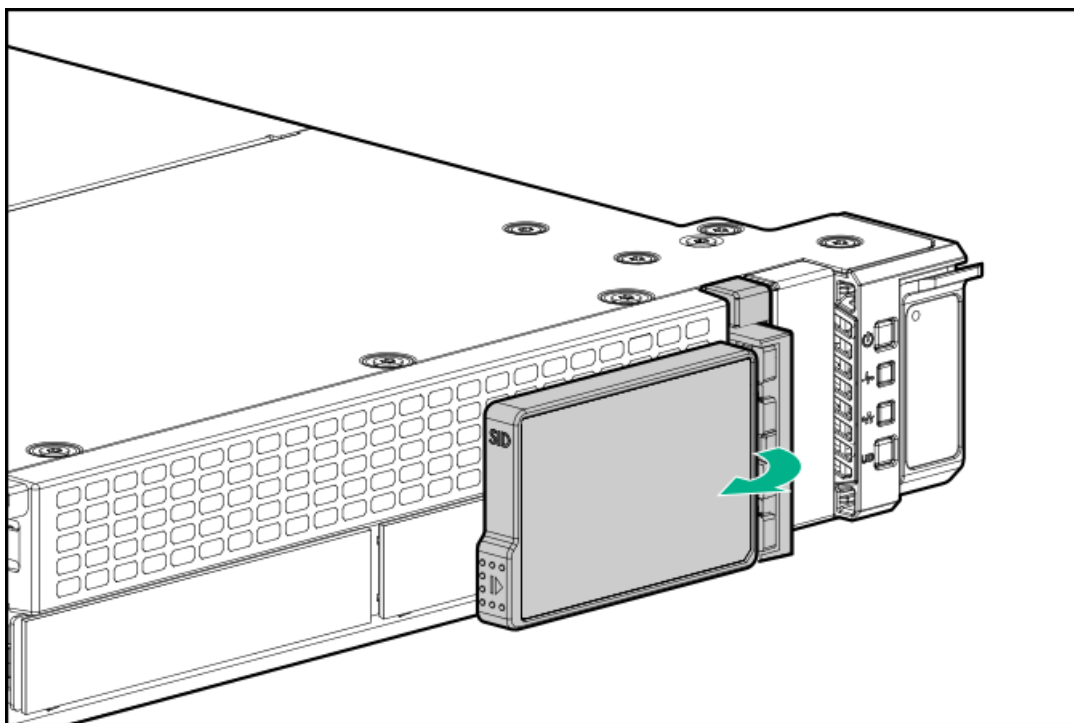
Systems Insight Displayは、SFF（2.5型）プラットフォームでのみ使用できます。

手順

1. パネルを押してロックを解放します。



2. ディスプレイを取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



システムバッテリーの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッテリーが内蔵されています。



警告

このバッテリーの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- バッテリーを再充電しないでください。
- 60° C以上の高温にさらさないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリーを低い空気圧にさらさないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

ハードウェアオプションを取り付ける

この章では、サポートされるハードウェアオプションを取り付ける手順を説明します。サーバーの適切な展開と運用を確実にするため、Hewlett Packard Enterpriseでは、HPE検証済みのハードウェアオプションのみを取り付けることをお勧めします。このサーバーの検証済みオプションのリストを表示するには、HPE Webサイトにある製品のQuickSpecsを参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

ご使用のサーバーおよびサポートされるオプションの保証を表示するには、[保証情報](#)を参照してください。

サブトピック

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン
取り付け前の手順
取り付け後の手順
ラックレールとCMA
ドライブ
ドライブケース
GPUオプション
メモリオプション
管理
ファン
ネットワーク
電源装置オプション
ライザーおよびライザーケースオプション
オプティカルドライブとメディアベイ
OSブートデバイス
セキュリティ
Energy Pack
ストレージコントローラー
プロセッサとヒートシンク
内部USBデバイスのオプション

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Webサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品のQuickSpecsを参照してください。

- サポートされるオプション
- サポートされている構成
- コンポーネントの互換性
- 新機能
- 仕様
- 部品番号

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

取り付け前の手順

サブトピック

サーバーデータバックアップ
サーバーの電源を切る
ケーブルマネジメントアームを解放する
ラックからサーバーを引き出す
サーバーをラックから取り外す
フロントベゼルを取り外す
アクセスパネルを取り外す
中央カバーを取り外す
ファンを取り外す
ファンフレームを取り外す
ライザーケージを取り外す
ライザーケージブランクを取り外す
電源装置を取り外す

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 - UEFIシステムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply Chain サーバー用) に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード

- サーバーシリアル番号と製品ID
- iLO関連データ - iLOバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
- iLOのライセンス
- お客様のiLOユーザー名、パスワード、およびDNS名
- iLO構成設定

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

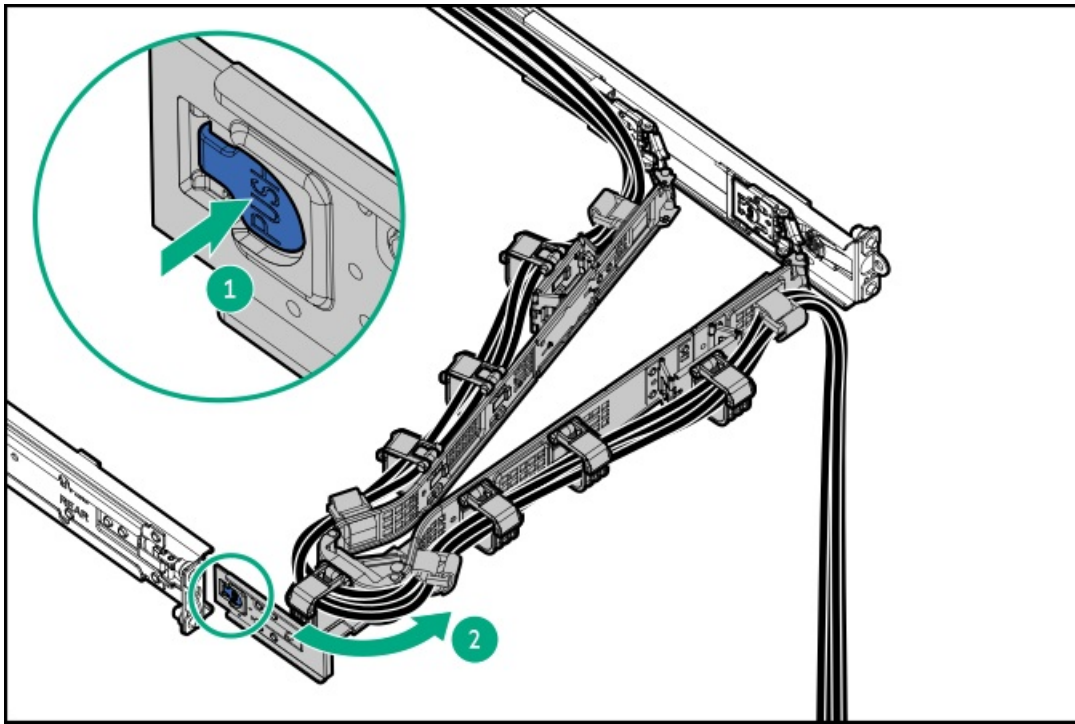
- 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションとOSを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- iLO 7経由の仮想電源ボタンを使用します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSを正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源LEDがオレンジ色）になっていることを確認してください。

ケーブルマネジメントアームを解放する

手順

ケーブルマネジメントアームを解放し、動かしてラックから取り外します。



ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- この手順を実行する前に、ラックに関する警告と注意事項を確認してください。
- T-25トルクスドライバー - このツールは、シャーシ内にある輸送用ネジが固定されている場合に必要です。

このタスクについて

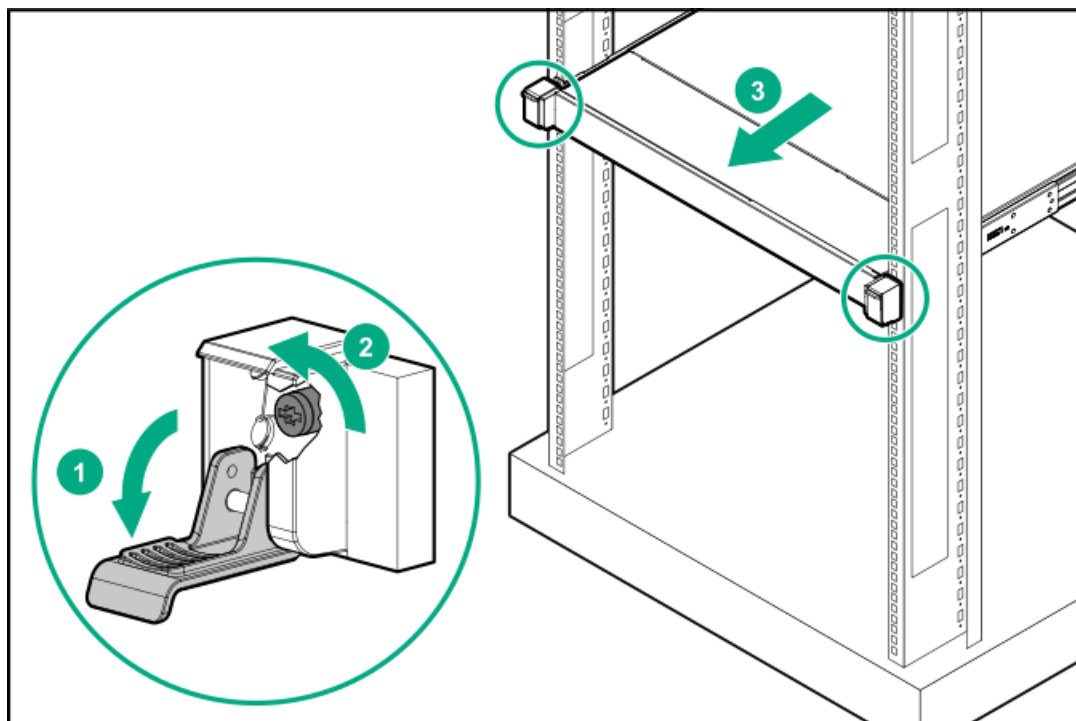


警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。

手順

1. 必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシャーラッチを使用して、レールリリースラッチがかみ合うまでサーバーをラックから引き出します。

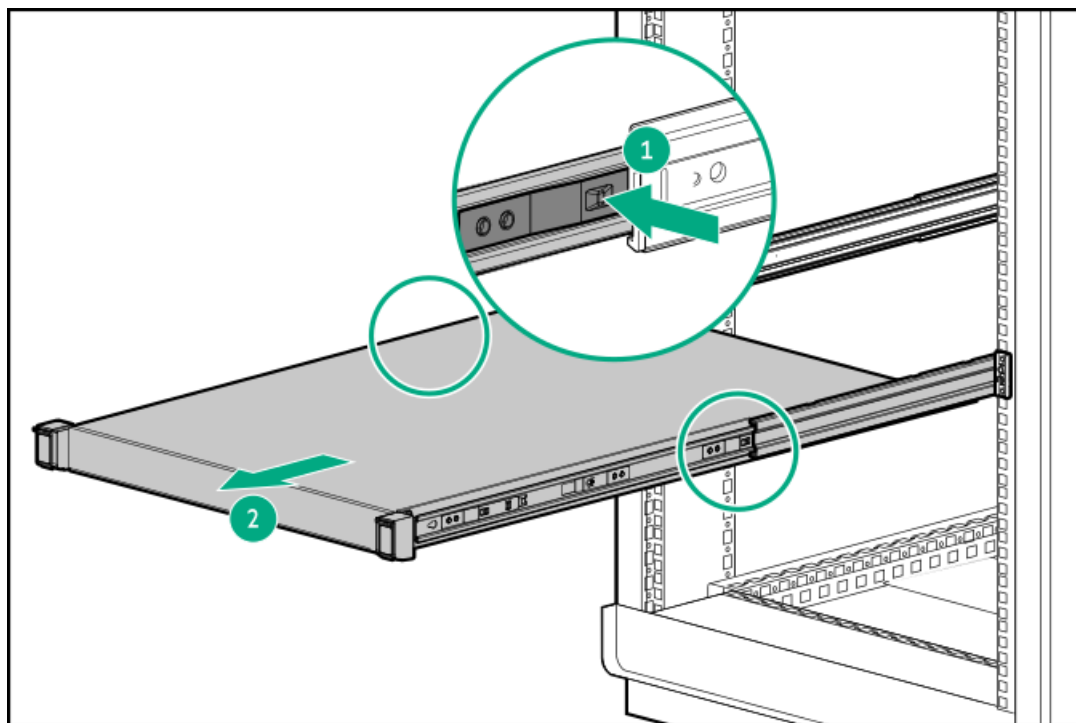


2. リア側のレールリリースラッチを押したまま、サーバーをスライドさせてラックから完全に引き出します。



警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。



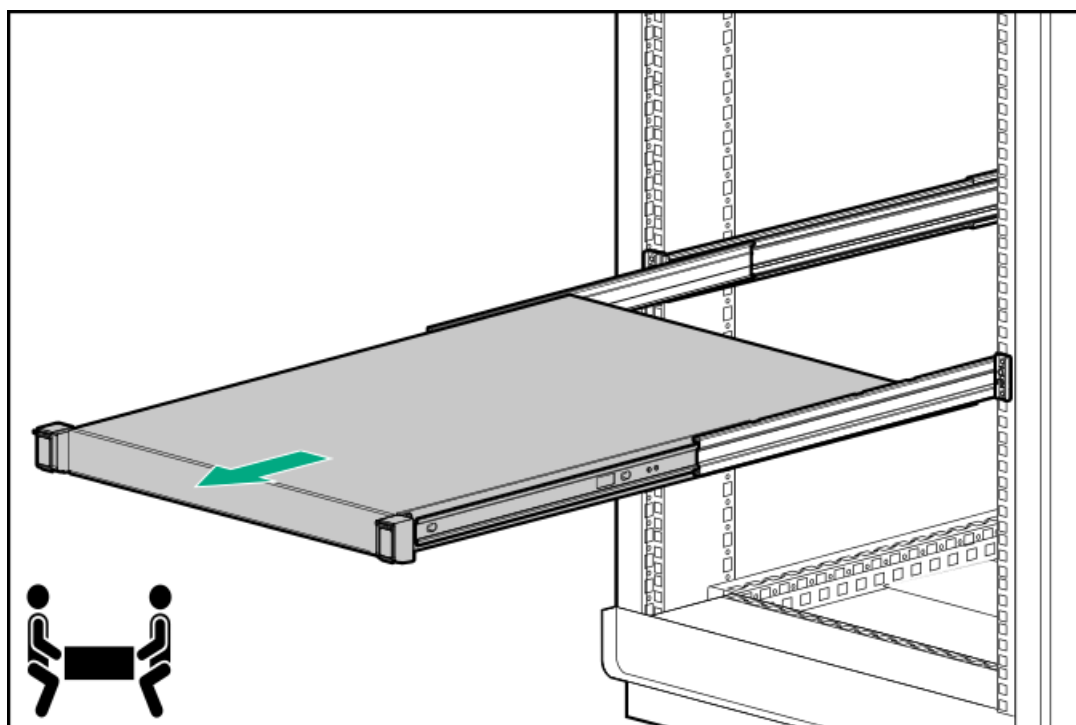
サーバーをラックから取り外す

前提条件

- ラックからの取り外し中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを取り外すために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックから引き出します。
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックからサーバーを取り外すことをお勧めします。

手順

1. [サーバーの電源を切ります](#)。
2. 取り付けられている場合は、[ケーブルマネジメントアームを解放します](#)。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. [ラックからサーバーを完全に引き出します](#)。
6. サーバーをスライドさせて完全にラックから引き出します。



7. サーバーを平らで水平な面に置きます。

フロントベゼルを取り外す

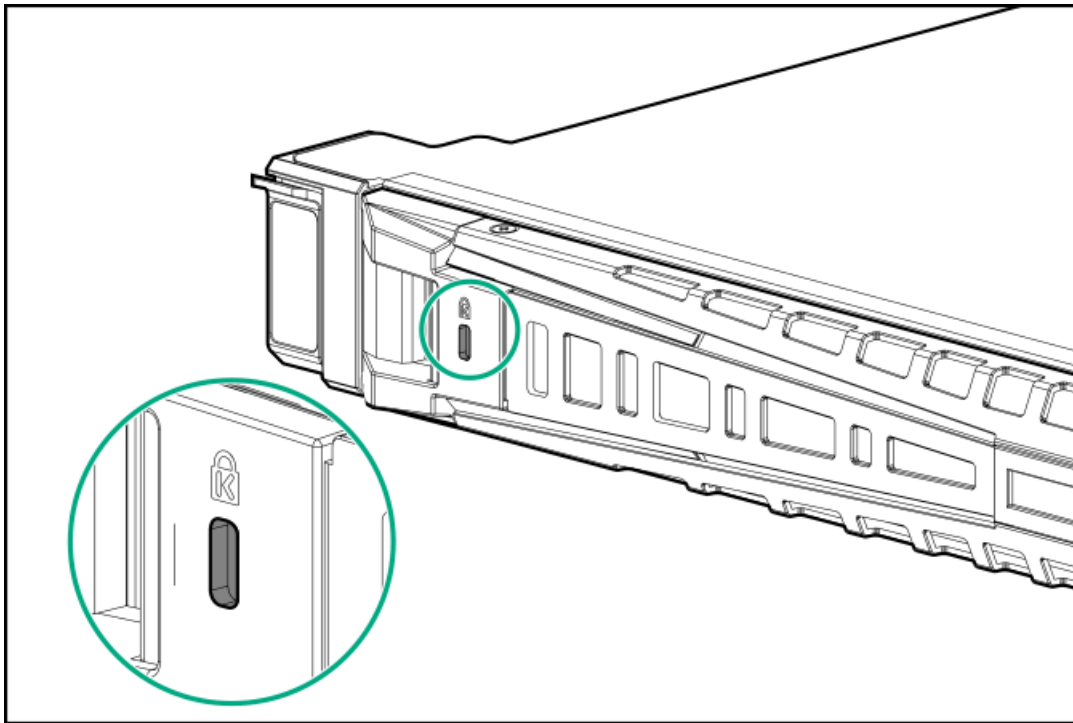
このタスクについて

iLOで仮想電源ボタンを使用してサーバーの電源のオン/オフを切り替えている場合、フロントベゼルを取り外す必要はあり

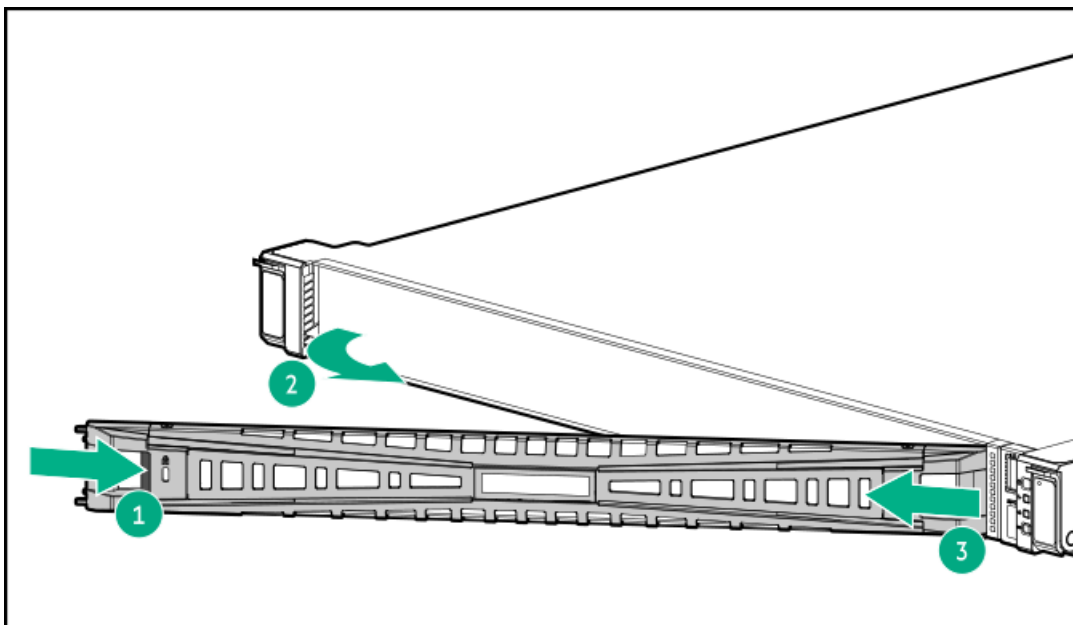
ません。フロントパネルコンポーネントにアクセスする必要がある場合のみ、フロントベゼルを取り外します。

手順

1. Kensingtonセキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。



2. ベゼルリリースラッチを押してから、ベゼルを回転させて開きます。
3. ベゼルの右側をフロントパネルから外します。



アクセスパネルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

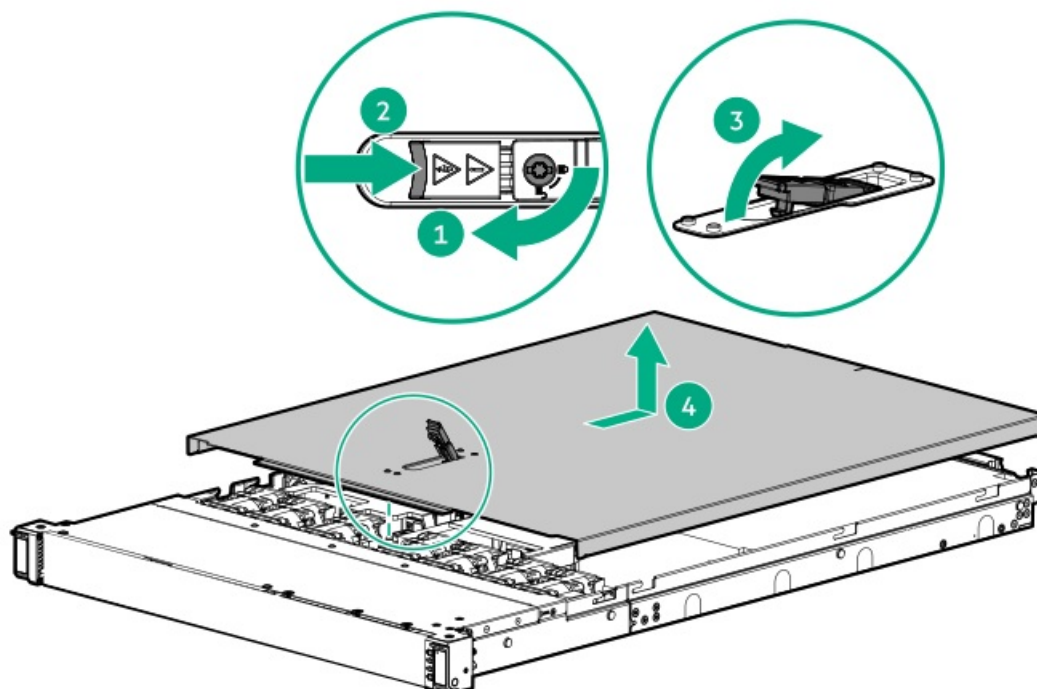


注意

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われなために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
 - a. 必要に応じて、アクセスパネルのラッチをロック解除します。
 - b. シャーシからアクセスパネルを離すには、リリースボタンを押し、ラッチを引き上げます。
 - c. アクセスパネルを引き上げます。



中央カバーを取り外す

前提条件

GPU最適化構成のサーバーから中央カバーを取り外すには、T-10トルクスドライバーが必要です。

このタスクについて



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブランクを必ず取り付けてください。



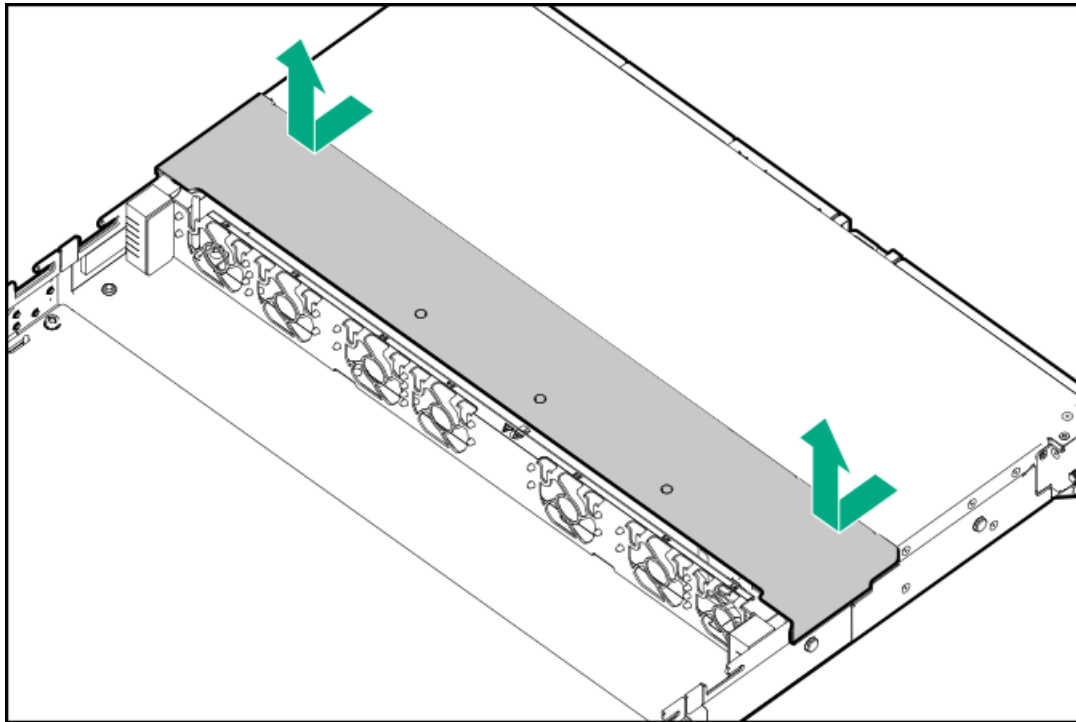
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

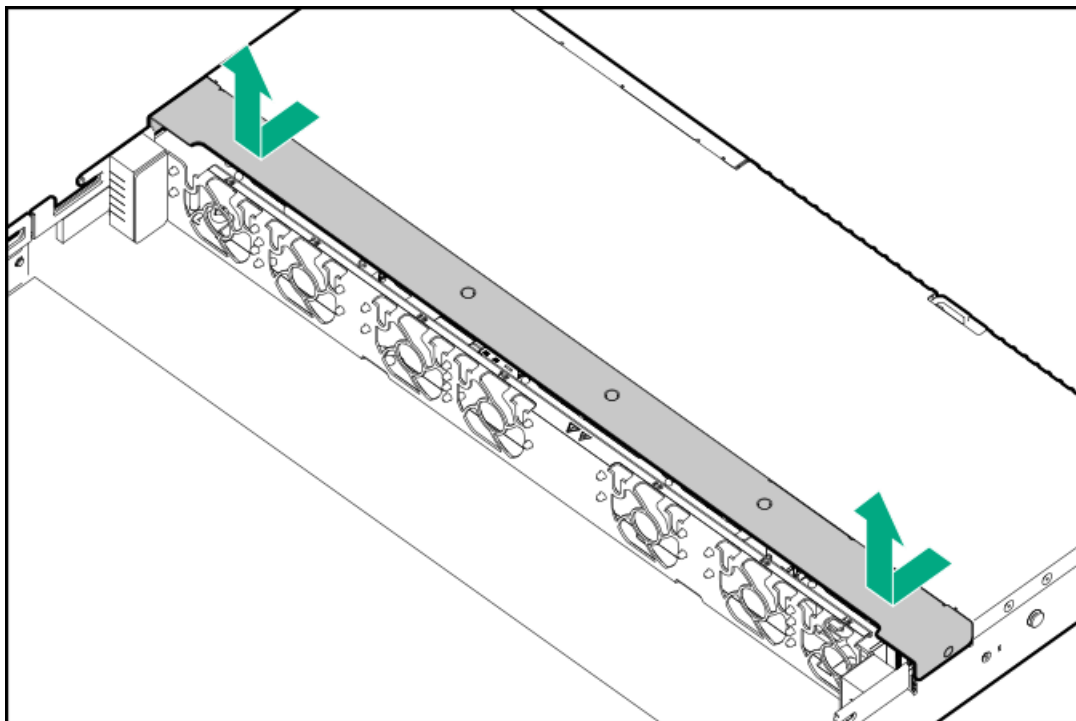
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。

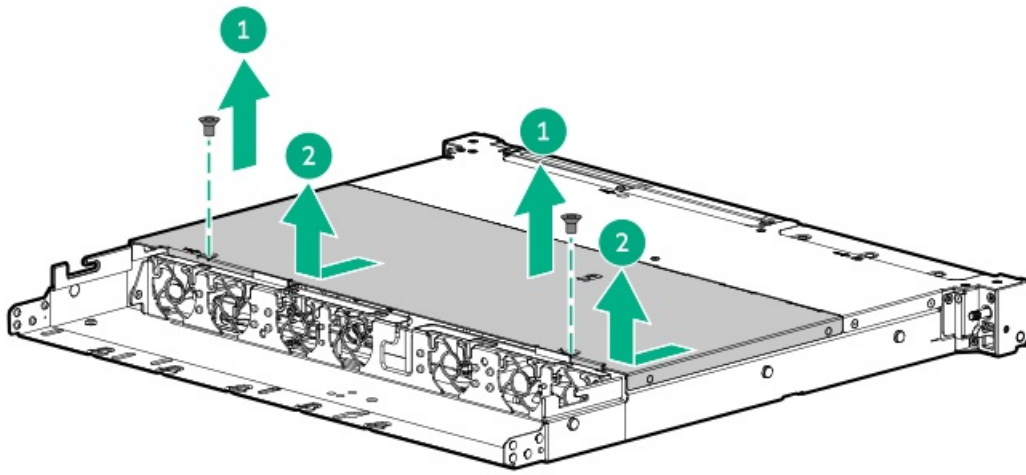
- b. サーバーをラックから取り外します。
- 6. アクセスパネルを取り外します。
- 7. SFF (2.5型)、LFF (3.5型)、および混合ドライブ構成から中央カバーを取り外すには、中央カバーの両側を持って、サーバーから取り外します。
 - LFF (3.5型) および混合ドライブ構成



- SFF (2.5型) ドライブ構成



- 8. GPU最適化構成から中央カバーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. ネジを取り外します。
 - b. 中央カバーの両側を持って、サーバーから取り外します。



ファンを取り外す

このタスクについて



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。



重要

ファンセットアップは、標準のシングルローターファンまたは高性能のデュアルローターファンのいずれかです。同じサーバー内でファンのタイプを混在させないでください。



重要

高性能（デュアルローター）ファンの取り外し後に、60秒以内にファンを取り付けまたは交換してください。そうしない場合、サーバーは適切にシャットダウンします。



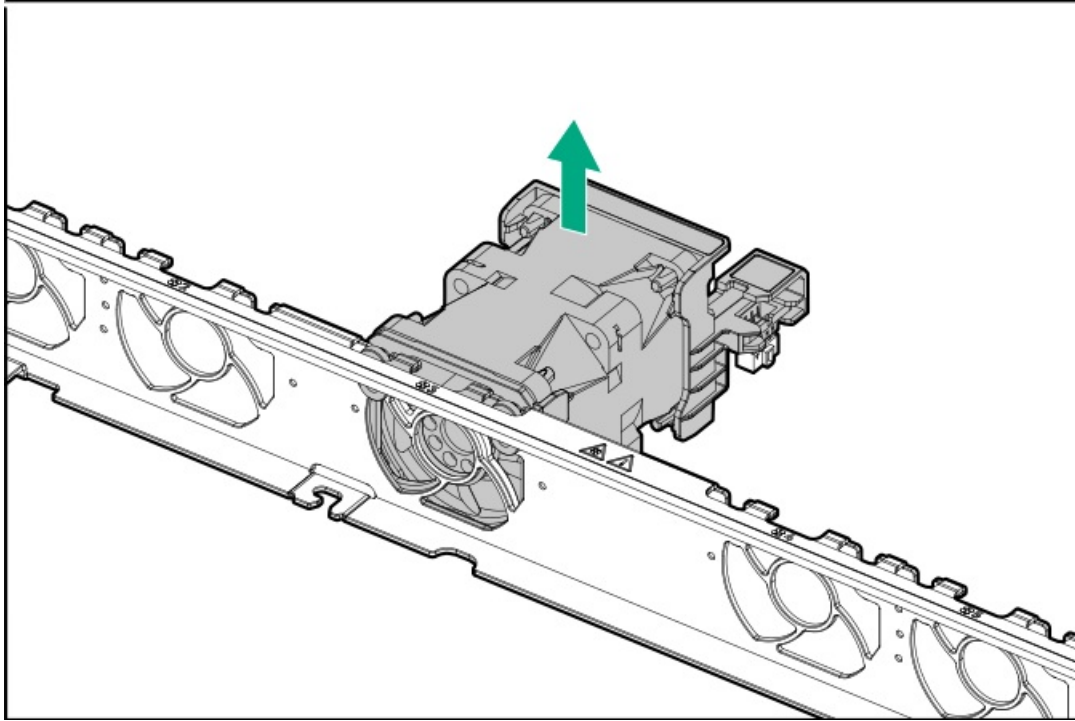
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。

6. アクセスパネルを取り外します。
7. ファンを持ち上げてスロットから取り外します。



ファンフレームを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-15トルクスドライバー – この工具は、SFF（2.5型）または4 LFF（3.5型）ドライブ構成からファンフレームを取り外す場合に必要です。
- T-10トルクスドライバー – この工具は、12 LFF（3.5型）ドライブまたはGPU最適化構成からファンフレームを取り外す場合に必要です。

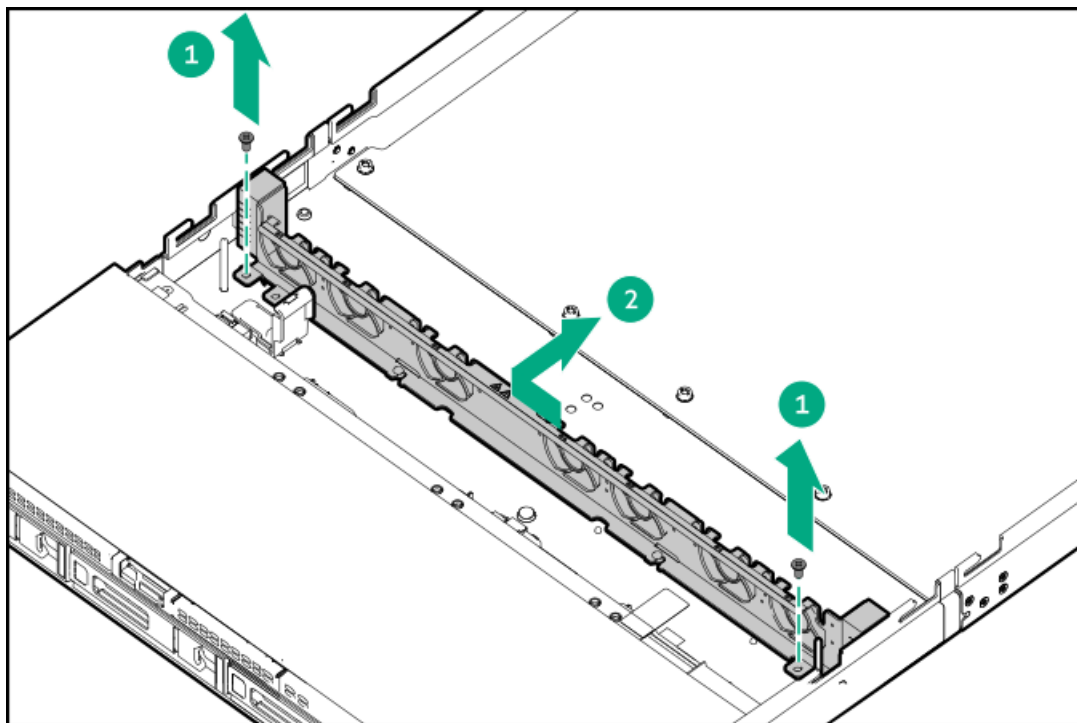
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. 中央カバーを取り外します。

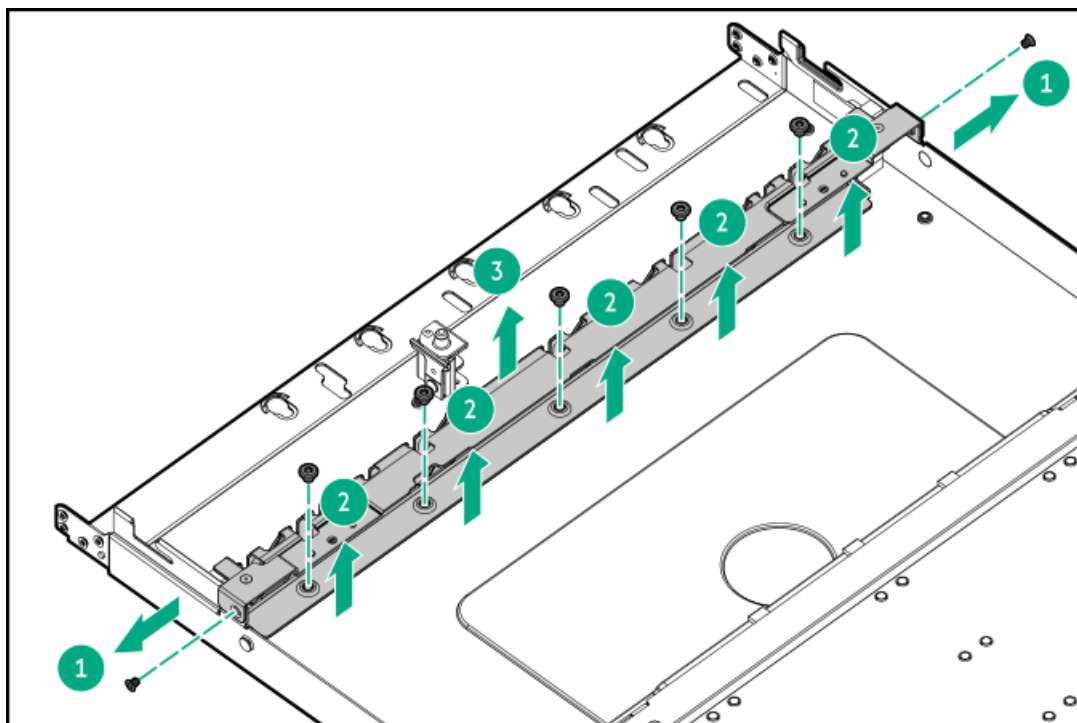
9. ファンを取り外します。
10. ファンフレームを取り外します。

ネジとファンフレームは保管しておいてください。これらのネジは、内部コンポーネントの交換または取り付け後にファンフレームを固定するために使用されます。

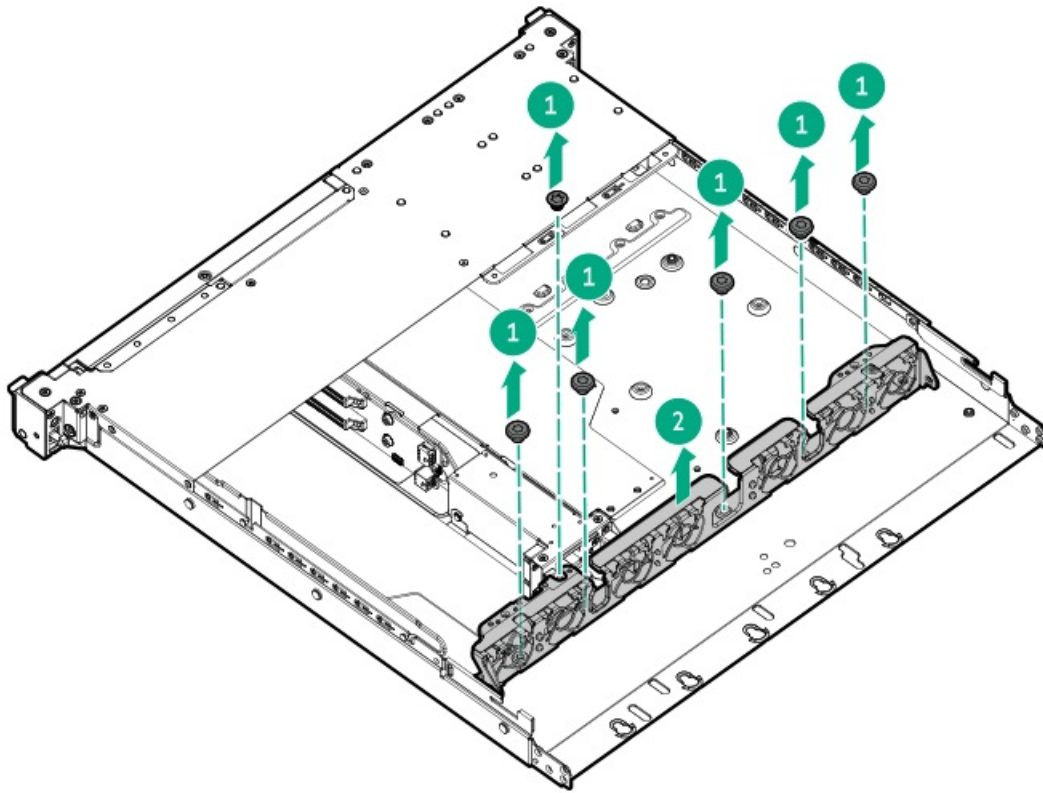
- SFF (2.5型) または4 LFF (3.5型) ドライブ構成



- 12 LFF (3.5型) ドライブ構成



- GPU最適化構成 :



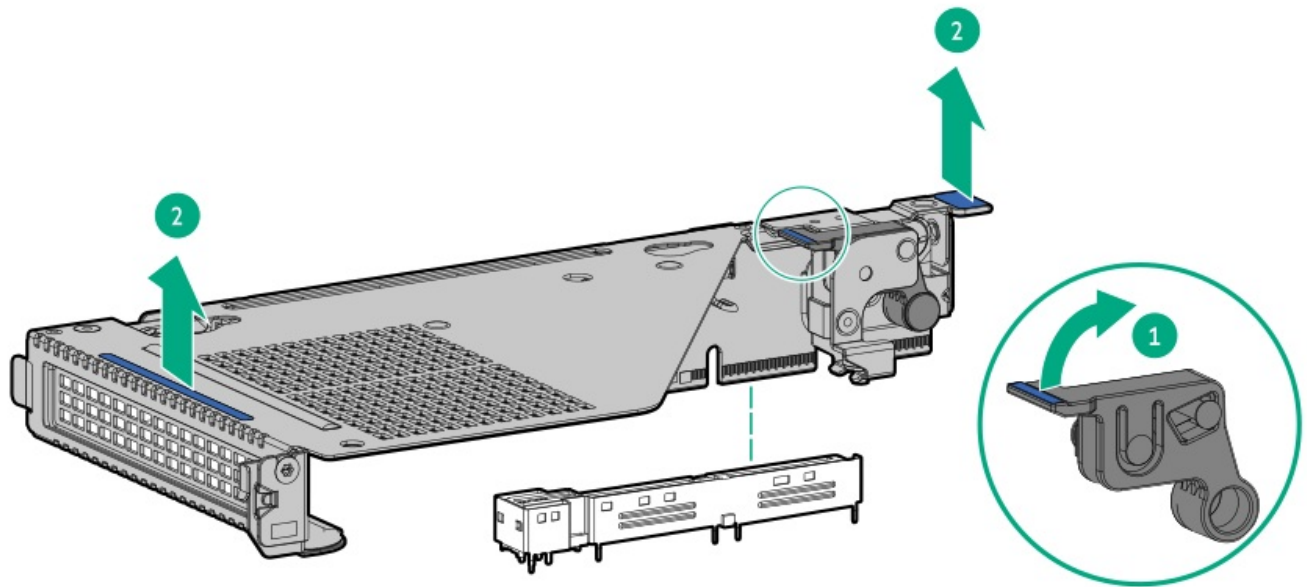
ライザーケージを取り外す

前提条件

GPUライザーケージを取り外すには、T-10トルクスドライバーが必要です。

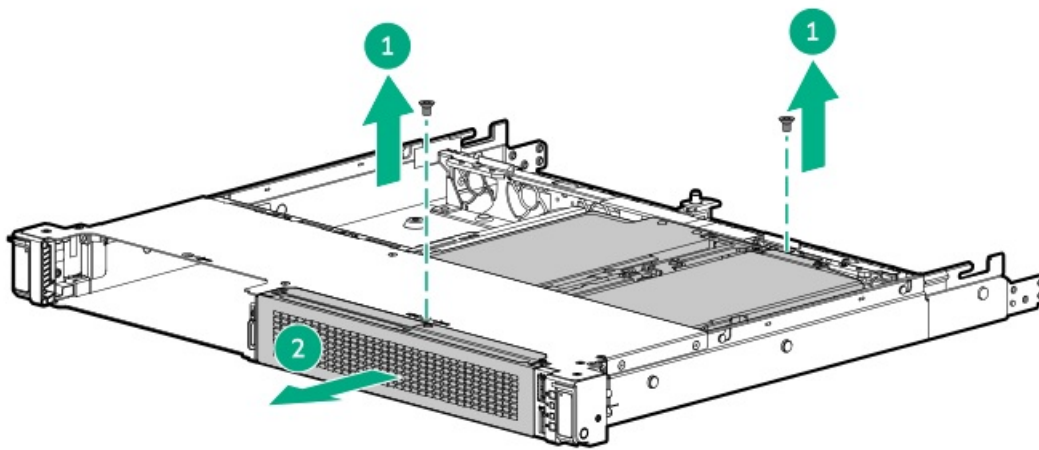
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. 拡張カードが内部ケーブルでライザーに取り付けられている場合は、カードからケーブルを抜き取ります。
9. フルハイトまたはロープロファイルのライザーケージを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. ラッチを開きます。
 - b. ケージをシステムボードから取り外します。



10. GPUライザーケーシングを取り外すには、次の手順を実行します。

- a. 2本のネジを取り外します。
- b. ケージを前方に押してから、スライドさせて取り外します。



ライザーケーシングブランクを取り外す

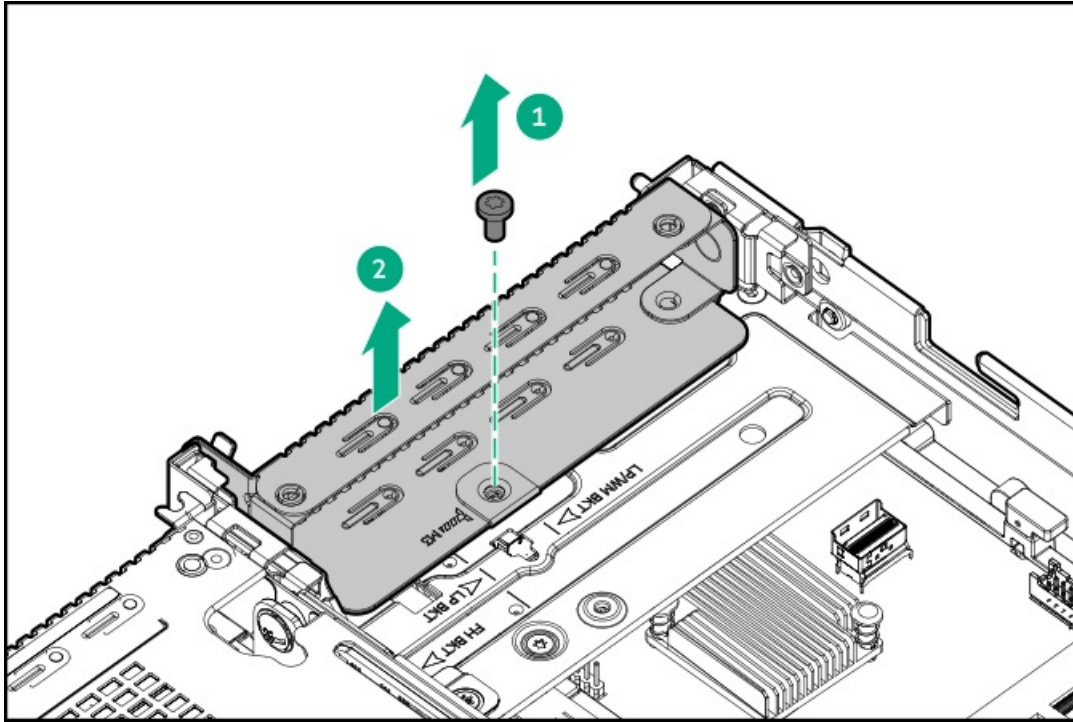
前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. フルハイトまたはロープロファイルのライザーケーシングブランクを取り外します。



電源装置を取り外す

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブランク、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。

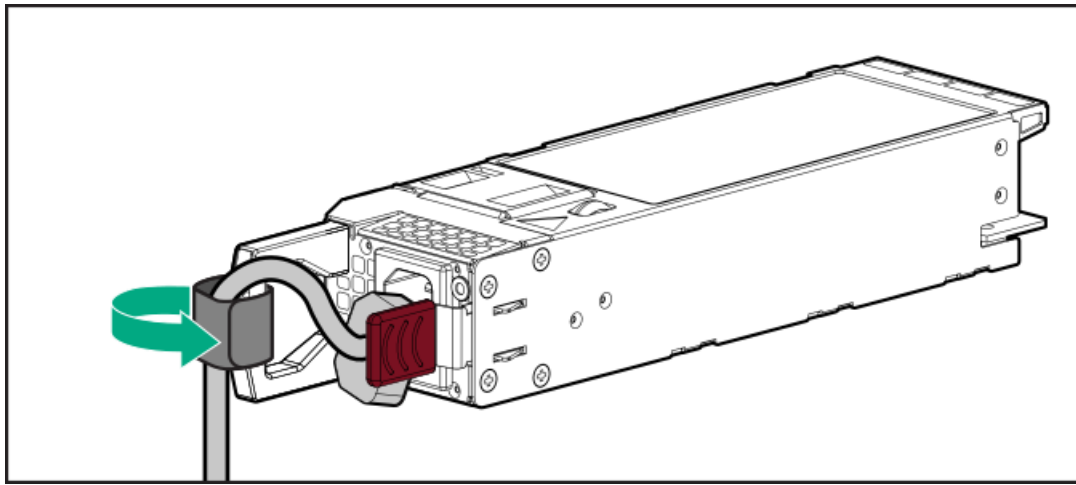


注意

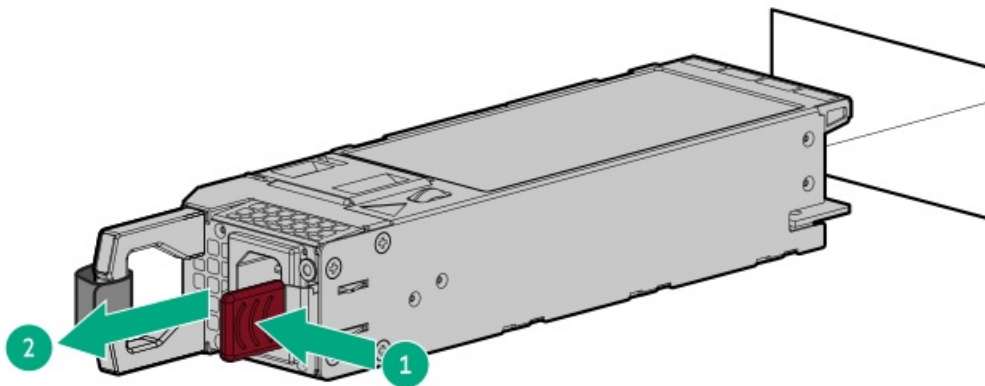
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 電源装置を取り外します。
 - a. 電源コード、ワイヤー、ケーブルをストレインリリーフストラップから外します。



b. リリースラッチを押したまま、電源装置を取り外します。



取り付け後の手順

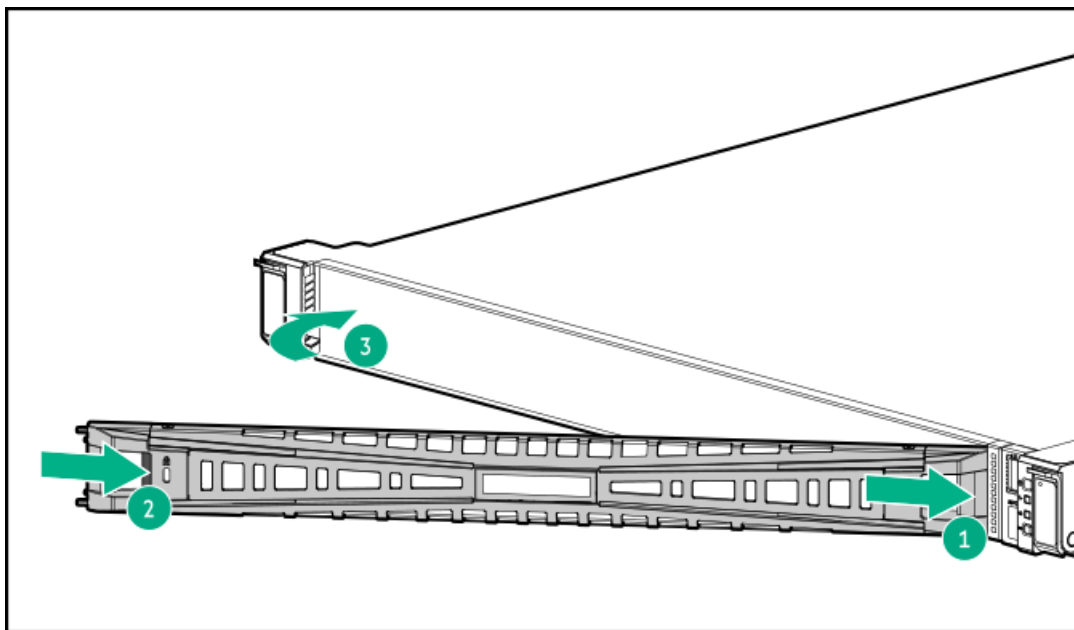
サブトピック

フロントベゼルを取り付ける
アクセスパネルを取り付ける
中央カバーを取り付ける
ファンフレームを取り付ける
ライザーケージを取り付ける
サーバーをラックに取り付ける
サーバーの電源を入れる

フロントベゼルを取り付ける

手順

1. フロントベゼルを右側のシャーシイヤーに接続します。
2. フロントベゼルのリリースラッチを押し続けます。
3. フロントベゼルを閉じます。



4. (オプション) Kensingtonセキュリティロックを取り付けます。

詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。

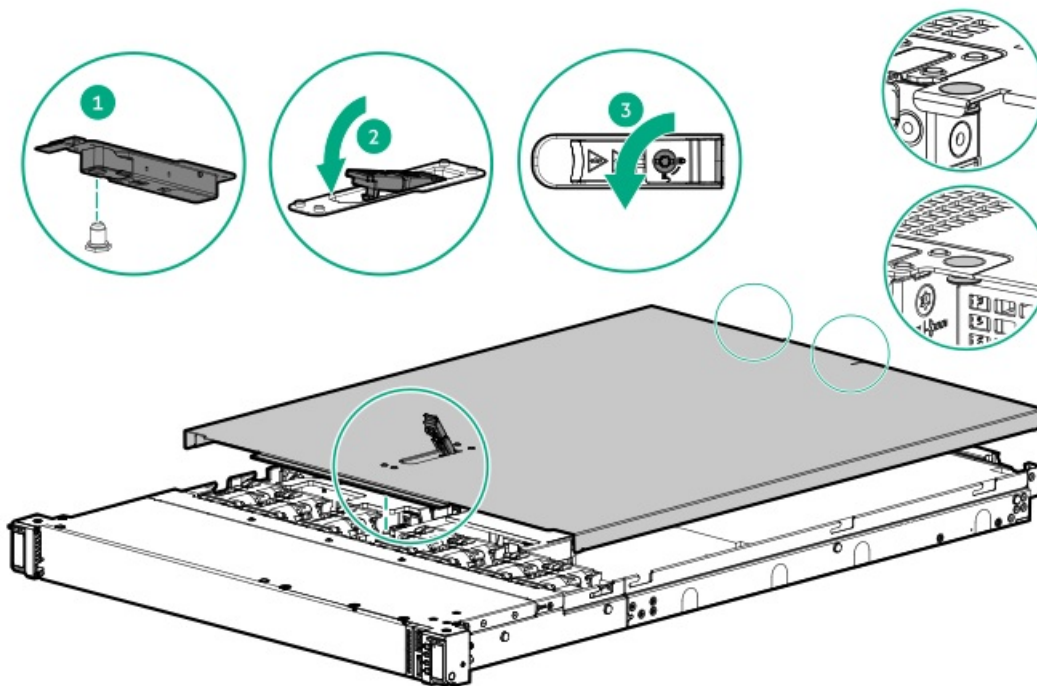
アクセスパネルを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. アクセスパネルのラッチを開けたまま、ラッチの下部にある穴に、シャーシ上のガイドピンを挿入します。
2. アクセスパネルのラッチを閉じます。
アクセスパネルのリアスプールがライザーおよび電源装置ケーシングとかがみ合っていることを確認します。
3. アクセスパネルのラッチをロックします。



4. アクセスパネルを取り外した場合に必要な手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

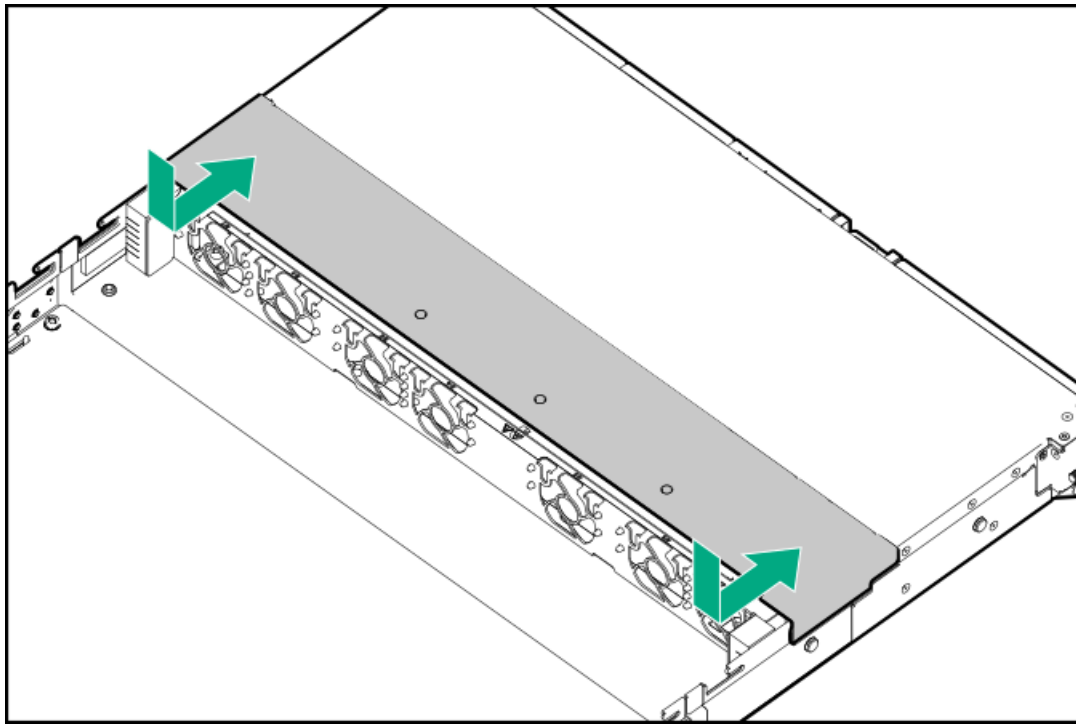
中央カバーを取り付ける

前提条件

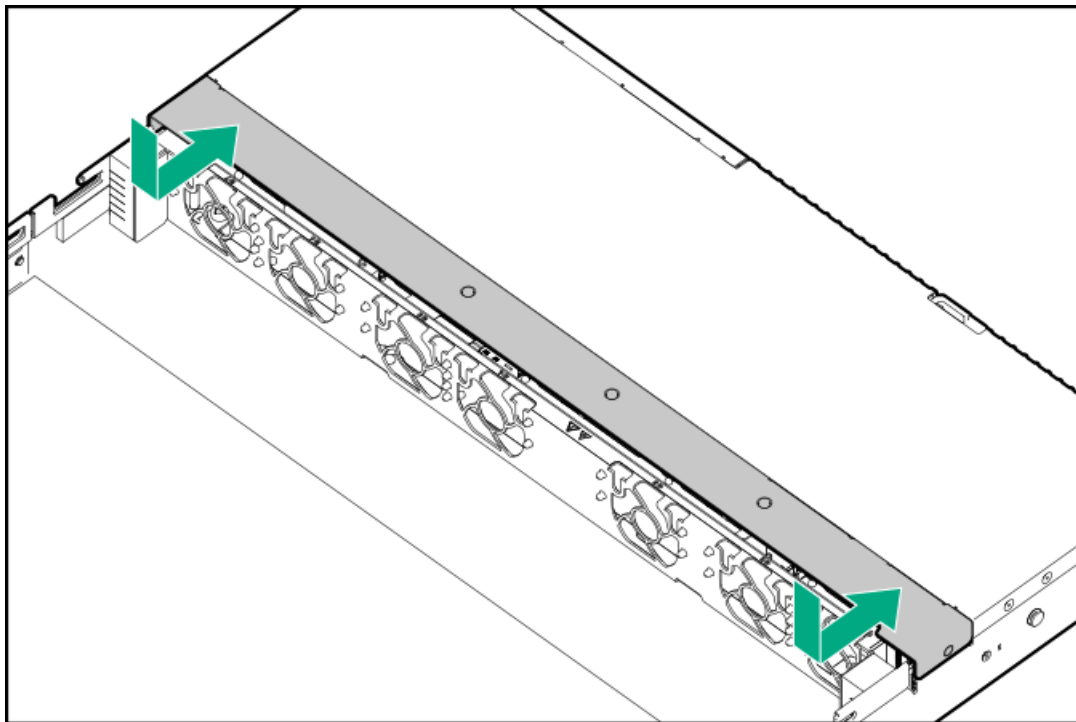
GPU最適化構成のサーバーに中央カバーを取り付けるには、T-10トルクスドライバーが必要です。

手順

1. SFF (2.5型)、LFF (3.5型)、または混合ドライブ構成に中央カバーを取り付けるには、中央カバーの両側を持って、サーバーに取り付けます。
 - LFF (3.5型) または混合ドライブ構成

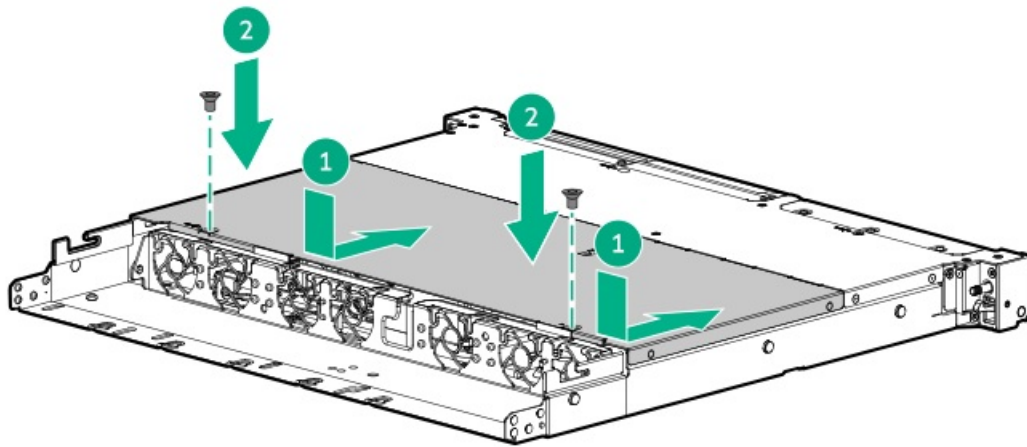


- SFF (2.5型) ドライブ構成



2. GPU最適化構成のサーバーに中央カバーを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 中央カバーの両側を持って、サーバーに取り付けます。
- ネジを取り付けます。



ファンフレームを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

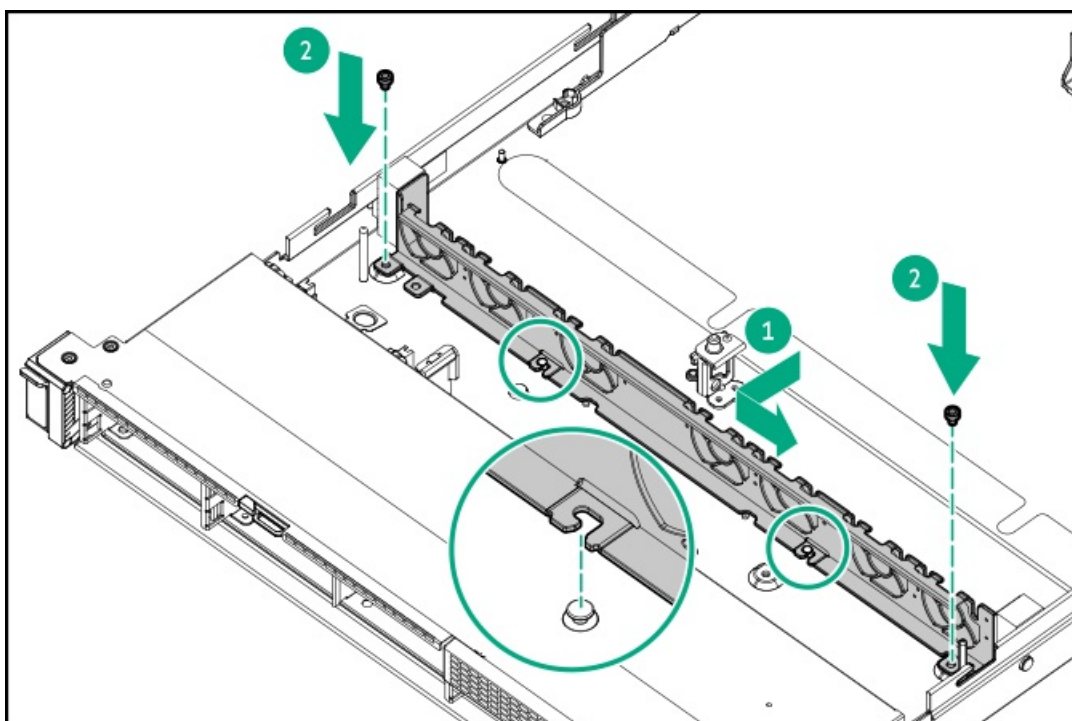
- T-15トルクスドライバー – この工具は、SFF（2.5型）または4 LFF（3.5型）ドライブ構成でファンフレームを取り付ける場合に必要です。
- T-10トルクスドライバー – この工具は、12 LFF（3.5型）ドライブ構成またはGPU最適化構成でファンフレームを取り付ける場合に必要です。

手順

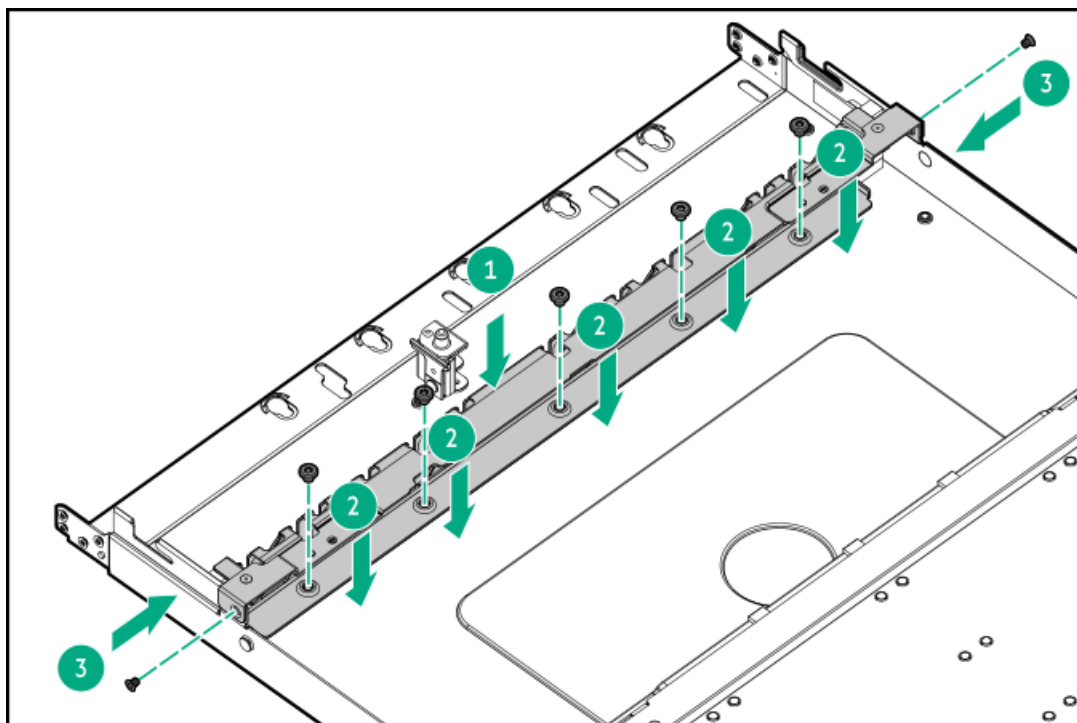
ファンフレームをスライドさせてスプールとかみ合わせ、ネジを取り付けます。

ネジとファンフレームは保管しておいてください。これらのネジは、内部コンポーネントの交換または取り付け後にファンフレームを固定するために使用されます。

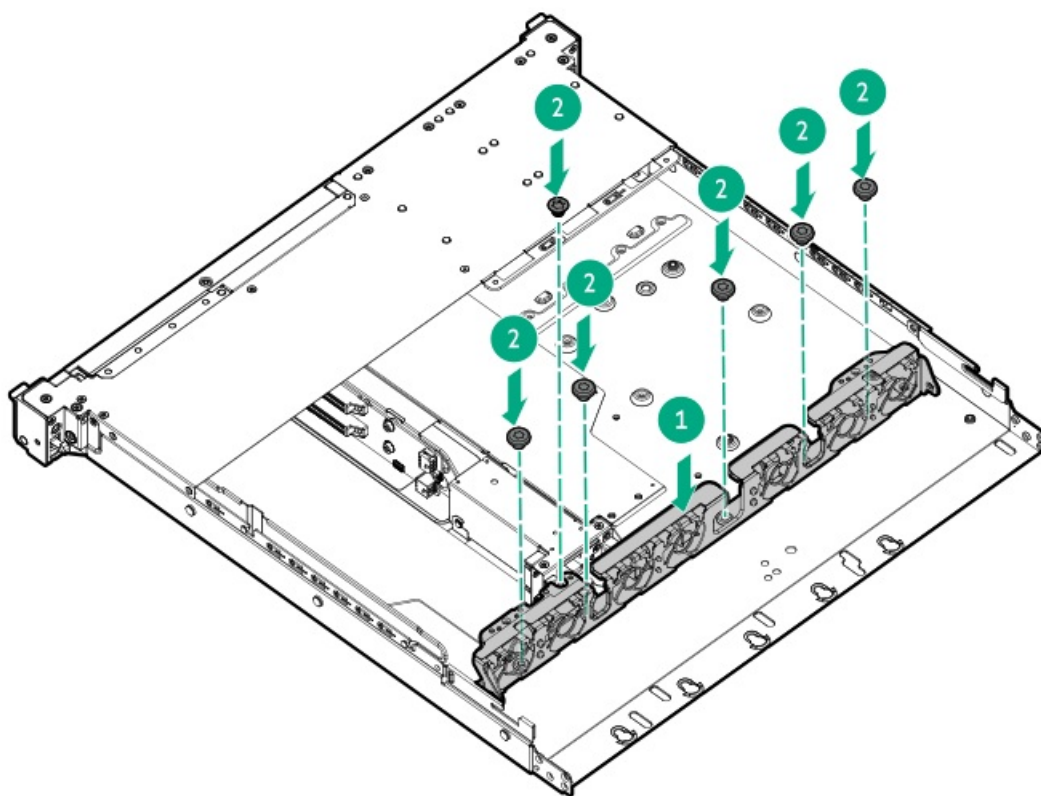
- SFF（2.5型）または4 LFF（3.5型）ドライブ構成



- 12 LFF (3.5型) ドライブ構成



- GPU最適化構成 :



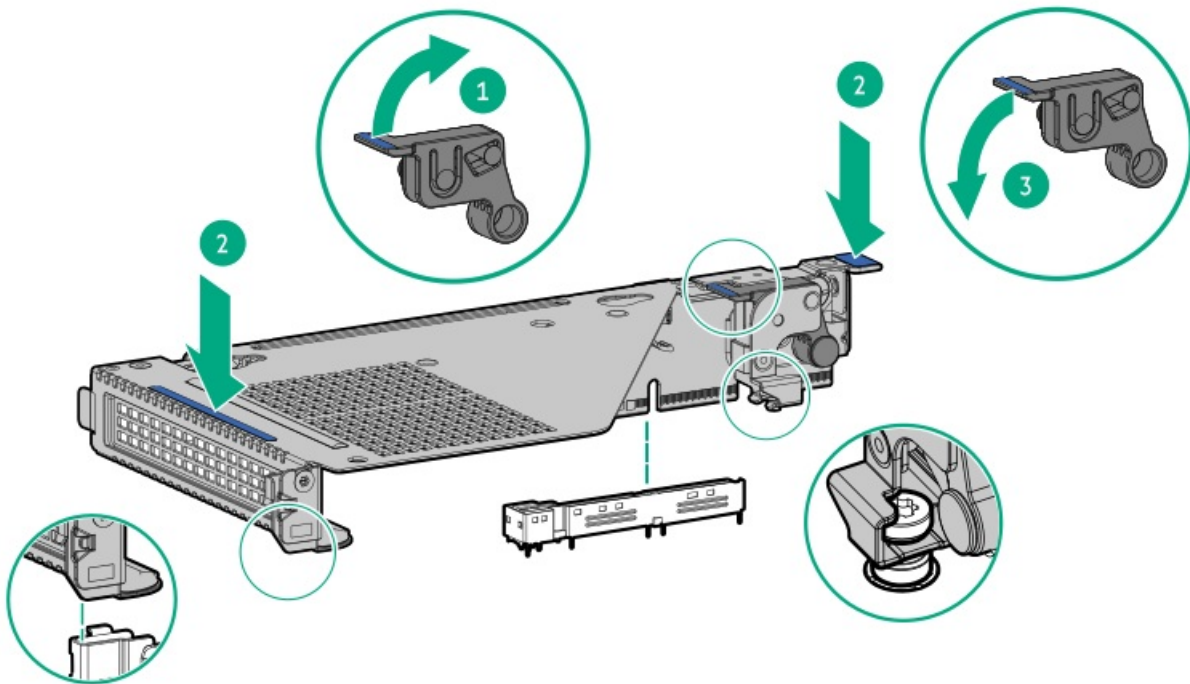
ライザーケーシングを取り付ける

前提条件

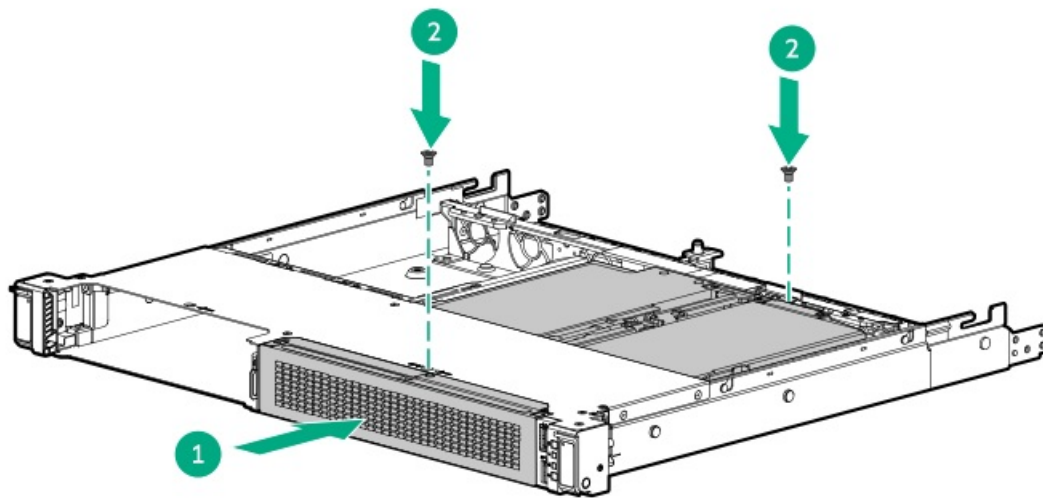
GPUライザーケースを取り付けるには、T-10トルクスドライバーが必要です。

手順

1. 拡張カードまたはその内部ケーブル接続が取り外されている場合、これらのコンポーネントを再び取り付けます。
2. ストレージコントローラーが取り付けられている場合は、ストレージコントローラーのバックアップケーブルを接続します。
3. フルハイトまたはロープロファイルのライザーケースを取り付けるには、次の手順を実行します。
 - a. ライザーケースをシステムボードに取り付けます。
ライザーケースがシステムボード上のスプールとかみ合っていることを確認します。
 - b. ラッチを閉じます。



4. GPUライザーケースを取り付けるには、次の手順を実行します。
 - a. ケージをスライドさせてスロットに押し込みます。
 - b. 2個のネジを取り付けます。



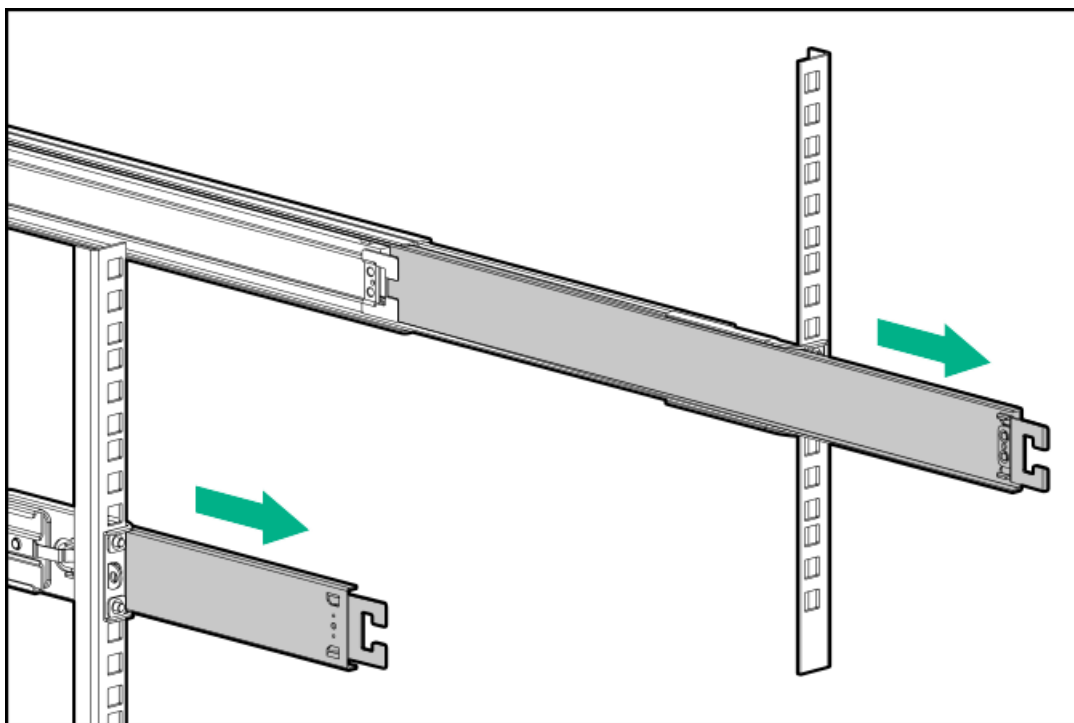
サーバーをラックに取り付ける

前提条件

- ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterpriseでは、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。

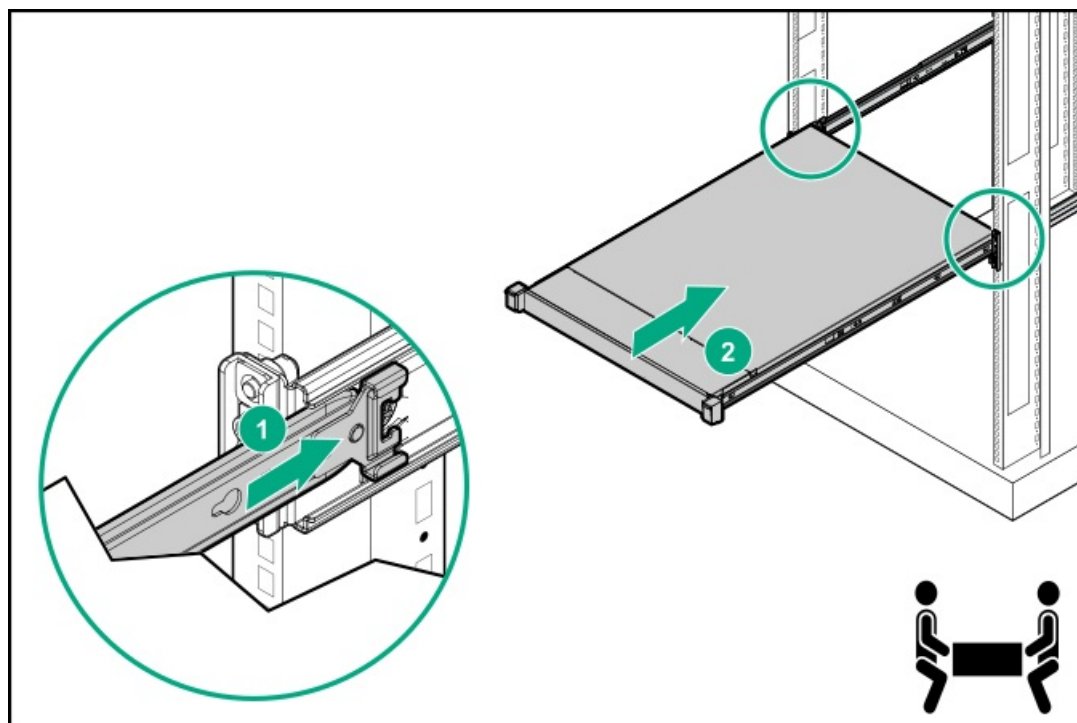
手順

1. スライドレールをマウンティングレールから、内部のストッパーにぶつかって所定の位置にロックされるまで伸ばします。



2. サーバーをラックに取り付けます。

- a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
- b. シャーシヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。



3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
4. 各電源コードをサーバーに接続します。
5. 周辺ケーブルと電源コードの配線と管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。次のいずれかを実行します。
 - ラックレールの面ファスナーストラップを取り付けます。
 - ケーブルマネジメントアームを取り付けます。

サーバーの電源を入れる

手順

- 電源ボタンを押します。
- iLO 7経由の仮想電源ボタンを使用します。

ラックレールとCMA

サブトピック

- [ラックレールのオプション](#)
- [レール識別マーカー](#)
- [ラックマウントインターフェイス](#)
- [ケーブルマネジメントアームの取り付け](#)

ラックレールのオプション

このサーバーでは、次のHPE Easy Installフリクションラックレール（スタブイン）オプションがサポートされます。

サーバー構成	ラックレールのオプション	最小レール長さ	調整可能なレール範囲
SFF（2.5型）ドライブ	レールオプション#1 (P52349-B21)	674.20 mm（26.54インチ）	609.60～867.30 mm（24.00～34.00インチ）
4 LFF（3.5型）ドライブ	レールオプション#2 (P52351-B21)	714.32 mm（28.12インチ）	609.60～918.10 mm（24.00～36.15インチ）
12 LFF（3.5型）ドライブ	レールオプション#9 (P52353-B21)	1029.61 mm（40.54インチ）	609.60～918.10 mm（24.00～36.15インチ）
GPU	レールオプション#14 (P68106-B21)	852.91 mm（33.58インチ）	609.60～918.10 mm（24.00～36.15インチ）

サブトピック

- [ラックレールオプションを取り付ける](#)
- [ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け](#)

ラックレールオプションを取り付ける

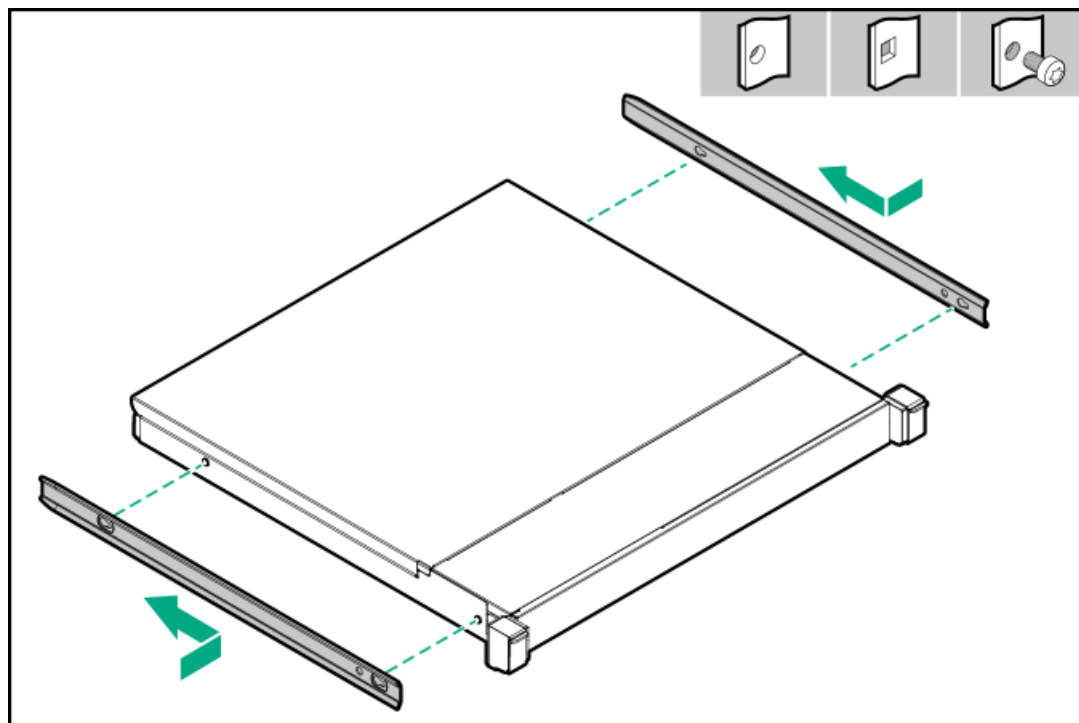
前提条件

- [レール識別マーカー](#)
- レールオプションがサーバー構成と互換性があることを確認してください。
- 小型マイナスドライバー - この工具は、サーバーを丸ネジ穴ラックに取り付ける場合に必要です。

手順

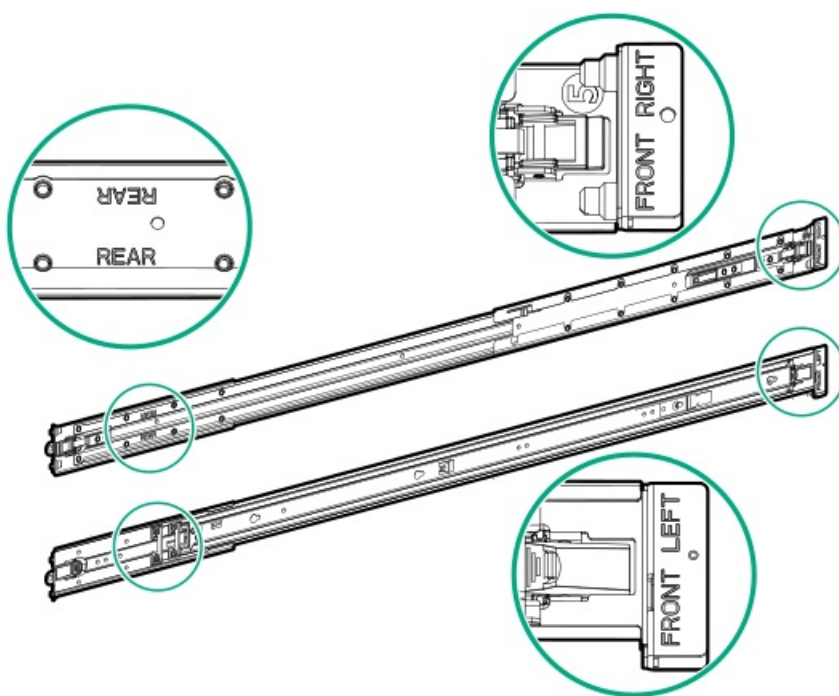
インナーレールをサーバーに取り付ける

1. インナーレールをサーバーに取り付けます。
 - a. サーバー側面のスプールをレールの逆挿入防止スロットに挿入します。
 - b. レールをリアパネルに向かってスライドさせて固定します。

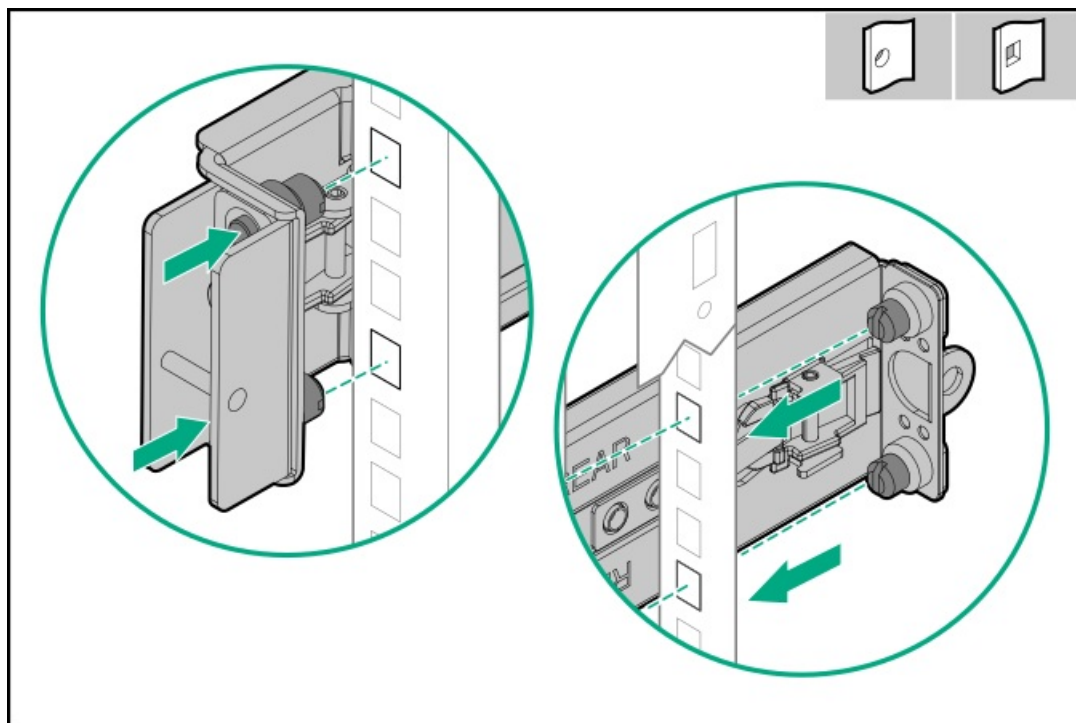


ラックにマウンティングレールを取り付ける

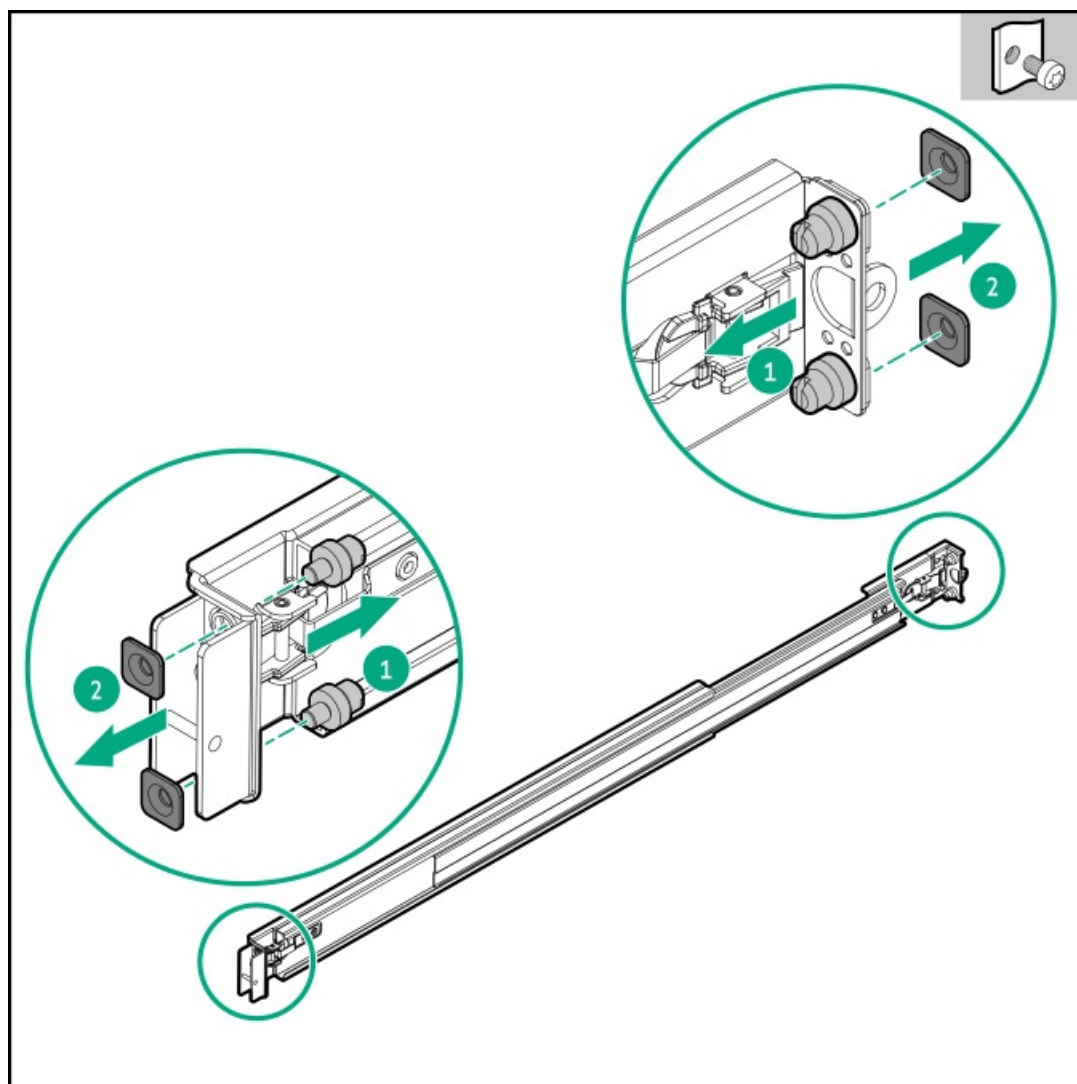
2. マウンティングレールの方向マーカを確認します。
 - レールの前端には、**FRONT LEFT**または**FRONT RIGHT**とマークされています。
 - レールのもう一方の端には、**REAR**とマークされています。



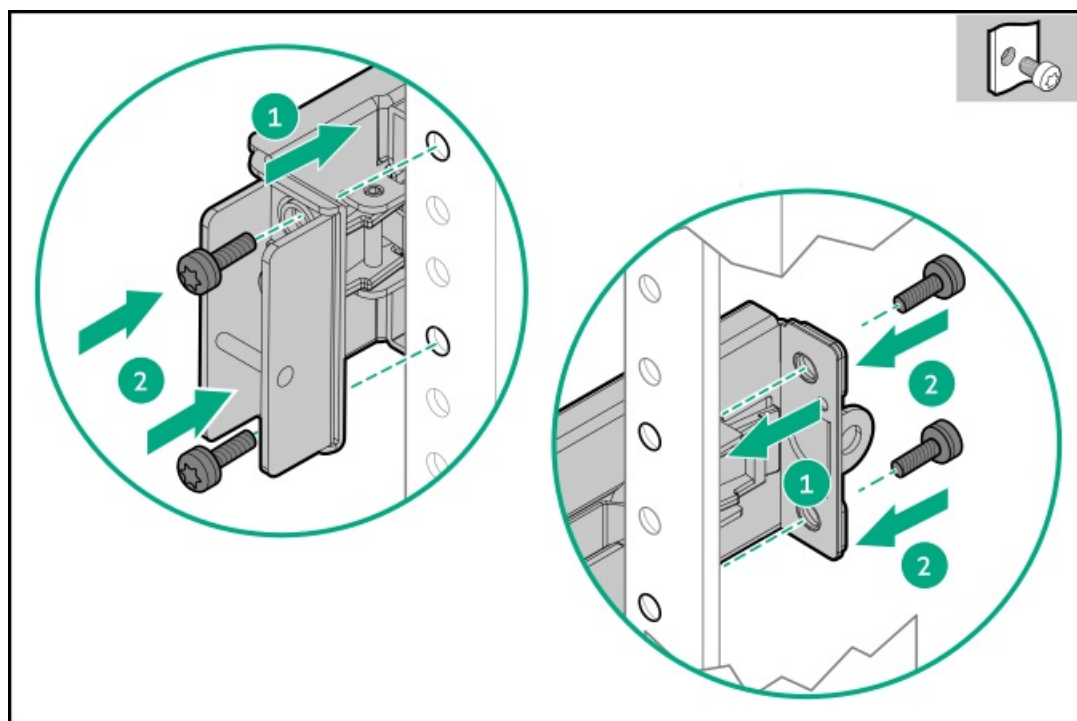
3. マウンティングレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。
4. マウンティングレールを丸穴または角穴ラックに取り付けるには、取り付けフランジのピンをラックポストの穴に挿入します。



5. マウンティングレールを丸ネジ穴ラックに取り付けるには、以下の手順を実行します。
 - a. マウンティングレールからピンとワッシャーを取り外します。



- b. 取り付けフランジの穴とラックポストのネジ穴の位置を合わせます。
- c. ラックの取り付けネジを取り付けます。



6. サーバーをラックに取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

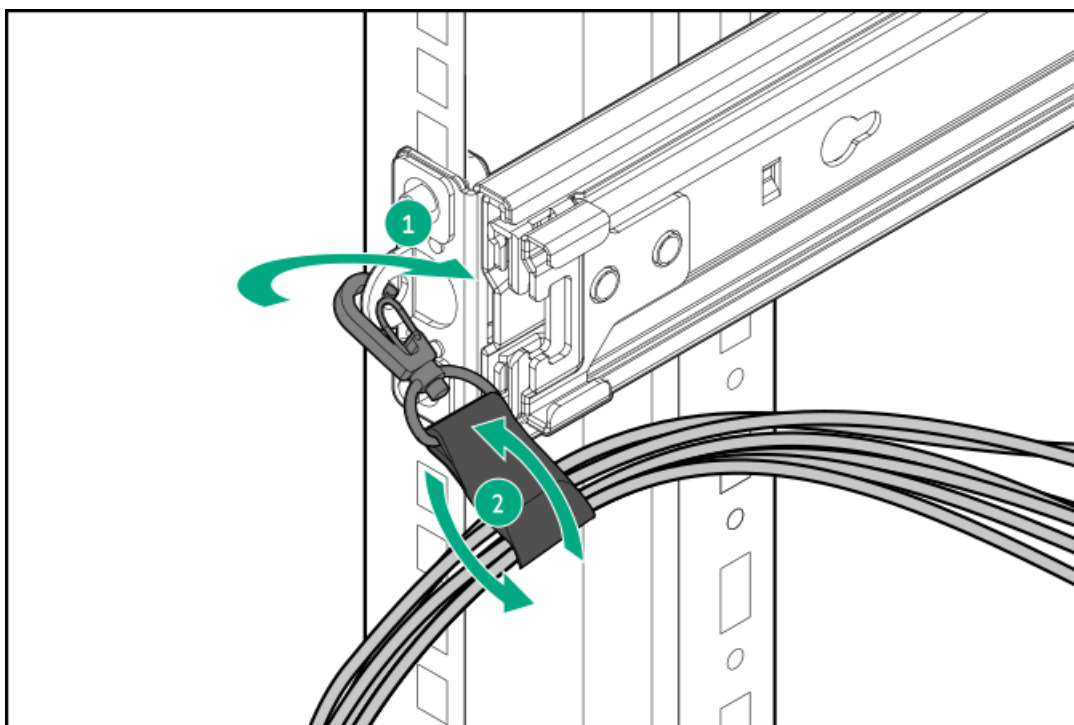
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

面ファスナーストラップは、左側または右側のレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

1. ストラップカラビナをレールに取り付けます。
2. コードとケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

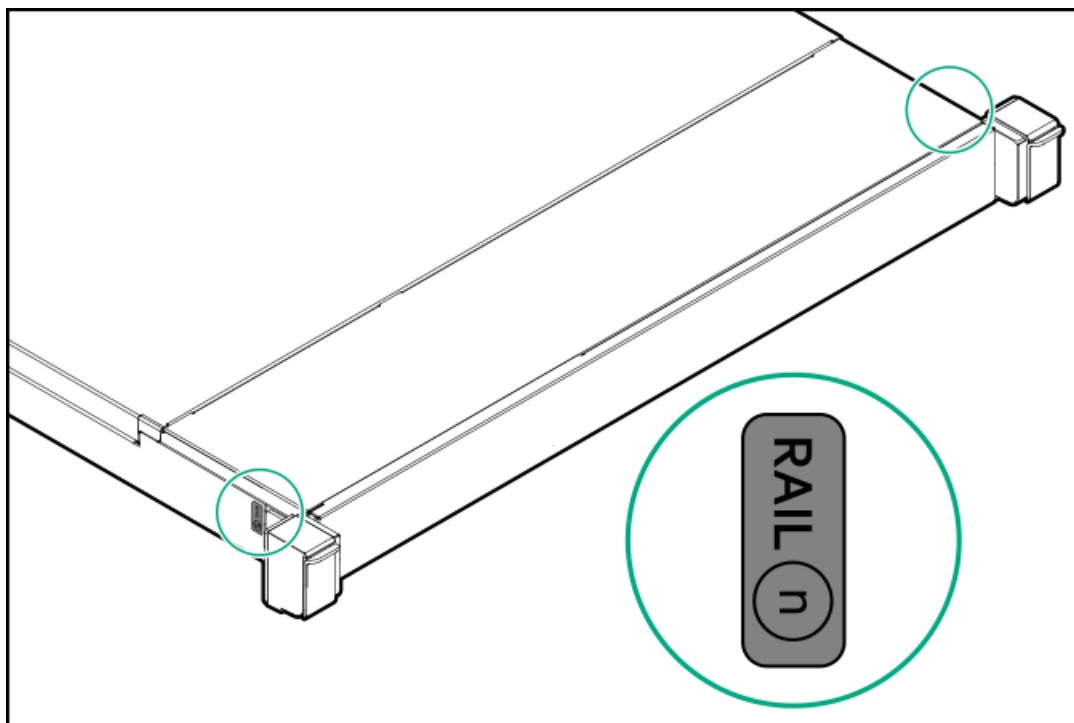
レール識別マーカ

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

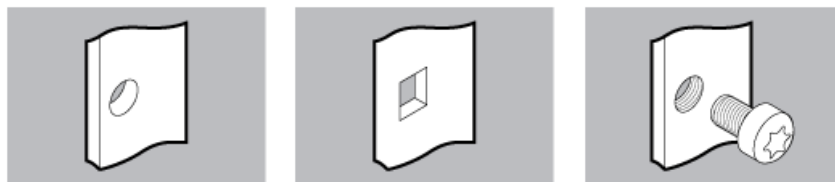
ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

- シャーシのレール番号ラベル



ラックマウントインターフェイス

ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



丸穴

角穴

丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

- この手順を実行する前にラックに関する警告と注意事項を確認します。
- T-25トルクスドライバー - このツールは、シャーシ内にある輸送用ネジを緩めたり締めたりする場合に必要です。

このタスクについて

ケーブルマネジメントアーム (CMA) を使用すると、システムの電源を切ったり、リアパネルケーブルを抜いたりしなくても、サーバーをラックから完全に引き出すことができます。このCMAは、右開きと左開きの両方の実装に対応するように設計されています。

この手順では、左右はラックの前面に向かって見たときの方向です。



注意

取り外しおよび交換手順の際は、CMAを支えてください。手順中にCMAが自重でぶら下がらないようにしてください。

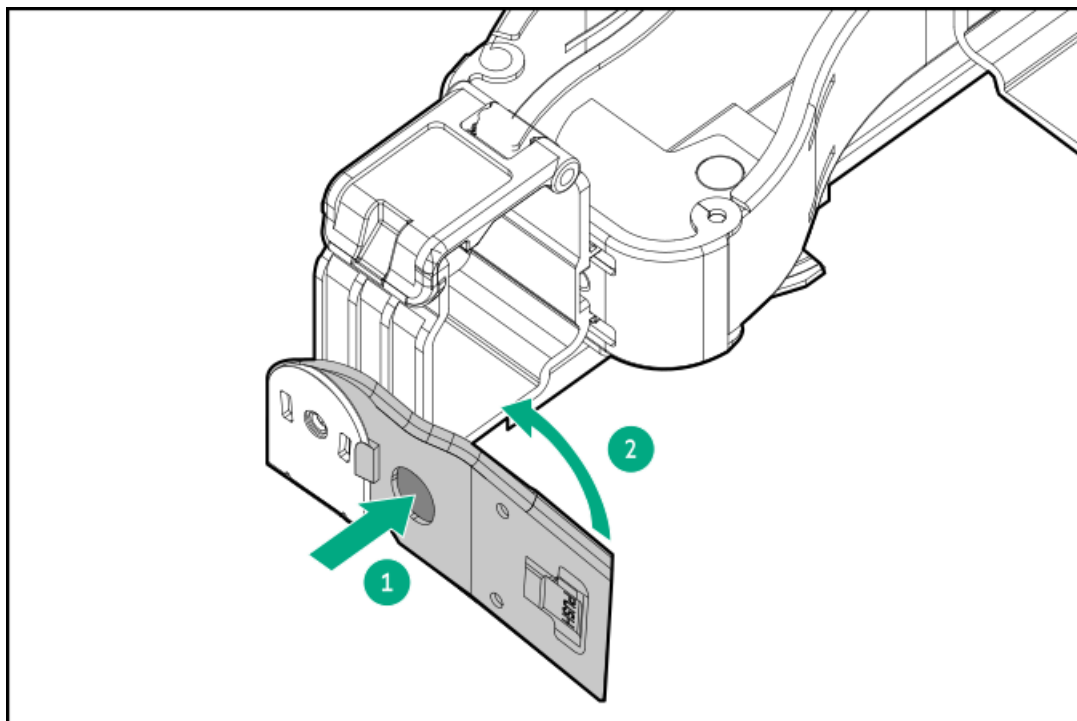
手順

1. すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。
2. (オプション) CMA固定用ブラケットを回転させて、左側または右側のCMA操作に合わせることができます。回転機構を押したまま、ブラケットを180° 回転させます。

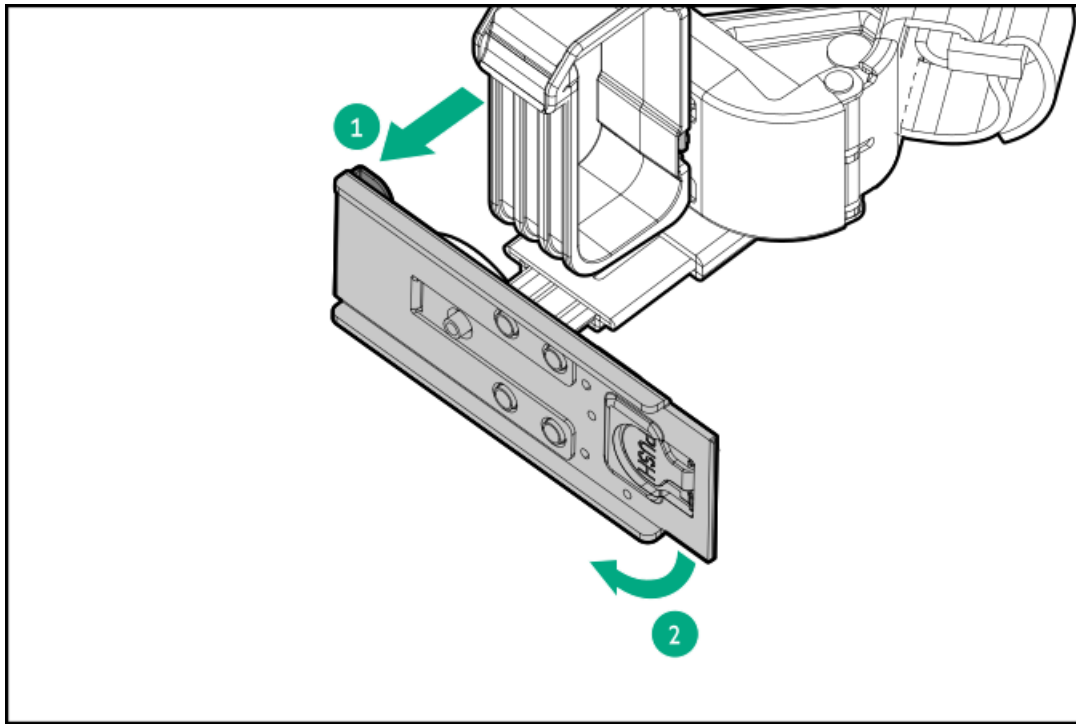
ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。

ブラケットの回転方向は、使用しているCMAモジュールによって異なります。

- 回転ボタンがあるCMA

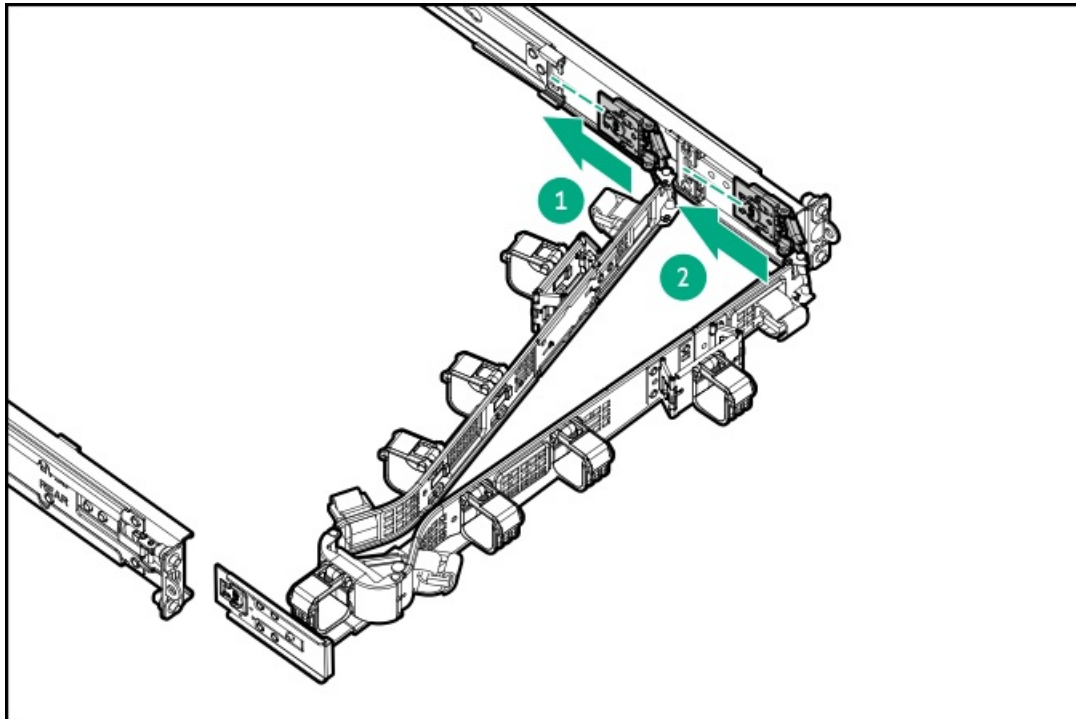


- 回転ラッチがあるCMA

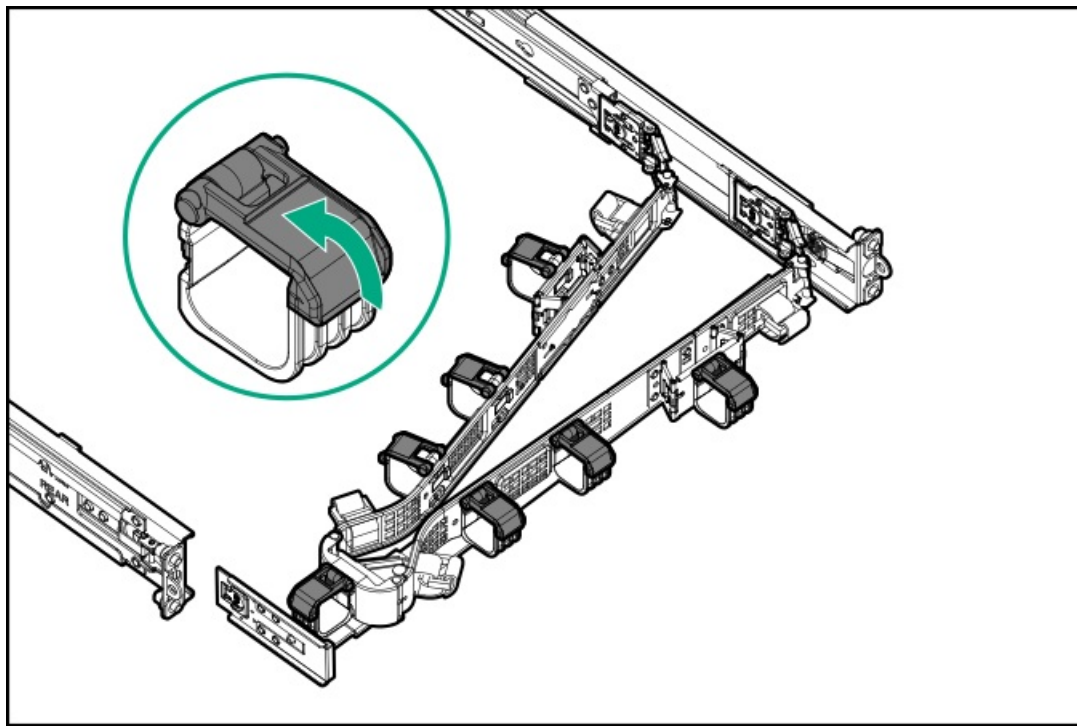


3. CMAヒンジ付きタブと固定ブラケットをラックレールに取り付けます。

- a. 内側のタブをスライドレールに挿入します。
- b. 外側のタブをマウンティングレールに挿入します。



- c. ケーブルクランプを開きます。



d.

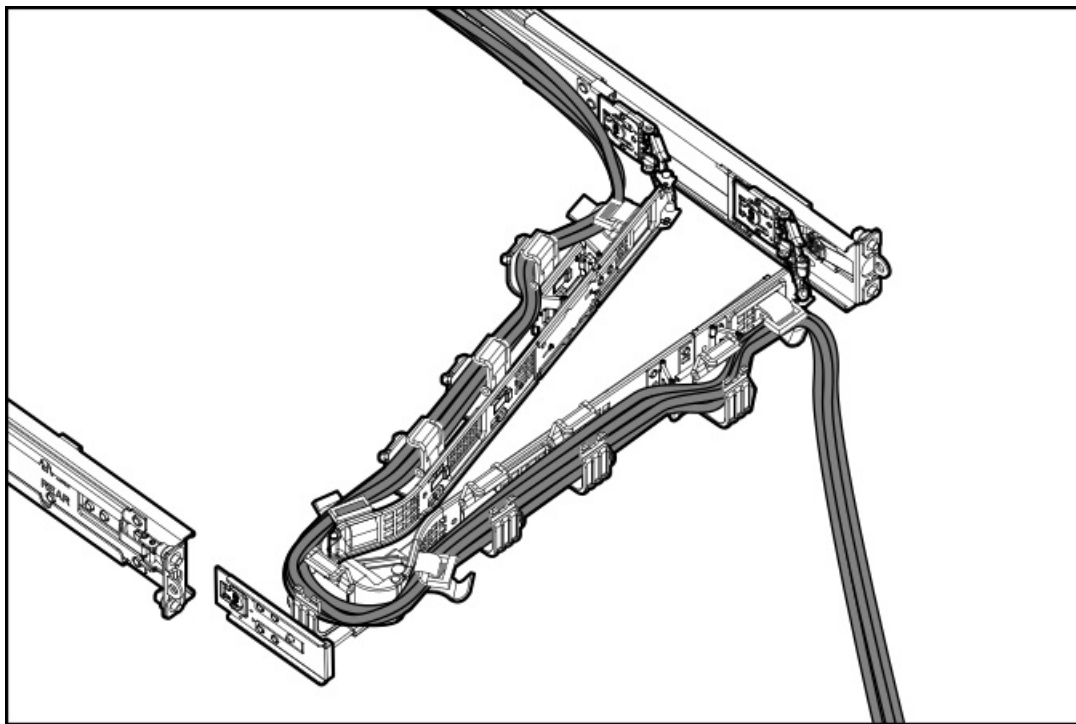


注意

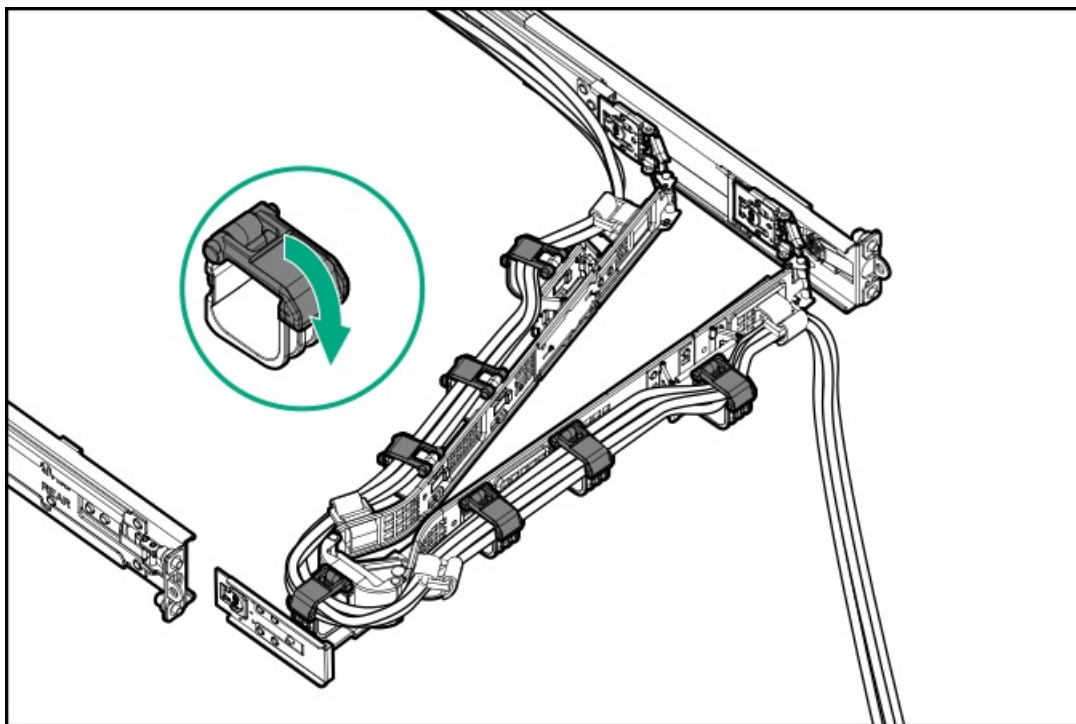
CMAに固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

- リアパネルとCMAの間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをラックから引き出す際に、CMAを完全に引き出せるようにします。
- ただし、CMA内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをラックから引き出すか戻すときに、ラックに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

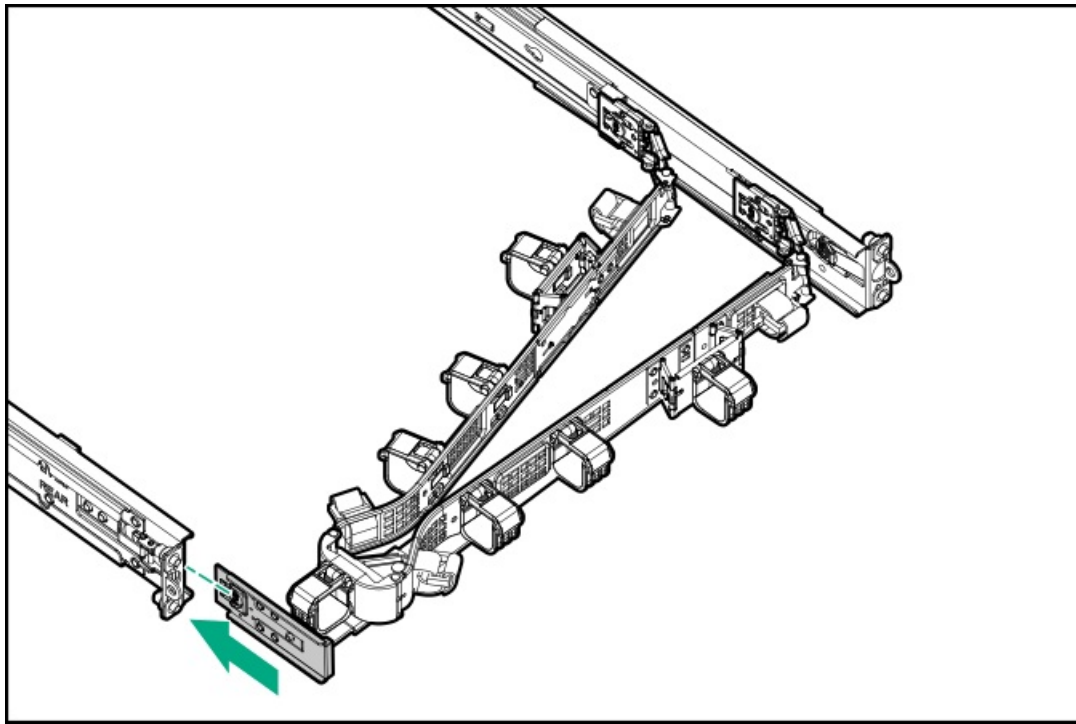
周辺ケーブルと電源コードをケーブルクランプやストラップに通します。



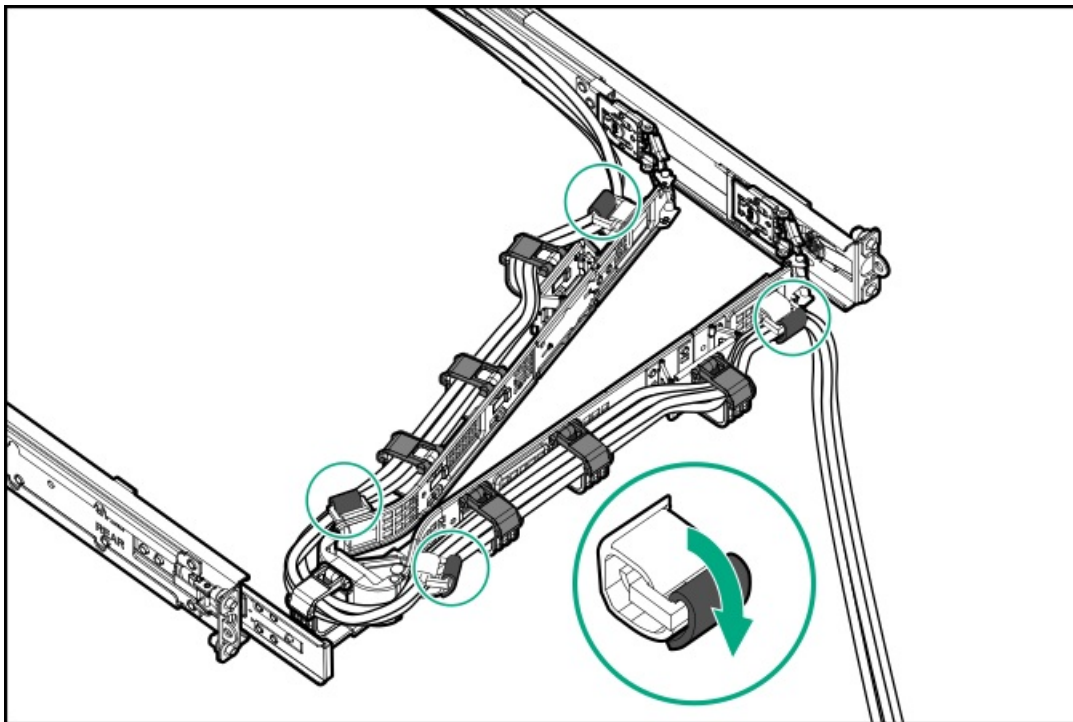
- e. ケーブルクランプを閉じます。



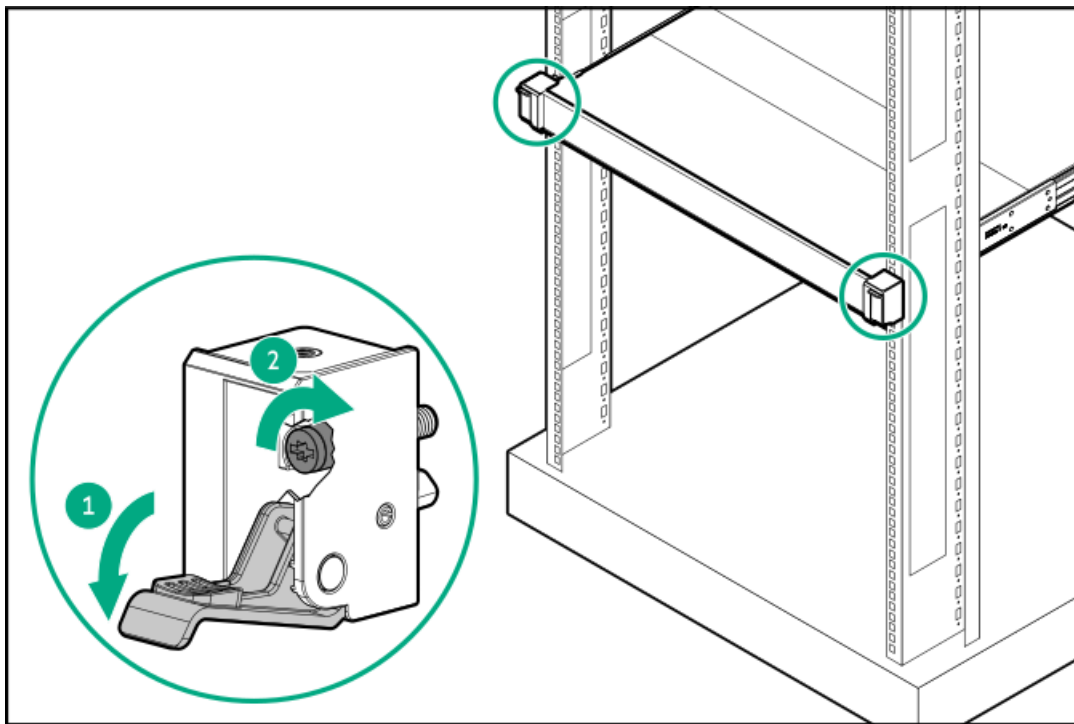
- f. 固定ブラケットを反対側のマウンティングレールに挿入します。
タブとブラケットが所定の位置にロックされたことを示すカチッという音がします。



4. (オプション) CMAにケーブルストラップが付いている場合は、ストラップを締めます。



5. ラックレールの動作を確認します。
- ラックからシャーシを完全に引き出します。
 - シャーシを完全に引き出しても、ケーブルと電源コードに十分なたるみがあることを確認します。ケーブルが絡んだり折れたりしていないことを確認します。
 - ケーブルとコードが適切に固定されていることを確認するには、シャーシをスライドさせてラックから出し入れします。周辺ケーブルと電源コードが誤って外れる恐れがないことを確認してください。
6. シャーシイヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
7. (オプション) シャーシイヤーラッチを開き、輸送用ネジを締めます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブ

サブトピック

ドライブの取り付けのガイドライン

ホットプラグ対応ドライブの取り付け

ホットプラグ対応ドライブのボックス3またはボックス5への取り付け

E3.Sドライブの取り付け

ドライブの取り付けのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

- ドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。ドライブ番号については、ドライブベイの番号を参照してください。
- このサーバーでは、同じドライブボックス内でのドライブタイプの混合はサポートしていません。
- すべてのドライブを同じドライブアレイにまとめる場合は、次の条件を満たす必要があります。

- 。すべてがハードディスクドライブ、またはすべてがソリッドステートドライブでなければなりません。
- 。ドライブを同一のドライブアレイにグループとしてまとめる場合、ストレージの容量効率を最大限に高めるには、すべてのドライブを同じ容量にしてください。

ホットプラグ対応ドライブの取り付け

このタスクについて



注意

適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- 。ヘルスLEDがオレンジ色で点滅します。
- 。オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

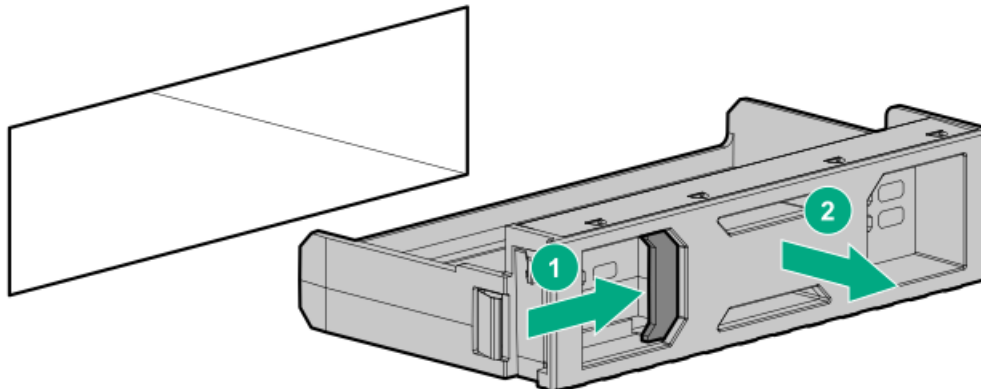
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

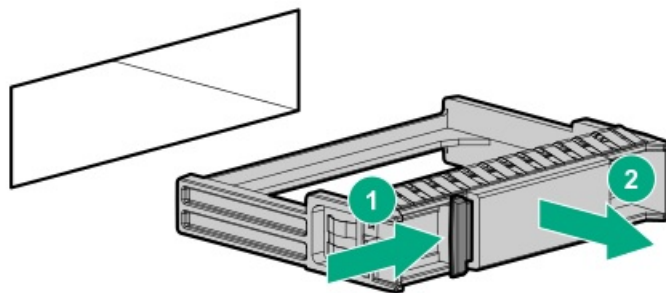
1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

- 。LFF (3.5型) ドライブブランク

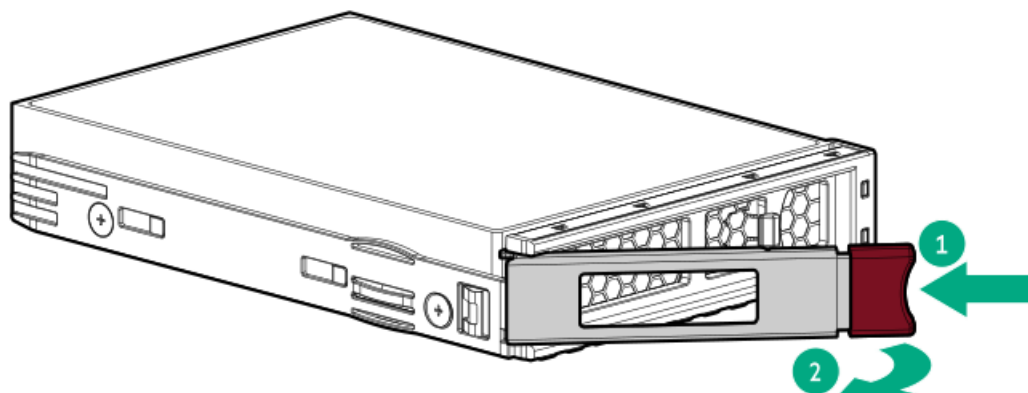


- 。SFF (2.5型) ドライブブランク

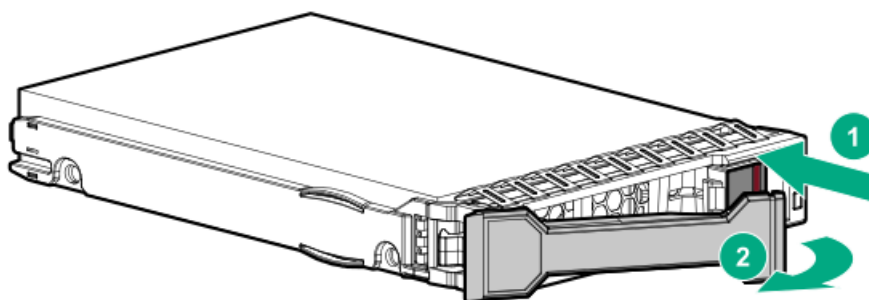


3. ドライブを準備します。

- LFF (3.5型) ドライブ

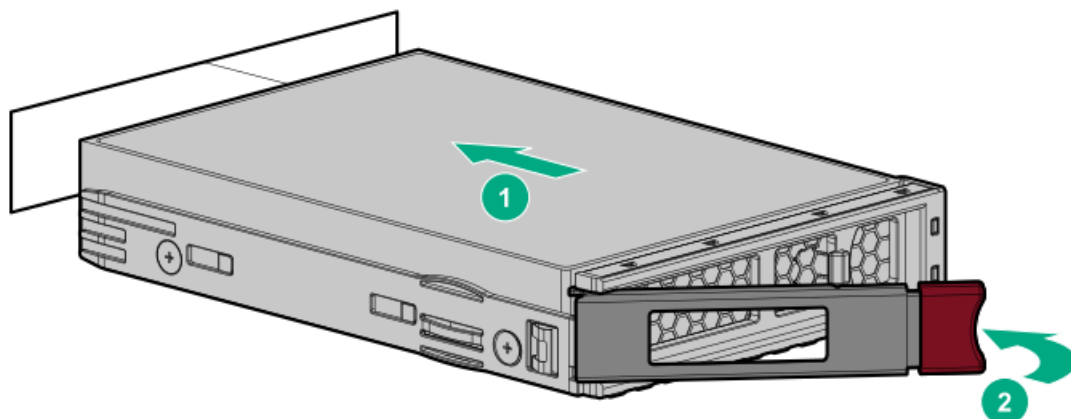


- SFF (2.5型) ドライブ

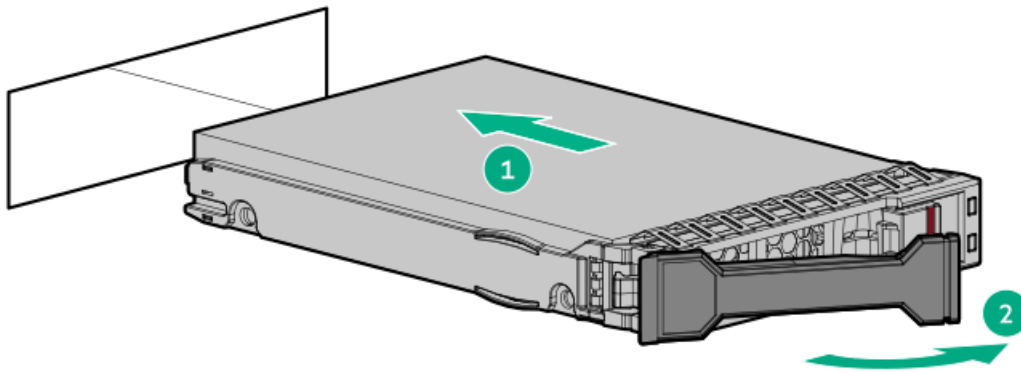


4. ドライブを取り付けます。

- LFF (3.5型) ドライブ



- SFF (2.5型) ドライブ



5. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。
6. フロントベゼルを取り付けます。
7. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ホットプラグ対応ドライブのボックス3またはボックス5への取り付け

このタスクについて



注意

適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- ヘルスLEDがオレンジ色で点滅します。
- オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

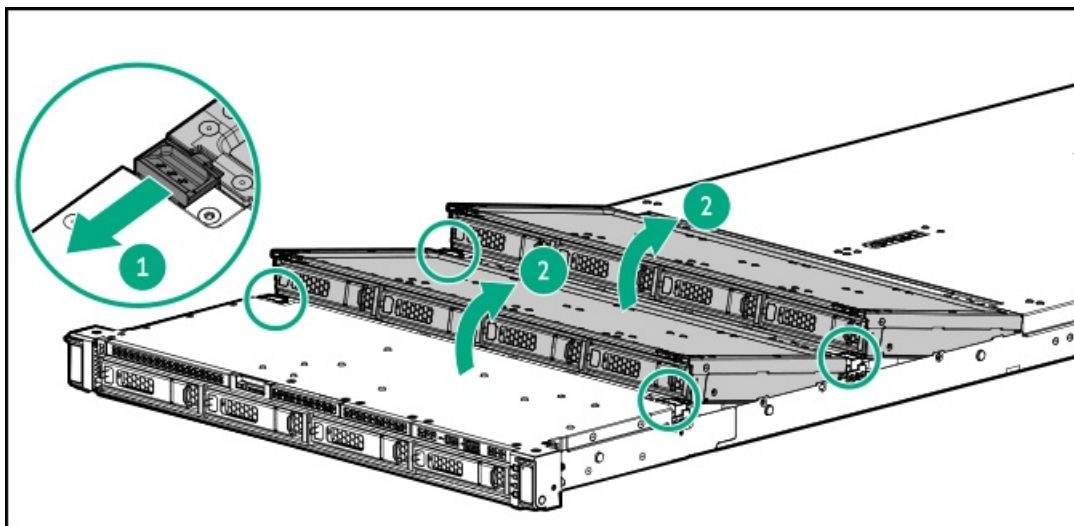


注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

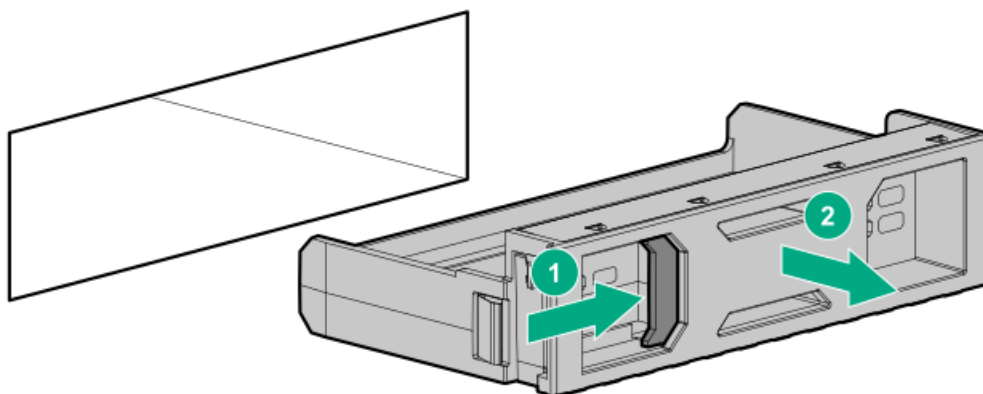
1. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを開きます。
2. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
3. タブを押して引きます。



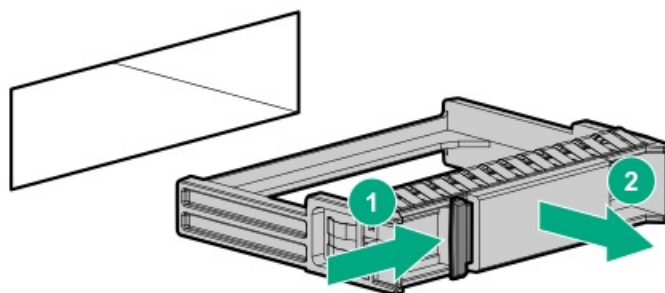
4. ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

- LFF (3.5型) ドライブブランク

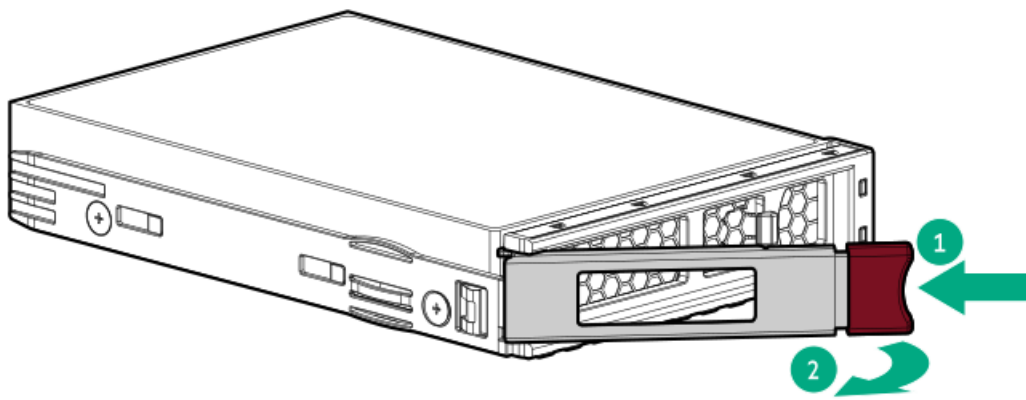


- SFF (2.5型) ドライブブランク

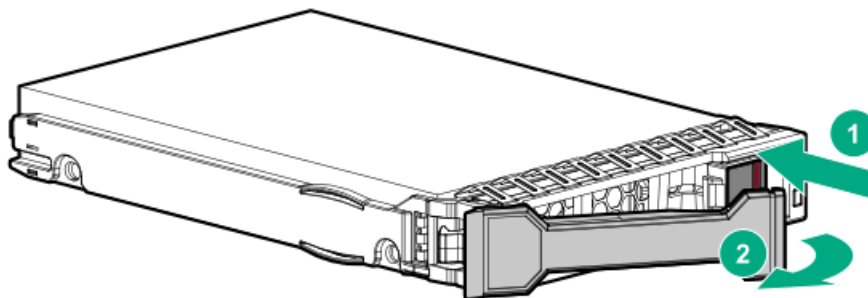


5. ドライブを準備します。

- LFF (3.5型) ドライブ

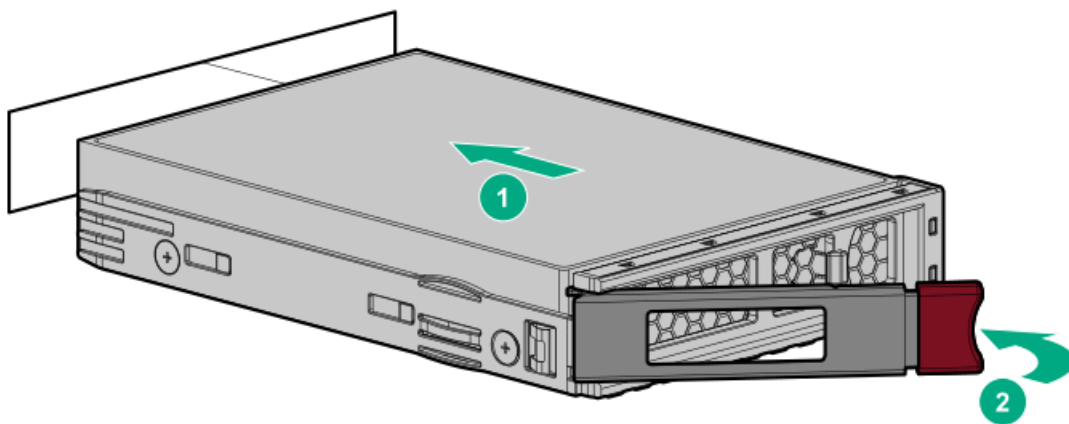


- SFF (2.5型) ドライブ

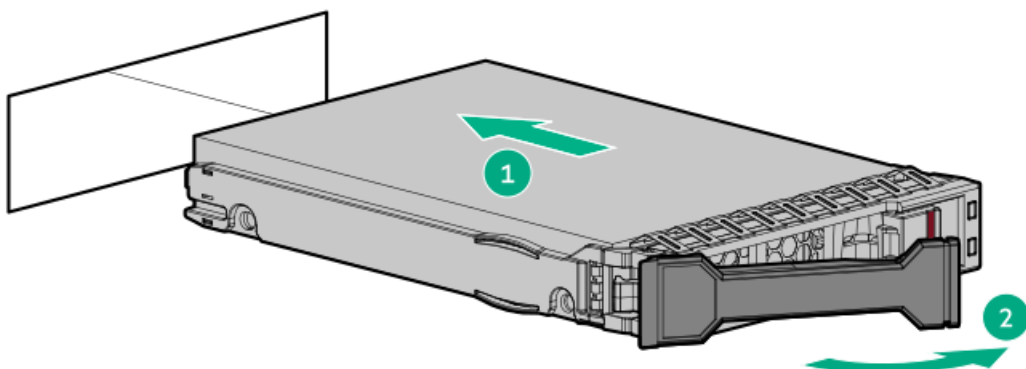


6. ドライブを取り付けます。

- LFF (3.5型) ドライブ



- SFF (2.5型) ドライブ



7. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。

8. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

E3. Sドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



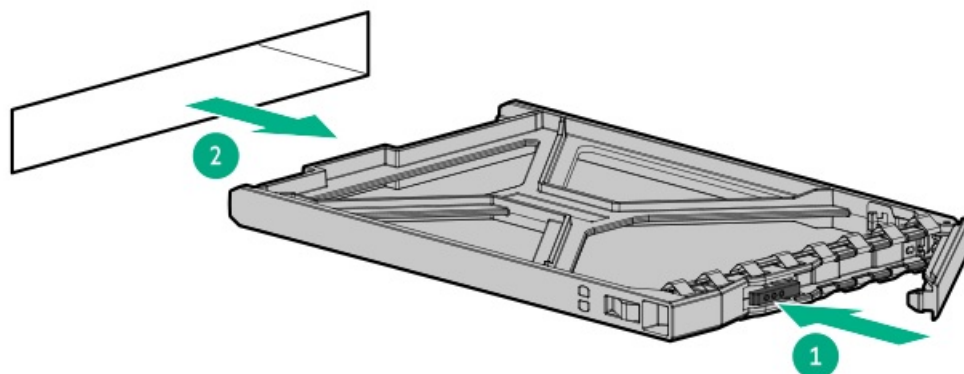
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

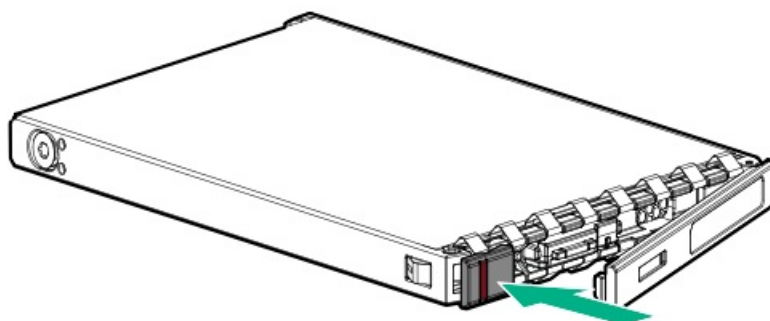
手順

1. すべてのサーバーデータのバックアップを取ります。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. ドライブブランクを取り外します。

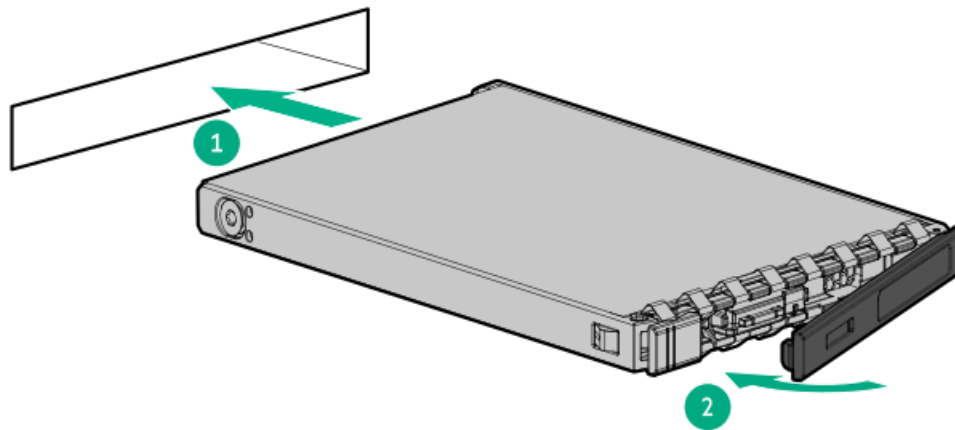
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



4. ドライブを準備します。



5. ドライブを取り付けます。



注記

ドライブが正常に取り付けられたことを確認するには、ラッチがドライブケースにかみ合っていることを確認します。

6. ドライブLEDの定義に従ってドライブのステータスを確認します。
7. フロントベゼルを取り付けます。
8. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブケース

サブトピック

- 2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け
- 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンの取り付け

2 SFF (2.5型) ドライブケースの取り付け

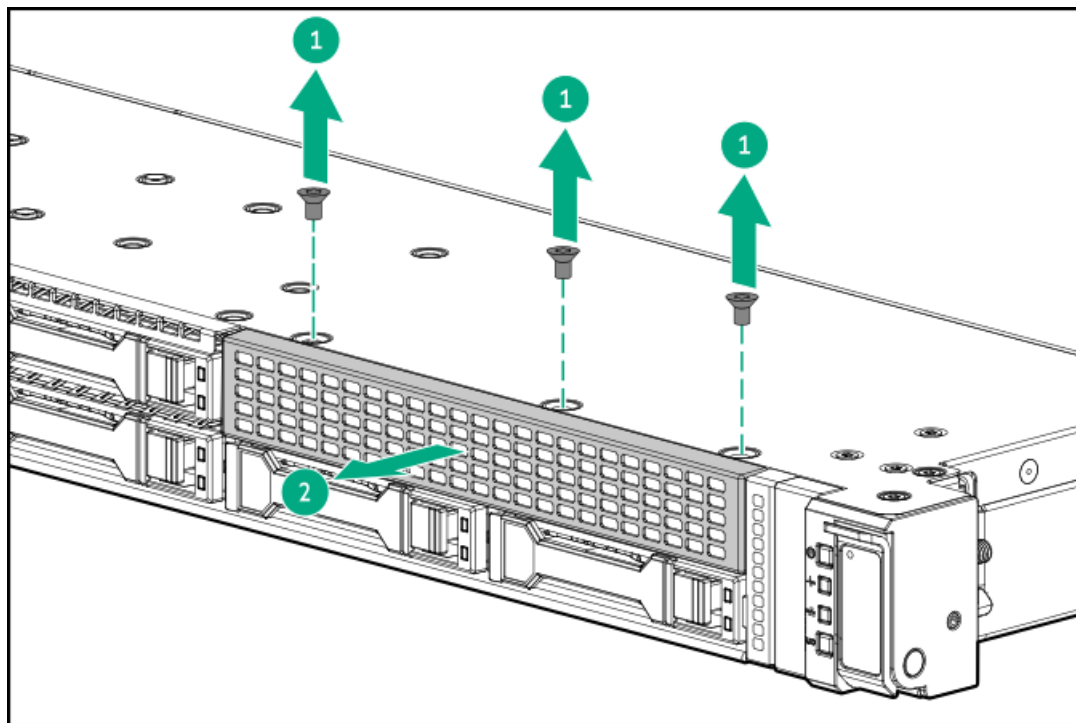
前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

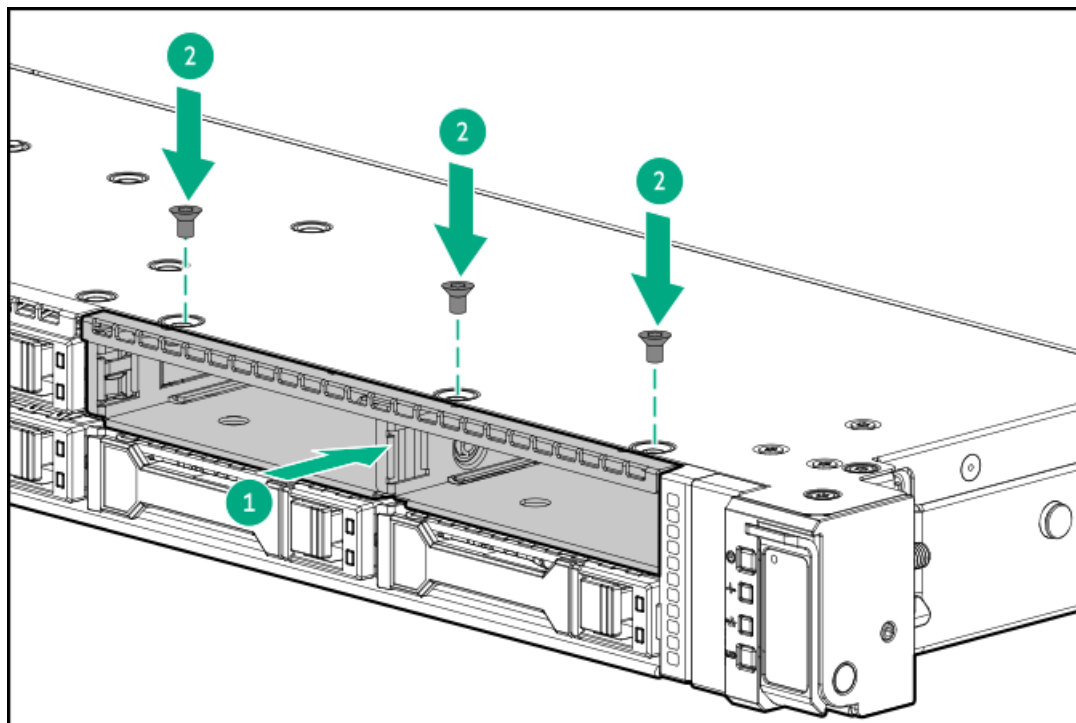
手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. ラックからサーバーを引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. ユニバーサルメディアベイブランクを取り外します。



6. 2 SFF (2.5型) ドライブケースを取り付けます。



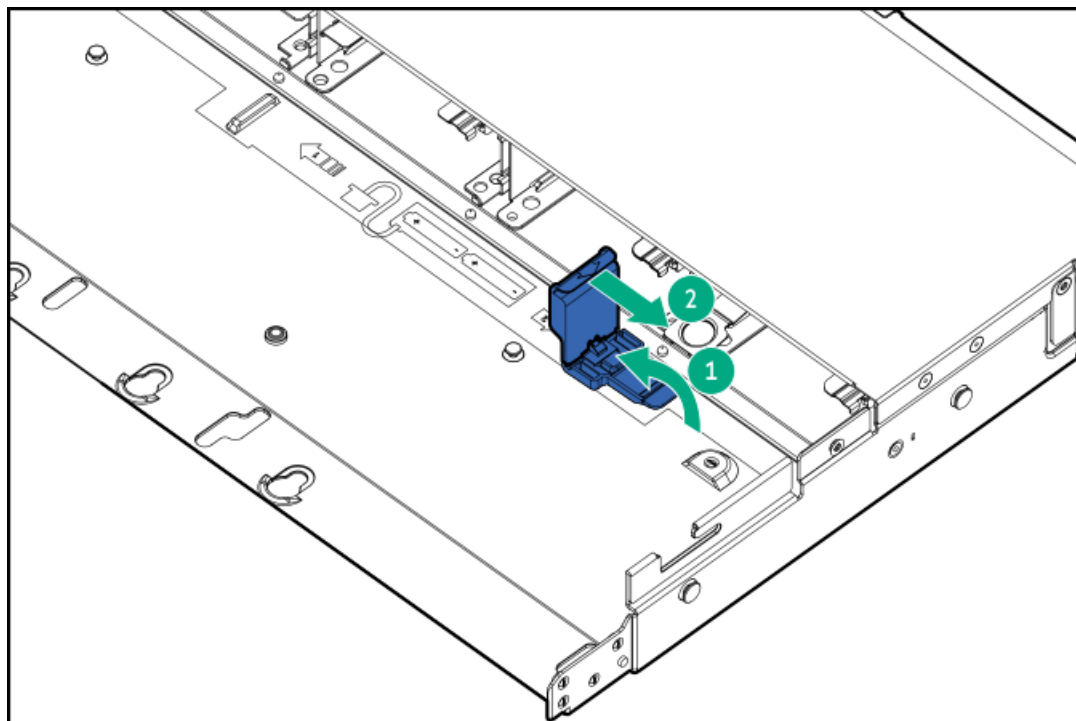
7. ドライブを取り付けます。
8. サーバーをラックに取り付けます。
9. 各電源コードをサーバーに接続します。
10. 各電源コードを電源に接続します。

11. サーバーの電源を入れます。

8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンの取り付け

手順

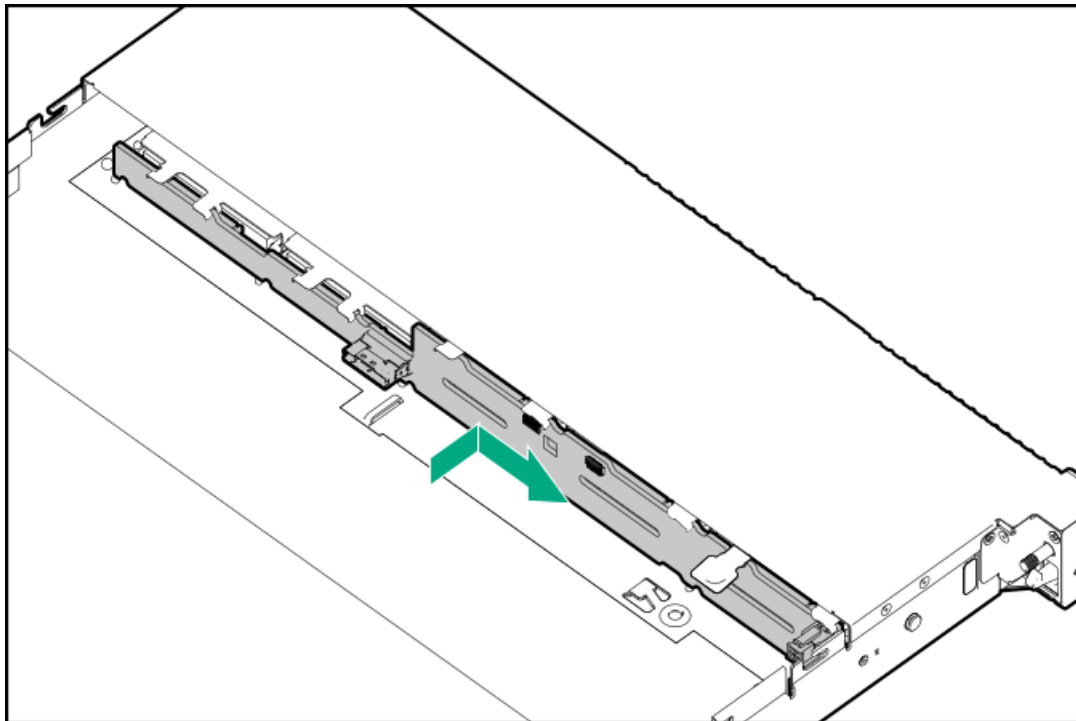
1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. 中央カバーを取り外します。
9. ファンを取り外します。
10. ファンフレームを取り外します。
11. Energy Pack固定ラッチを取り外します。
 - a. ラッチを引き上げたままにします。
 - b. ラッチを押して、シャーシから取り外します。



12. 8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンを取り付けます。

リリースラッチによって、バックプレーンがドライブケージにしっかり固定され、ロックされていることを確認しま

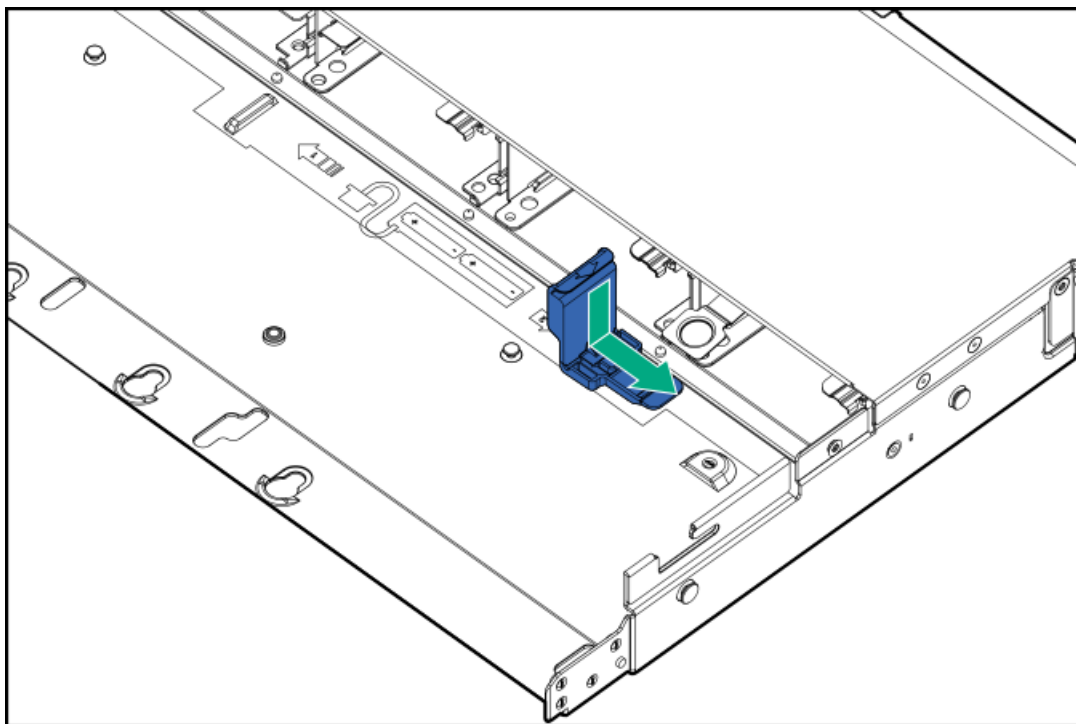
す。



13. 以下のケーブルを接続します。

- ドライブ電源ケーブル
- ストレージコントローラーケーブル

14. Energy Pack固定ラッチを取り付けます。



15. ファンフレームを取り付けます。

16. ファンを取り付けます。

17. 中央カバーを取り付けます。



18. アクセスパネルを取り付けます。
19. サーバーをラックに取り付けます。
20. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
21. 各電源コードをサーバーに接続します。
22. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPUオプション

このサーバーは、コンピューターおよびグラフィックスのワークロード要件を満たすためにさまざまなGPUのオプションをサポートしています。サポートされるGPUモデルのリストについては、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるサーバーのQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

- [GPUのGPUライザーケースへの取り付け](#)
- [GPUのリアライザーケースへの取り付け](#)

GPUのGPUライザーケースへの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下を実行してください。

- 電源装置がこのオプションの取り付けをサポートしていることを確認してください。詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise ConfiguratorのWebサイト](#)を参照してください。
- この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

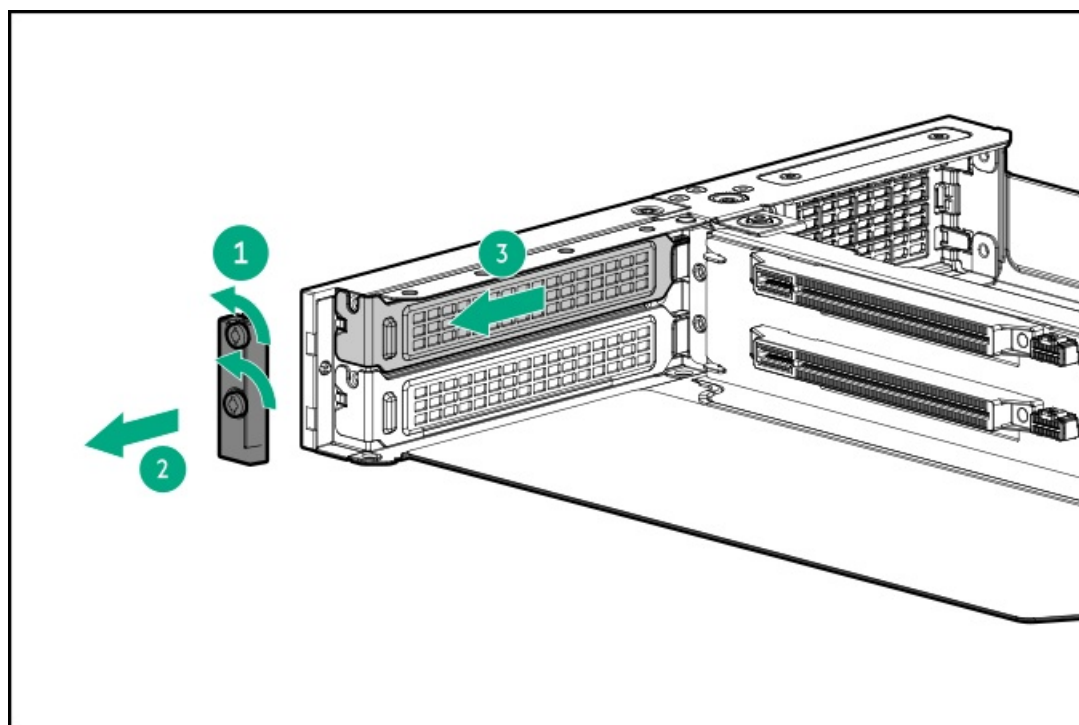
電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

このサーバーは、シングル幅、フルハイト、フルレングスのGPUカードを4枚サポートします。

手順

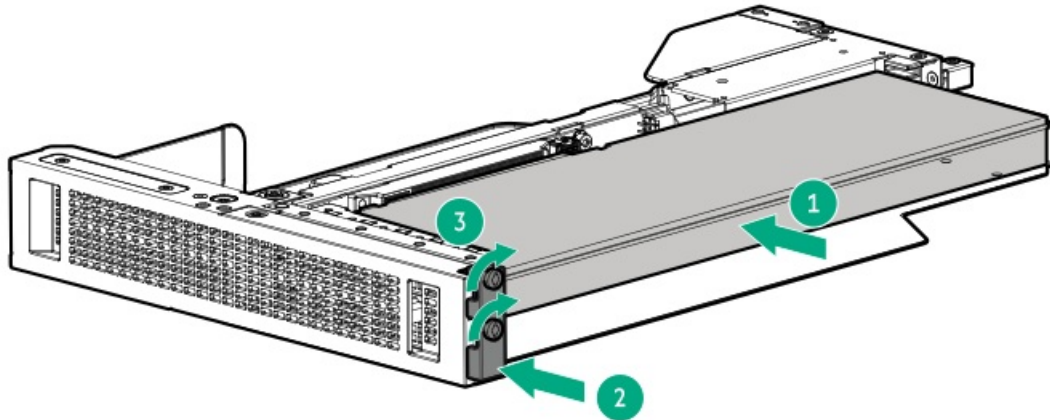
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. 中央カバーを取り外します。
9. GPUライザーケースを取り外します。
10. GPUライザースロットブランクを取り外します。
 - a. GPUブラケット固定具の脱落防止ネジを緩めます。
 - b. GPUブラケット固定具を取り外します。
 - c. ライザースロットブランクを取り外します。



11. GPUを取り付けます。
 - a. GPUをスロットに差し込みます。

GPUがしっかりと装着されていることを確認します。
 - b. ブラケット固定具を取り付けます。
 - c. 固定ネジを締めます。



12. GPUライザーケージを取り付けます。
13. 中央カバーを取り付けます。
14. アクセスパネルを取り付けます。
15. サーバーをラックに取り付けます。
16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPUのリアライザーケージへの取り付け

前提条件

- 電源装置がこのオプションの取り付けをサポートしていることを確認してください。詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise ConfiguratorのWebサイト](#)を参照してください。
- この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

GPUはリアPCIeスロット1または2に取り付けることができます。HPEでは、パフォーマンス向上のためアクセラレータをスロット2に取り付けることをお勧めします。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

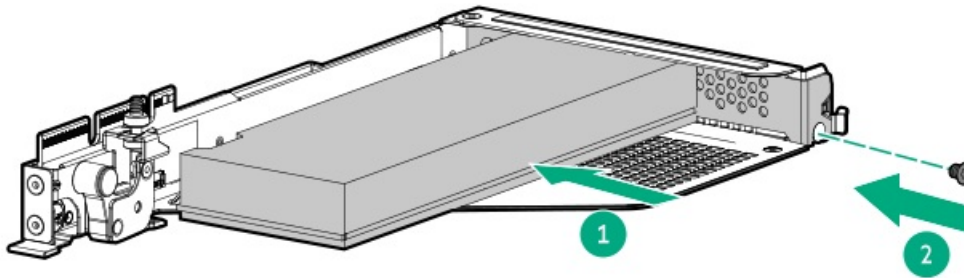


注意

電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. ライザーケージを取り外します。
9. カードに既存のリアガイドブラケットが取り付けられている場合は、これを取り外します。
10. GPUを取り付けます。



11. ライザーケージを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
15. 各電源コードをサーバーに接続します。
16. 各電源コードを電源ソースに接続します。
17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリオプション



重要

このサーバーは、LRDIMMとRDIMMの混在をサポートしていません。これらのDIMMをいずれかの組み合わせで混在させると、BIOS初期化中にサーバーが停止する場合があります。サーバーに取り付けられているすべてのメモリは、同じタイプである必要があります。

サブトピック

[DIMMの取り付けに関するガイドライン](#)

[HPE Smartメモリの速度と取り付け情報](#)

[DIMMの取り付け](#)

DIMMの取り付けに関するガイドライン

DIMMを取り扱うときは、次のことに従ってください。

- [静電気防止の注意事項](#)に従ってください。
- DIMMは両端だけを持つようにしてください。
- DIMMの両側のコンポーネントに触れないでください。
- DIMMの下部にあるコネクタに触れないでください。
- DIMMを握るようにして持たないでください。
- DIMMを決して曲げたり、収縮させないでください。

DIMMを取り付けるときは、次のことに従ってください。

- DIMMの位置を合わせて固定する際は、2本の指でDIMMの両端を持つようにしてください。
- DIMMを取り付けるには、DIMMの上部にそって2本の指で軽く押しつけます。

詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/DIMM-20070214-CN>) を参照してください。

HPE Smartメモリの速度と取り付け情報

Intel Xeon 6プロセッサを使用したHPEサーバーのメモリ速度とサーバー固有のDIMM取り付けルールについては、次の関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

DIMMの取り付け

前提条件



注意

- 同じサーバーにRDIMMとLRDIMMを取り付けしないでください。
- 同じサーバーにRDIMMと3DS RDIMMを取り付けしないでください。
- 同じサーバーにデータ幅がx4とx8のDRAMを取り付けしないでください。

これらのDIMMをいずれかの組み合わせで混在させると、BIOS初期化中にサーバーが停止する場合があります。サーバーに取り付けられるすべてのメモリは、タイプが同じである必要があります。



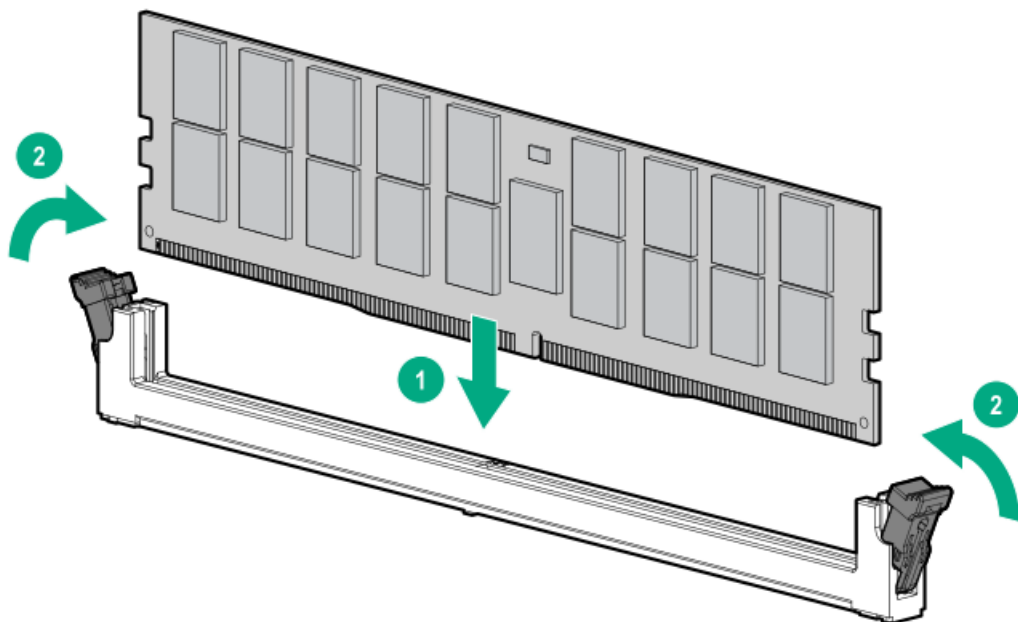
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. DIMMを取り付けます。
 - a. DIMMスロットのラッチを開きます。
 - b. DIMM下端のノッチをDIMMスロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMMをスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

DIMMスロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMMをスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMMの向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



7. アクセスパネルを取り付けます。

8. メモリ設定を構成するには、以下を行います。

- a. ブート画面で、**F9**キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
- b. システムユーティリティ画面で、システムユーティリティ > システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

管理

サブトピック

シリアルポートの取り付け

Systems Insight Displayの取り付け

シリアルポートの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- プラスドライバー (No. 1)
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて

シリアルポートオプションを取り付けて、物理シリアルデバイスと通信できるようにします。シリアル接続を使用して、システムBIOSにリモートアクセスし、POSTエラーメッセージを表示することもできます。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

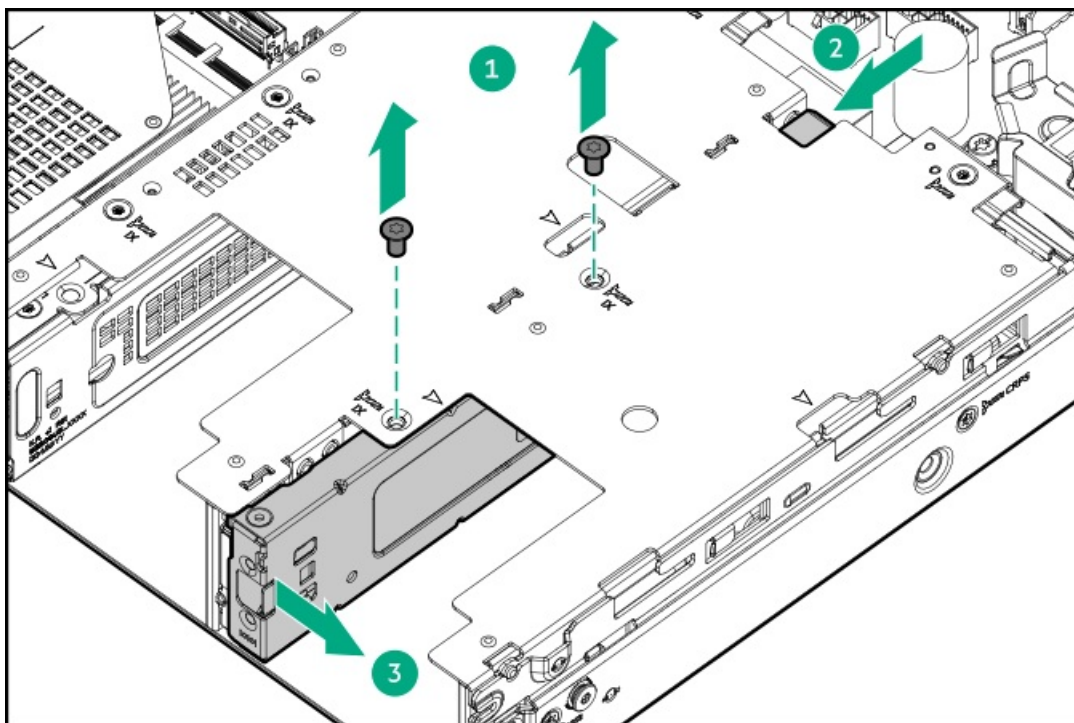


注意

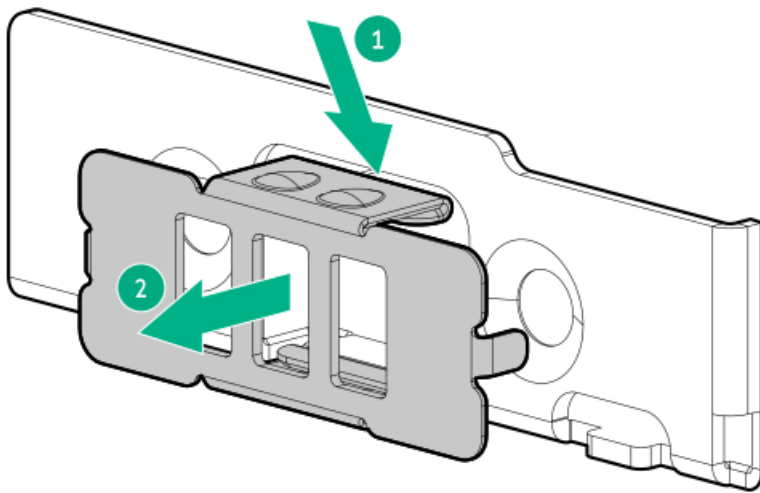
ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

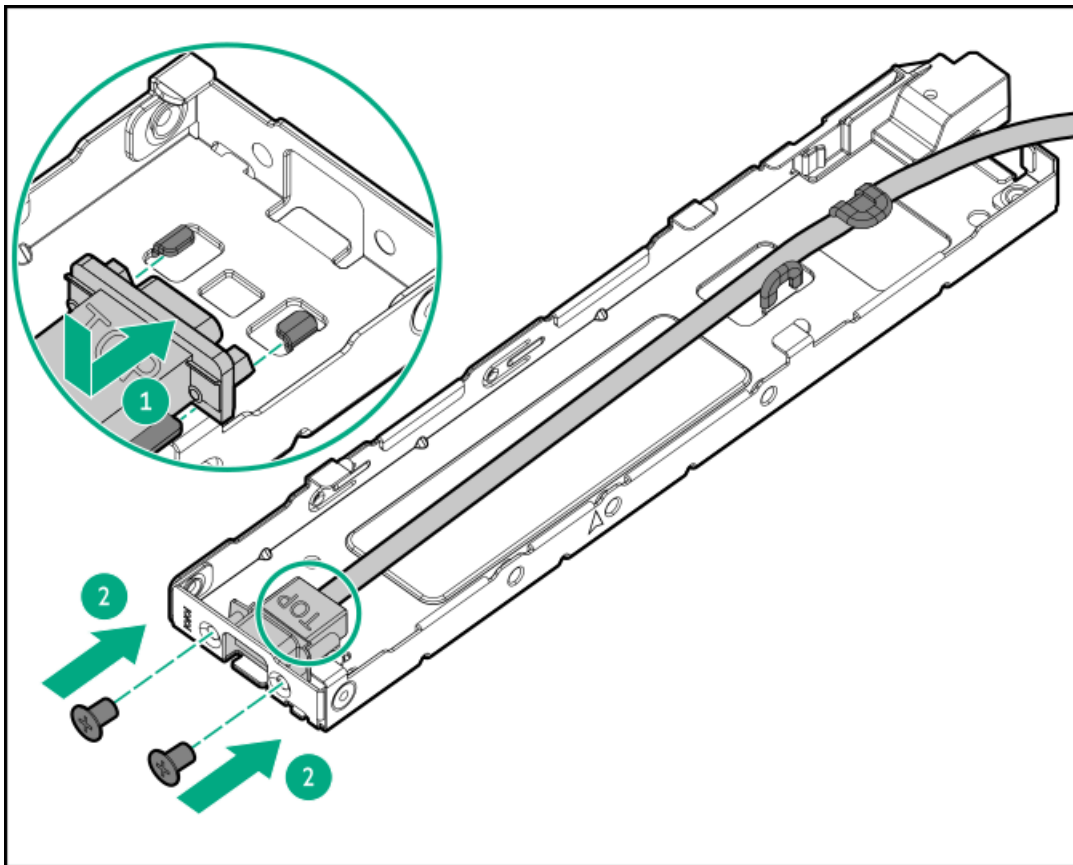
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. 電源装置をベイ1から取り外します。
8. ixポートケージを取り外します。
 - a. ネジを取り外します。
 - b. ケージを背面から押して、電源装置ベイから切り離します。
 - c. ケージを取り外します。



9. ixポートブランクを取り外します。

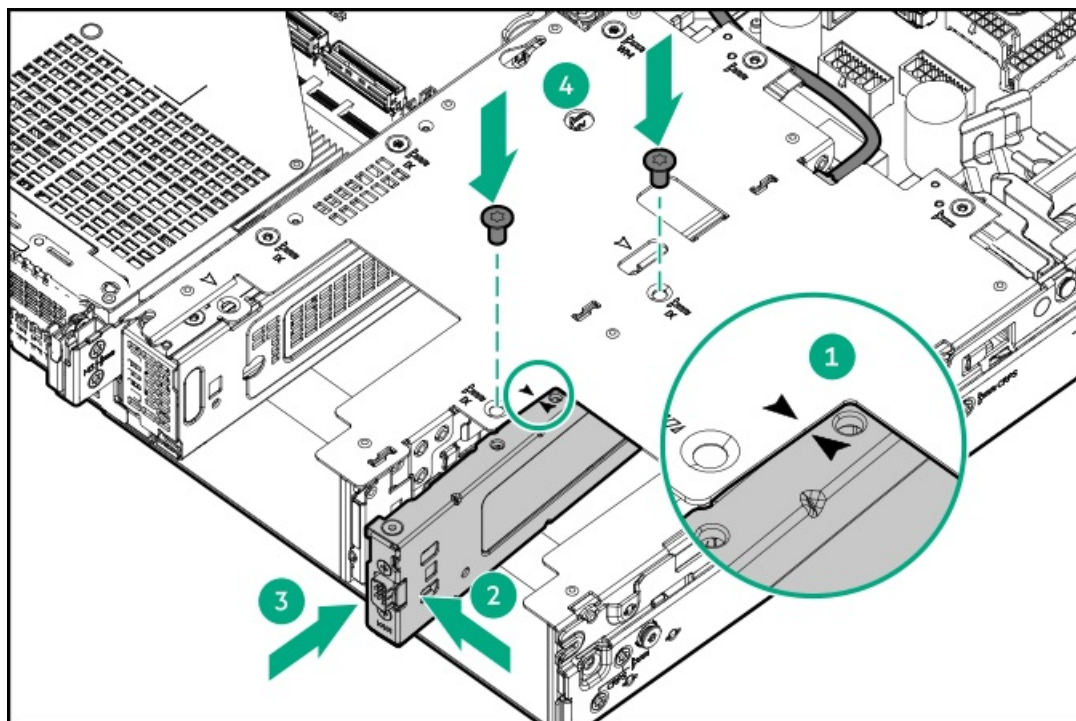


10. iXポートをタブにスライドさせて、iXポートをブラケットに固定します。



11. シリアルポートケーブルを空きベイに通します。

12. シリアル/iXポートアセンブリを取り付けます。



13. ixポートケーブルをシステムボードに接続します。
14. 電源装置を取り付けます。
15. アクセスパネルを取り付けます。
16. サーバーをラックに取り付けます。
17. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
18. 各電源コードをサーバーに接続します。
19. シリアルポートドングルをixポートに接続します。
20. サーバーの電源を入れます。

シリアルポートを構成する

21. シリアルポート設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 内蔵シリアルポートを選択します。
 - c. 設定を選択します。
 - d. F12キーを押して、選択内容を保存します。
 - e. はい - 変更の保存をクリックします。
 - f. 再起動をクリックします。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

Systems Insight Displayの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

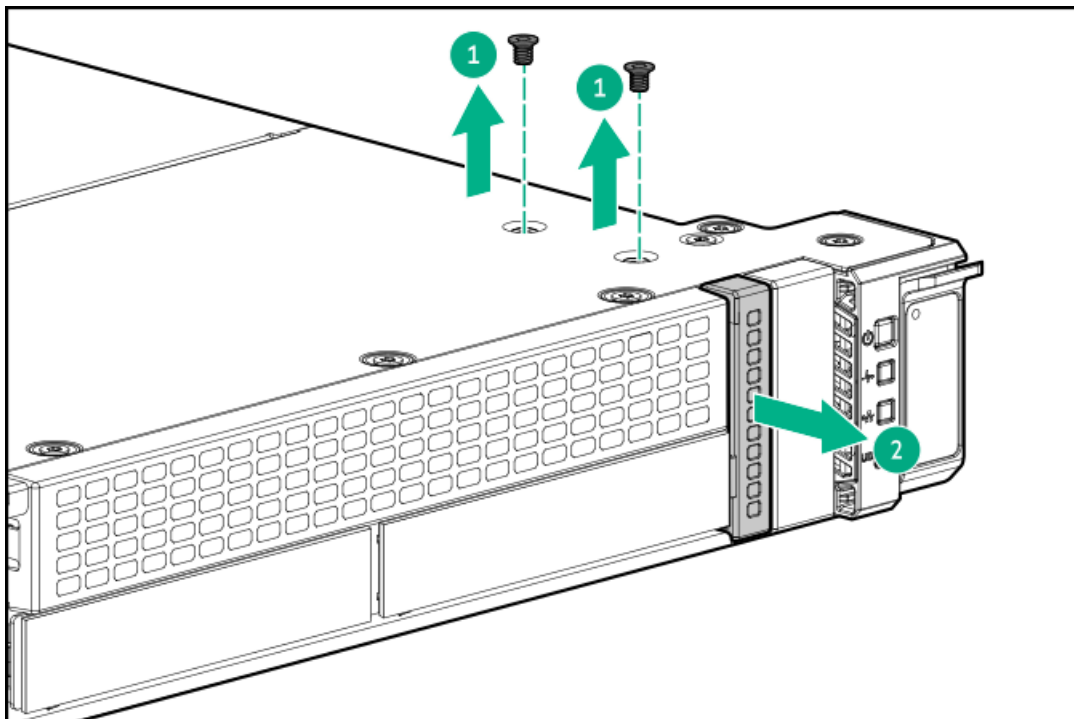


注意

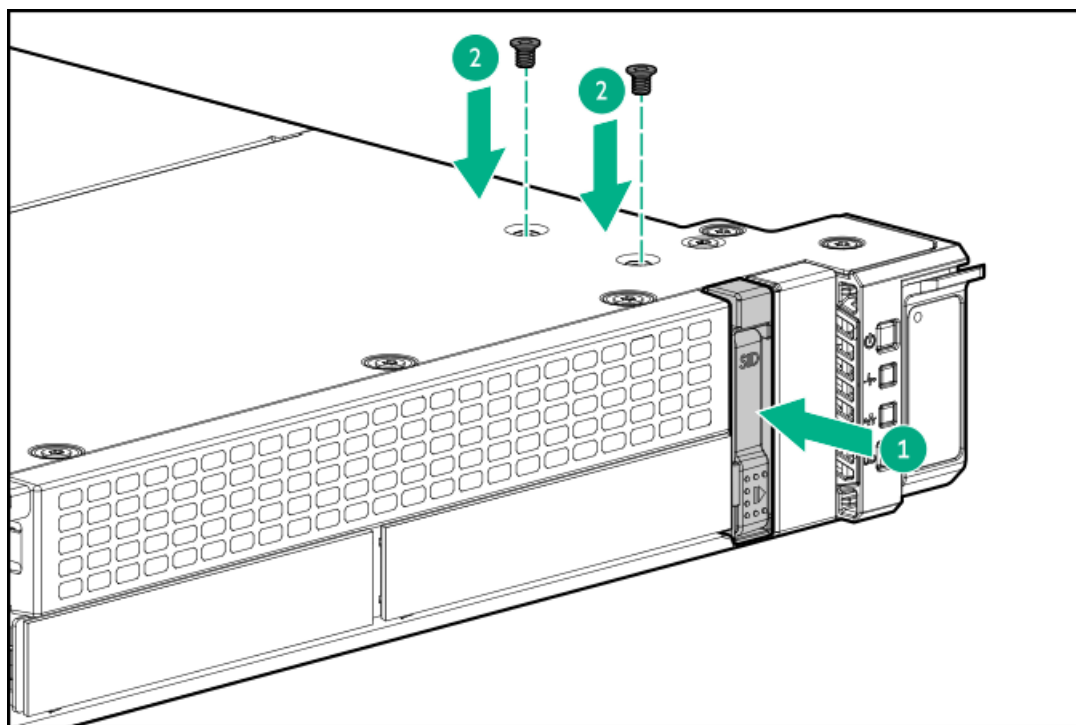
電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. 中央カバーを取り外します。
7. SIDブランクを取り外します。



8. SIDケーブルをスロットに通して配線します。
9. SIDを取り付けます。



10. SIDケーブルをシステムボードに接続します。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源ソースに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ファン

サブトピック

ファンの取り付け

ファンの取り付け

このタスクについて

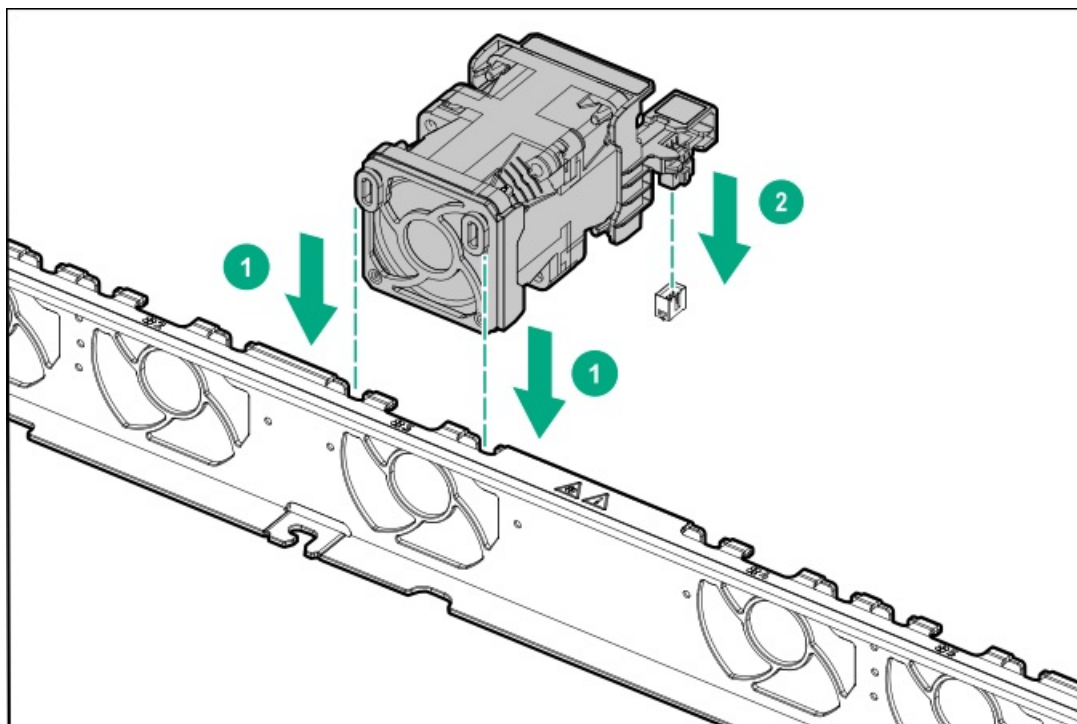


重要

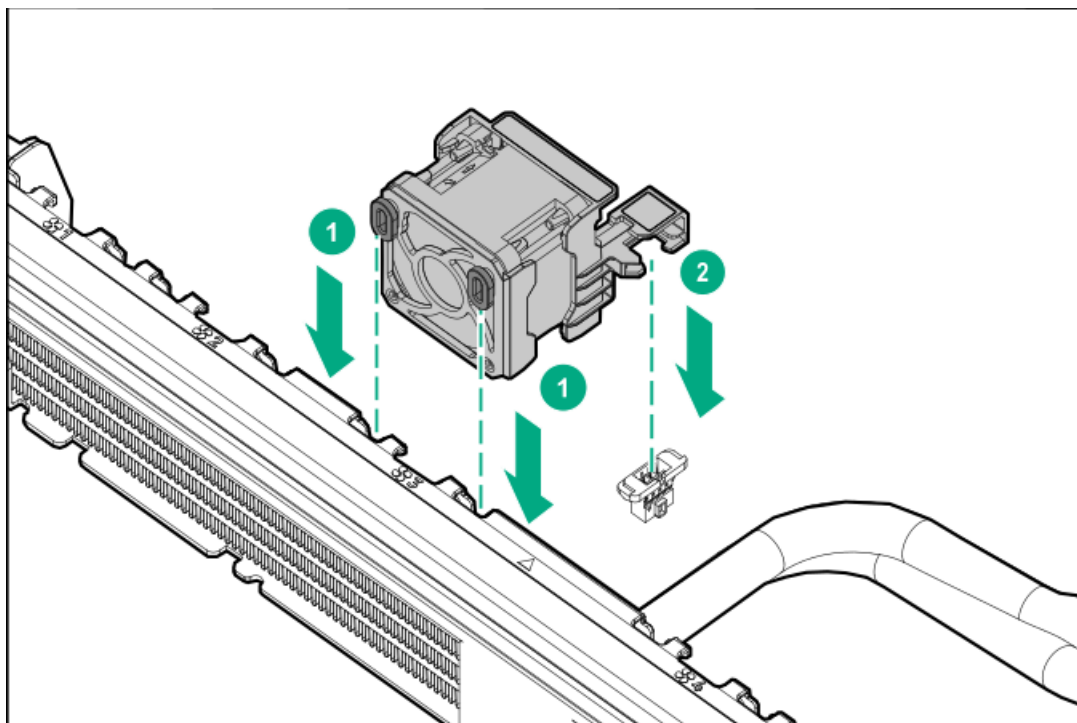
ファンセットアップは、標準のシングルローターファンまたは高性能のデュアルローターファンのいずれかです。同じサーバー内でファンのタイプを混在させないでください。

手順

1. 以下のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから取り外します。
 - ラックからサーバーを引き出します。
2. アクセスパネルを取り外します。
3. ファンを取り付けます。
 - 標準または高性能ファン：



- 液冷：



4. アクセスパネルを取り付けます。
5. サーバーをラックに取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ネットワーク

サブトピック

フロントOCP NICイネーブルメントキットについて

フロントOCP NICイネーブルメントキットについて

サーバーは、OCP NIC 3.0 SFF (2.5型) スロットを最大2つフロントパネルまたはリアパネルでサポートします。フロントOCPスロットは、ボックス3の混合ドライブタイプ構成でサポートされ、フロントOCPイネーブルメントキットを必要とします。

フロントOCP NICイネーブルメントキットは、NIC信号をリアOCPスロットからフロントパネルのボックス3のOCPスロットに転送します。フロントOCP NICスロットには次のような利点があります。

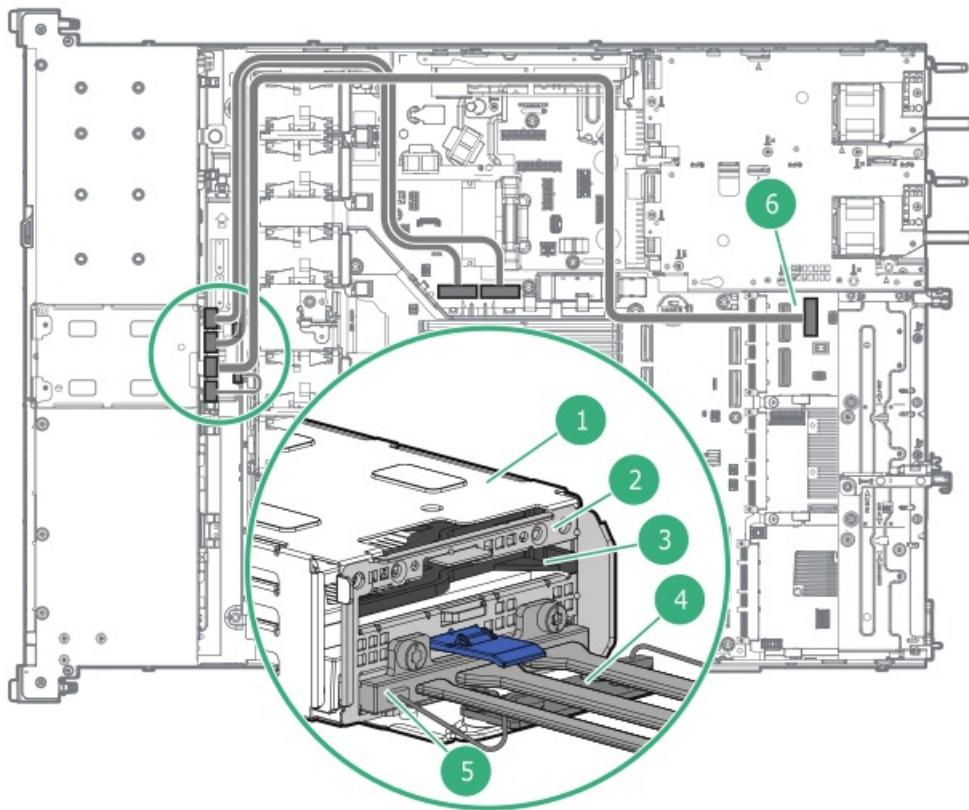
- ネットワークポートにアクセスしやすくなります
- NICアダプターの設置時の冷却状態が向上します

このサーバーでは、フロントOCP NICはボックス3の混合ドライブタイプ構成でのみサポートされます。

フロントOCP NICは、次のオプションを使用して、シングルスロットまたはデュアルスロット構成で展開できます。

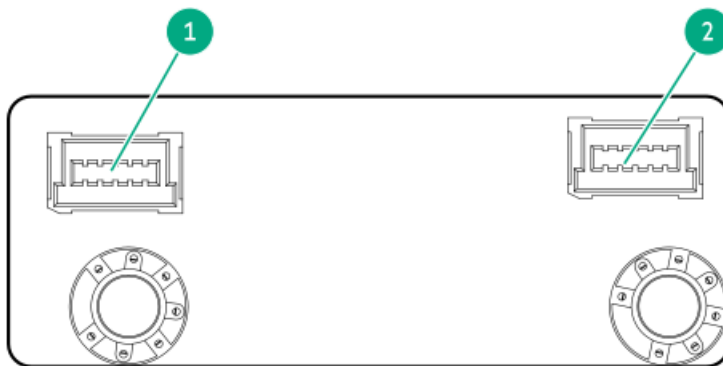
- プライマリフロントOCP NICイネーブルメントキット (P77261-B21) – このキットはボックス3に取り付けられ、ベイ3 OCPスロットを有効にします。
- セカンダリフロントOCP NICイネーブルメントキット (P76982-B21) – このキットの取り付けには、プライマリフロントOCP NICオプションが必要です。このキットはボックス3に取り付けられ、ベイ1 OCPスロットを有効にします。

プライマリフロントOCP NICイネーブルメントキット



番号	説明
1	4 E3.Sドライブケージ このケージは複数のオプションをサポートしています。 • 最大4台のE3.Sドライブ • 最大2つのフロントOCP NICアダプター
2	フロントOCP NICケーブルブラケット
3	E3.Sドライブフィルター
4	PHYボード PHYボードは、フロントOCP NICアダプターをOCP NICインターポーターに物理的にリンクするトランシーバーとして機能します。iLO共有ネットワーク接続を設定する場合、PHYボードはリアiLO専用ネットワークポートからフロントOCP NICアダプターに信号を転送します。
5	プライマリフロントOCP NICケーブル
6	OCP NICインターポーター (リアスロット20 OCP A PCIe5 x16) インターポーターはNIC信号をリアスロット20 OCP A PCIe5 x16からフロントボックス3、ベイ3 OCPスロットに再ルーティングします。

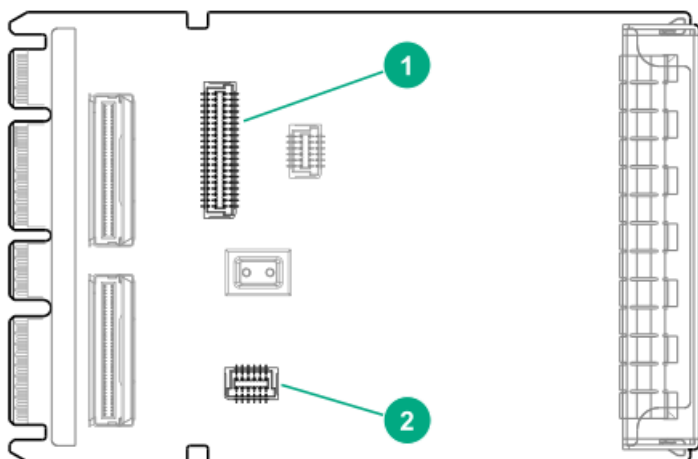
PHYボードコネクター



番号	説明
1	PHYボードケーブルコネクタ
2	フロントOCP NICケーブルコネクタ

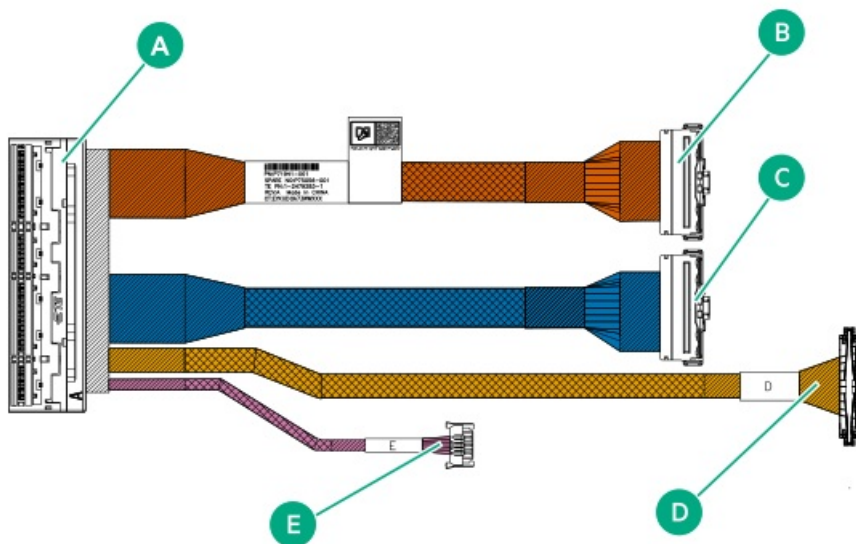
OCP NICインターポーターコネクタ

図でグレー表示されているコンポーネントは、このサーバーでは使用できません。



番号	説明
1	フロントOCP NICケーブルコネクタ
2	PHYボードケーブルコネクタ

フロントOCP NICケーブルコネクタ



注記

ケーブルの色は、説明目的でのみ使用されます。

ケーブルの色	ケーブルコネクタのラベル	ケーブルの機能
オレンジ色	A	OCP NIC 3.0スロット
	B	システムボードコネクタ
青色	C	システムボードコネクタ
金色	D	OCP NICインターポーターコネクタ
ピンク色	E	PHYボードコネクタ

PHYボードケーブルコネクタ



注記

ケーブルの色は、説明目的でのみ使用されます。

ケーブルコネクタのラベル	ケーブルの機能
A	PHYボードコネクタ
B	OCP NICインターポーターコネクタ

サブトピック

フロントOCP NICアダプターの取り付け

OCP NIC 3.0アダプターを取り付ける

iLO共有ネットワーク接続の有効化

フロントOCP NICアダプターの取り付け

前提条件

- この手順を始める前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してください。
- 以下の内容を確認してください。
 - 0CP NIC 3.0スロットの番号
 - 0CP NICアダプターを使用するハードウェア構成でのファンとヒートシンクの要件
 - フロント0CP NICイネーブルメントキットについて
- この手順を実行する前に、次のオプションを用意しておきます。
 - プライマリフロント0CP NICイネーブルメントキット (P77261-B21)
 - セカンダリフロント0CP NICイネーブルメントキット (P76982-B21) – 2つ目の0CP NICアダプターを取り付ける場合に必要です。このキットの取り付けには、プライマリフロント0CP NICオプションが必要です。
 - 0CP NICアダプター
- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-15トルクスドライバー – この工具は、フロント0CP NICブラケットとケーブルを取り付けたり、PHYボードを固定したりする場合に使用します。
 - T-10トルクスドライバー – この工具は、0CPスロットブランクを取り外したり、0CPブラケットをキャリアに取り付けたり、ドライブボックスブランクを取り外したりする場合に使用します。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



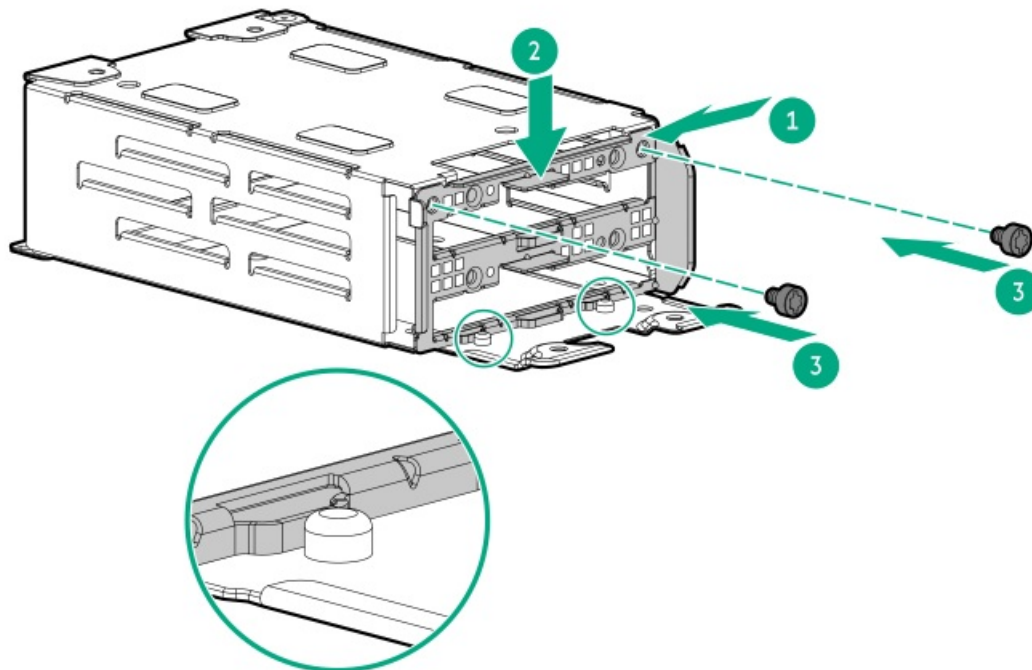
注意

ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

フロント0CP NICブラケットを取り付ける

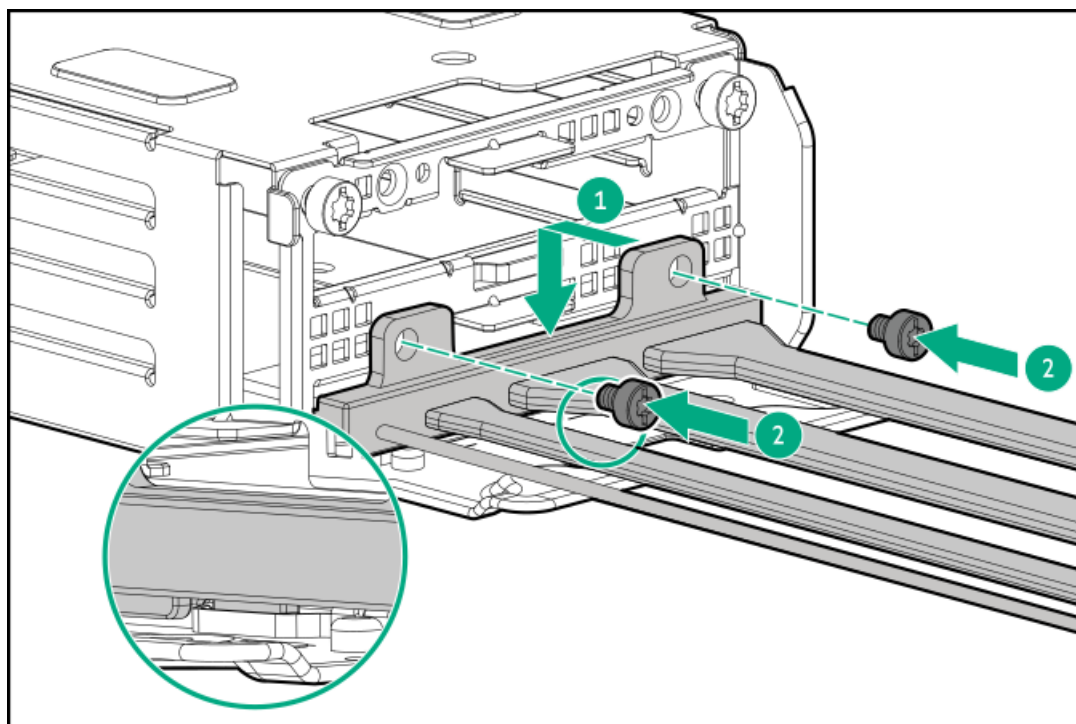
1. オプションキットに含まれているE3.Sドライブケージの上にフロント0CP NICブラケットをスライドさせ、ブラケットを2本のネジで固定します。



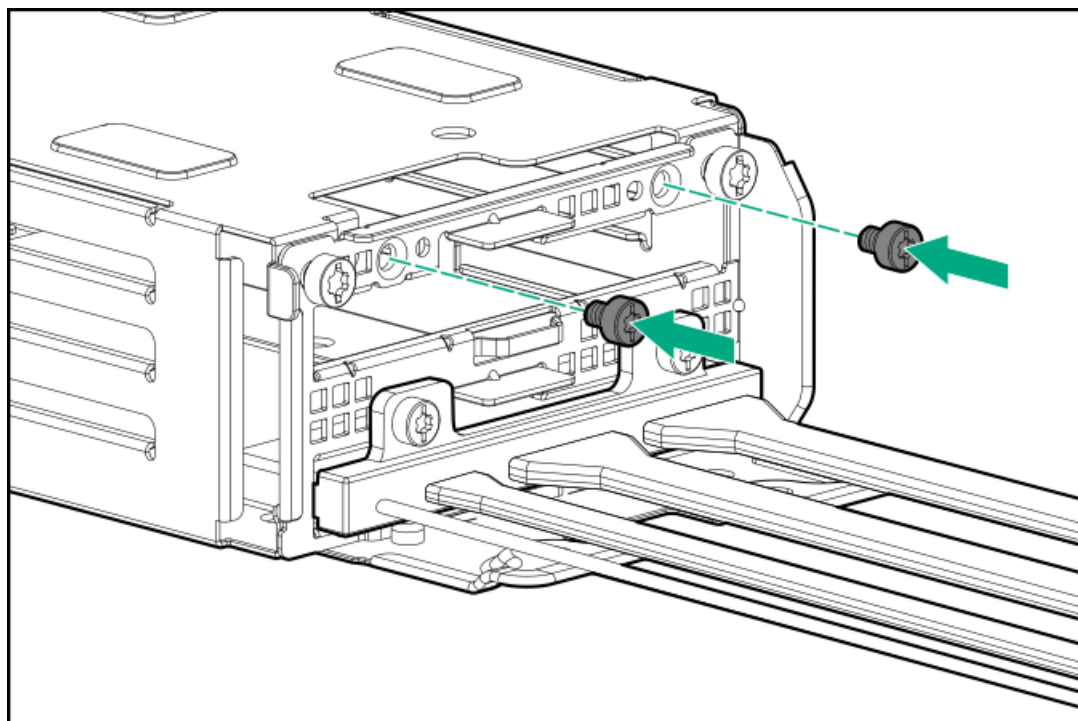
プライマリフロントOCP NICケーブルを取り付ける

2. フロントOCP NICケーブルコネクタのプラスチック製タブをブラケットの切り込みに挿入します。次に、フロントOCP NICケーブルを2本のネジで固定します。

プラスチック製タブがブラケットに固定されていることを確認してください。



3. セカンダリフロントOCP NICケーブルを取り付けない場合は、他の2本のネジを予備としてブラケットに取り付けます。

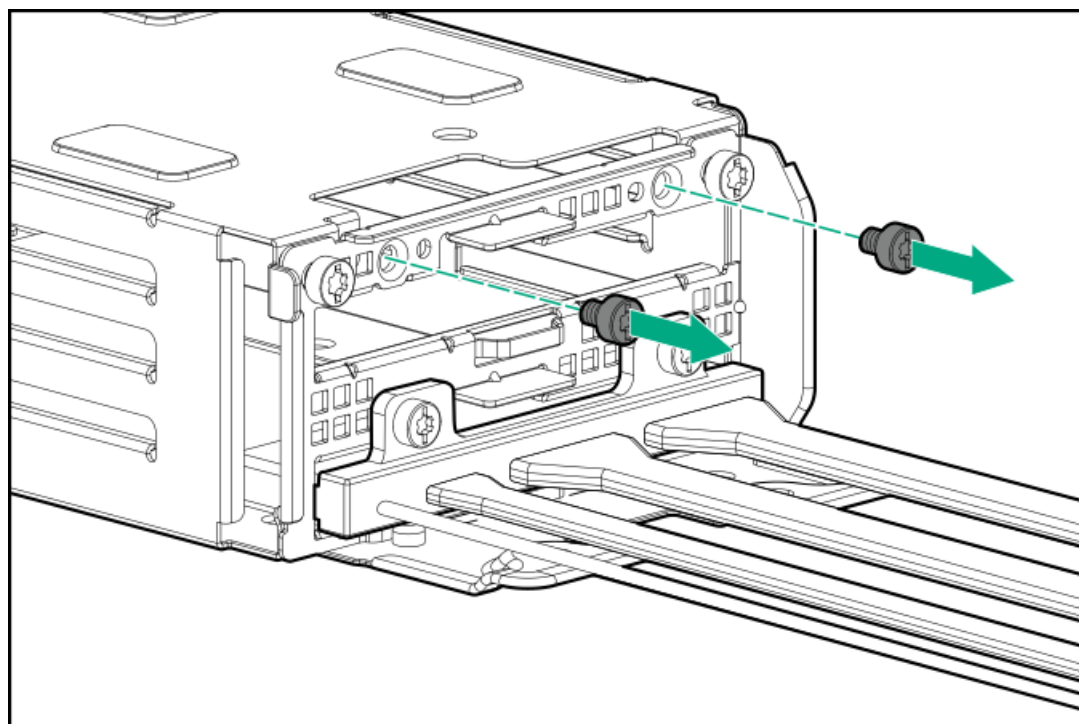


セカンダリフロントOCP NICケーブルを取り付ける

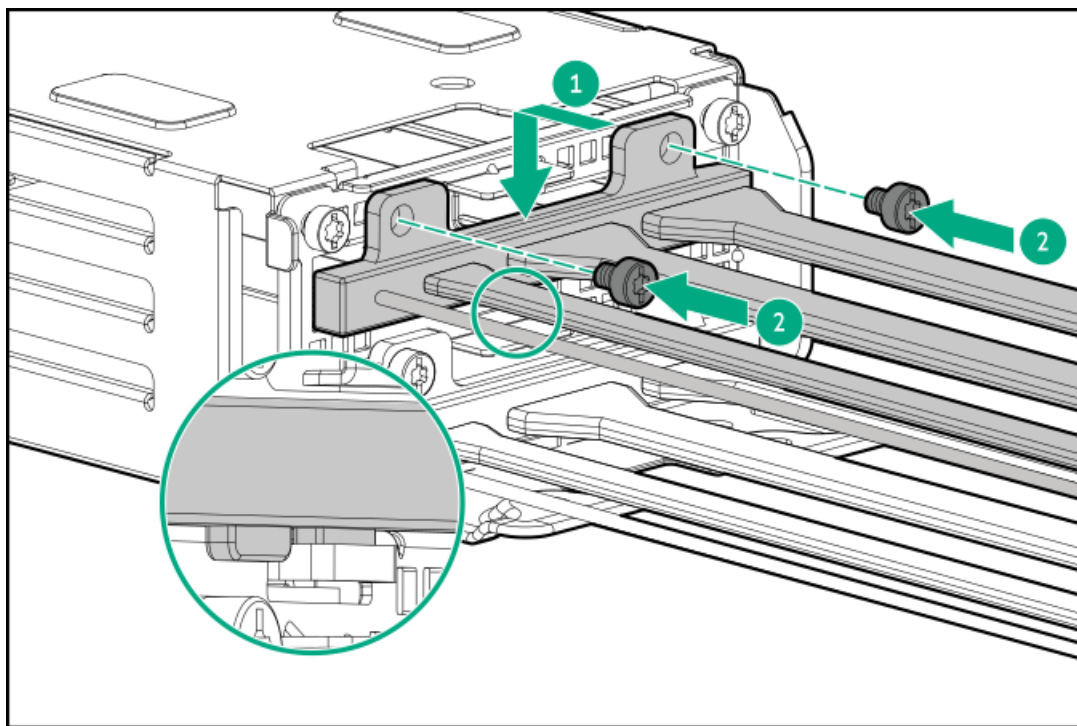
4. セカンダリフロントOCP NICケーブルを取り付ける場合は、次の手順を実行します。

- a. 取り付けられている場合は、OCP NICブラケットからこれらのネジを取り外します。

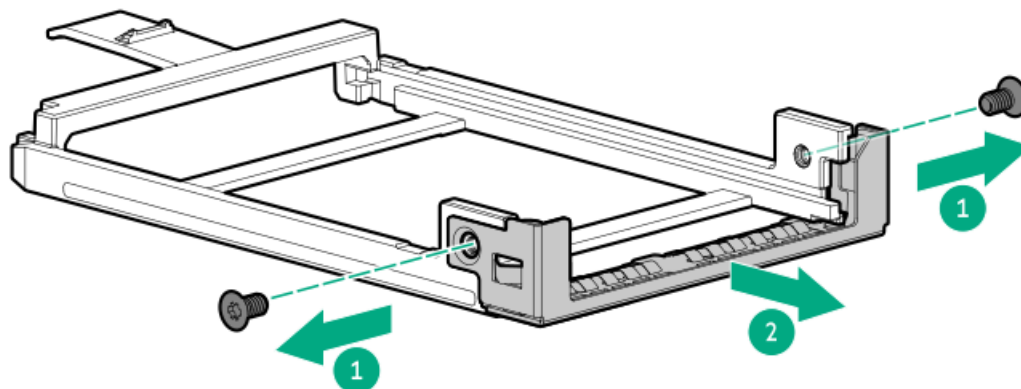
ネジは保管しておいてください。これらのネジは、セカンダリOCP NICケーブルを固定するために使用されます。



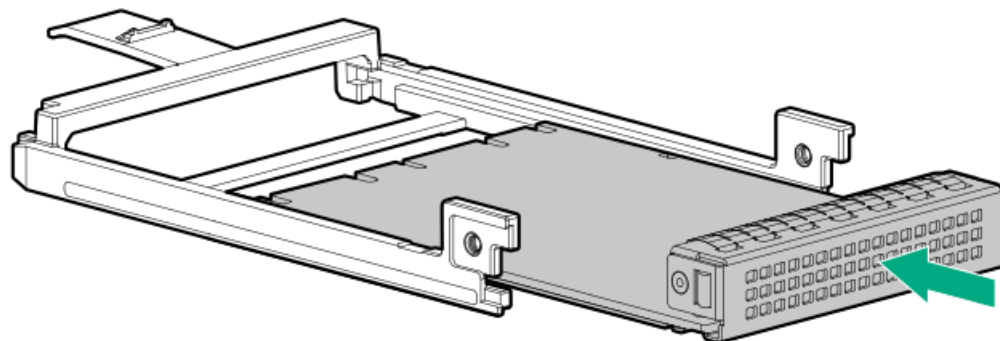
- b. 手順2を繰り返して、セカンダリOCP NICケーブルを取り付けます。



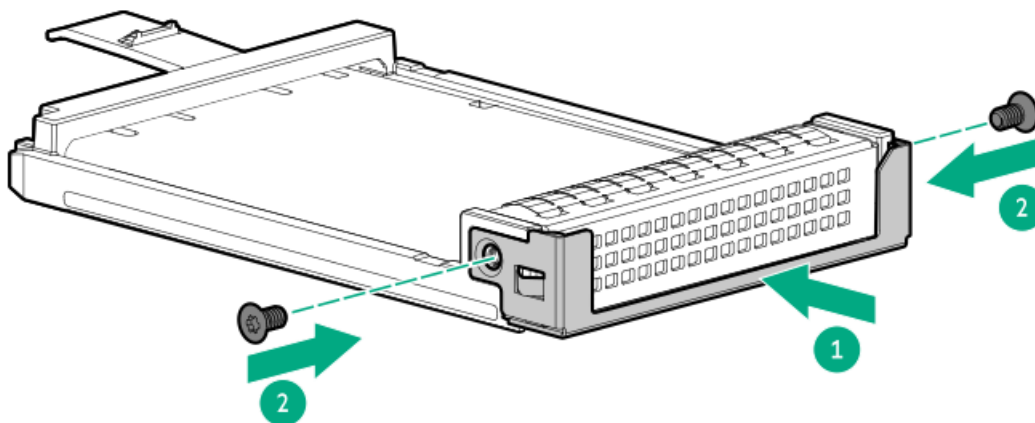
OCN NICアダプターをE3. Sケージに取り付ける
5. OCP NICブラケットを取り外します。



6. OCP NICアダプターをOCP NICキャリアの中にスライドさせます。



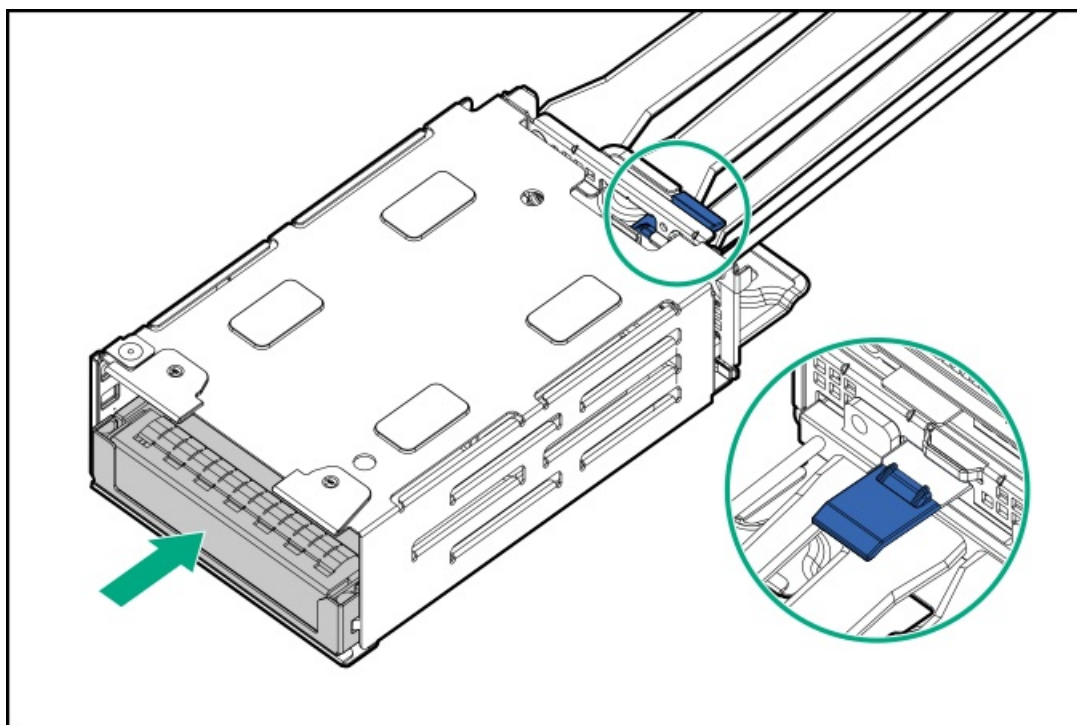
7. OCP NICブラケットを取り付けます。



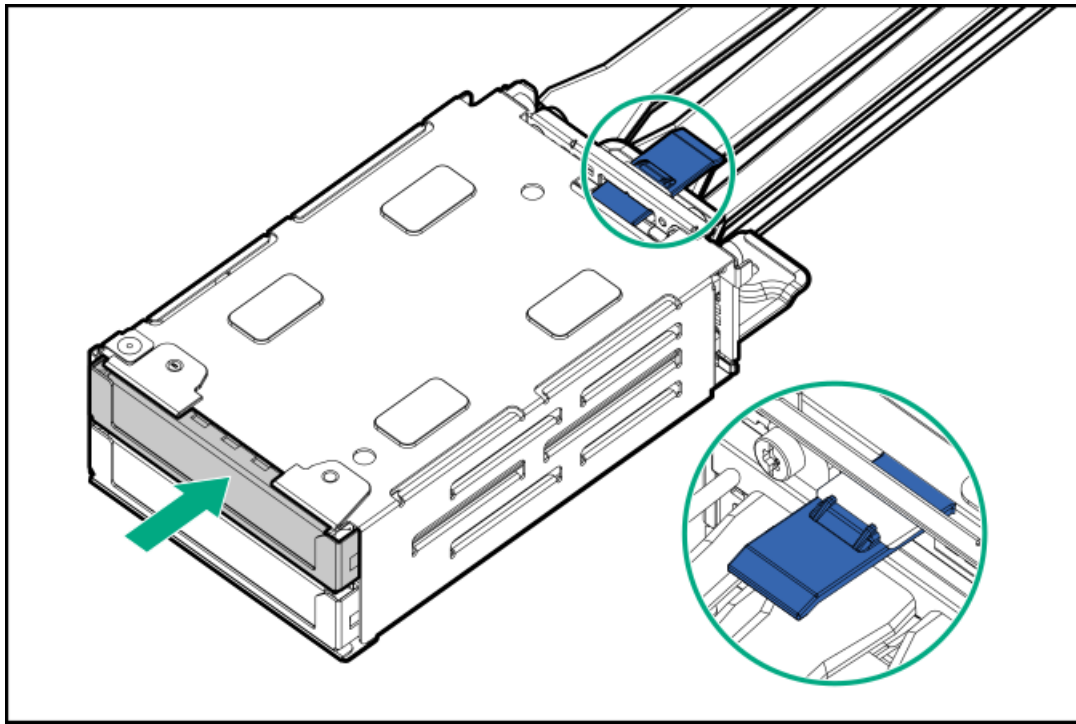
8. キャリアのタブがフロントOCP NICブラケットとかみ合うまで、OCP NICアダプターをE3. Sケージの中にスライドさせます。

キャリアのタブがブラケットとかみ合ことを示すカチッという音がします。

- ベイ3 - プライマリフロントOCP NICアダプター

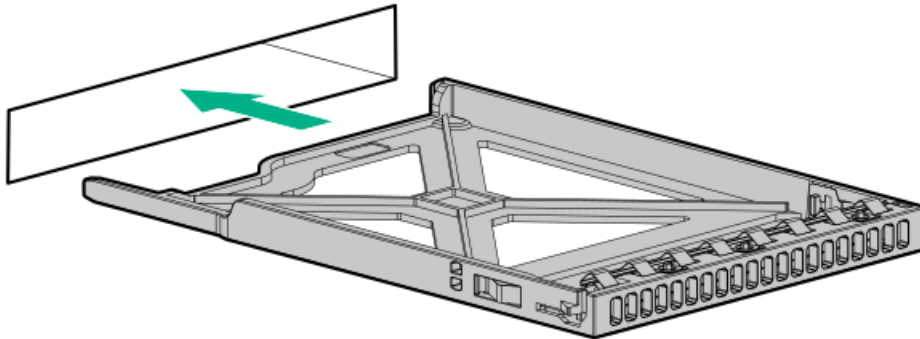


- ベイ1 - セカンダリフロントOCP NICアダプター



E3 Sドライブフィラーを取り付ける

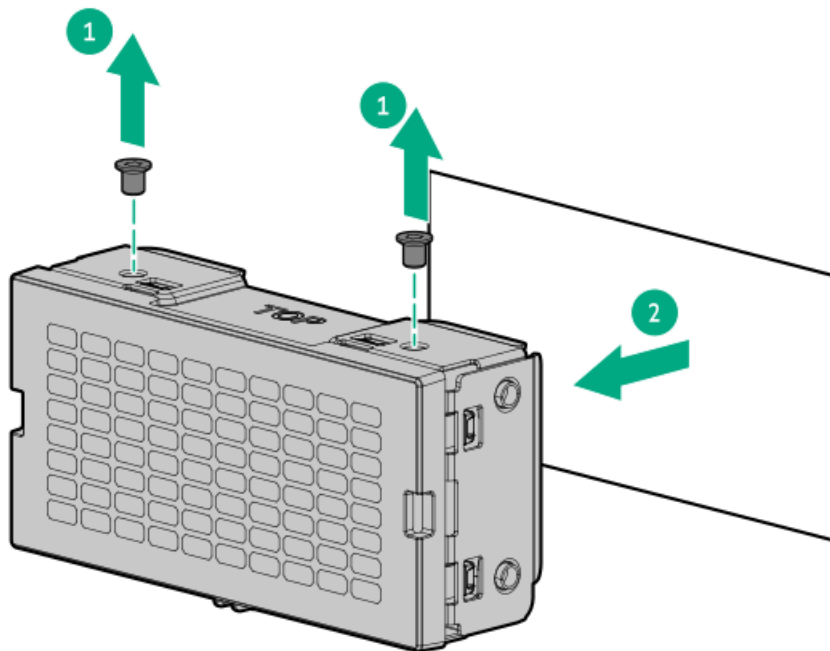
9. セカンダリフロントOCP NICアダプターを取り付けない場合は、E3 Sドライブフィラーをケースのベイ1に取り付けます。



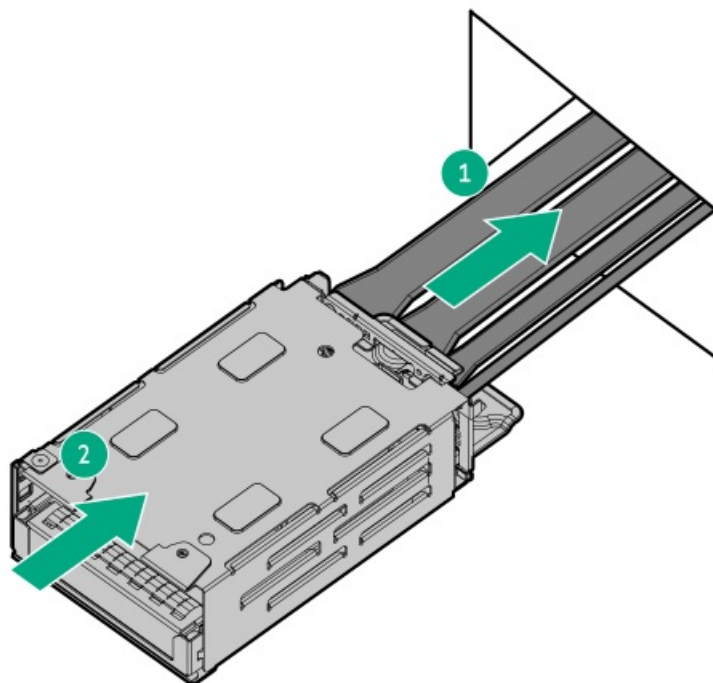
ケースをシャーシに取り付ける

10. サーバーの電源を切ります。
11. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
12. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
13. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
14. 以下のいずれかを実行します。
 - ラックからサーバーを引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。

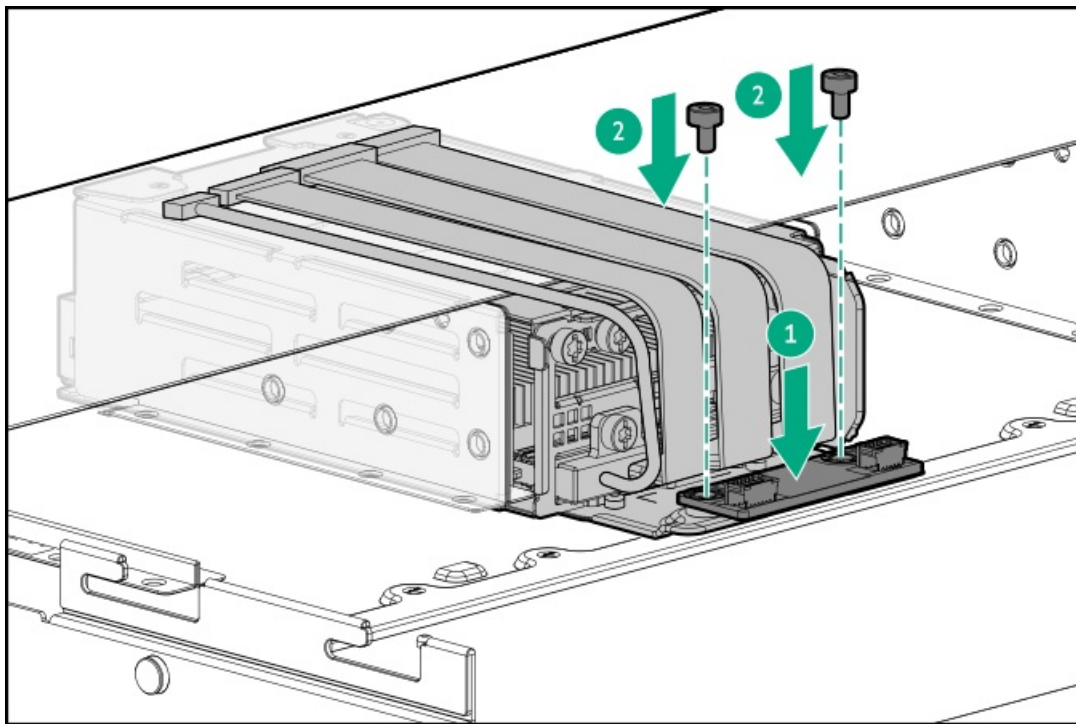
15. アクセスパネルを取り外します。
16. ドライブボックス3からブランクを取り外します。



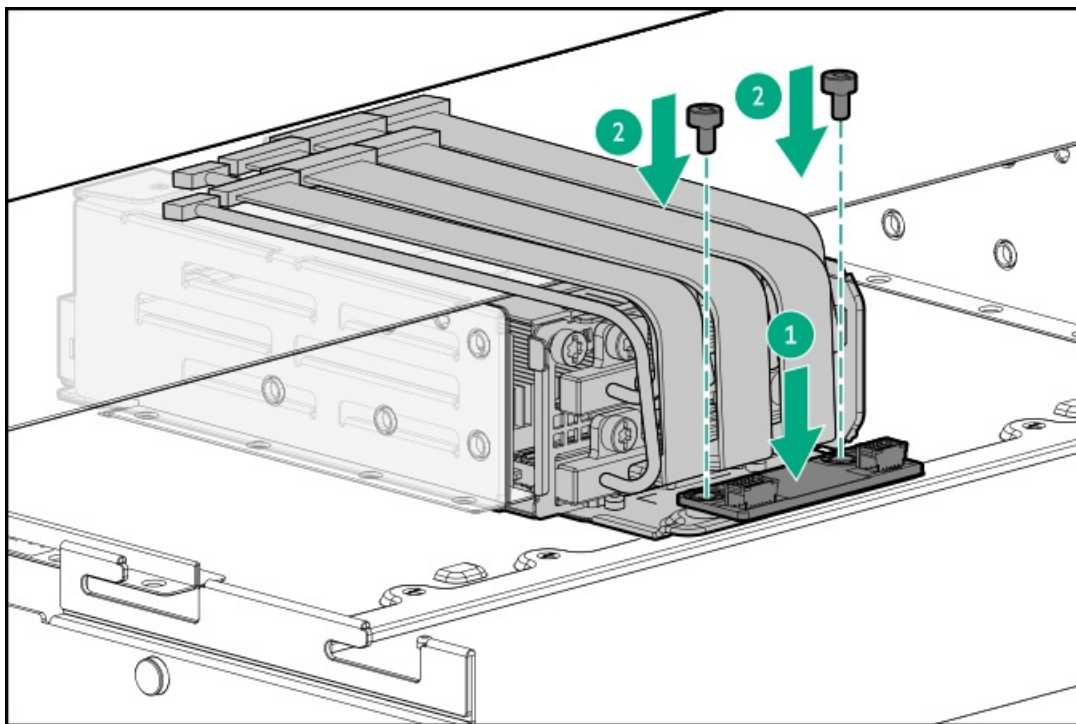
17. E3.S ケージをボックス3に取り付けます。
 - a. OCP NICケーブルをフロントパネルに通し、ケージをボックス3の中にスライドさせます。



- b. 次の図に示すように、OCP NICケーブルをドライブボックスの上に配置します。
 - c. ケーブルがこの位置にある間に、PHYボードをケージに置き、ネジを取り付けます。
 - ベイ3のOCP NICケーブル



- ベイ1およびベイ3のOCP NICケーブル

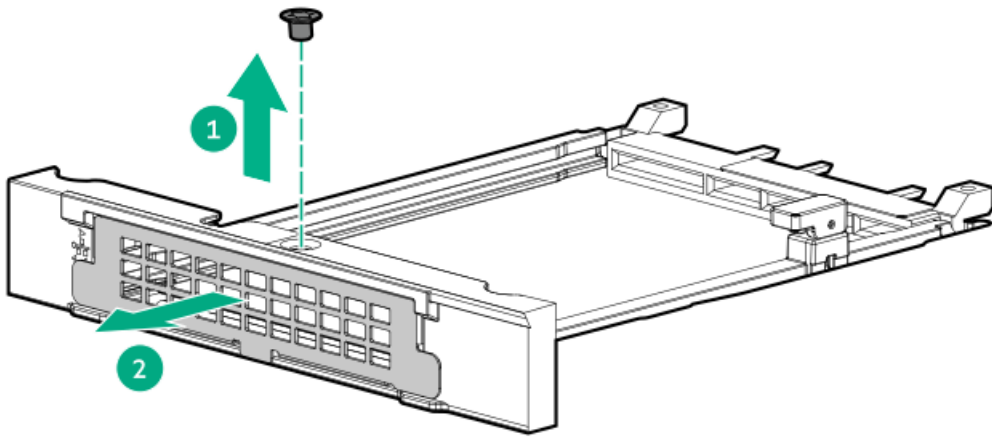


OCP NICインターポーターを取り付ける

18. OCPスロットブランクを取り外します。

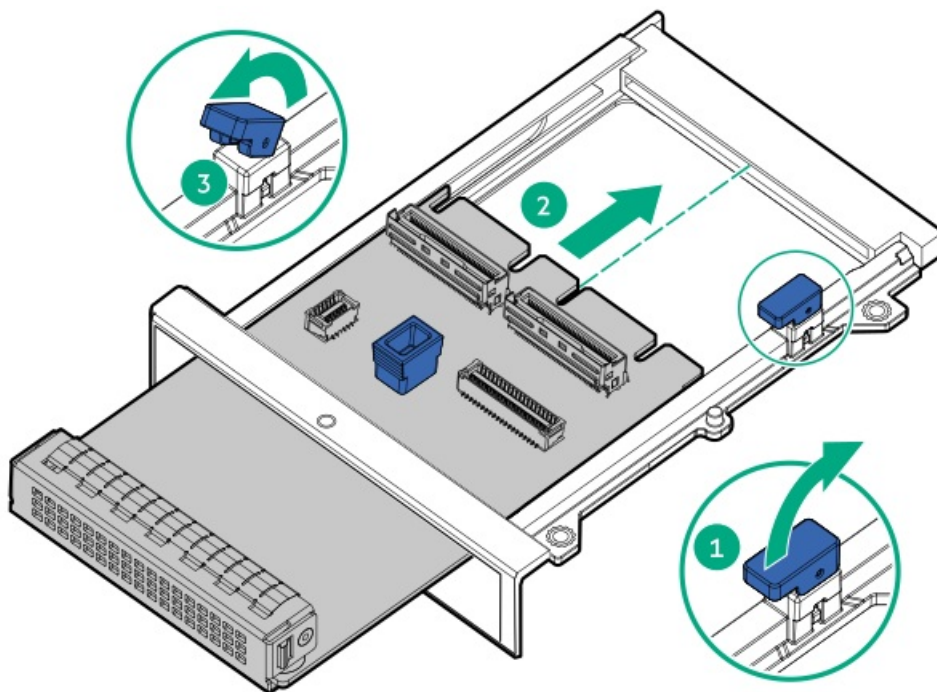
- ブランクのネジを取り外します。
- ブランクを取り外します。

ネジとブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



19. OCP NICインターポーザーを取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、インターポーザーをスロットの中にスライドさせます。
インターポーザーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



OCP NICケーブルを接続する

20. プライマリフロントOCP NICケーブルの以下のコネクタを接続します。

- OCP NICケーブルのシステムボードコネクタ（ラベルBおよびC）をシステムボードに。
- OCP NICケーブルのインターポーザーコネクタ（ラベルD）をOCP NICインターポーザーに。
- OCP NICケーブルのPHYボードコネクタ（ラベルE）をPHYボードに。

21. （オプション）フロントOCP NICアダプターポートをiLO共有ネットワークポートとして使用する場合は、iLO共有接続ケーブル（ラベルB）をPHYボードからOCPインターポーザーまで接続します。

フロントOCP NICアダプターを介したiLO共有接続は、プライマリOCP NICスロットでサポートされます。

22. 2つ目のフロントOCP NICアダプターが取り付けられている場合は、セカンダリフロントOCP NICケーブルの以下のコネクタを接続します。
 - OCP NICケーブルのシステムボードコネクタ（ラベルBおよびC）をシステムボードに。
 - OCP NICケーブルのインターポージャーコネクタ（ラベルD）をOCP NICインターポージャーに。
23. アクセスパネルを取り付けます。
24. フロントベゼルを取り付けます。
25. サーバーをラックに取り付けます。
26. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
27. 各電源コードをサーバーに接続します。
28. 各電源コードを電源ソースに接続します。
29. サーバーの電源を入れます。
30. （オプション）フロントOCP NICアダプターポートをiLO共有ネットワークポートとして使用するには、UEFIシステムユーティリティでiLO共有接続を有効にします。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OCP NIC 3.0アダプターを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

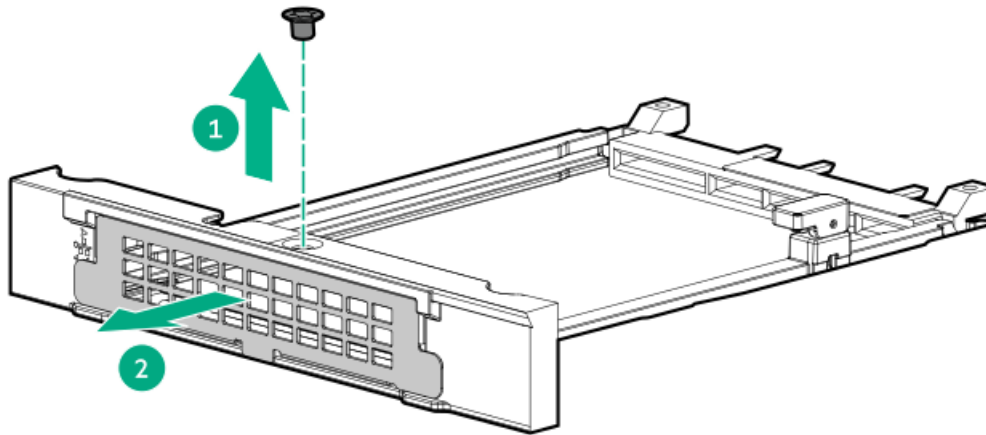
ポートブランクはEMIシールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応するI/Oポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り付けられている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。

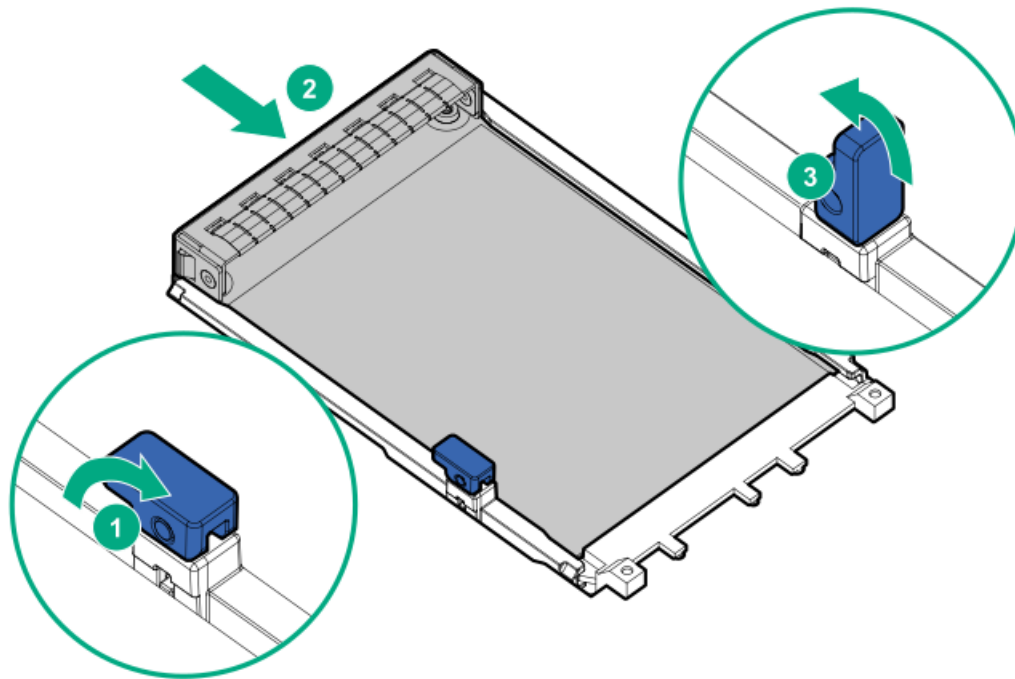
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. ライザーケージを取り外します。
9. OCPスロットブラックを取り外します。
 - a. ブラックのネジを取り外します。
 - b. ブラックを取り外します。

ネジとブラックは、将来使用できるように保管しておいてください。



10. OCP NIC 3.0アダプターを取り付けます。
 - a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
 - b. カチッとハマるまで、アダプターをベイにスライドさせます。

アダプターがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
 - c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



11. ライザーケージを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
15. 各電源コードをサーバーに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。
17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

iLO共有ネットワーク接続の有効化

このタスクについて

この手順は、iLO 6およびiLO 7に適用されます。



重要

iLO構成設定がデフォルト値にリセットされると、そのマシンにリモートアクセスできなくなります。iLO共有ネットワークポートを再度有効にするには、物理マシンにアクセスし、この項で説明する手順を繰り返します。

手順

1. ブート画面で、**F9**キーを押して、UEFIシステムユーティリティにアクセスします。
2. システムユーティリティ画面で、システム構成 > iLO構成ユーティリティ > ネットワークオプションを選択します。
3. ネットワークインターフェイスアダプターフィールドを共有ネットワークポート - OCPAまたは共有ネットワークポート - OCPBに設定し、**Enter**キーを押します。

4. F10キーを押して、変更を保存します。
5. Enterキーを押して、iLO設定を再起動します。
6. メインメニューが表示されるまでEscキーを押します。
7. システムを再起動を選択して、ユーティリティを終了し、ブートプロセスを再開します。

iLO共有ネットワークポートのIPアドレスが、後続の起動時にPOST画面に表示されます。後でこのIPアドレスを表示するには、もう一度ネットワークオプション画面にアクセスします。

電源装置オプション

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーはサポートされる電源装置のいずれかで構成されます。

サブトピック

[ホットプラグ対応電源装置に関する計算](#)
[電源装置に関する警告と注意事項](#)
[電源装置を取り付ける](#)

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告

感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意

異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります：

- 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

電源装置を取り付ける

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、電源装置に関する警告と注意事項をお読みください。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



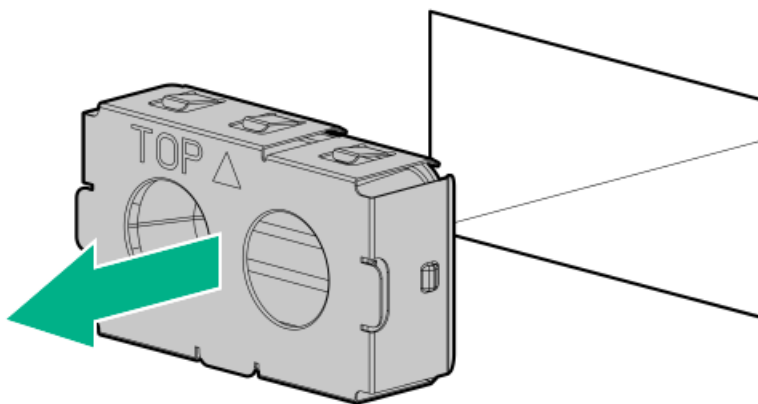
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

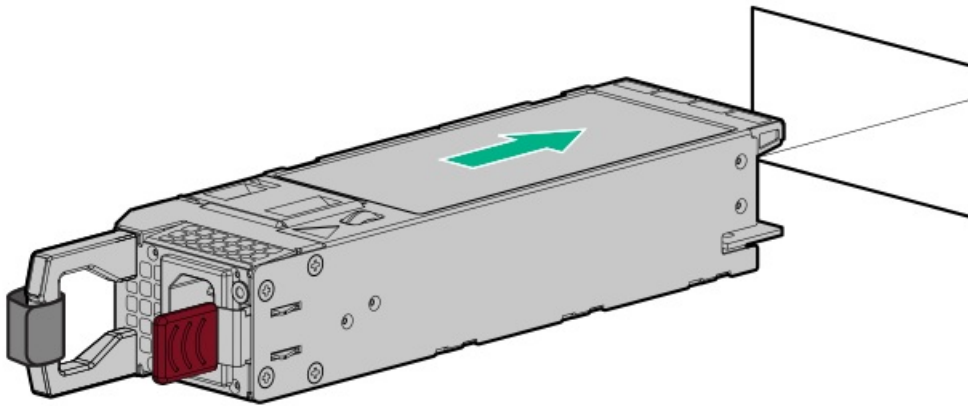
60 mmおよび73.5 mmの電源装置の取り付け手順は同じです。

手順

1. 電源装置をベイ2に取り付ける場合は、電源装置ベイブラנקを取り外します。



2. 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



3. 電源装置のハンドルに取り付けられたストレインリリーフストラップで電源コードを固定します。

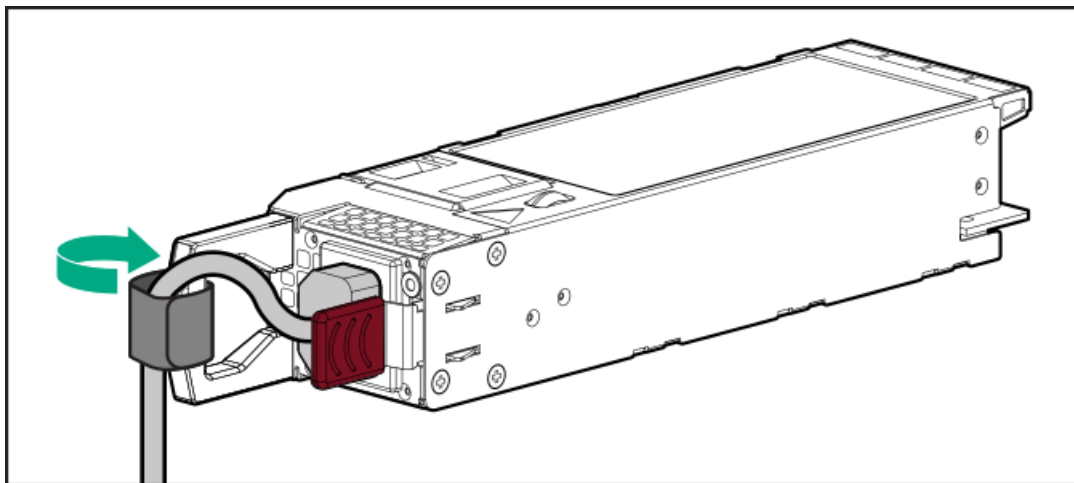
a. ストレインリリーフストラップを電源装置のハンドルから外します。



注意

電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

b. 電源コードをストレインリリーフストラップで固定します。ストラップの余っている部分を電源装置のハンドルの周囲に巻き付けます。



4. 各電源コードを電源ソースに接続します。

5. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ライザーおよびライザーケージオプション

サブトピック

ライザーケージブランクの取り付け

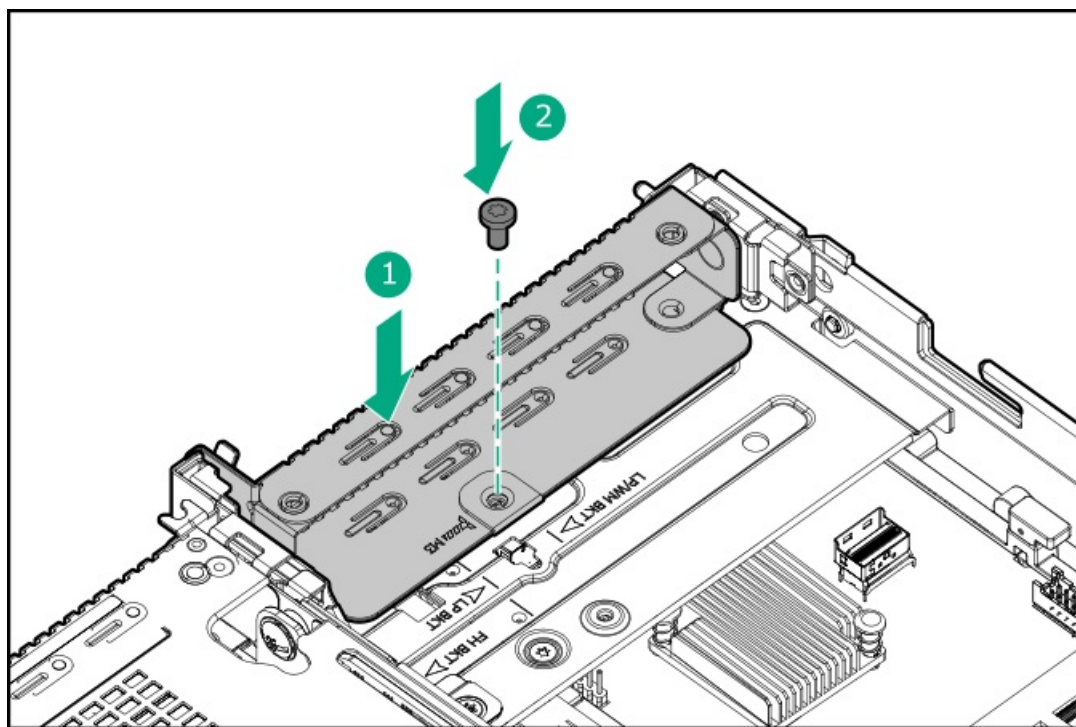
ライザーケースブランクの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. ライザーケースを取り外します。
8. ライザーケースブランクを取り付けます。



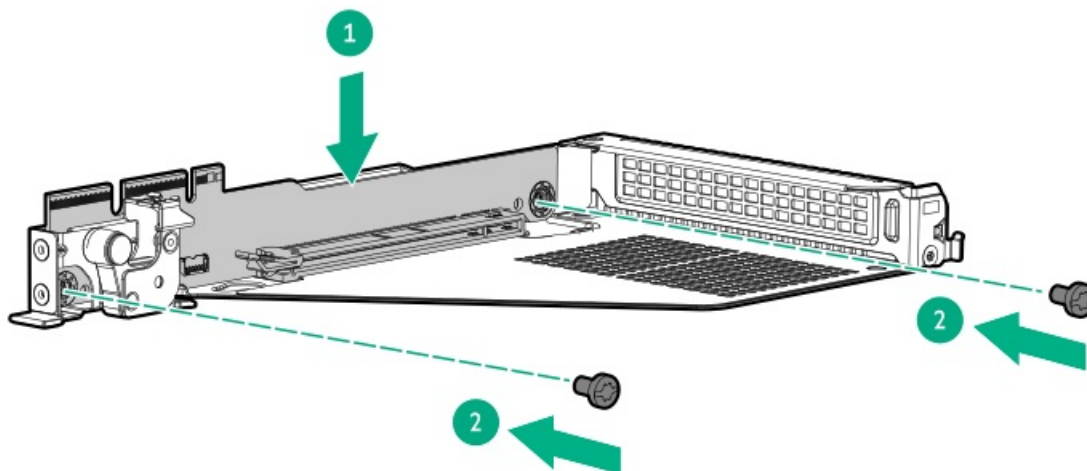
プライマリライザーケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-15トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. プライマリライザーケージブランクを取り外します。
8. ライザーボードをケージに取り付けてから、ネジを取り付けます。



9. プライマリライザーケージを取り付けます。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPUキャプティブライザーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー

- T-15トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

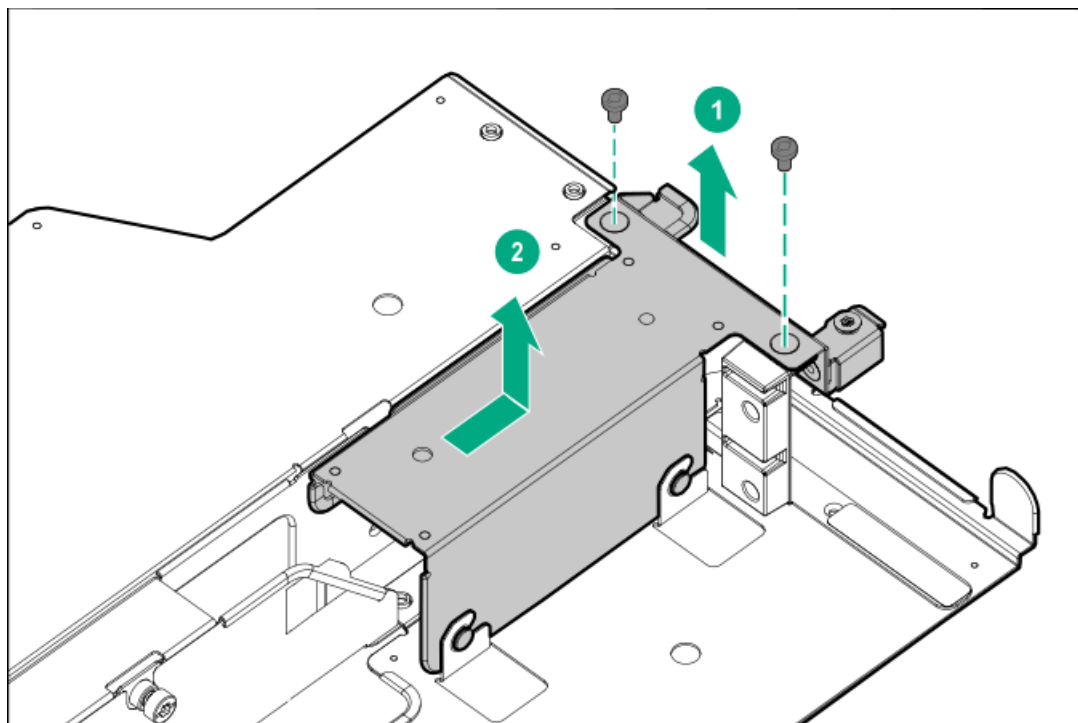
ハードウェアエラーが認識されたために、DIMM、バックプレーン、拡張カード、ライザーボード、またはその他の類似のPCAコンポーネントを交換する前に、まずコンポーネントがスロットにしっかりと装着されていることを確認してください。

交換用コンポーネントを取り付ける場合：

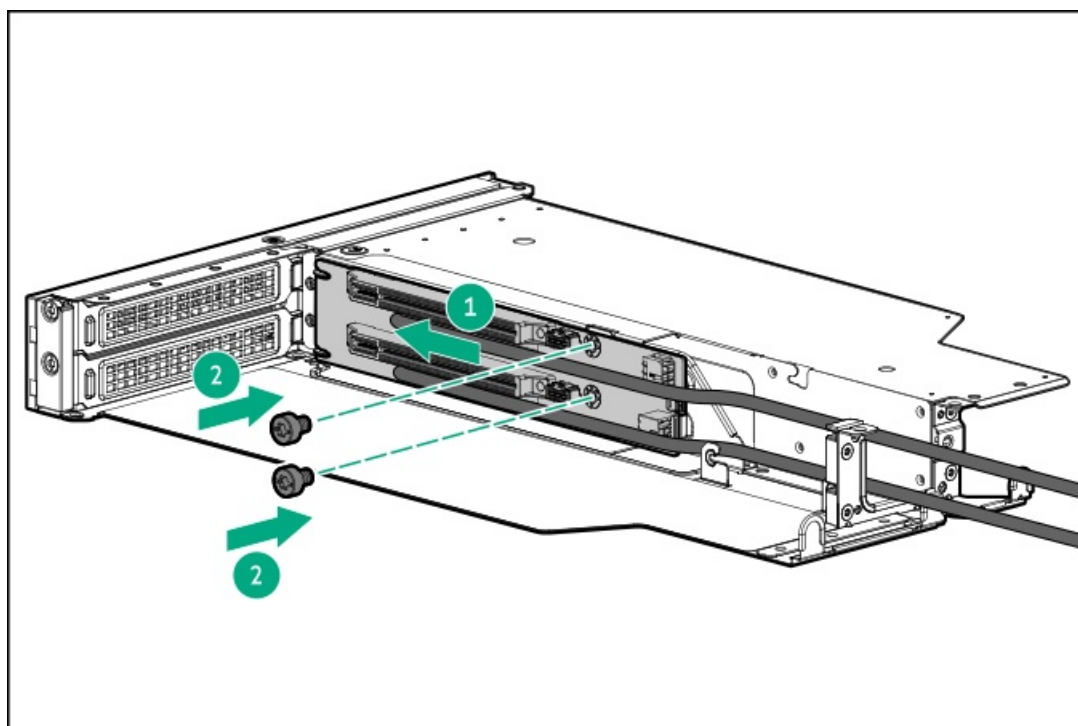
- 静電気防止の注意事項に従ってください。
- PCAは両端だけを持つようにしてください。
- PCAのコンポーネントやコネクタに触れないでください。
- PCAを曲げたり折ったりしないでください。

手順

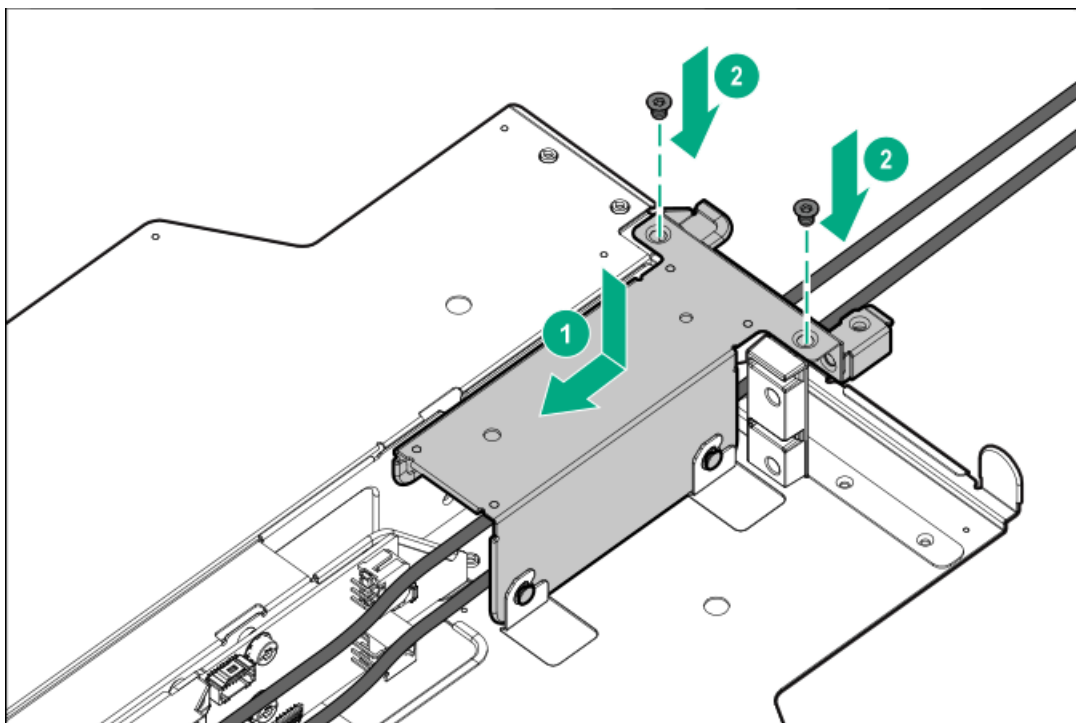
1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを開きます。
4. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
5. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
6. サーバーをラックから取り外します。
7. サーバーを平らで水平な面に置きます。
8. アクセスパネルを取り外します。
9. 中央カバーを取り外します。
10. GPUライザーケージを取り外します。
11. ケーブルホルダーを取り外します。



12. キャプティブライザーをスロットの中にスライドさせ、ネジを取り付けます。
ケーブルホルダーのスペースを通してケーブルが適切に配線されていることを確認してください。



13. ケーブルホルダーを取り付けます。



14. ケーブルをシステムボードに接続します。
15. GPUライザーケージを取り付けます。
16. 中央カバーを取り付けます。
17. アクセスパネルを取り付けます。
18. フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

拡張カードの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに必ず、ライザー SLOT ブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。



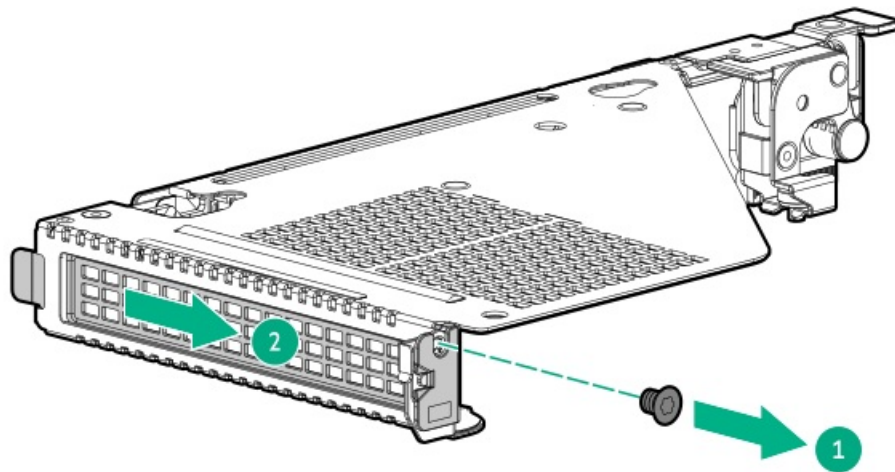
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

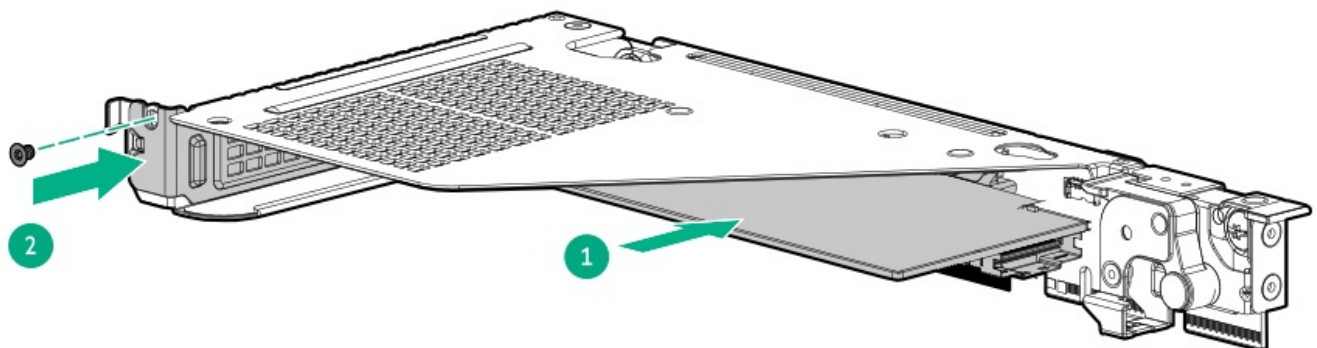
手順

1. サーバーの電源を切ります。

2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. ライザーケースを取り外します。
8. ライザー-slot ブランクを取り外します。
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



9. 拡張カードのスイッチまたはジャンパーが正しく設定されていることを確認します。
詳しくは、拡張カードオプションに付属のドキュメントを参照してください。
10. 拡張カードを取り付けます。
拡張カードがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



11. 必要な内部ケーブルをすべて拡張カードに接続します。
これらのケーブル接続の要件について詳しくは、オプションに付属のドキュメントを参照してください。
12. ライザーケースを取り付けます。
13. アクセスパネルを取り付けます。

14. サーバーをラックに取り付けます。
15. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
16. 各電源コードをサーバーに接続します。
17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

オプティカルドライブとメディアベイ

サブトピック

- 4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBアセンブリの取り付け
- 4 LFF (3.5型) オプティカルドライブの取り付け
- 8 SFF (2.5型) ディスプレイポート/USB/オプティカルドライブページの取り付け
- 8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け
- 混合フロントエンドDisplayPort/USB/オプティカルブランクおよびオプティカルドライブオプションの取り付け

4 LFF (3.5型) ディスプレイポート/USBアセンブリの取り付け

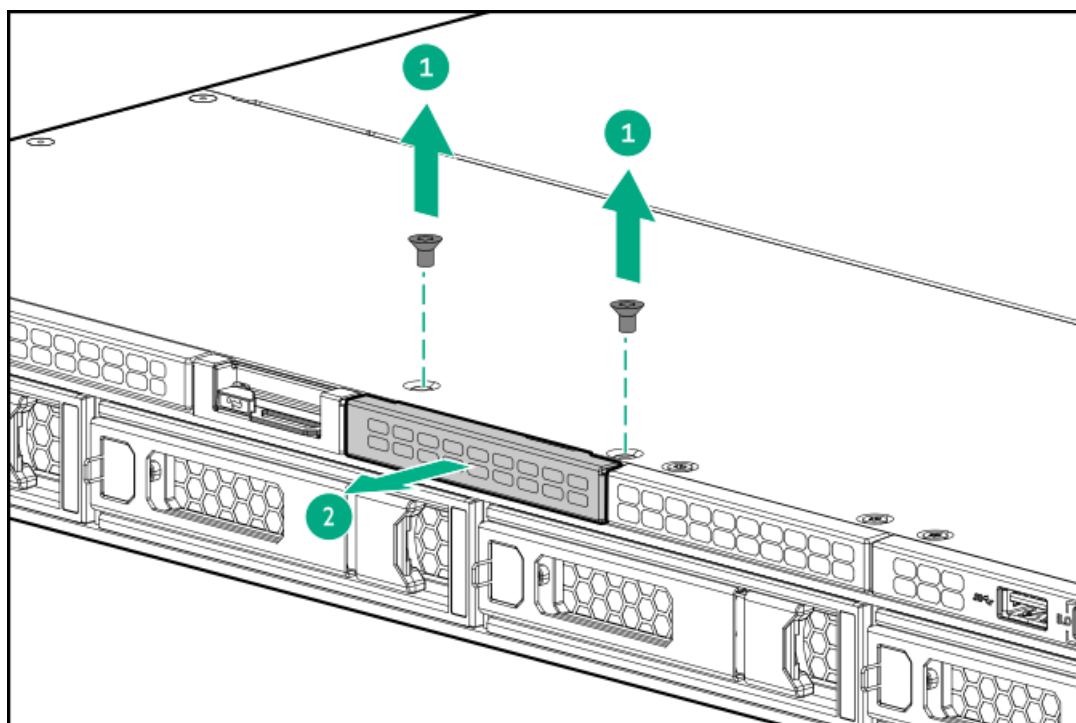
前提条件

この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

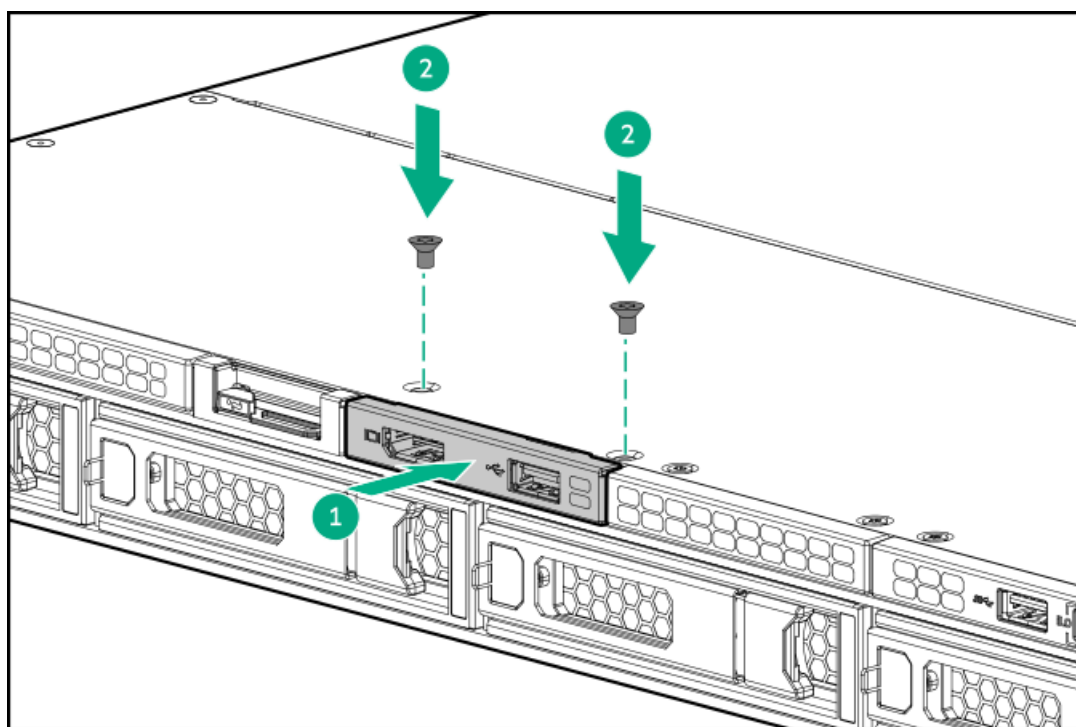
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. フロントUSBおよびDisplayPortブランクを取り外します。

ネジは保管しておいてください。これらのネジは、フロントUSBおよびDisplayPortアセンブリを固定するために使用されます。



8. フロントUSBおよびDisplayPortアセンブリを取り付けます。



9. オプションのケーブルを接続します。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。
15. フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

4 LFF（3.5型）オプティカルドライブの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー（No. 1）

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

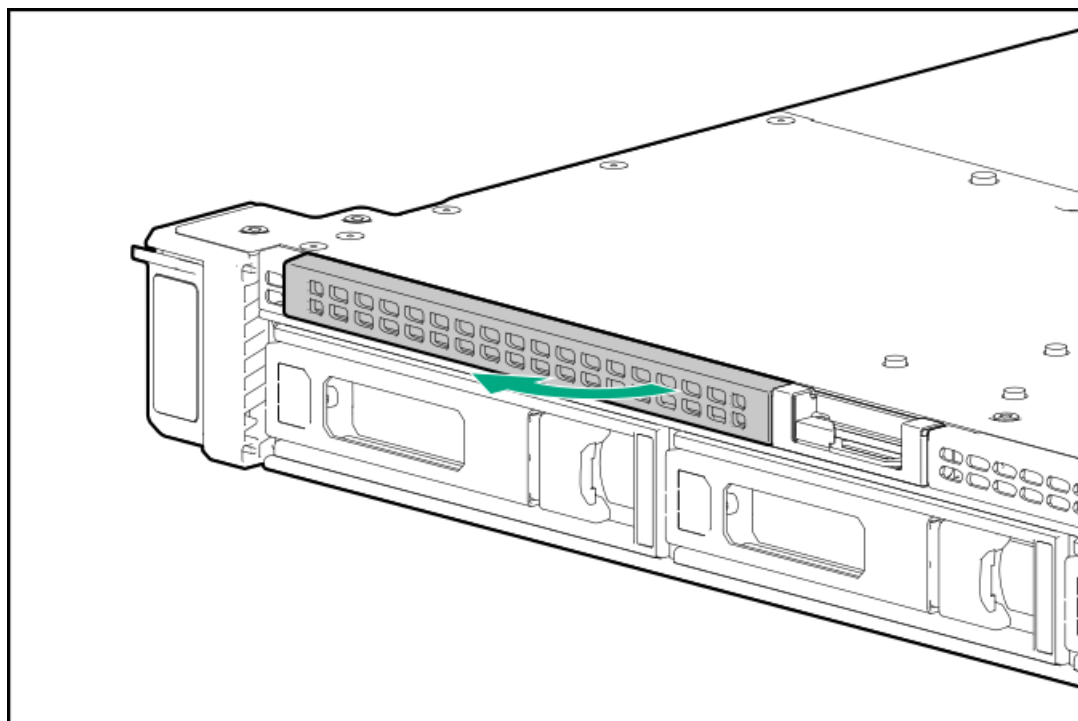


注意

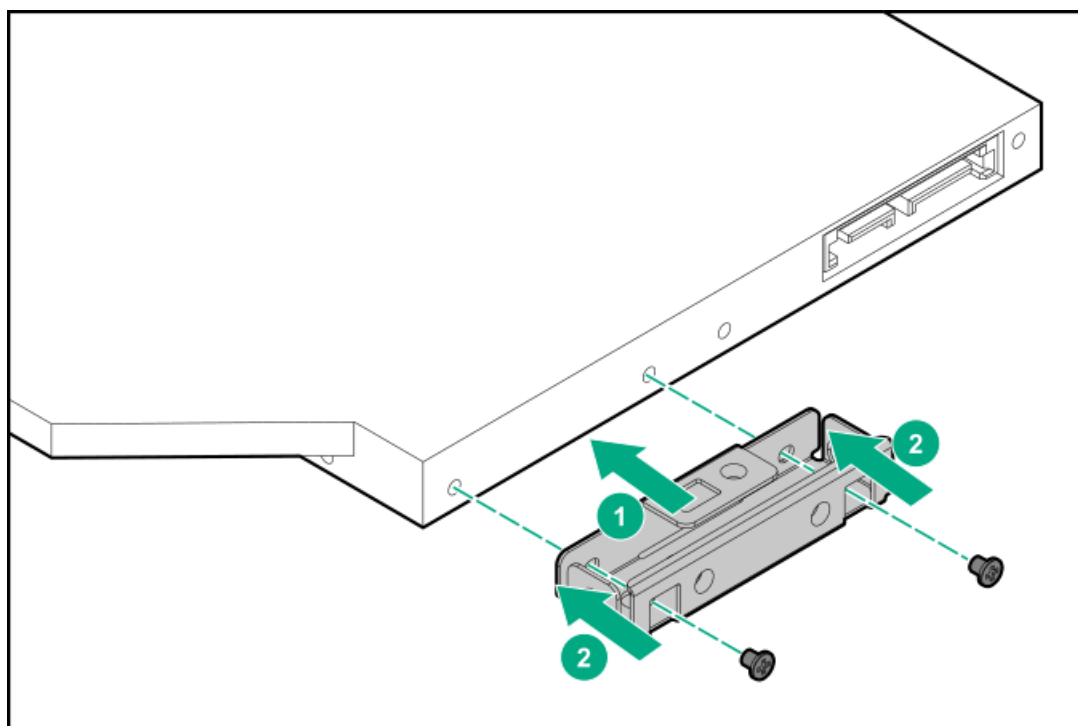
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

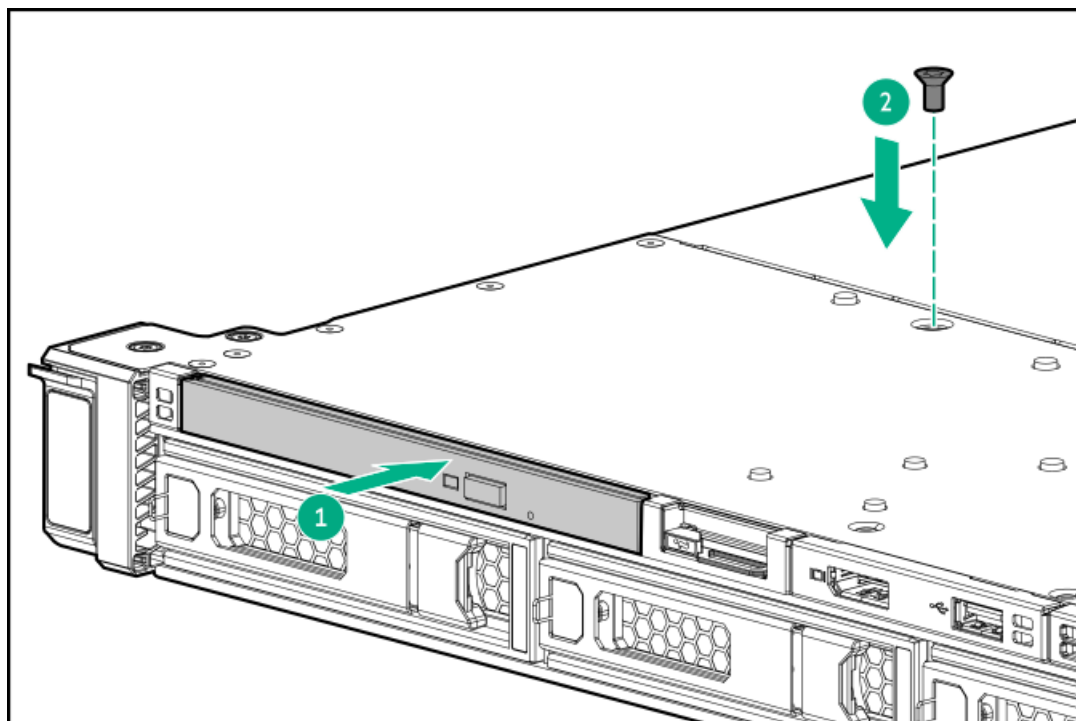
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. LFF（3.5型）オプティカルドライブベイブランクを取り外します。



9. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



10. オプティカルドライブを取り付けます。



11. ケーブルをシステムボードに接続します。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをラックに取り付けます。
14. フロントベゼルを取り付けます。
15. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
16. 各電源コードをサーバーに接続します。
17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF（2.5型）ディスプレイポート/USB/オプティカルドライブケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

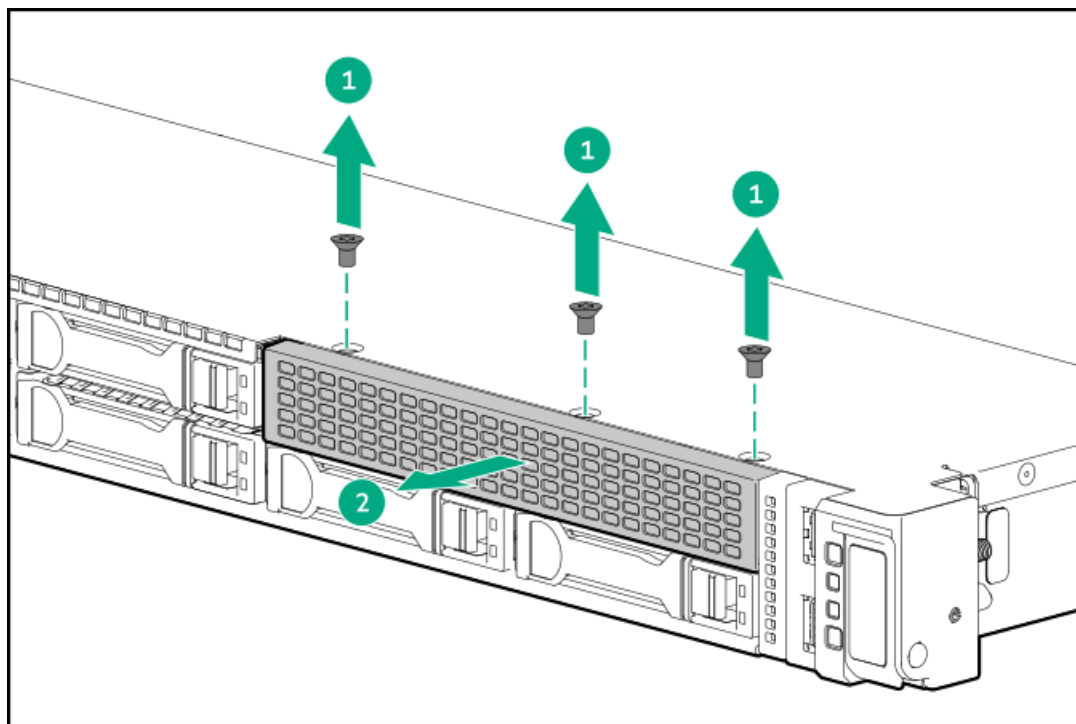
- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー（No. 1）

手順

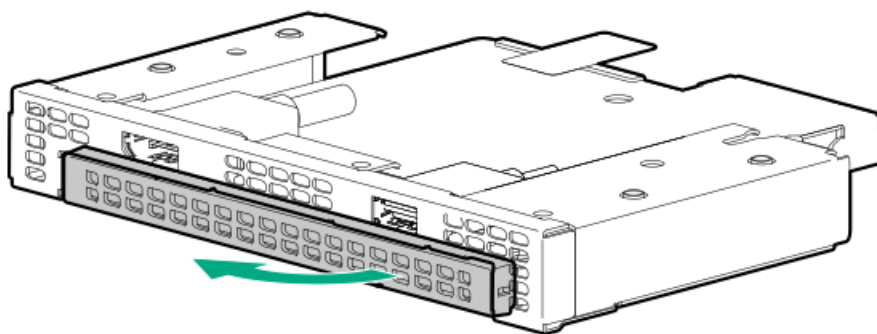
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。

4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. ユニバーサルメディアベイブランクを取り外します。

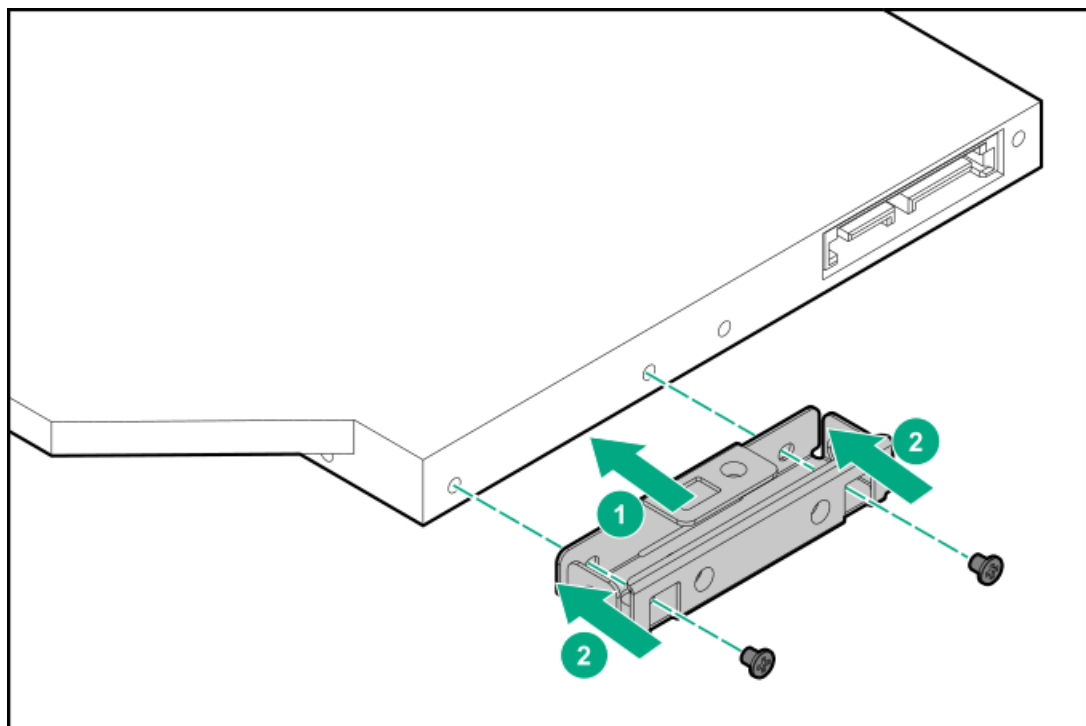
ネジとブランクは保管しておいてください。これらのネジは、新しいオプティカルドライブケースを固定するために使用されます。



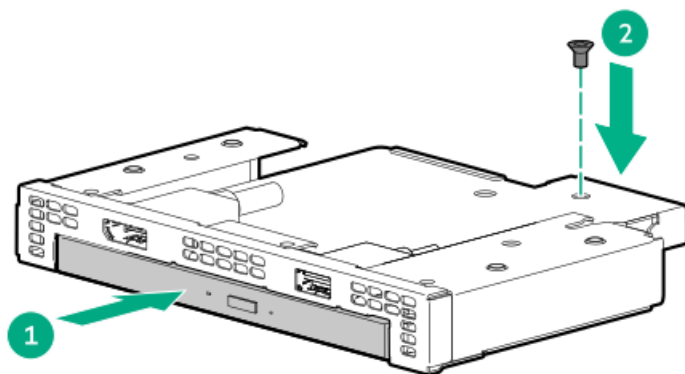
9. オプティカルドライブベイブランクをドライブケースから取り外します。
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



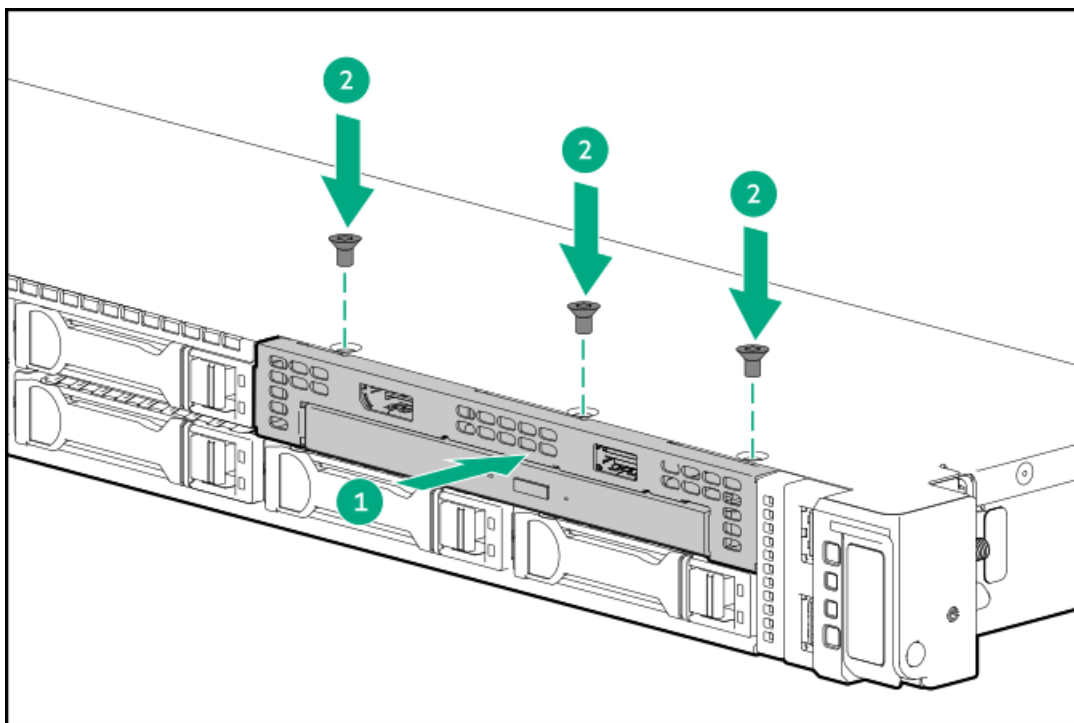
10. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



11. オプティカルドライブをオプティカルドライブページに取り付けます。



12. ユニバーサルメディアベイにオプティカルドライブページを取り付けます。



13. オプションのケーブルを接続します。
14. アクセスパネルを取り付けます。
15. サーバーをラックに取り付けます。
16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. サーバーの電源を入れます。
19. フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 SFF (2.5型) オプティカルドライブの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

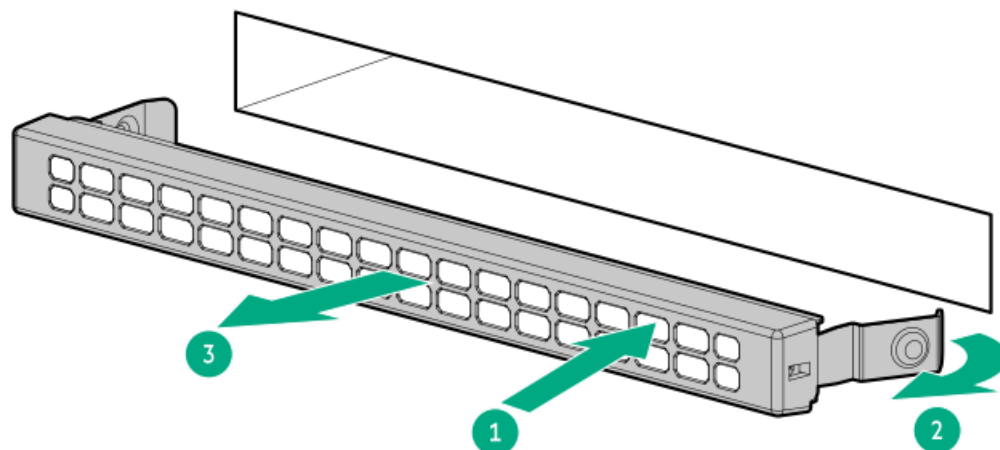


注意

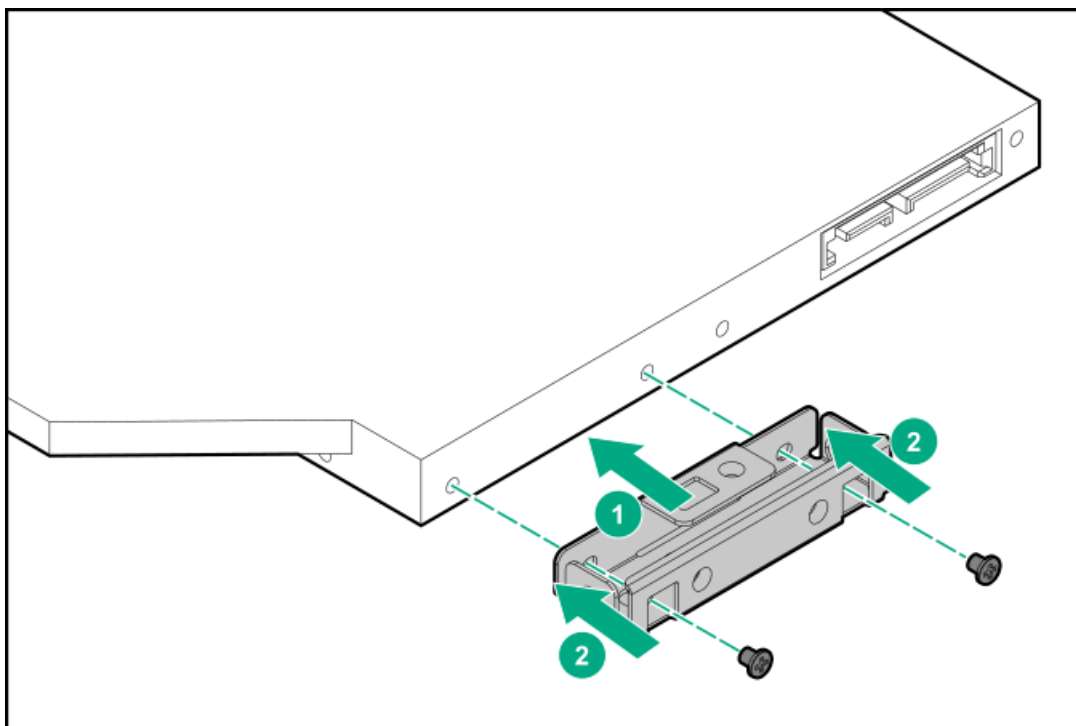
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

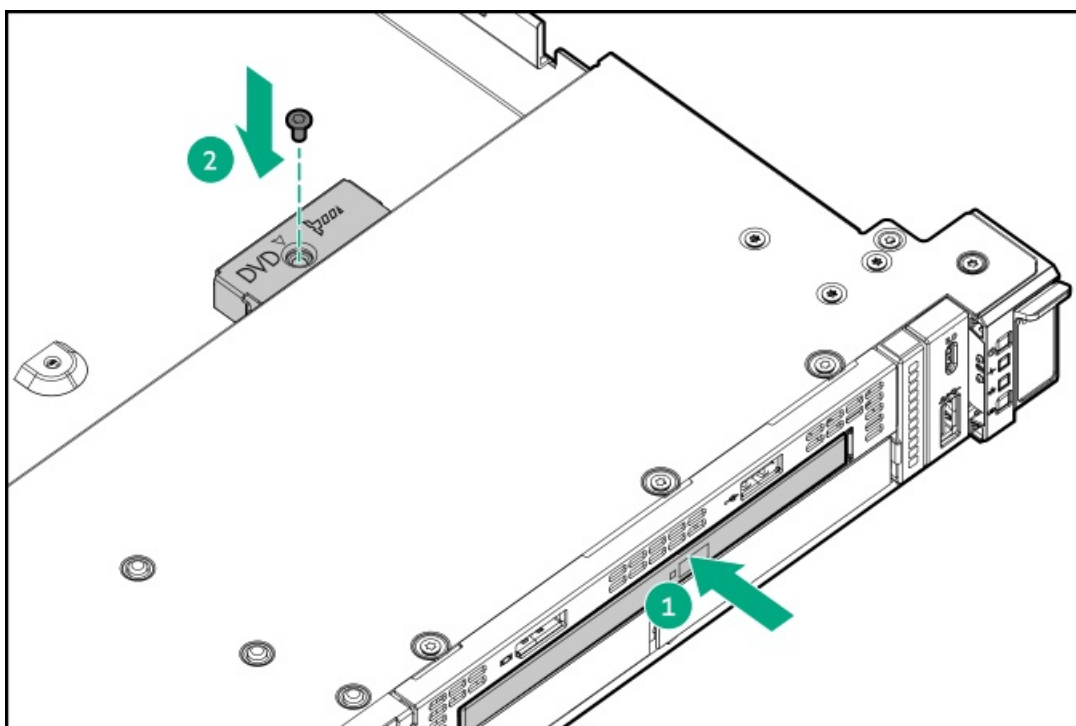
1. すべてのサーバーデータをバックアップします。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. オプティカルドライブブラנקを取り外します。



8. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



9. オプティカルドライブを取り付けます。



10. オプションのケーブルを接続します。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. フロントベゼルを取り付けます。
14. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
15. 各電源コードをサーバーに接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

混合フロントエンドDisplayPort/USB/オプティカルブランクおよびオプティカルドライブオプションの取り付け

前提条件

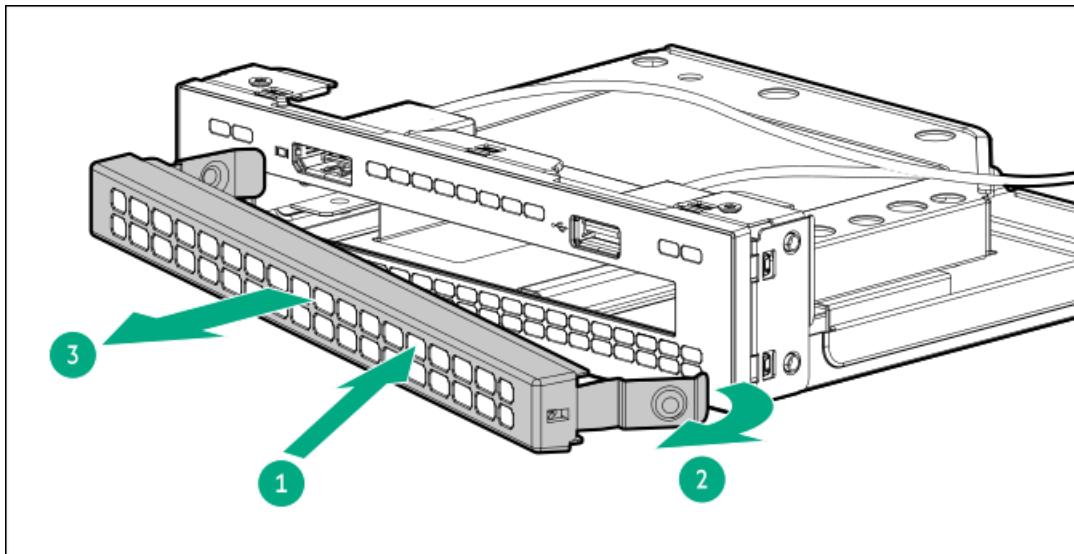
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- T-25トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

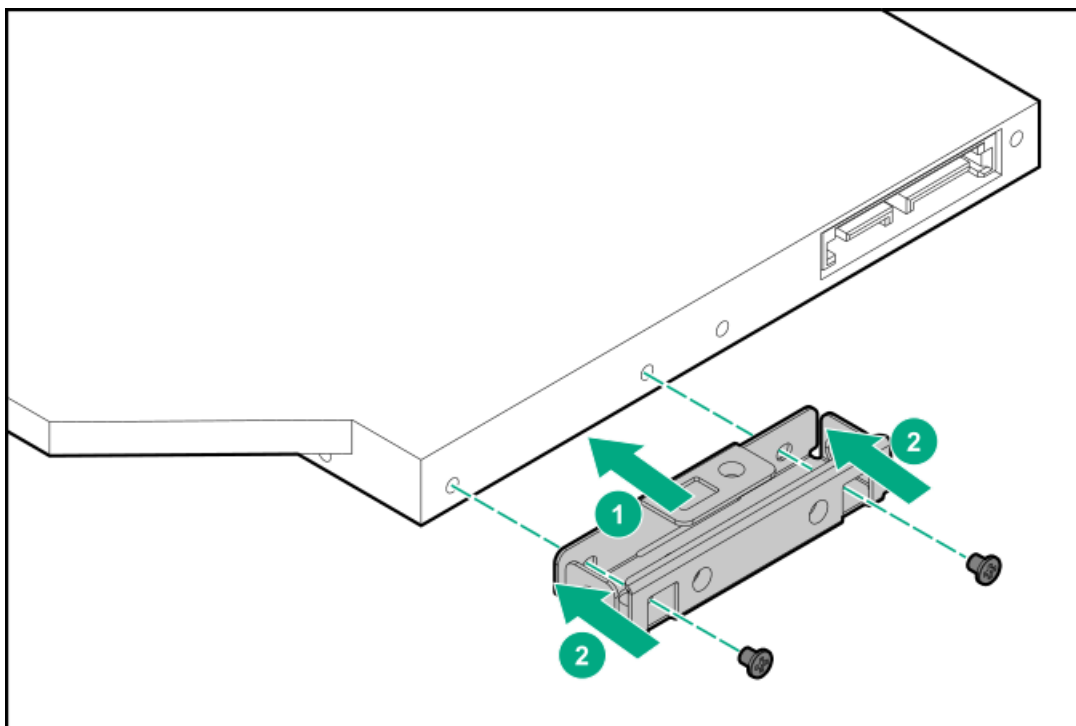
手順

オプティカルドライブを取り付ける

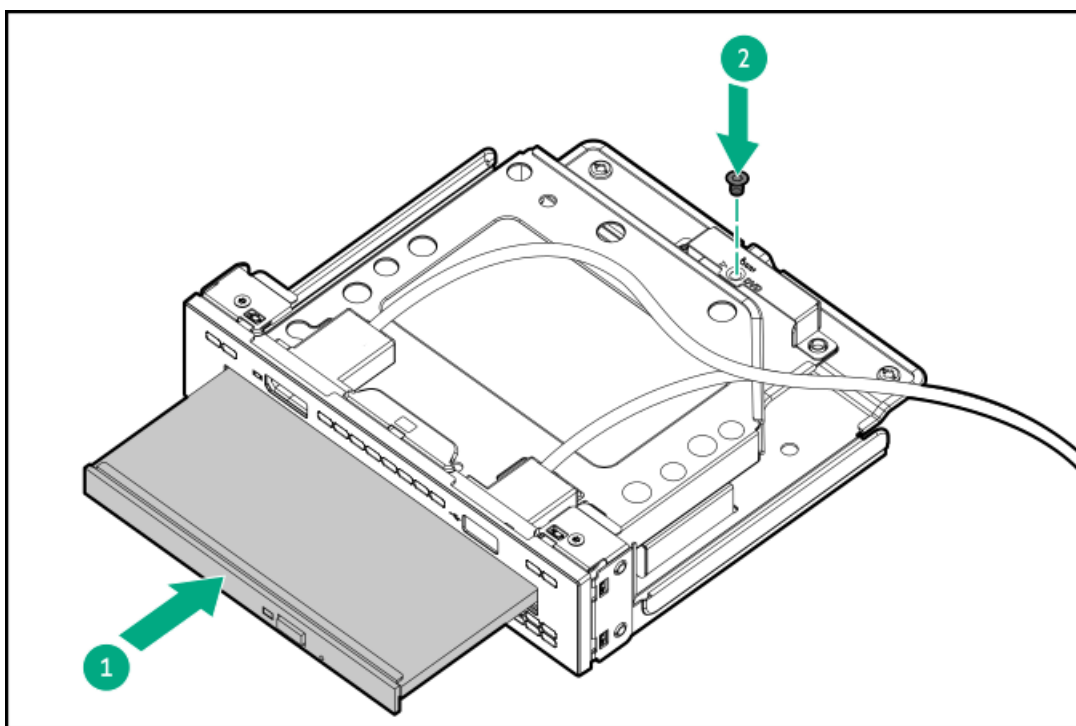
1. オプティカルドライブブランクを取り外します。



2. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



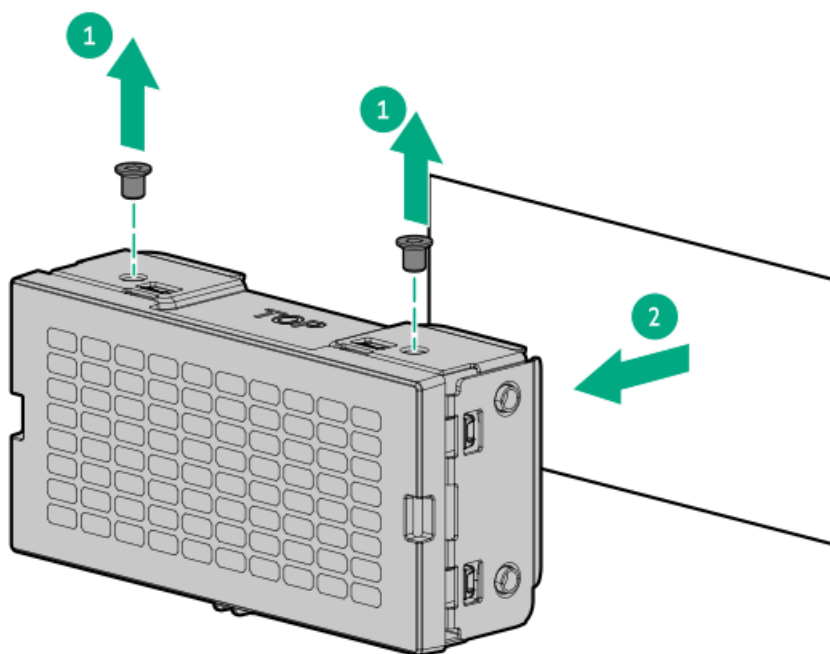
3. オプティカルドライブを取り付けます。



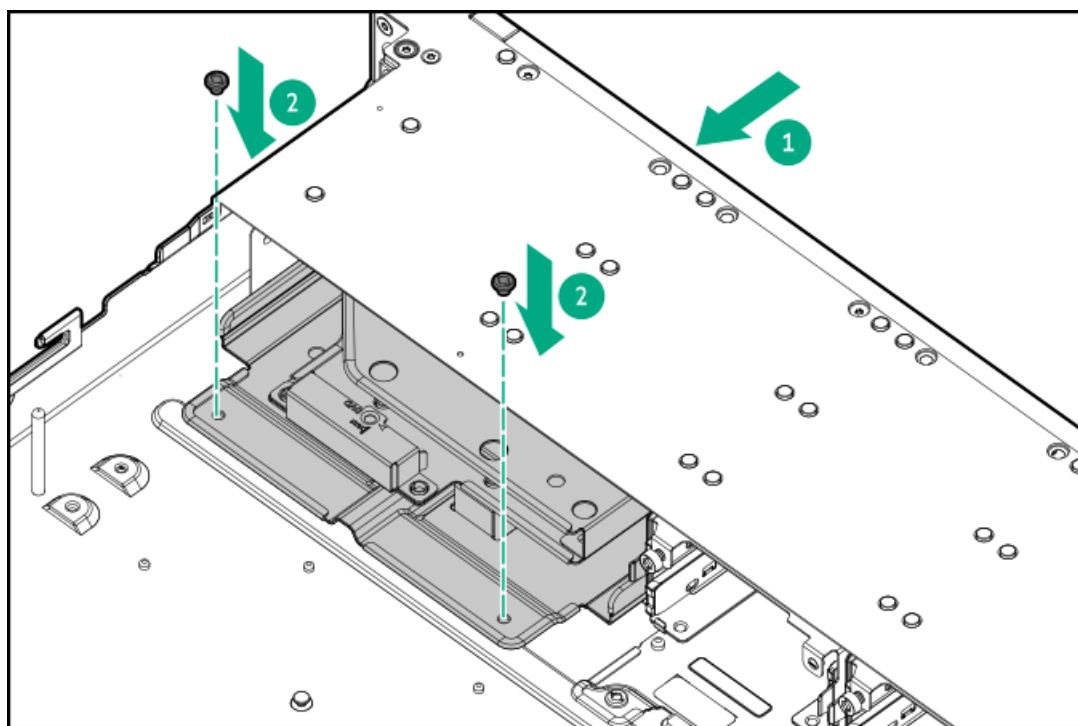
DisplayPort/USB/オプティカルブランクを取り付ける

4. すべてのサーバーデータをバックアップします。
5. サーバーの電源を切ります。
6. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
7. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
8. 以下のいずれかを実行します。

- a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
- 9. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
 - 10. アクセスパネルを取り外します。
 - 11. 中央カバーを取り外します。
 - 12. ボックス4およびボックス5からブランクを取り外します。



- 13. DisplayPort/USB/オプティカルブランクオプションを取り付けます。



- 14. オプティカルドライブのケーブルを接続します。

15. DisplayPort/USBケーブルを接続します。
16. アクセスパネルを取り付けます。
17. サーバーをラックに取り付けます。
18. フロントベゼルを取り付けます。
19. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
20. 各電源コードをサーバーに接続します。
21. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OSブートデバイス

サブトピック

ボックス3へのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

シャーシへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

電源装置ベイへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

ロープロファイルライザーケース横へのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

ボックス3へのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

前提条件

取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- T-25トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



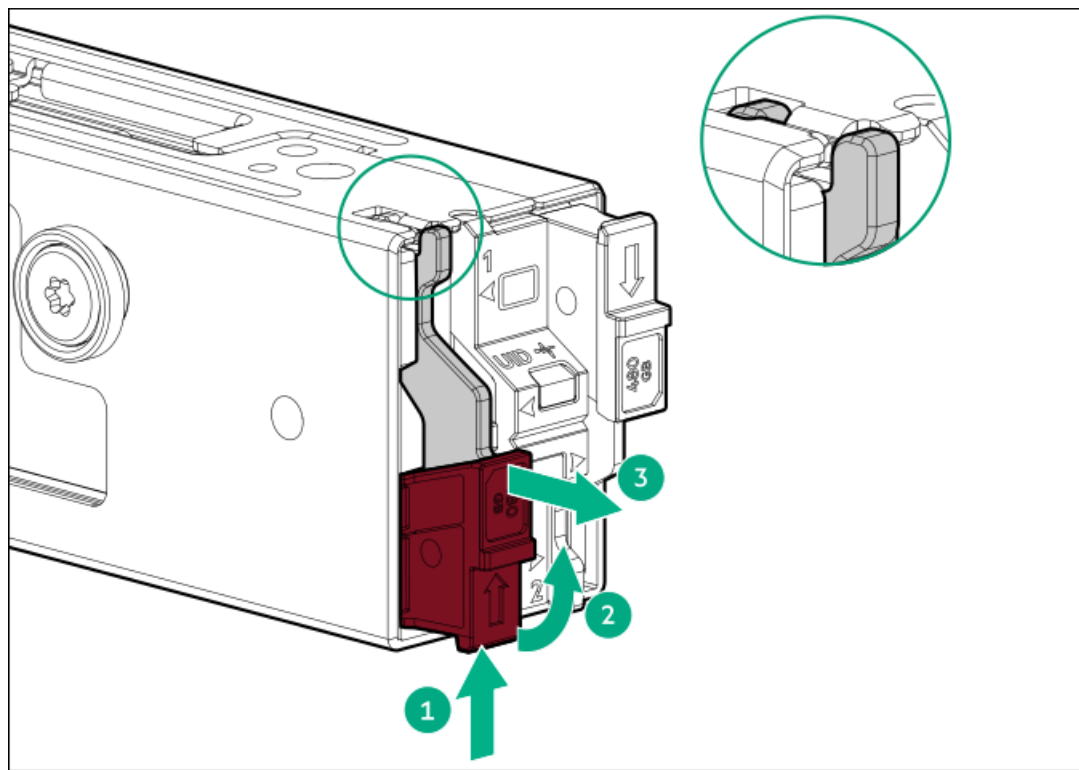
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

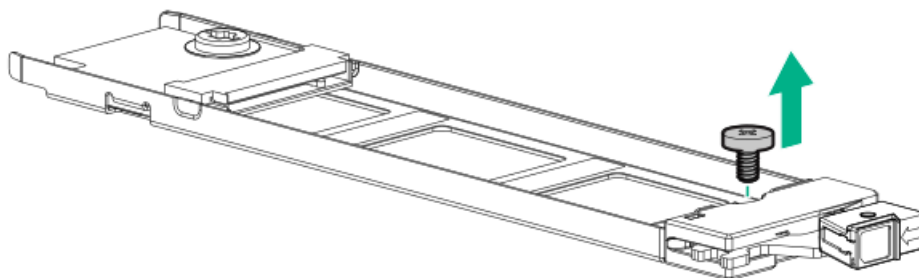
ブートデバイスにドライブを取り付ける

1. ブートデバイスキャリアを取り外します。
 - a. ラッチを押したままにします。
 - b. ラッチを回転させて開きます。
 - c. キャリアをスライドさせてブートデバイスケースから引き出します。



2. ブートデバイスキャリアにSSDを取り付けます。

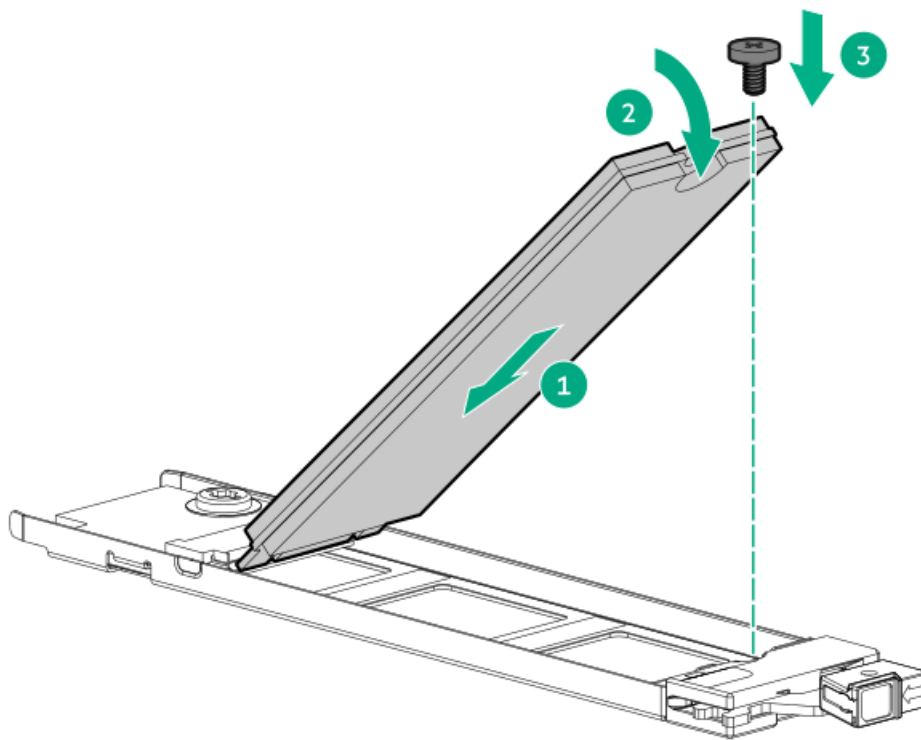
a. SSD取り付けネジを取り外します。



b. SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します。

c. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます。

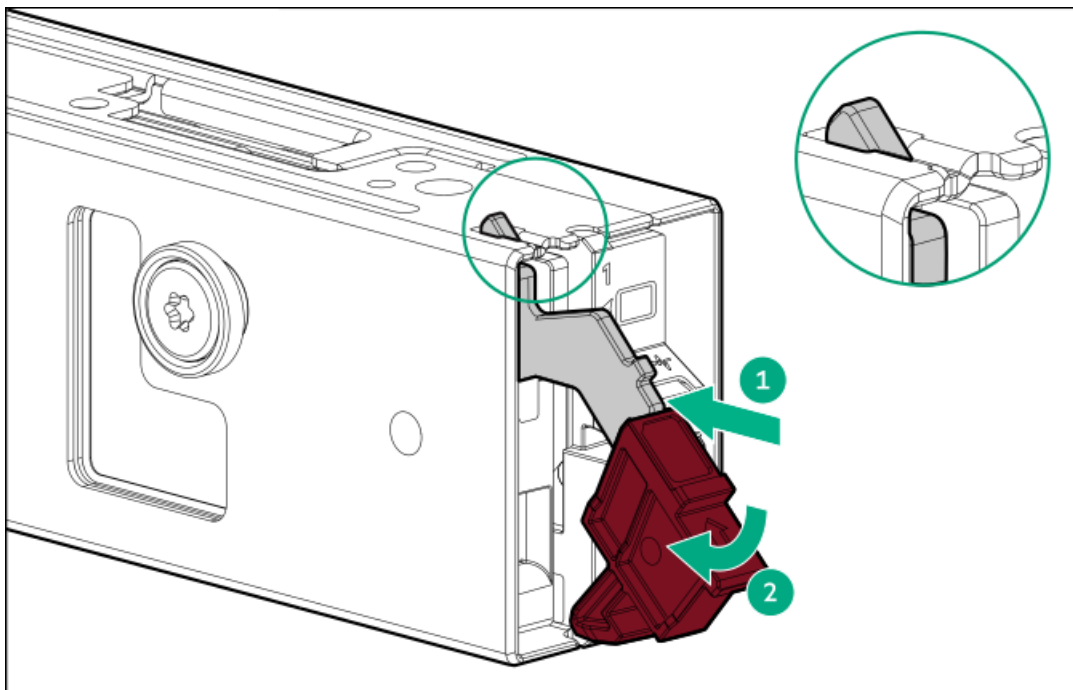
d. SSDの取り付けネジを取り付けます。



3. ブートデバイスキャリアを取り付けます。

- a. キャリアラッチが閉じている場合は、回転させて開きます。
- b. キャリアをスライドさせてブートデバイスベイに挿入します。
- c. ラッチを回転させて閉じます。

キャリアラッチがブートデバイスベイにロックされていることを確認します。



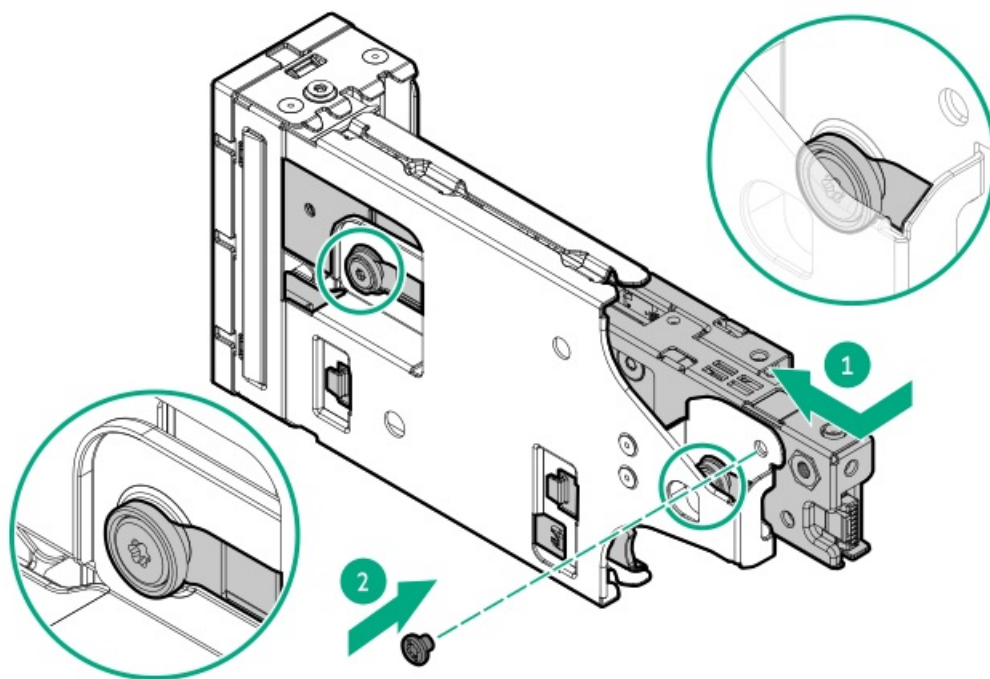
ブートデバイスの取り付け

4. サーバーの電源を切ります。

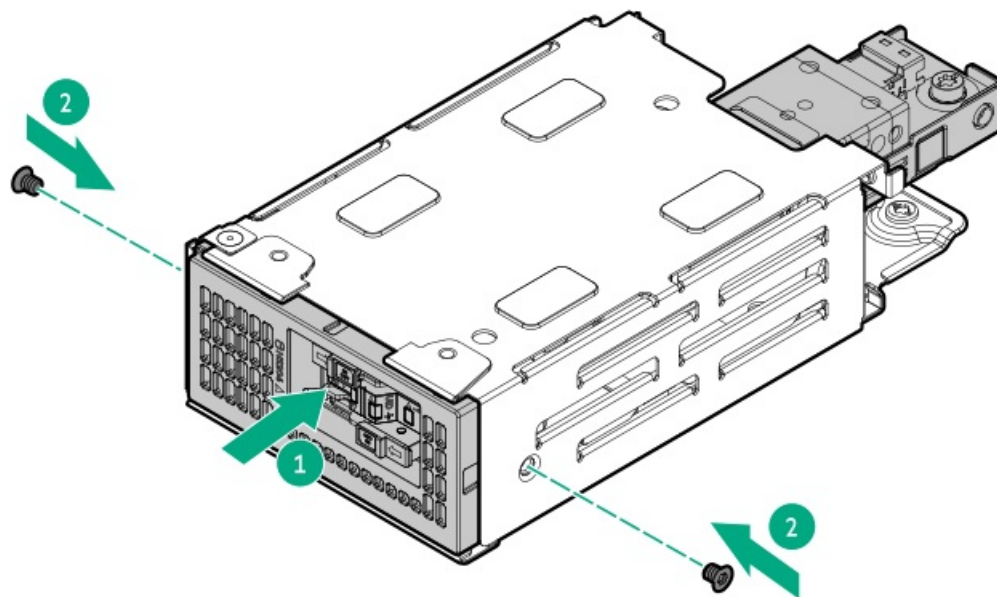
5. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
6. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
7. サーバーをラックから取り外します。
8. サーバーを平らで水平な面に置きます。
9. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
10. アクセスパネルを取り外します。
11. 中央カバーを取り外します。
12. ブートデバイスをブラケットに取り付けます。

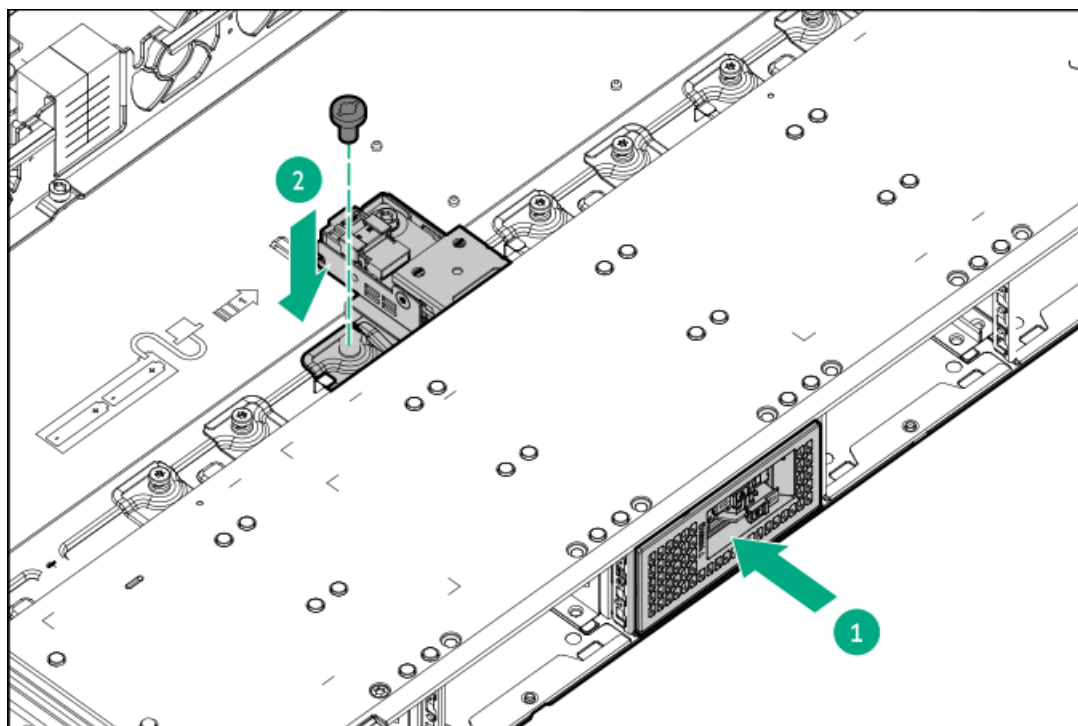


13. ブートデバイスブラケットを多目的ケーシングに取り付けます。



14. ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。

15. サーバーにケースを取り付けます。



16. ケーブルをシステムボードに接続します。

17. アクセスパネルを取り付けます。

18. 中央カバーを取り付けます。

19. サーバーをラックに取り付けます。

20. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

21. 各電源コードをサーバーに接続します。

22. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

シャーシへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

前提条件

取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- T-25トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



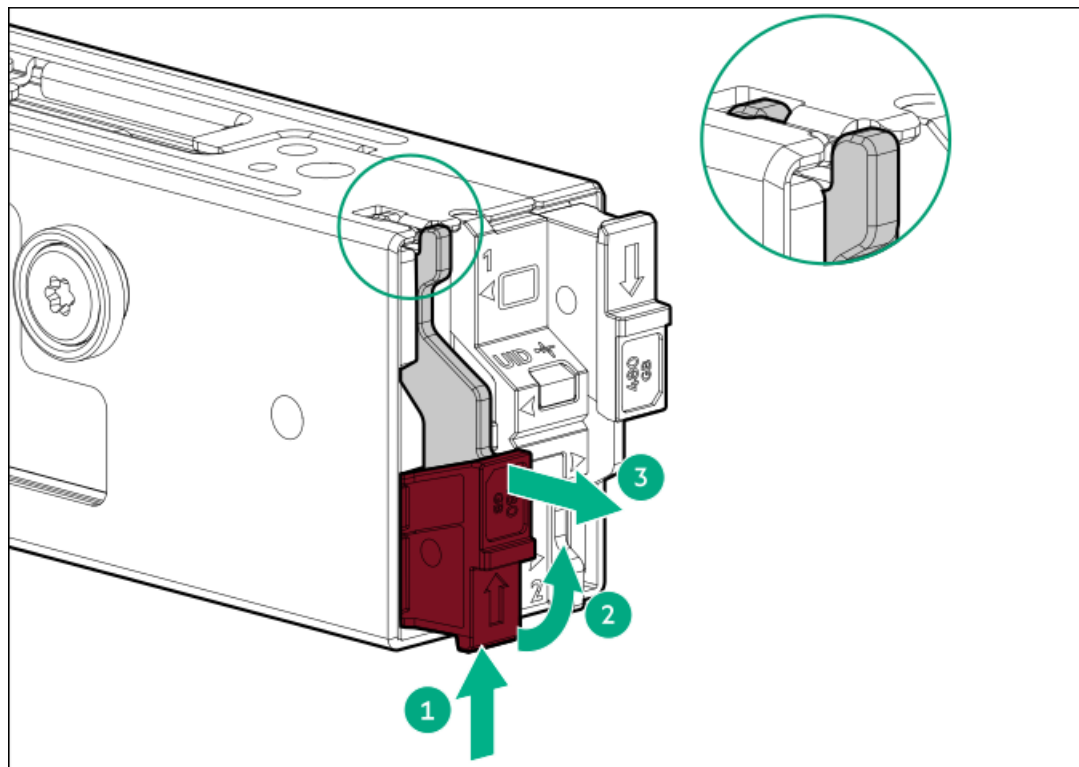
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

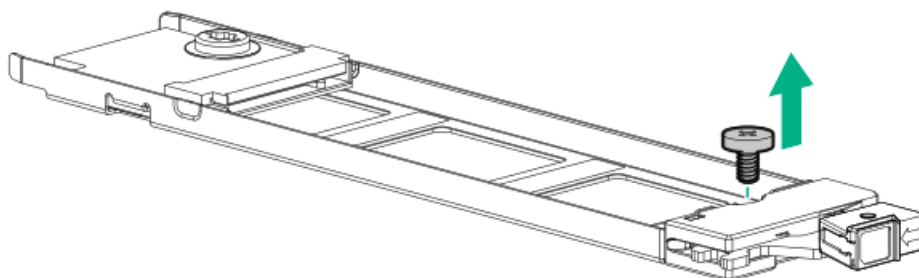
手順

ブートデバイスにドライブを取り付ける

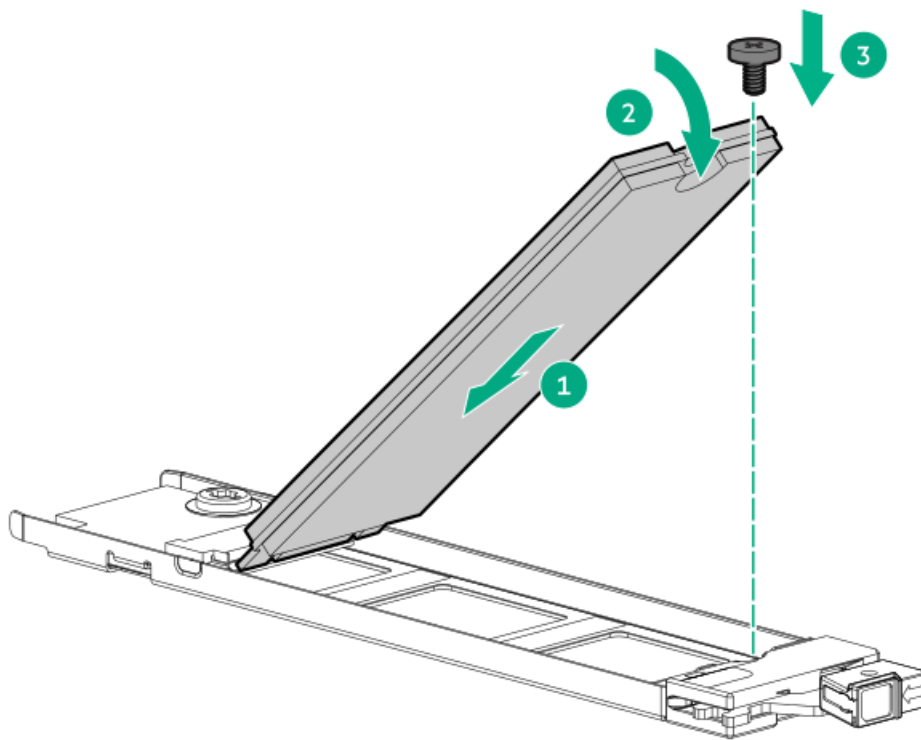
1. ブートデバイスキャリアを取り外します。
 - a. ラッチを押したままにします。
 - b. ラッチを回転させて開きます。
 - c. キャリアをスライドさせてブートデバイスケースから引き出します。



2. ブートデバイスキャリアにSSDを取り付けます。
 - a. SSD取り付けネジを取り外します。



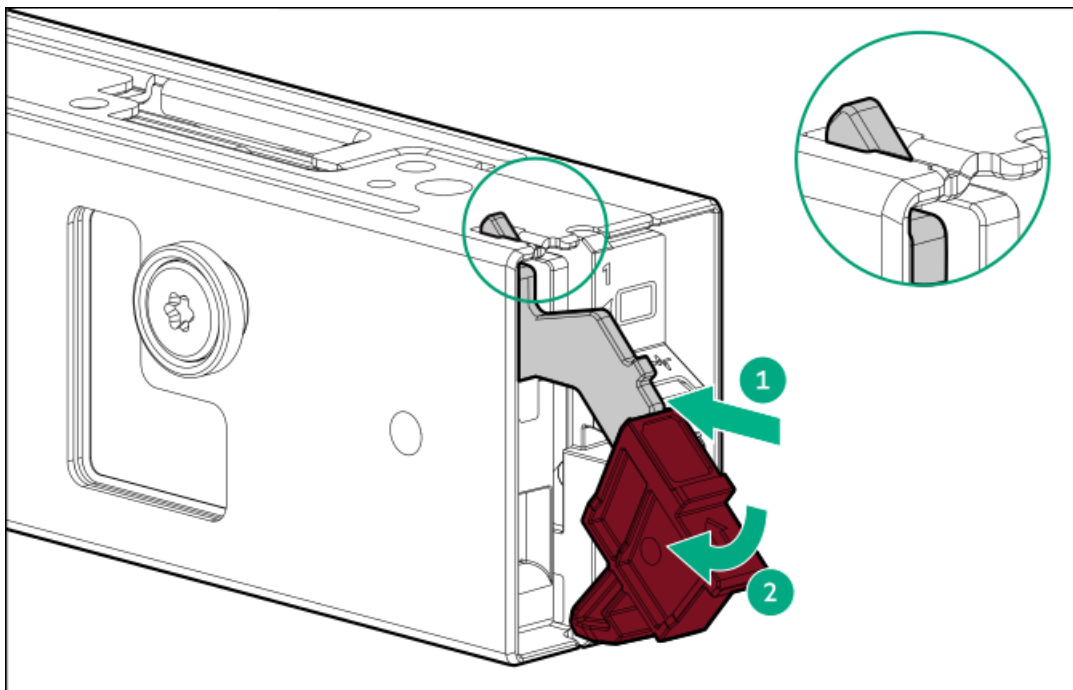
- b. SSDを45度の角度でM. 2スロットに挿入します。
 - c. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます。
 - d. SSDの取り付けネジを取り付けます。



3. ブートデバイスキャリアを取り付けます。

- a. キャリアラッチが閉じている場合は、回転させて開きます。
- b. キャリアをスライドさせてブートデバイスケースに挿入します。
- c. ラッチを回転させて閉じます。

キャリアラッチがブートデバイスケースにロックされていることを確認します。



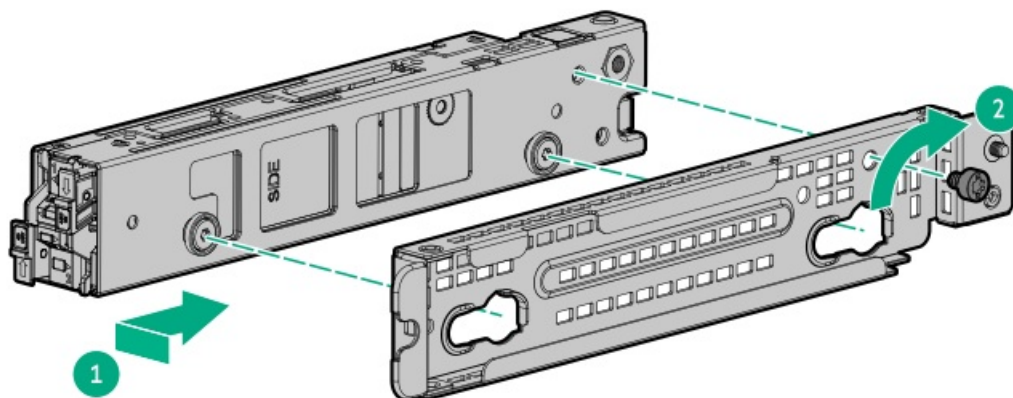
ブートデバイスの取り付け

4. サーバーの電源を切ります。

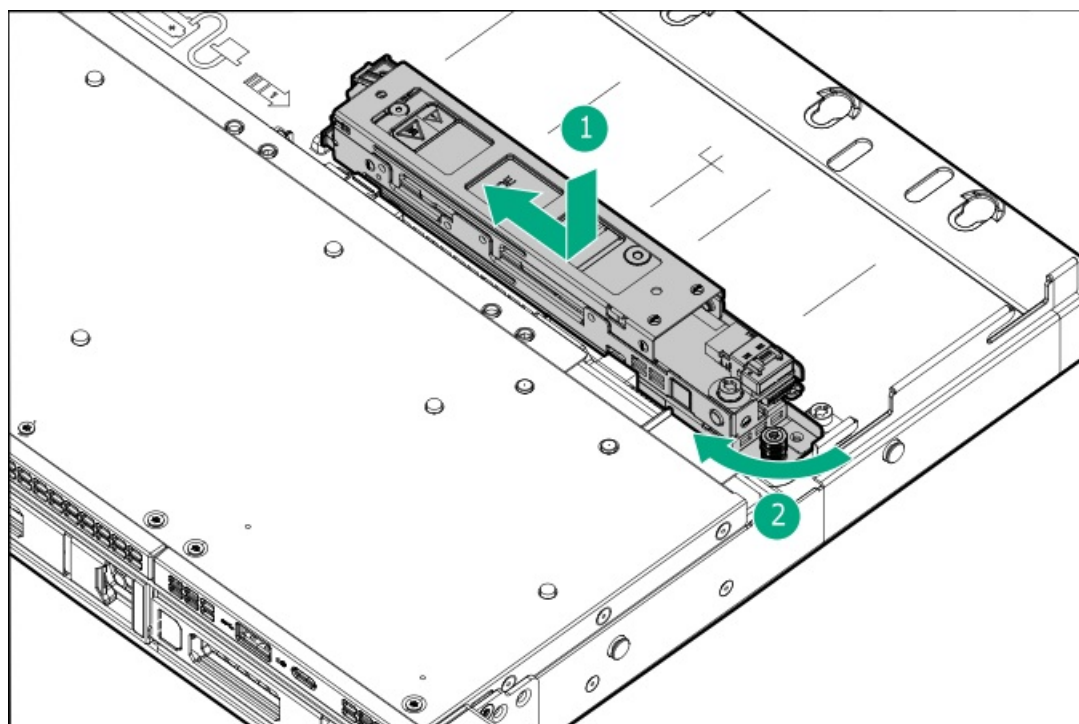
5. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

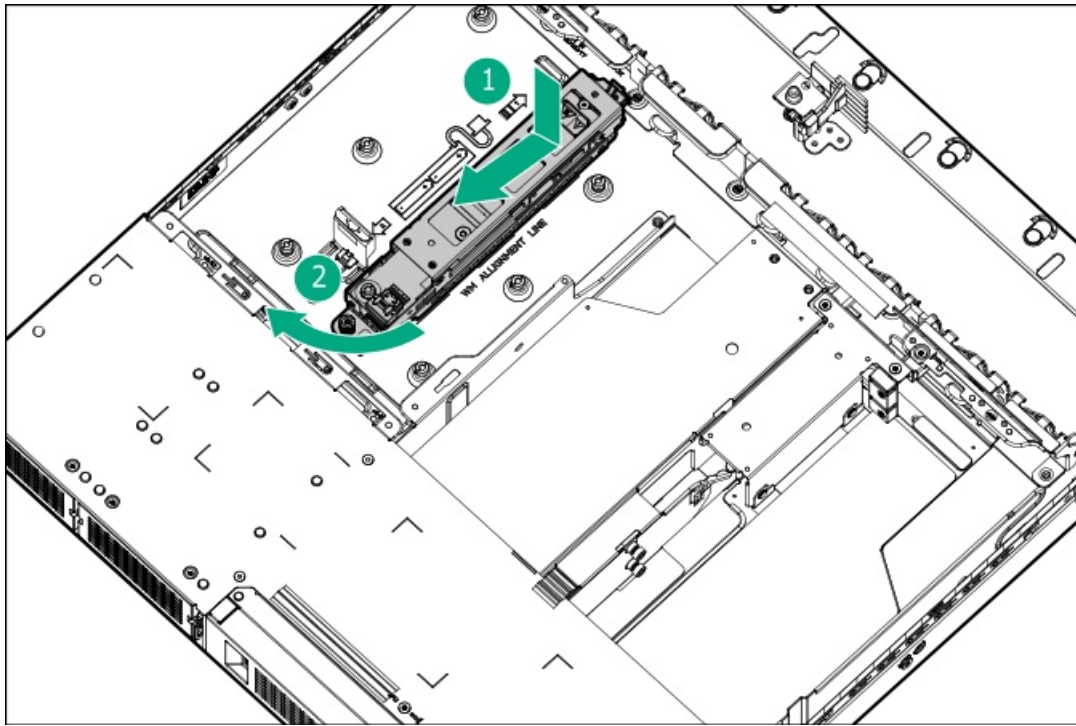
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
6. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
7. サーバーをラックから取り外します。
8. サーバーを平らで水平な面に置きます。
9. 中央カバーを取り外します。
10. マウンティングブラケットを取り付けます。



11. ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。
12. ブートデバイスを取り付けます。
 - a. ブートデバイスをシャーシに揃えます。
 - b. つまみネジを固定します。
 - 4 LFF (3.5型) ドライブ構成



- GPUに最適化されたドライブ構成



13. ケーブルをシステムボードに接続します。
14. 中央カバーを取り付けます。
15. サーバーをラックに取り付けます。
16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

電源装置ベイへのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

前提条件

取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



注意

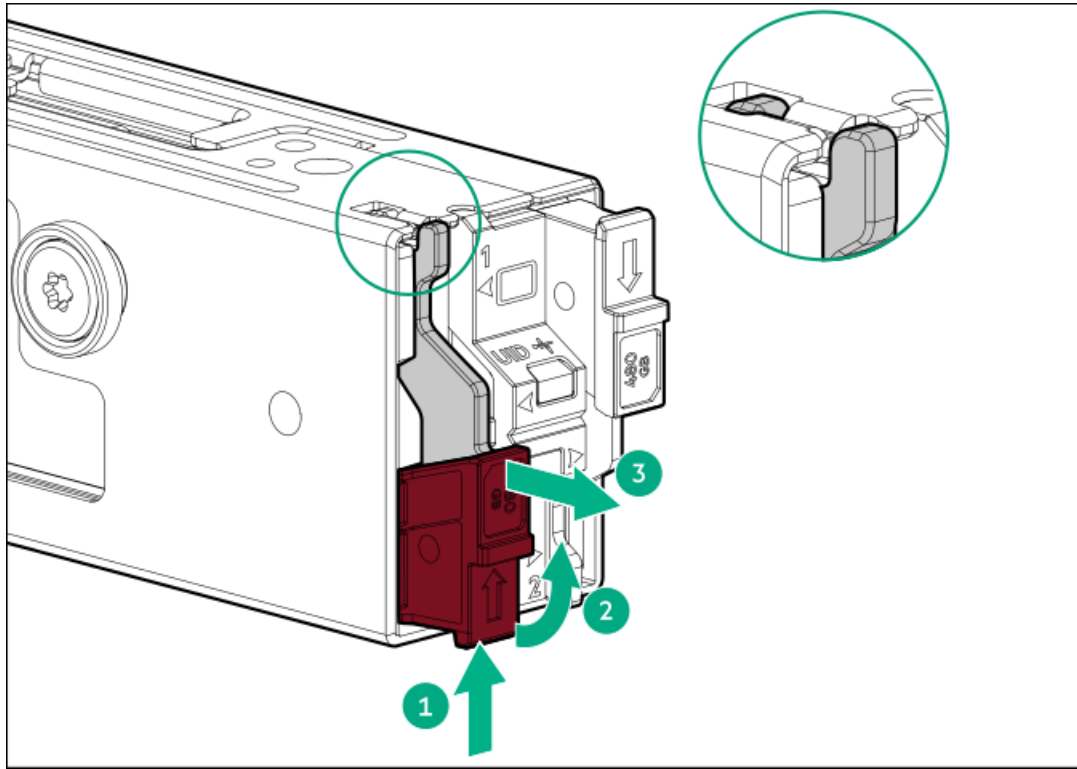
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

ブートデバイスにドライブを取り付ける

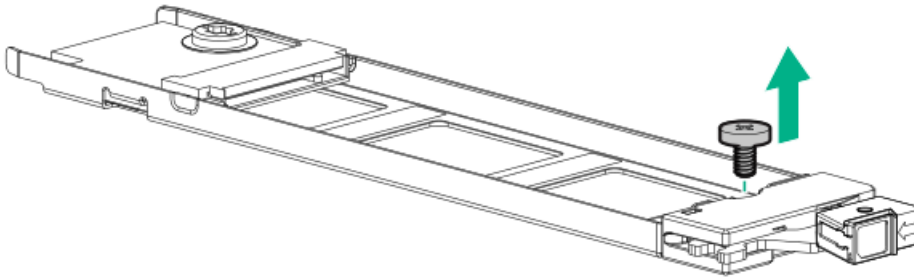
1. ブートデバイスキャリアを取り外します。

- ラッチを押したままにします。
- ラッチを回転させて開きます。
- キャリアをスライドさせてブートデバイスケースから引き出します。

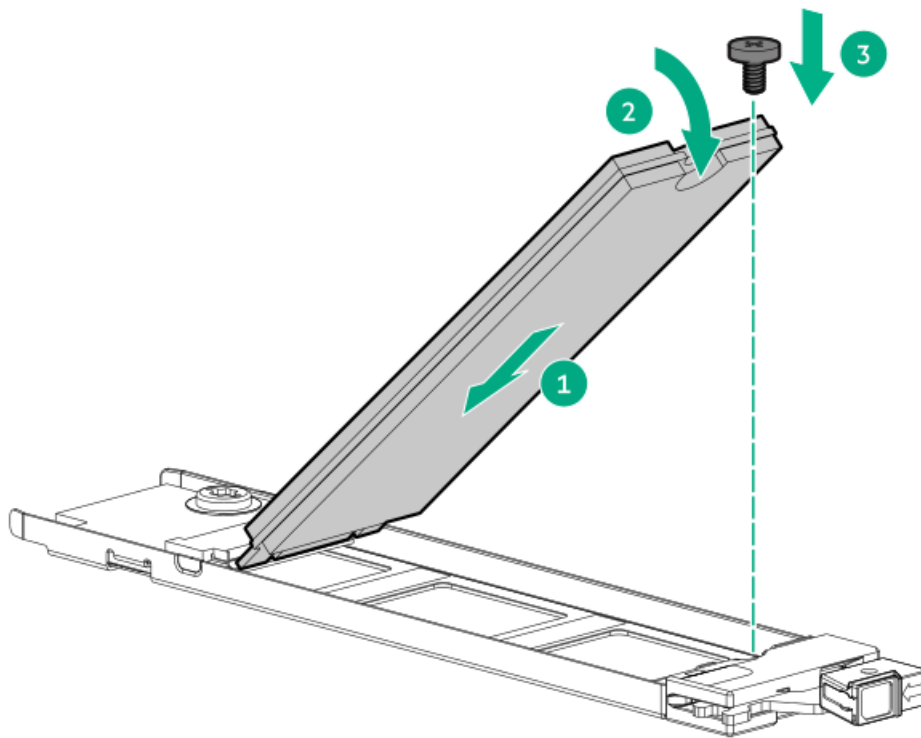


2. ブートデバイスキャリアにSSDを取り付けます。

- SSD取り付けネジを取り外します。



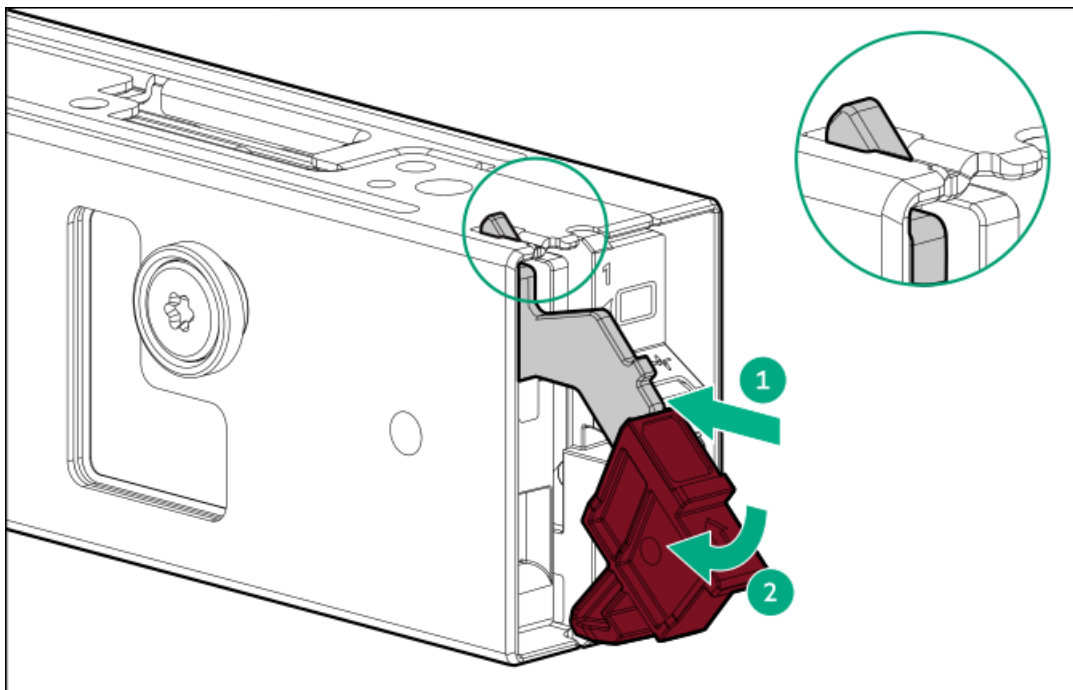
- SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します。
- SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます。
- SSDの取り付けネジを取り付けます。



3. ブートデバイスキャリアを取り付けます。

- a. キャリアラッチが閉じている場合は、回転させて開きます。
- b. キャリアをスライドさせてブートデバイスケースに挿入します。
- c. ラッチを回転させて閉じます。

キャリアラッチがブートデバイスケースにロックされていることを確認します。



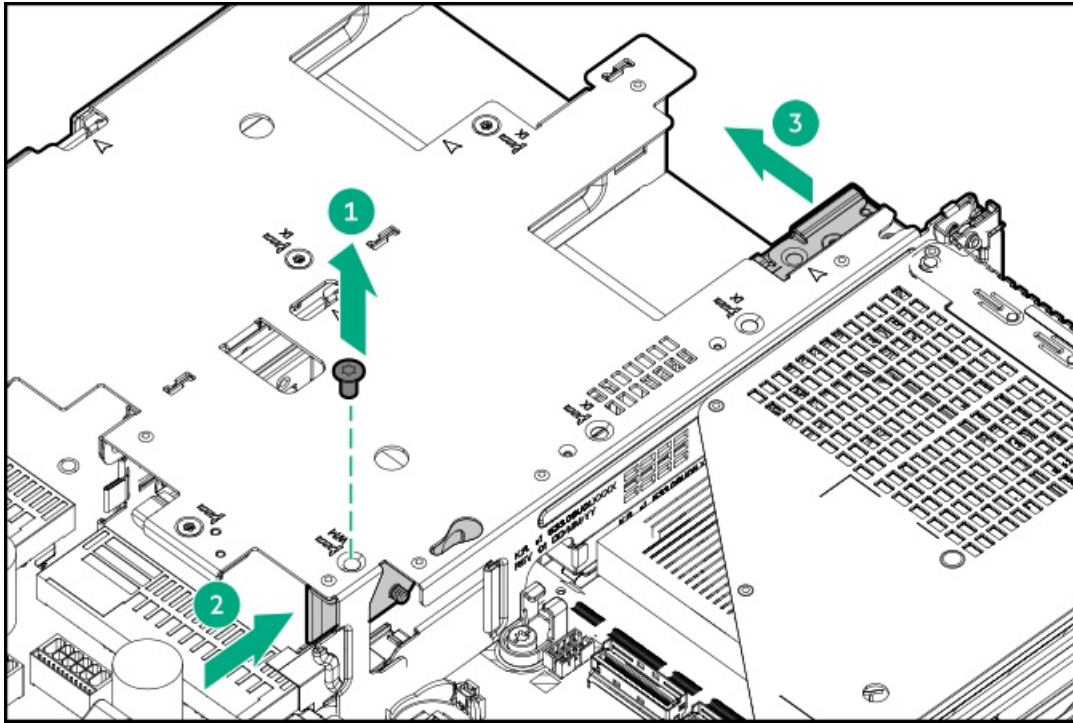
ブートデバイスの取り付け

4. サーバーの電源を切ります。

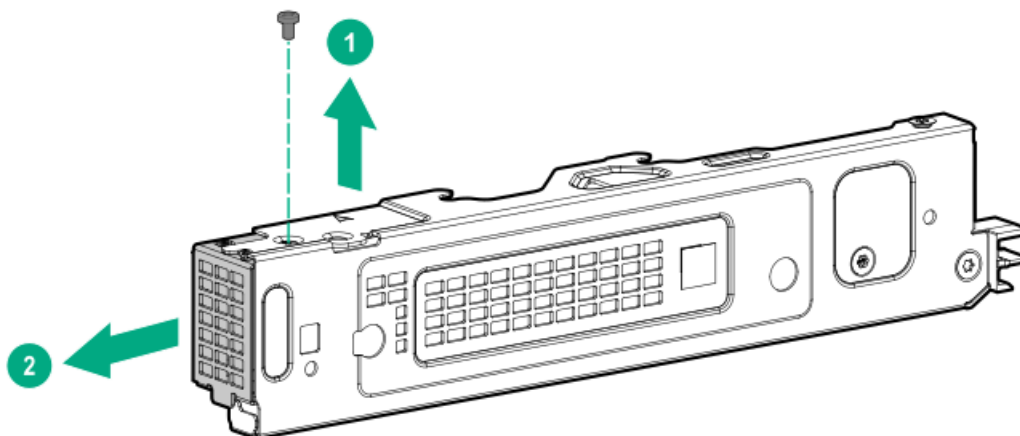
5. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

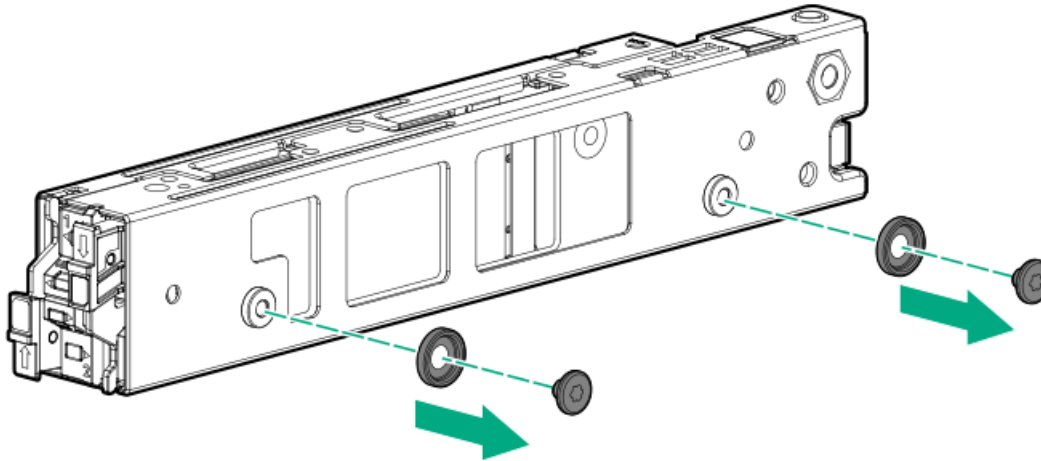
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
6. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
7. サーバーをラックから取り外します。
8. サーバーを平らで水平な面に置きます。
9. アクセスパネルを取り外します。
10. 取り付けられている場合は、電源装置をベイ2から取り外します。
11. ブートデバイスのブラケットを取り外します。



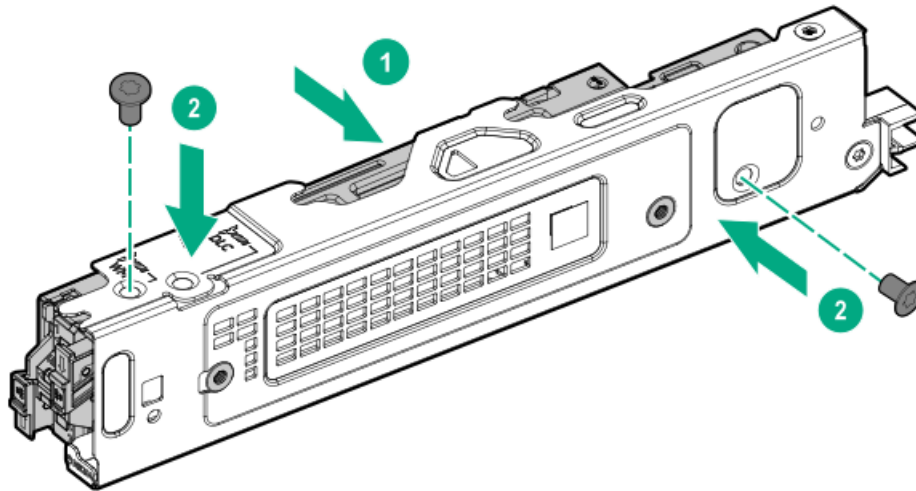
12. ブートデバイスブランクを取り外します。



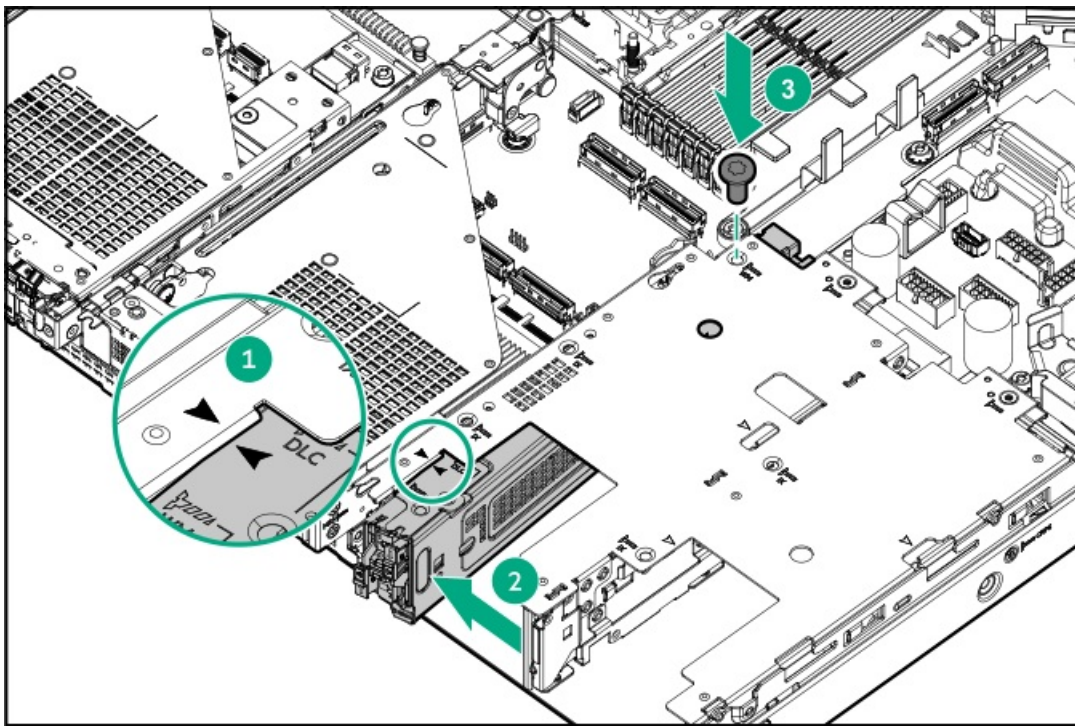
13. ブートデバイスケースからネジとスプールを取り外します。
ブートデバイスを固定するためのネジは保管しておいてください。



14. ブートデバイスをブラケットに取り付けます。
a. ブートデバイスをブラケットに当てます。
b. ネジを取り付けます。



15. ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。
16. ブートデバイスを取り付けます。



17. ケーブルをシステムボードに接続します。
18. 電源装置を取り付けます。
19. アクセスパネルを取り付けます。
20. サーバーをラックに取り付けます。
21. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
22. 各電源コードをサーバーに接続します。
23. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ロープロファイルライザーケージ横へのHPE NS204i-uブートデバイスV2の取り付け

前提条件

取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて



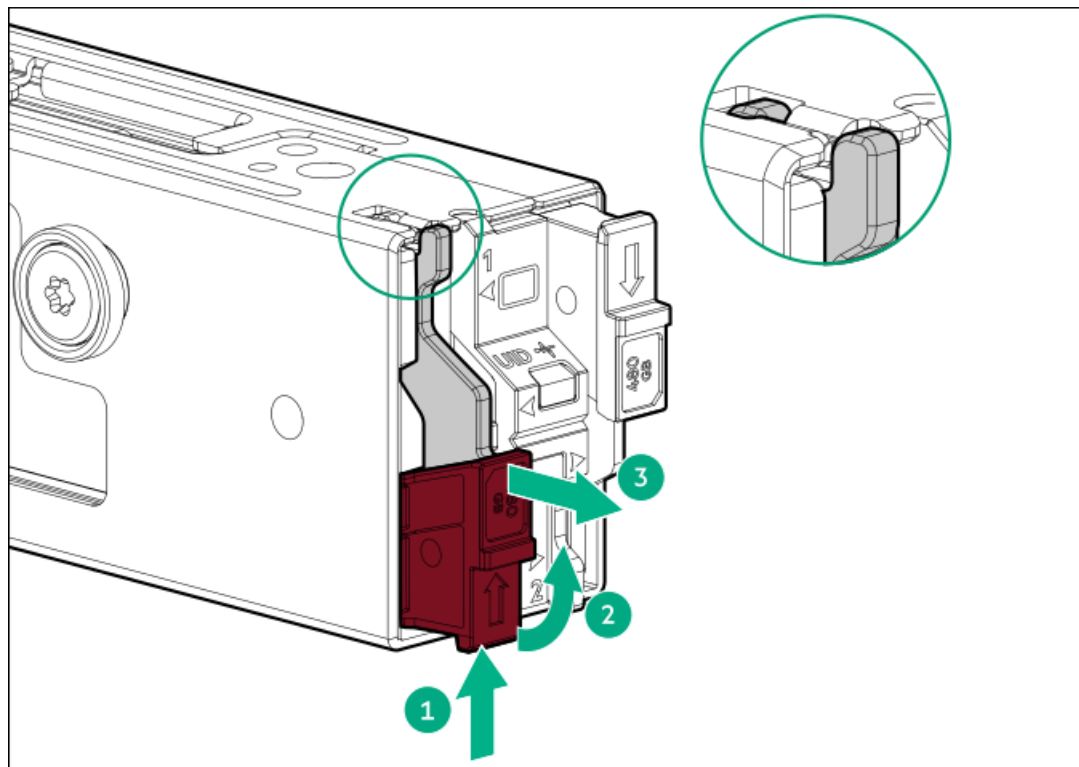
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

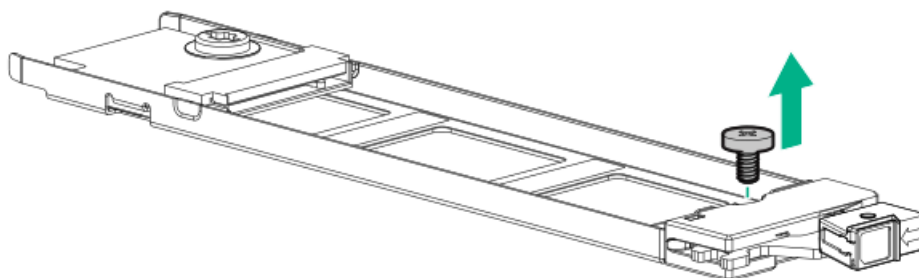
手順

ブートデバイスにドライブを取り付ける

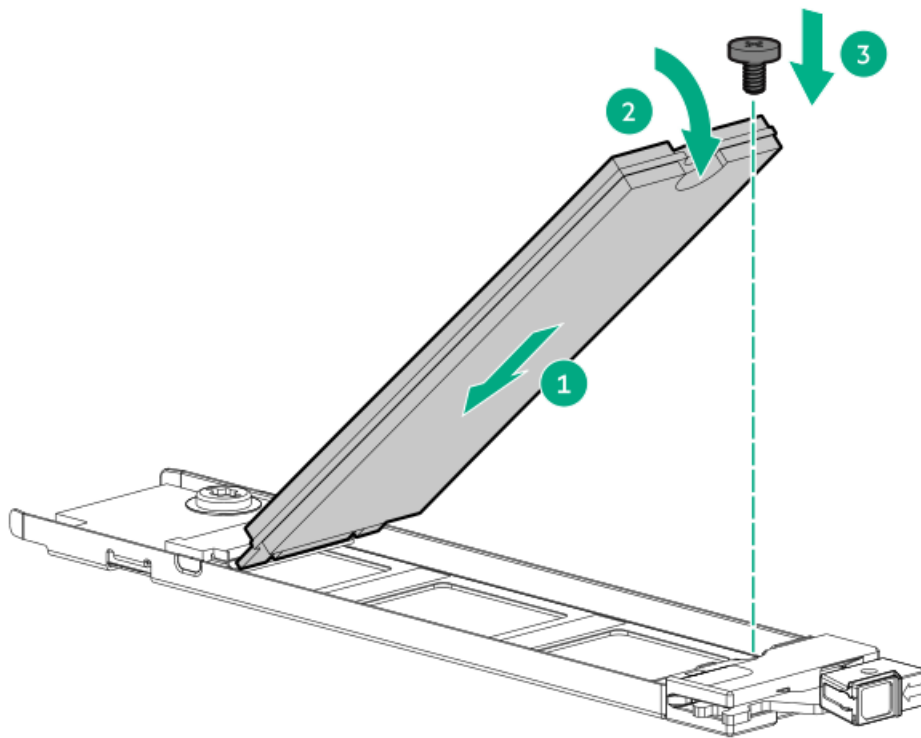
1. ブートデバイスキャリアを取り外します。
 - a. ラッチを押したままにします。
 - b. ラッチを回転させて開きます。
 - c. キャリアをスライドさせてブートデバイスケースから引き出します。



2. ブートデバイスキャリアにSSDを取り付けます。
 - a. SSD取り付けネジを取り外します。



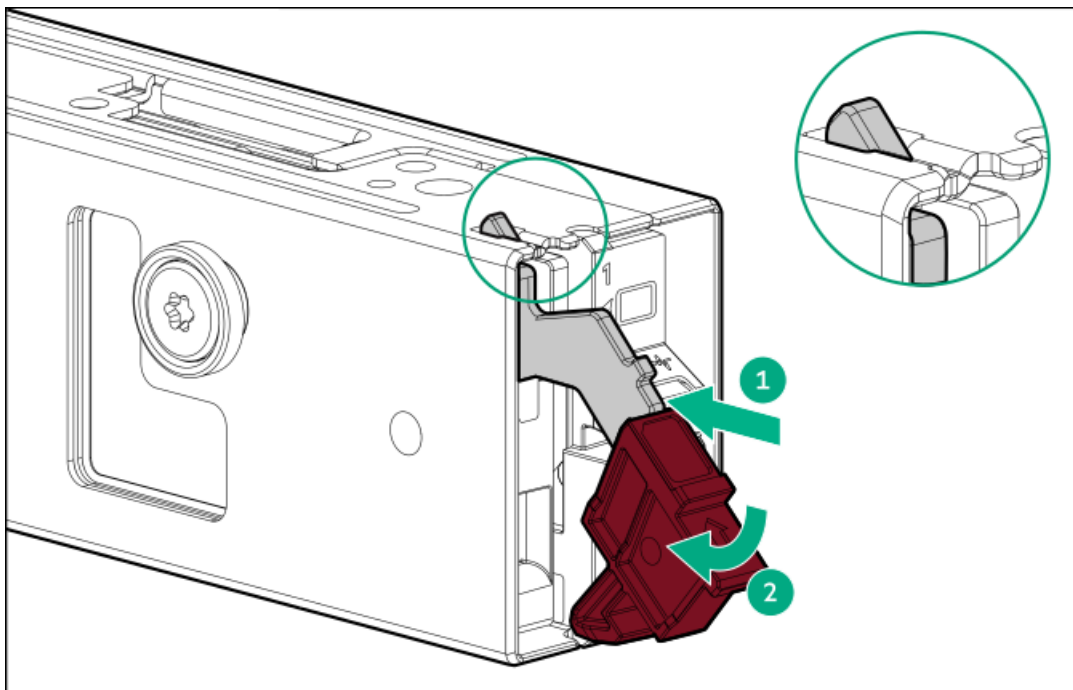
- b. SSDを45度の角度でM. 2スロットに挿入します。
 - c. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます。
 - d. SSDの取り付けネジを取り付けます。



3. ブートデバイスキャリアを取り付けます。

- a. キャリアラッチが閉じている場合は、回転させて開きます。
- b. キャリアをスライドさせてブートデバイスケースに挿入します。
- c. ラッチを回転させて閉じます。

キャリアラッチがブートデバイスケースにロックされていることを確認します。



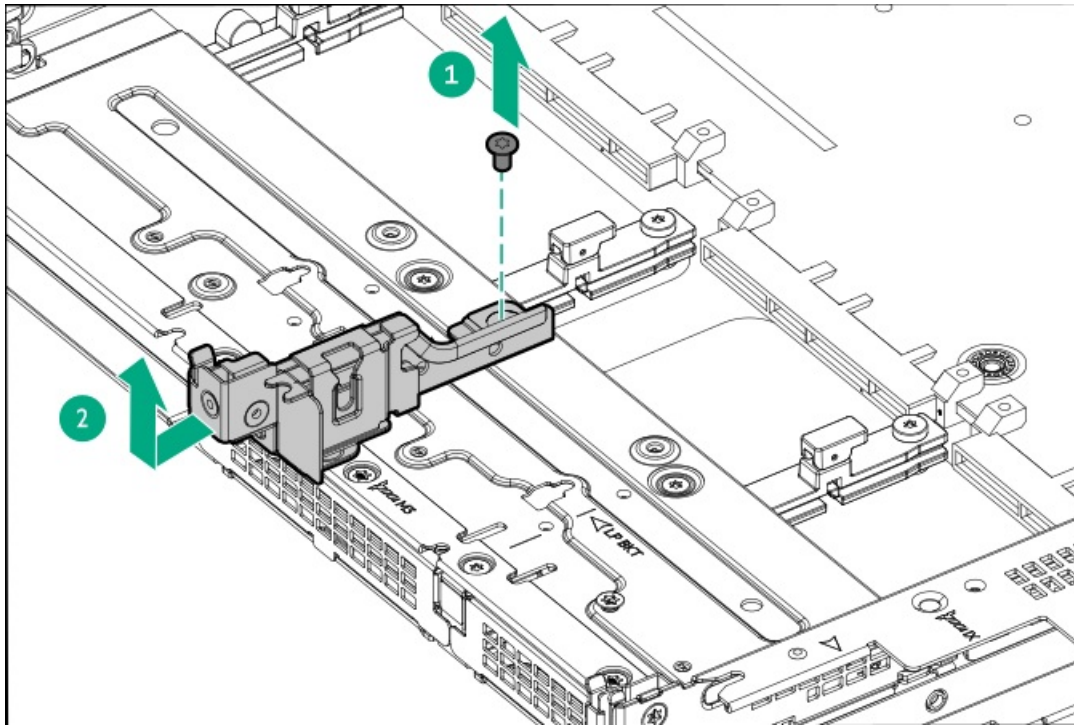
ブートデバイスの取り付け

4. サーバーの電源を切ります。

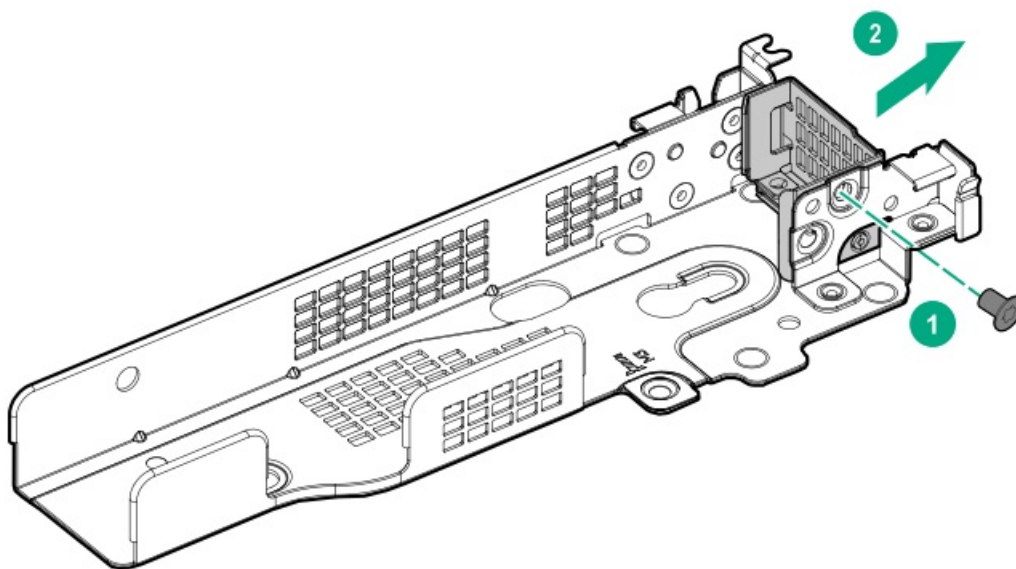
5. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

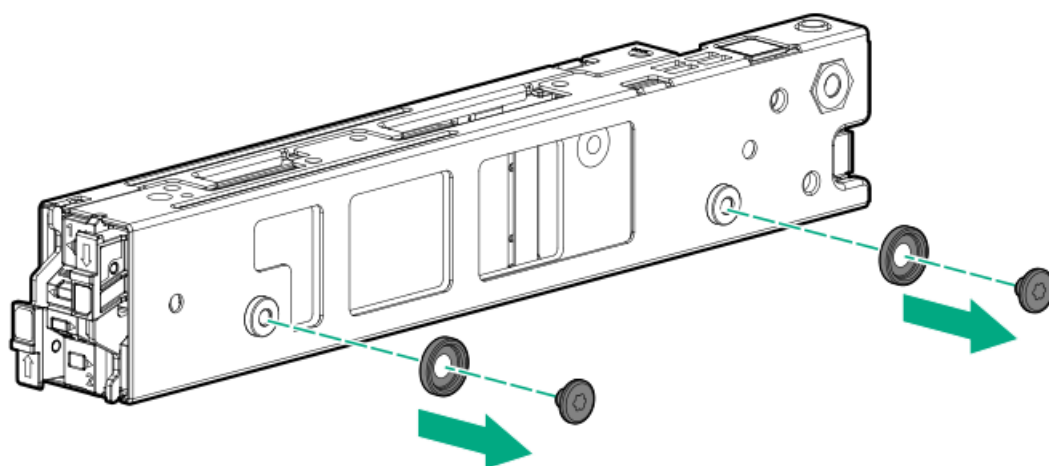
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
6. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
7. サーバーをラックから取り外します。
8. サーバーを平らで水平な面に置きます。
9. アクセスパネルを取り外します。
10. ライザーケースを取り外します。
11. ライザーブラケットを取り外します。



12. ブートデバイスブラケットからブランクを取り外します。

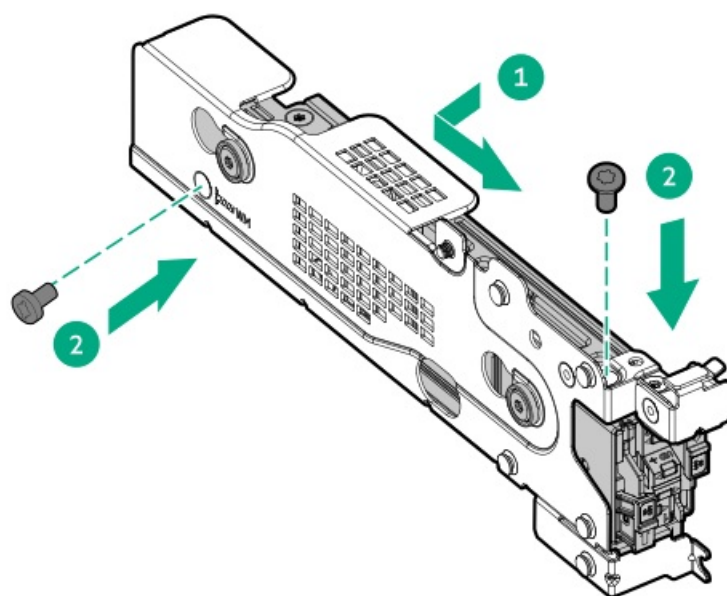


13. ブートデバイスケースからネジとスプールを取り外します。
- ブートデバイスを固定するためのネジは保管しておいてください。

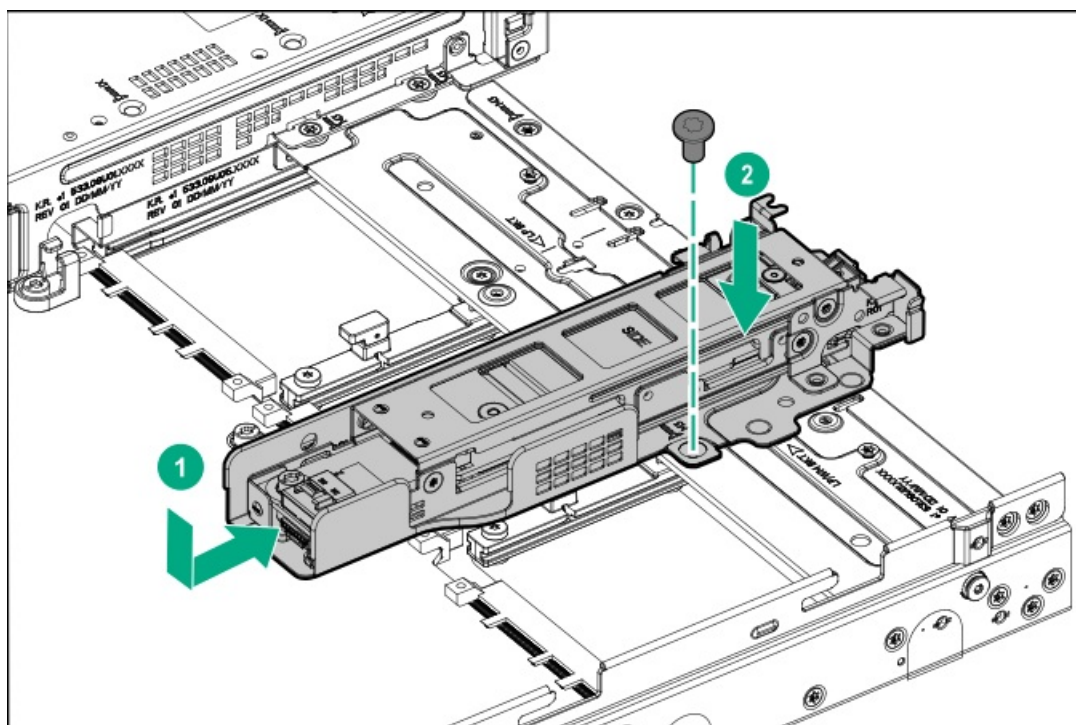


14. ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。

15. ブートデバイスをブラケットに取り付けます。



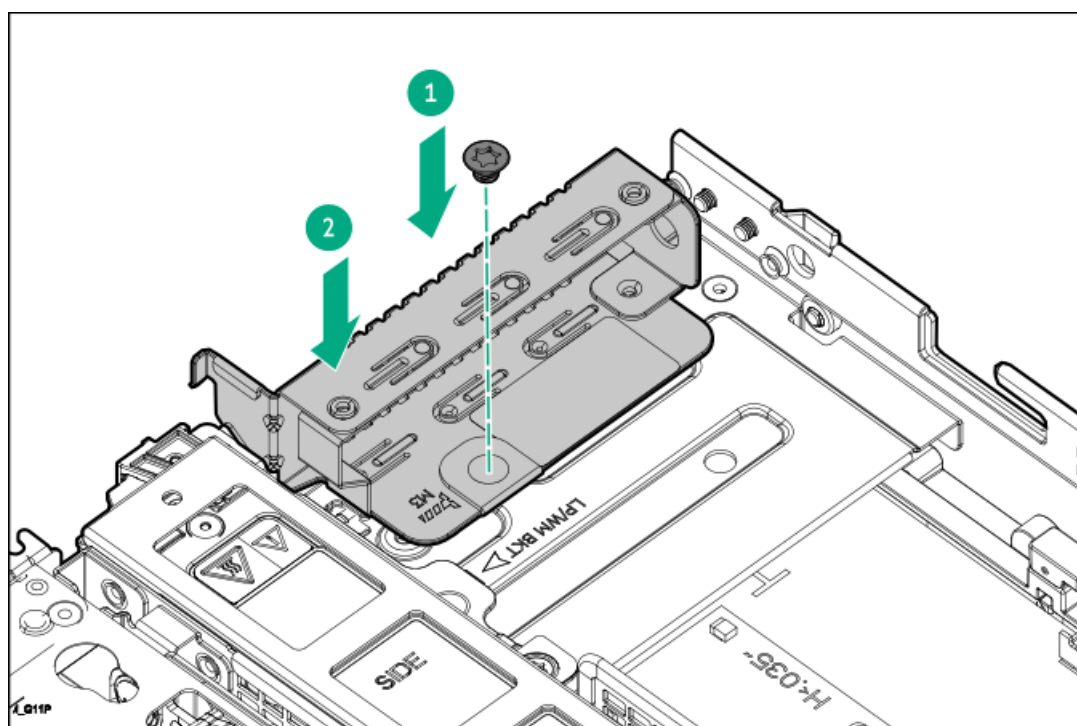
16. ブートデバイスをサーバーに取り付けます。



17. ケーブルをシステムボードに接続します。

18. 以下のいずれかを実行します。

- ロープロファイルライザーケージの取り付け
- ロープロファイルライザーケージブラנקの取り付け



19. アクセスパネルを取り付けます。

20. サーバーをラックに取り付けます。

21. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

22. 各電源コードをサーバーに接続します。

23. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セキュリティ

サブトピック

シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

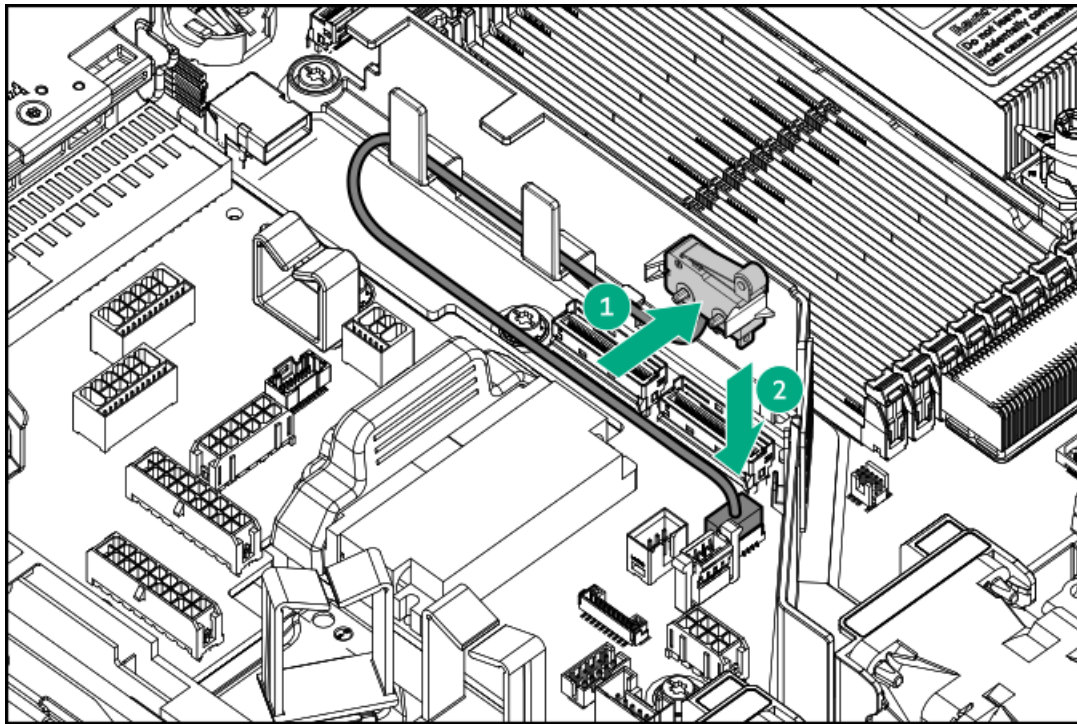
シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

このタスクについて

シャーシ侵入検知スイッチにより、アクセスパネルが物理的に開かれたり取り外されたりするたびに、iLOではインテグレートッドマネジメントログ (IML) にイベントが記録されます。また、シャーシ侵入が検知されるたびに、BIOSにアラートが送信されます。シャーシ侵入検知は、サーバーが電源に接続されている間は、サーバーの電源がオンであるかオフであるかに関係なく発生します。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. 最上部のストレージコントローラーのケーブルを外します。
9. シャーシ侵入検知スイッチを取り付けます。
 - a. 左DIMMガードの位置決めピンをスイッチの穴に差し込みます。
 - b. 残りのケーブルを配線します。



10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

UEFIシステムユーティリティのシステム侵入検知設定は、シャーシ侵入検知スイッチを取り付けると自動的に有効になります。侵入イベントのログを表示するには、iLO Webインターフェイスを使用してIMLまたはiLOイベントログにアクセスします。詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>) にあるiLOユーザーガイドを参照してください。

Energy Pack

サブトピック

HPE Smartストレージバッテリー

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

Energy Packの取り付け

HPE Smartストレージバッテリー

1個の96Wバッテリーで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリーをサポートします。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-gs

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

コンデンサーパックは、最大3つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、145 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。



重要

システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

詳しくは、HPE SmartストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターのQuickSpecsを参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-gs

サブトピック

最小ファームウェアバージョン

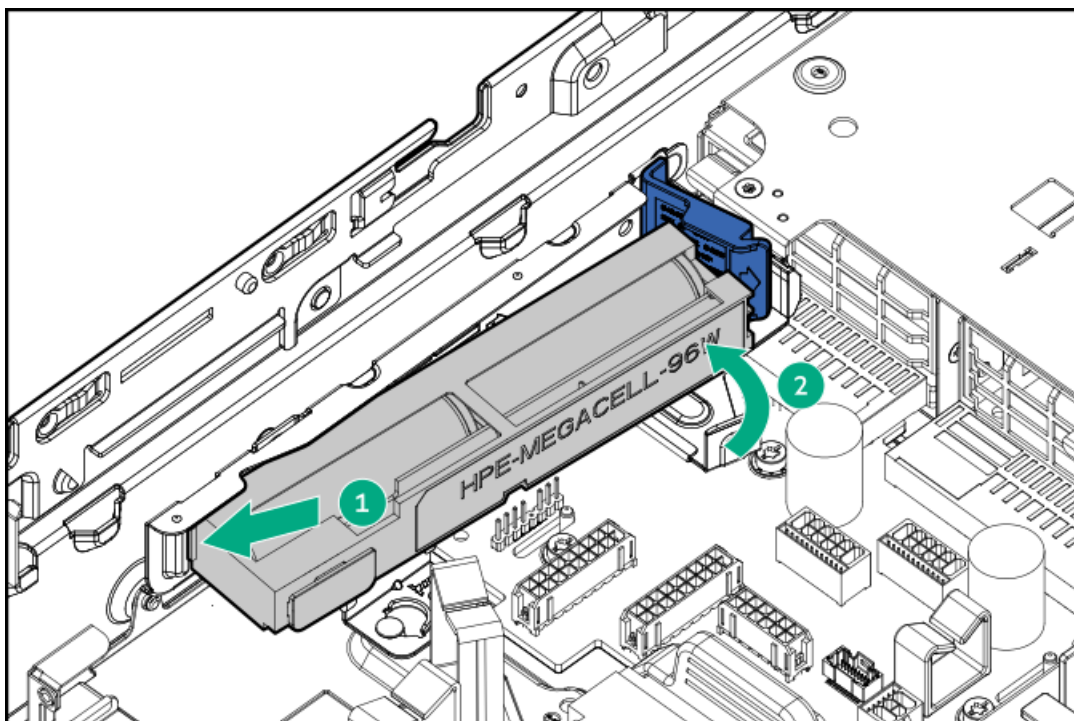
最小ファームウェアバージョン

製品	最小ファームウェアバージョン
サーバーシステムROM	1.20
HPE MRタイプoおよびタイプp Gen11コントローラー	52.24.3-4948

Energy Packの取り付け

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な面に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. Energy Packを取り付けます。



8. Energy Packのケーブルを接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。
11. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ストレージコントローラー

サブトピック

- ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備
- タイプoストレージコントローラーの取り付け
- タイプpコントローラーの取り付け

ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備

前提条件

この手順を開始する前に、Service Pack for ProLiantのWebサイト（Hewlett Packard Enterprise）から<https://www.hpe.com/servers/spp/download>をダウンロードします。

手順

1. サーバーが以前に構成されている場合、以下を行います。
 - a. システムのデータのバックアップを取ります。

- b. すべてのアプリケーションを終了します。
- c. サーバーからユーザーがログオフしていることと、すべてのタスクが完了したことを確認してください。



注意

外付データストレージを使用しているシステムでは、必ず、サーバーの電源を最初に切り、電源を入れるときはサーバーの電源を最後に入れてください。こうすることで、サーバーが起動したときにシステムがドライブを故障とみなす誤動作を防止できます。

2. サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合は、ファームウェアをアップデートします。
3. 新しいコントローラーが新しいブートデバイスである場合は、コントローラードライバーをインストールします。

タイプoストレージコントローラーの取り付け

前提条件

一部のストレージコントローラーのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能には、Energy Packオプションの取り付けが必要です。詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるコントローラーQuickSpecsを参照してください。

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- 互換性のあるコントローラーのケーブルオプション
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて



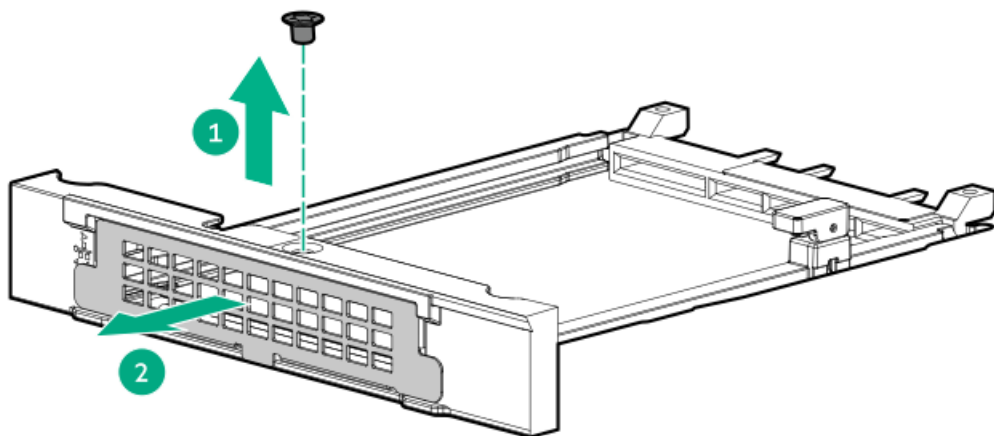
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

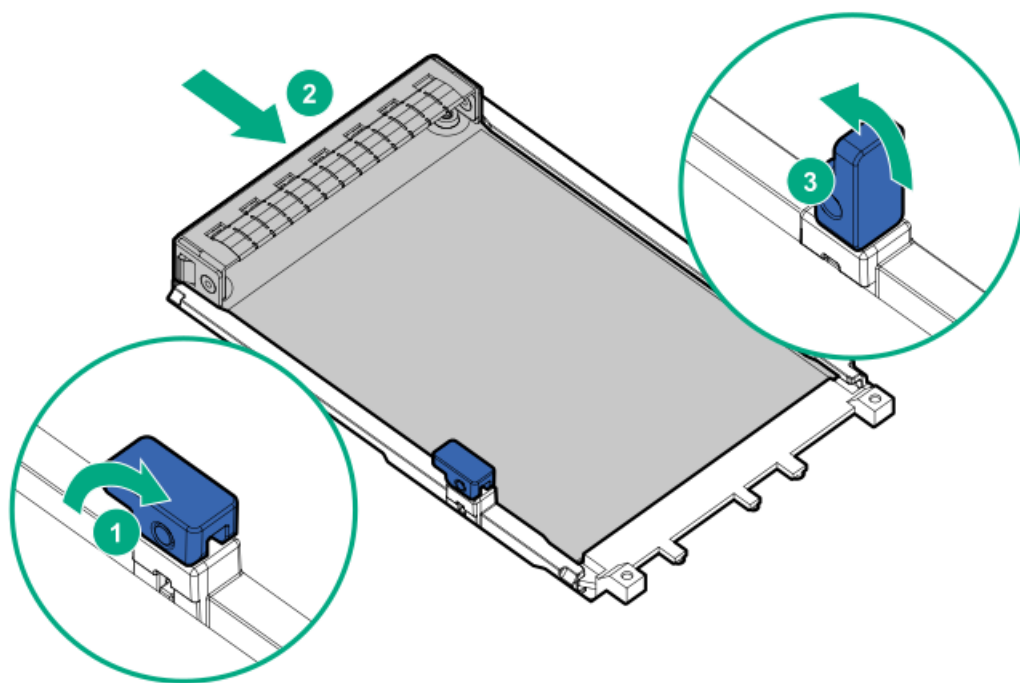
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. セカンダリライザーケージを取り外します。
7. OCPスロットブラנקを取り外します。
 - a. ブラנקのネジを取り外します。
 - b. ブラנקを取り外します。

ネジとブラंकは、将来使用できるように保管しておいてください。



8. タイプoストレージコントローラーを取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、コントローラーをベイにスライドさせます。
コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。
- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



9. タイプoストレージコントローラーをケーブル接続します。
10. セカンダリライザーケーシングを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

14. 各電源コードをサーバーに接続します。

15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

タイプpコントローラーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



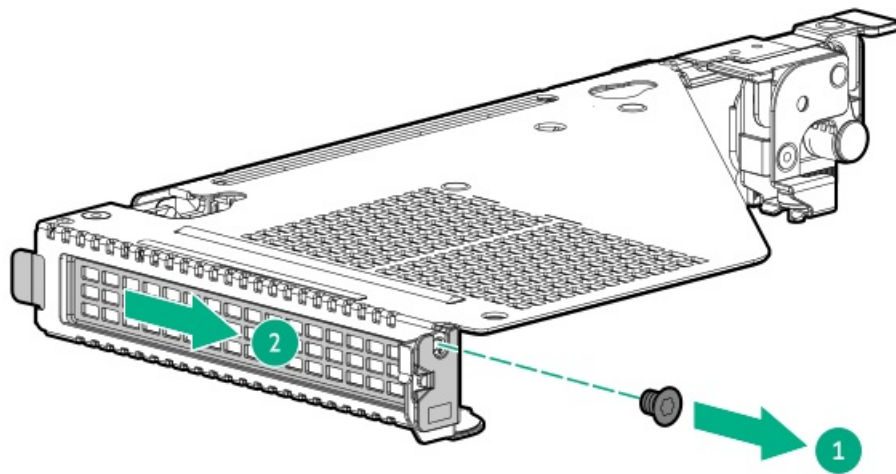
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

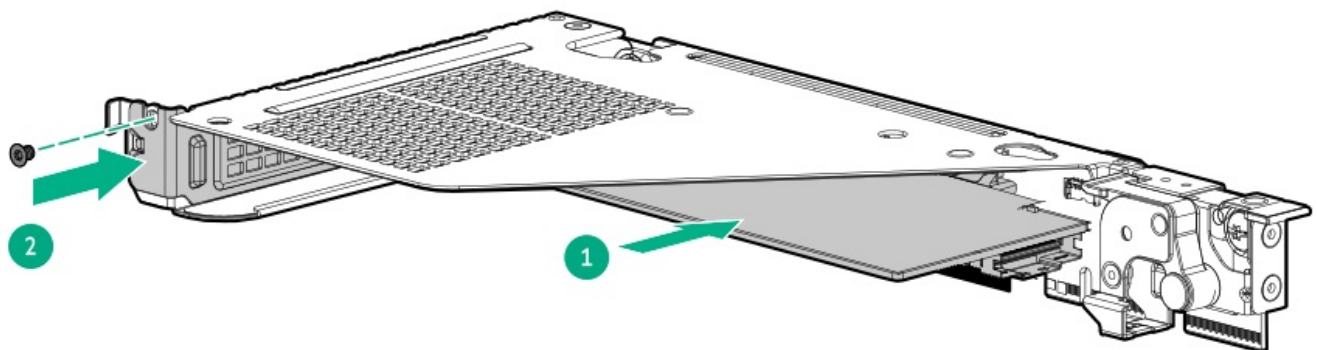
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. ライザーケージを取り外します。
7. ライザースロットブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



8. タイプpストレージコントローラーを取り付けます。



9. タイプpストレージコントローラーをケーブル接続します。
10. ライザーケーシングを取り付けます。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをラックに取り付けます。
13. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

プロセッサとヒートシンク

サブトピック

プロセッサに関する注意事項

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

プロセッサに関する注意事項



注意

プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。



注意

サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。



注意

プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。



重要

プロセッサソケット1には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット1にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。



重要

以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードする場合は、ファームウェアまたはシステムROMのアップデートを参照してください。

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- T-30トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

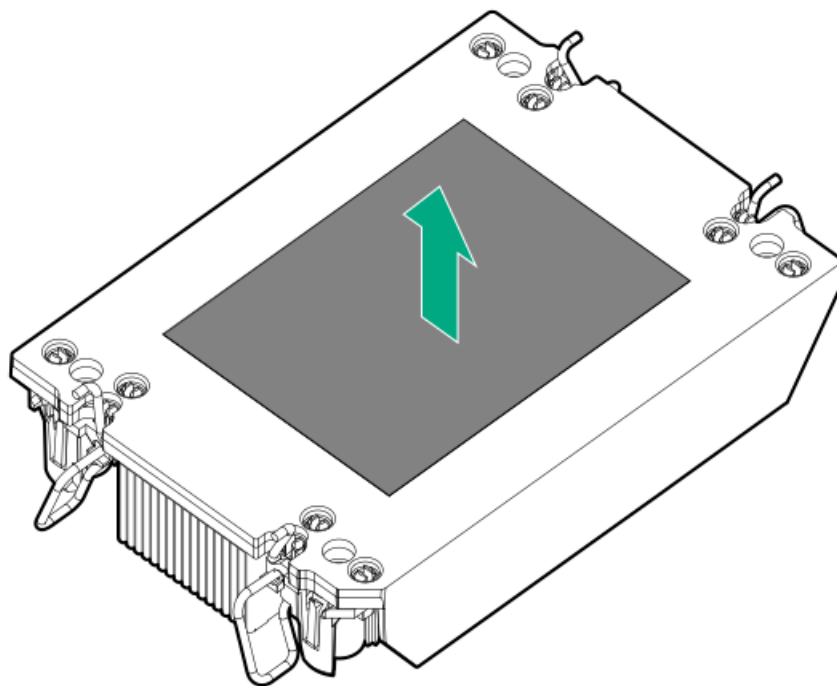
1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。

6. サーバーを平らで水平な面に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. サーマルインターフェースマテリアルから保護フィルムを取り外します。



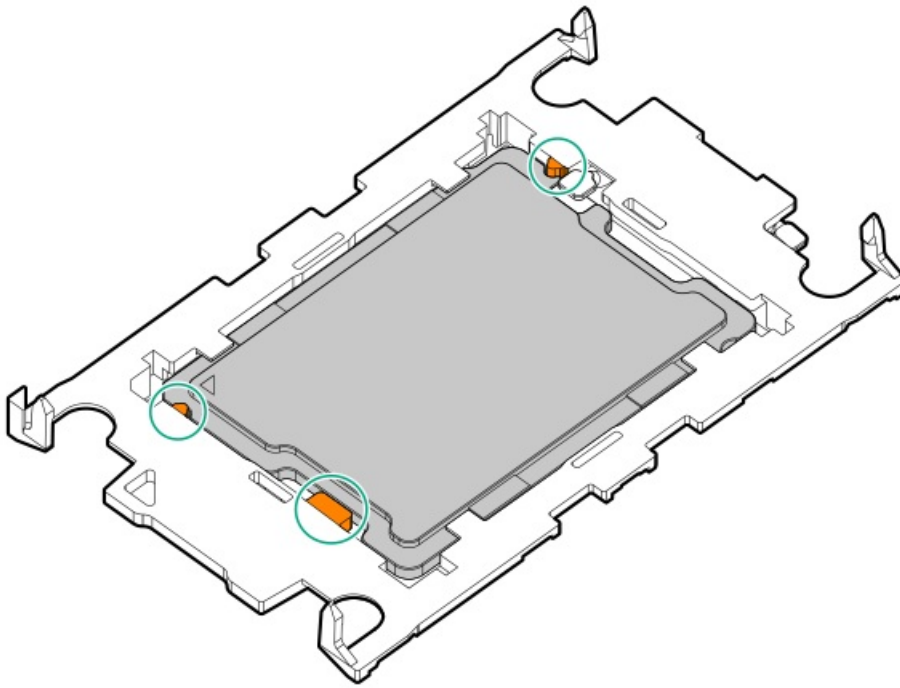
注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。



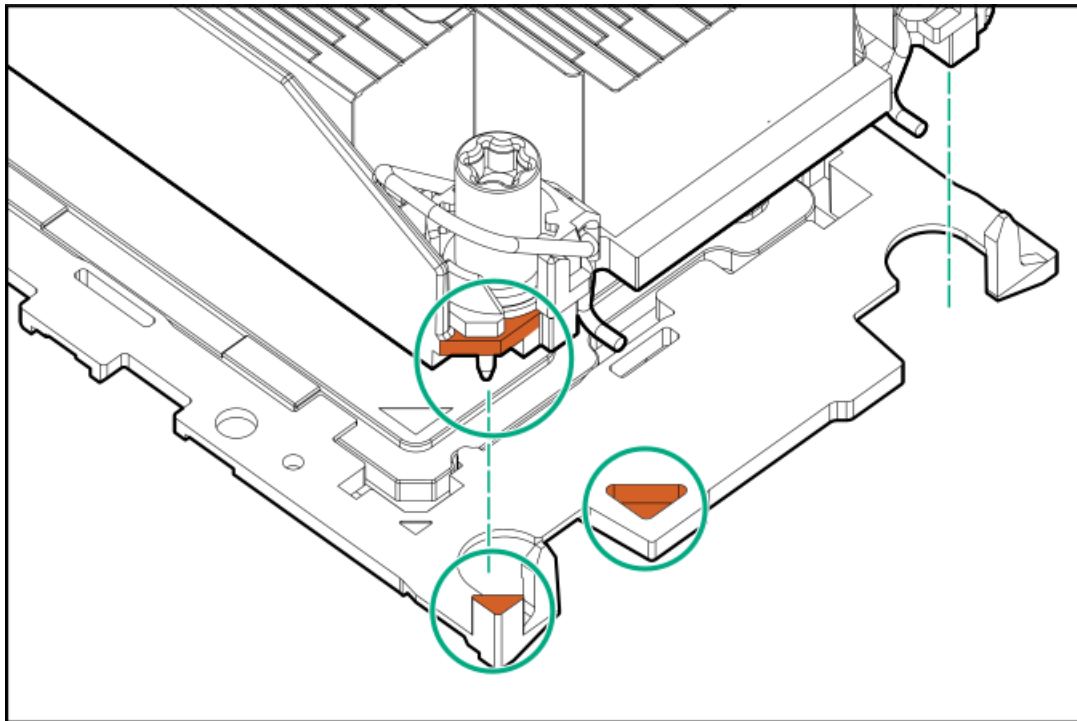
9. プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。



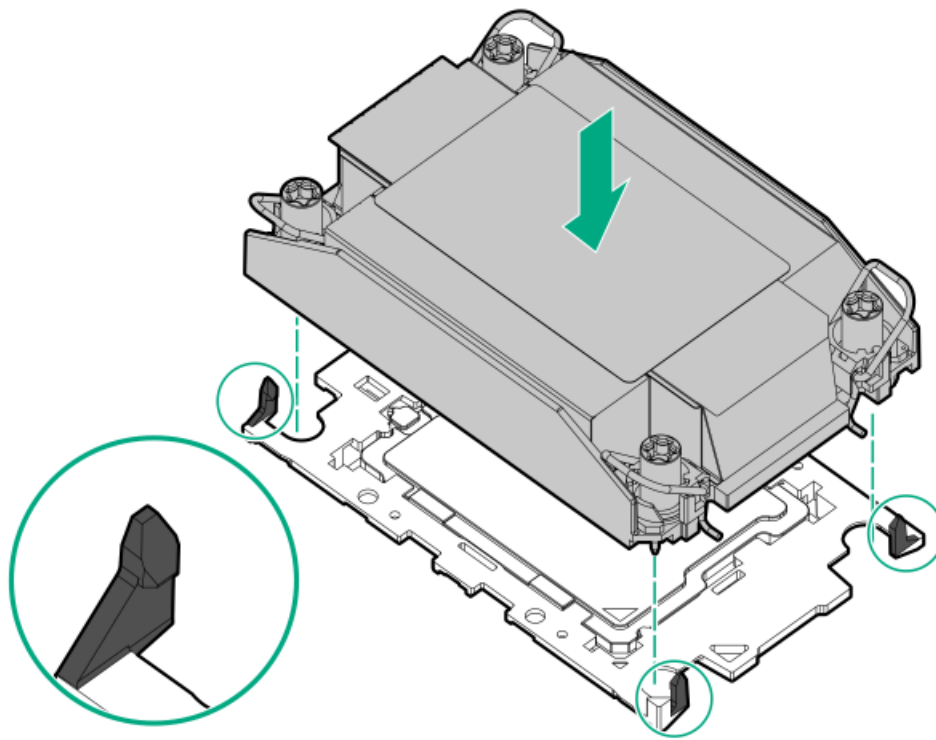
10. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。

a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケーターを揃えます。

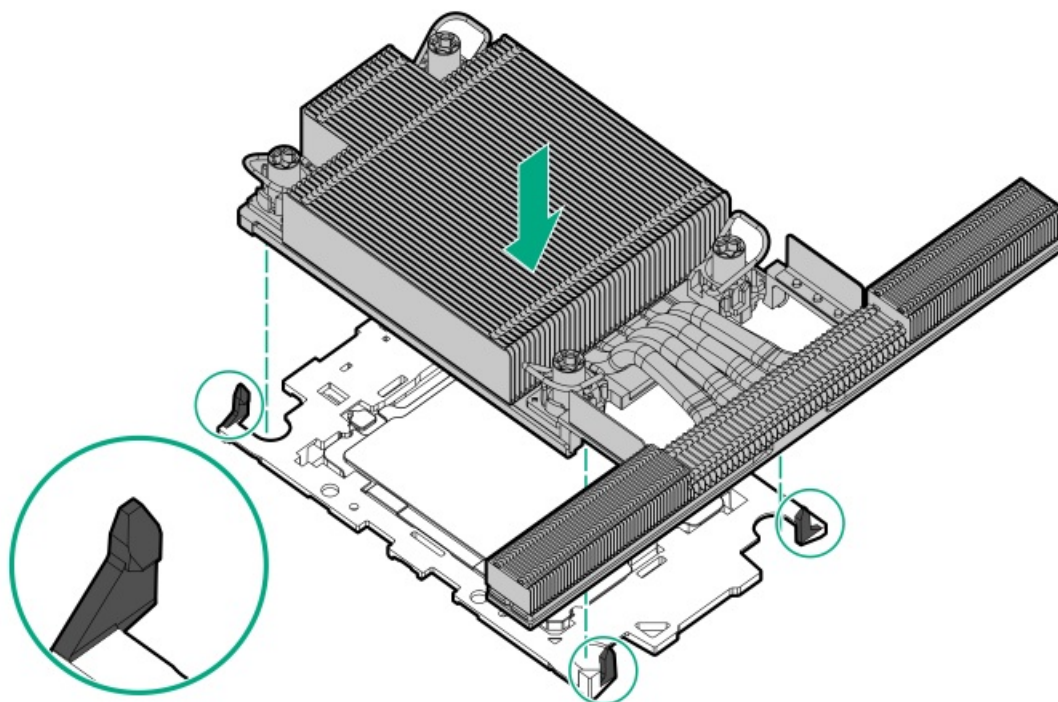


b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。
ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

- 標準ヒートシンク

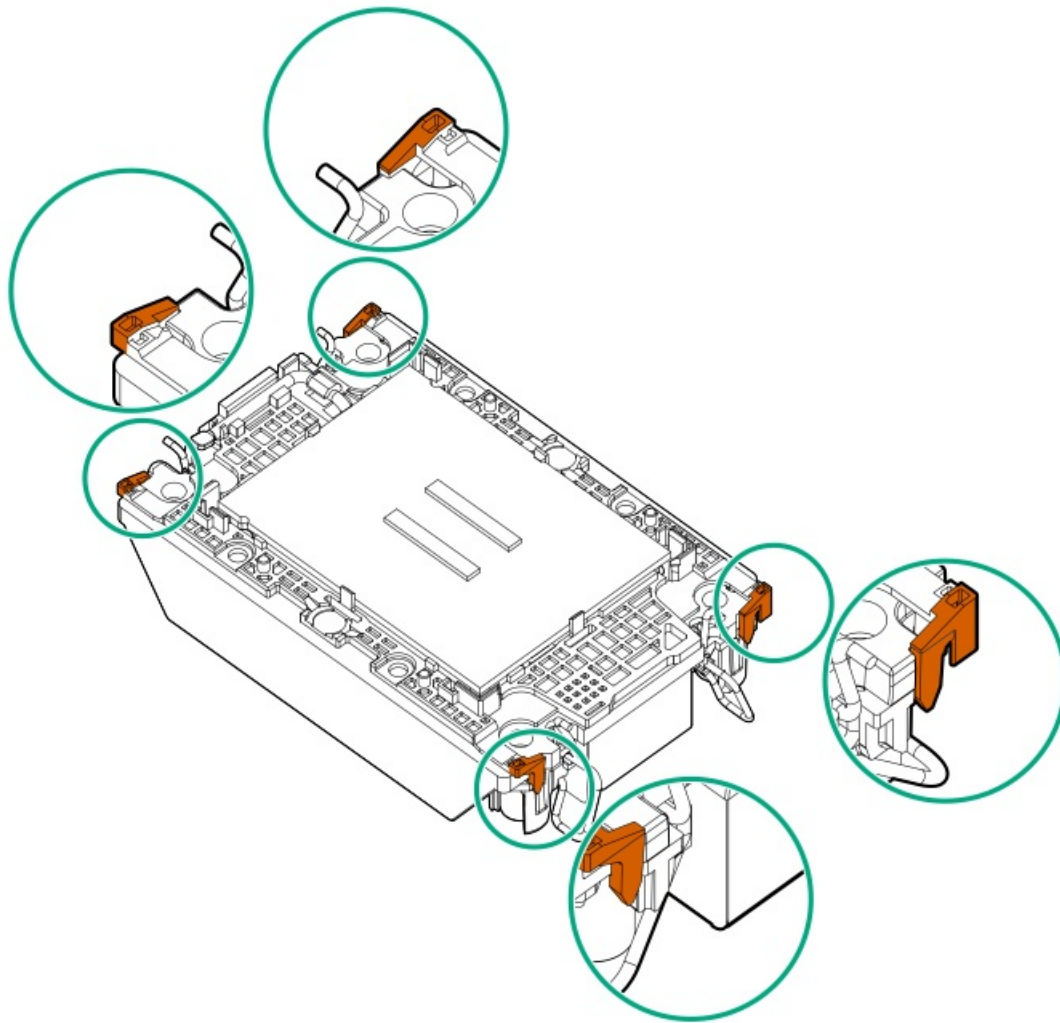


- 高性能ヒートシンク

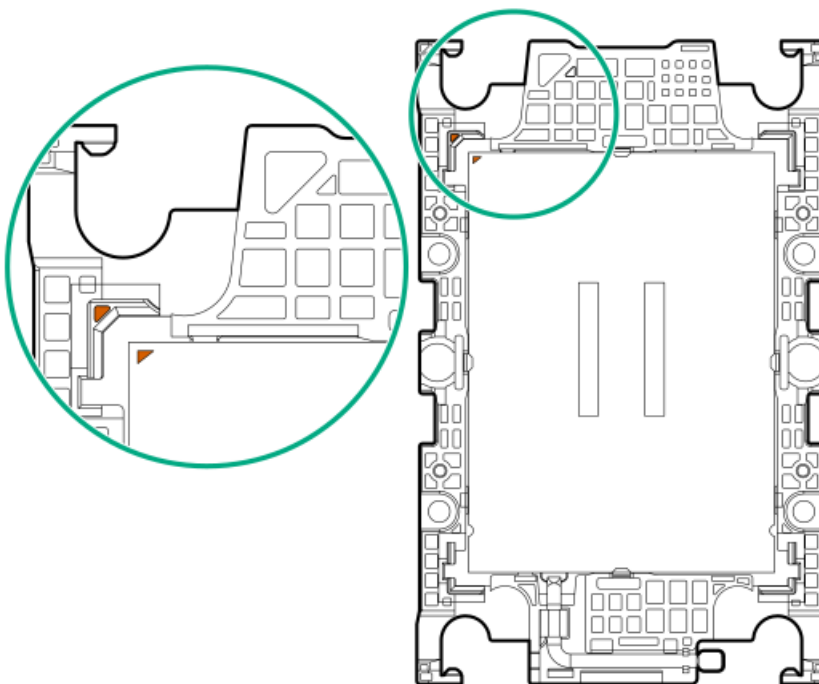


11. 次の確認手順を実行します。

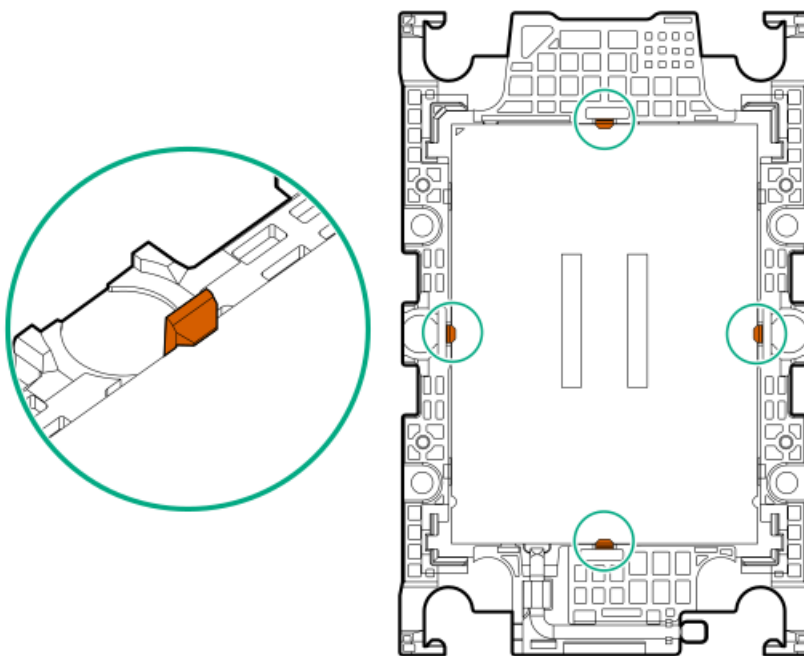
- プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



b. プロセッサーとプロセッサーキャリアのピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



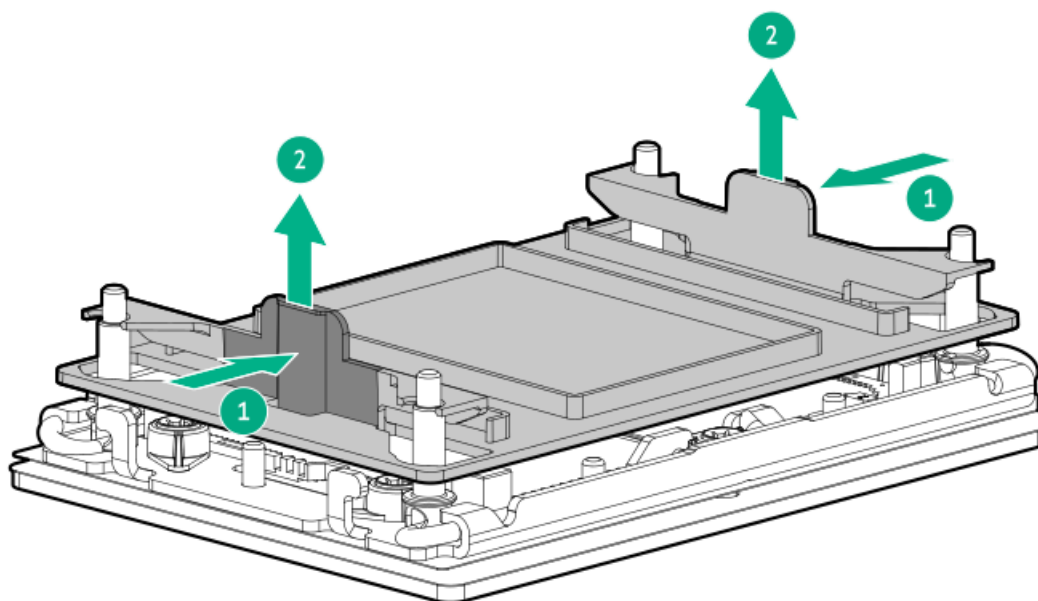
c. プロセッサーがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



12. プロセッサースOCKETからダストカバーを外します。

- a. ダストカバーのグリップタブを押したままにします。
- b. ダストカバーを持ち上げてボースタープレートから取り外します。

カバーは、将来使用できるように保管しておいてください。



13. **注意**

温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。

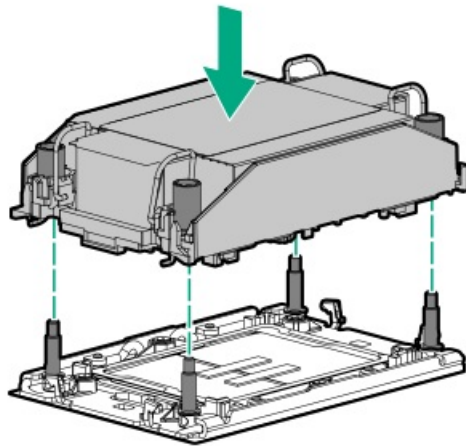
- a. トルクレンチを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb)に設定します。

b. ヒートシンクラベルのサーバーの前面のテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。

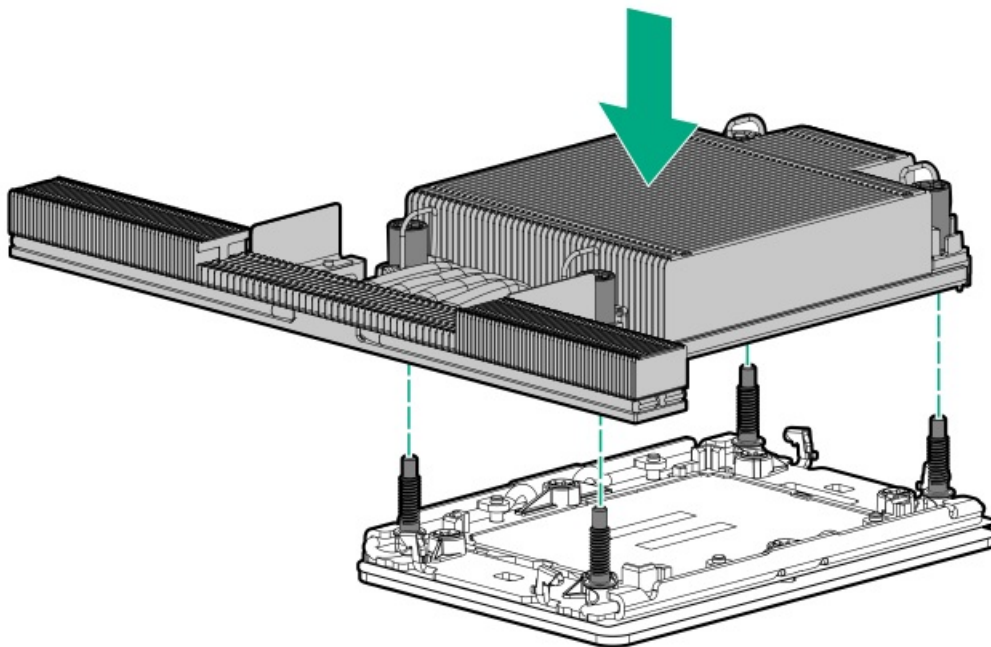
c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールをまっすぐ慎重に下ろします。

モジュールを一方向にのみ取り付けができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。

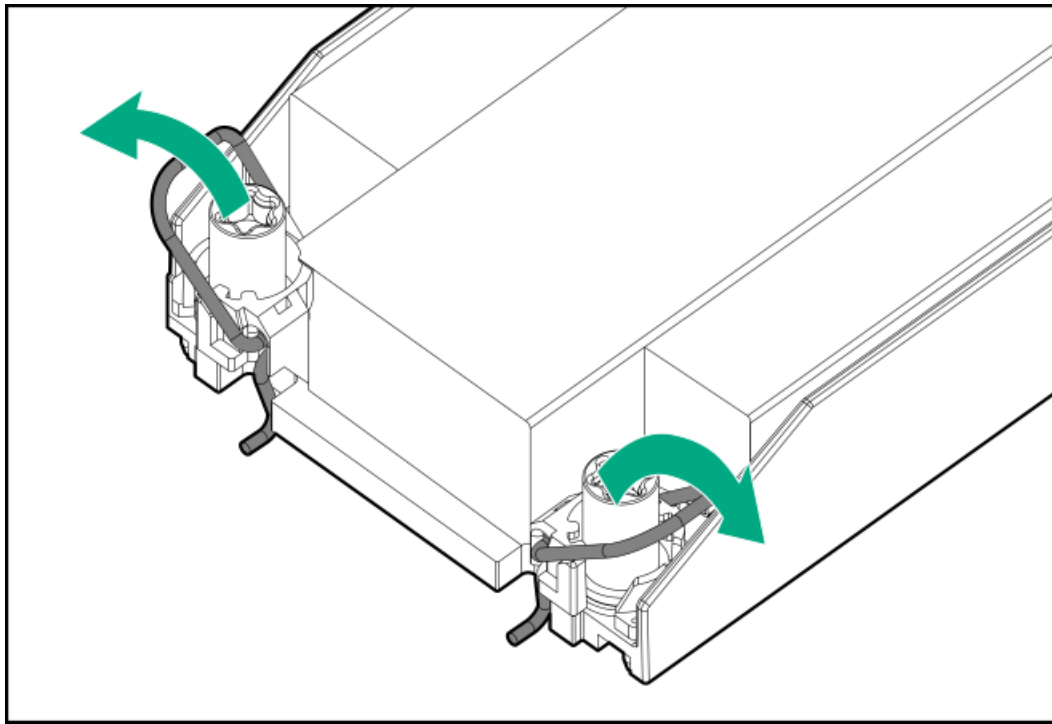
- 標準ヒートシンク



- 高性能ヒートシンク

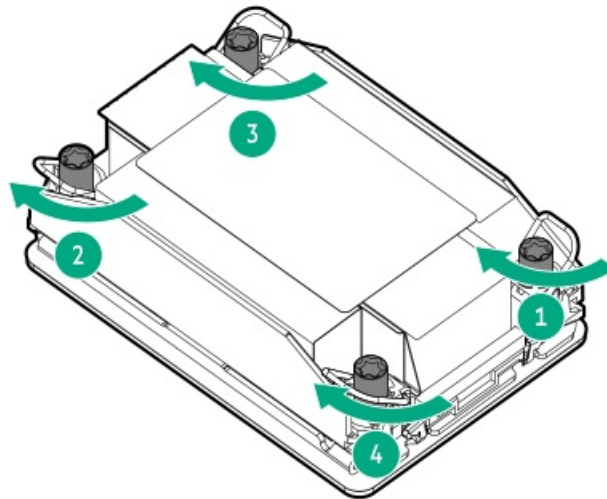


d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。

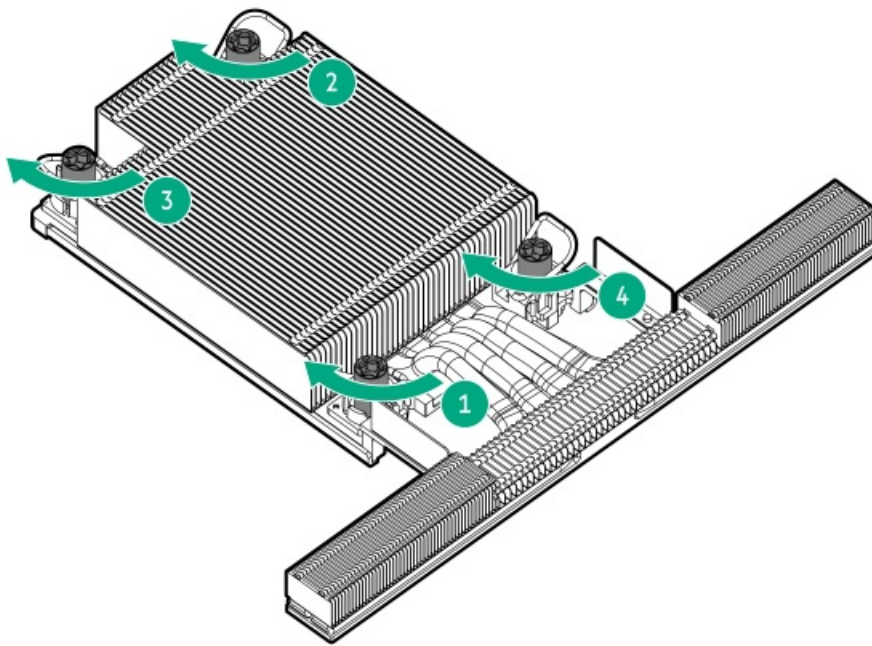


e. 対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めて、次にもう1組のヒートシンクネジを締めます。

- 標準ヒートシンク



- 高性能ヒートシンク



14. アクセスパネルを取り付けます。
15. サーバーをラックに取り付けます。
16. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
17. 各電源コードをサーバーに接続します。
18. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

内部USBデバイスのオプション

サーバーは内蔵USB 2.0ポートがあり、フラッシュブートメディアとして、またはデータのバックアップ/冗長性のために使用できるUSBデバイスを取り付けることができます。

サブトピック

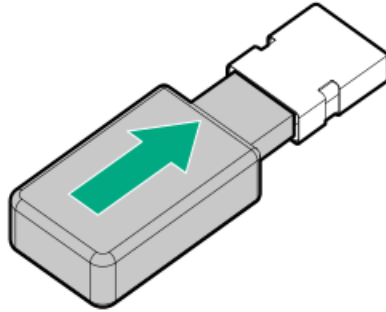
内部USBデバイスの取り付け

内部USBデバイスの取り付け

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

3. すべての周辺ケーブルをサーバーから抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. 内部USBポートの位置を確認します。
7. USBポートにUSBデバイスを差し込みます。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブル接続

この章には、内部コンポーネントのケーブル接続に関するケーブル接続のガイドラインと図が含まれています。

サブトピック

ケーブル接続のガイドライン

内部ケーブル管理

ケーブル配線図

ストレージのケーブル接続

ファンのケーブル接続

クローズドループ液冷ヒートシンクのケーブル接続

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続

GPUのケーブル接続

シリアルポートのケーブル接続

オプティカルドライブのケーブル接続

ディスプレイポートのケーブル接続

Systems Insight Displayのケーブル接続

フロントOCP NICおよびPHYボードのケーブル接続

リアOCPアップグレードのケーブル接続

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。



注記

ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。

- ケーブルオプションキットについては、製品のQuickSpecsを参照してください。
- ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクタ近くのリベルに対応しています。
- Yケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクタがありますが、すべてのコネクタが使用されるわけではありません。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）
- 各ケーブルコネクタ付近のリベルに注意してください。このリベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

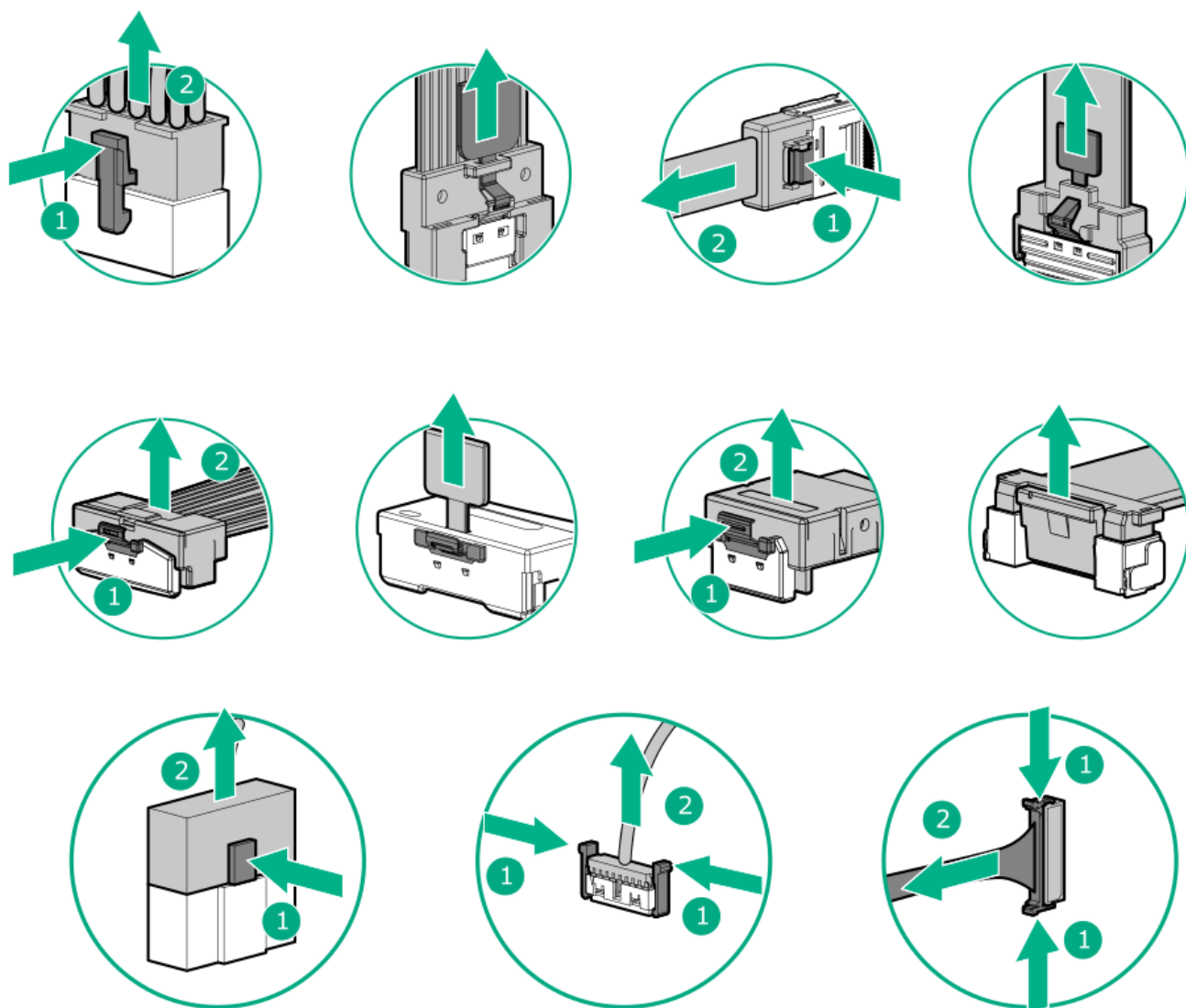
ケーブルの接続時

- ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

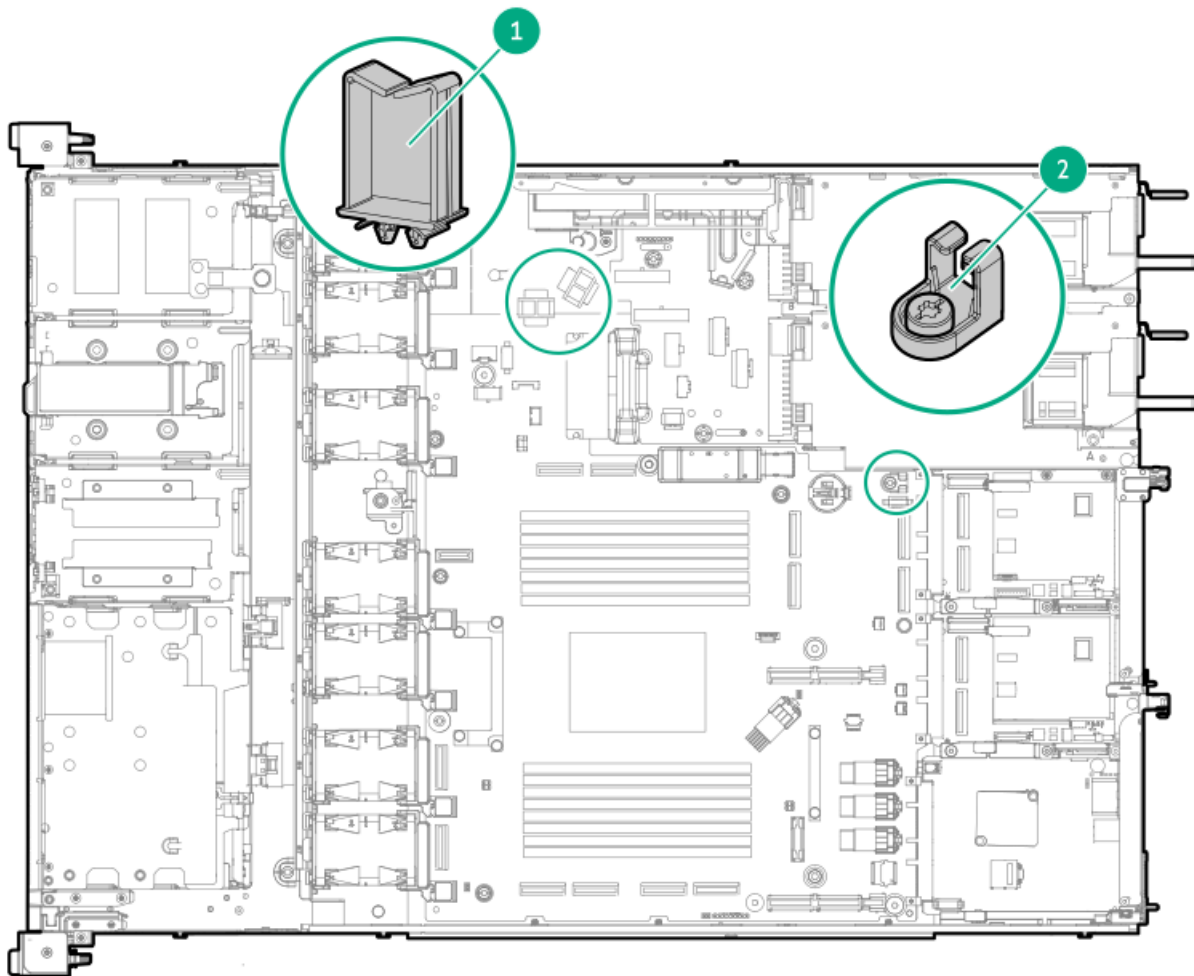
- ケーブルコネクタの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してくだ

さい。



- 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

内部ケーブル管理



番号	説明
1	ケーブルクリップ
2	シリアルポートケーブルクランプ

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

- コンポーネントを配線する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
ドライブの電源ケーブル接続	–
2 SFF (2.5型) ドライブ電源のケーブル接続	P54591-001
8 SFF (2.5型) ドライブ電源のケーブル接続	P71911-001
混合ドライブ電源のケーブル接続	• P75582-001 • P75586-001

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

4 LFF (3.5型) ドライブ電源のケーブル接続	P75584-001
12 LFF (3.5型) ドライブ電源のケーブル接続	• P75585-001 • P75584-001 • P75583-001
GPU最適化構成のドライブ電源のケーブル接続	P75582-001
SFF (2.5型) ドライブコントローラーのケーブル接続	–
8 SFF (2.5型) ドライブ：タイプpコントローラーのケーブル接続	P75590-001
8 SFF (2.5型) ドライブ：直接接続のケーブル接続	• P71912-001 • P71910-001
8 + 2 SFF (2.5型) ドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続	• P45611-001 • P53972-001
2 SFF (2.5型) ドライブ：セカンダリライザーコネクタのケーブル接続	P74810-001
8 + 2 SFF (2.5型) ドライブ：タイプoコントローラーのケーブル接続	• P48961-001 • P48960-001
LFF (3.5型) ドライブコントローラーのケーブル接続	–
4 LFF (3.5型) ドライブ：タイプoコントローラーのケーブル接続	P53989-001
4 LFF (3.5型) ドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続	P54931-001
12 LFF (3.5型) ドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続	• P54930-001 • P54931-001
12 LFF (3.5型) ドライブ：タイプoコントローラーのケーブル接続	• P54928-001 • P53989-001
E3.Sドライブコントローラーのケーブル接続	–
8 E3.Sドライブ：直接接続のケーブル接続	P75592-001
8 E3.Sドライブ：プライマリおよびセカンダリライザーコネクタのケーブル接続	• P75580-001 • P75577-001
16 E3.Sドライブ：プライマリおよびセカンダリライザーコネクタのケーブル接続	• P75592-001 • P75580-001 • P75577-001 • P75578-001 • P75579-001

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

20 E3.Sドライブ：直接接続のケーブル接続

- [P75592-001](#)
- [P75576-001](#)
- [P75504-001](#)
- [P75505-001](#)

混合ドライブコントローラーのケーブル接続

–

8 SFF (2.5型) ドライブ：タイプoコントローラーのケーブル接続

[P75589-001](#)

8 SFF (2.5型) + 4 E3.Sドライブ：オンボードSAS/SATA/NVMeのケーブル接続

[P75594-001](#)

8 SFF (2.5型) + 4 E3.Sドライブ：タイプpコントローラーのケーブル接続

[P75590-001](#)

10 SFF (2.5型) ドライブ：直接接続のケーブル接続

- [P75592-001](#)
- [P75580-001](#)

GPU最適化構成のドライブコントローラーのケーブル接続

–

4 SFF (2.5型) ドライブ：タイプoコントローラーのケーブル接続

- [P75587-001](#)
- [P75589-001](#)

4 SFF (2.5型)/16 E3.Sドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続

[P75588-001](#)

8 E3.Sドライブ：プライマリおよびセカンダリライザーコネクタのケーブル接続

[P75580-001](#)

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続

–

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続（ブートデバイスを電源装置ベイに取り付けた場合）

- [P72024-001](#)
- [P63720-001](#)

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続（ブートデバイスをロープロファイルライザーケースの隣に取り付けた場合）

- [P63720-001](#)
- [P71913-001](#)

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続（ブートデバイスをボックス3に取り付けた場合）

- [P48956-001](#)
- [P74730-001](#)

4 LFF (3.5型) ドライブHPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続（ブートデバイスをサーバーの前面に取り付けた場合）

- [P48956-001](#)
- [P74730-001](#)

HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続（ブートデバイスをサーバーの前面に取り付けた場合）

-
-

GPUのケーブル接続

–

GPU補助電源のケーブル接続

[P75256-001](#)

GPUライザー電源のケーブル接続

[P75594-001](#)

コンポーネントのケーブル接続

ケーブルの部品番号

GPUライザー信号のケーブル接続

- [P71886-001](#)
- [P73415-001](#)

オプティカルドライブとDisplayPortのケーブル接続

–

8 SFF (2.5型) および混合ドライブのオプティカルドライブのケーブル接続

[P73776-001](#)

4 LFF (3.5型) ドライブのオプティカルドライブのケーブル接続

[P73776-001](#)

SFF (2.5型) およびE3.SドライブのDisplayPortのケーブル接続

[P73948-001](#)

LFF (3.5型) ドライブのDisplayPortのケーブル接続

[P73948-001](#)

OCPのケーブル接続

–

リアOCPアップグレードのケーブル接続

- [P75506-001](#)
- [P75507-001](#)
- [P73494-001](#)

フロントOCP NICおよびPHYボードのケーブル接続

–

プライマリOCP

- [P71941-001](#)
- [P73927-001](#)

セカンダリOCP

[P71941-001](#)

リッチI/O構成：プライマリOCP

- [P71941-001](#)
- [P73927-001](#)

リッチI/O構成：セカンダリOCP

[P71941-001](#)

シリアルポートのケーブル接続

–

シリアルポートと60 mm電源装置のケーブル接続

- [P73744-001](#)
- [P71826-001](#)

シリアルポートと73.5 mm電源装置のケーブル接続

- [P73744-001](#)
- [P71826-001](#)

フロントI/Oのケーブル接続

–

SFF (2.5型) / E3.S / 4 LFF (3.5型) ドライブ

[P71909-001](#)

12 LFF (3.5型) ドライブのフロントI/Oのケーブル接続

[P73417-001](#)

混合ドライブのフロントI/Oのケーブル接続

[P73417-001](#)

各種ケーブル接続

–

ファンのケーブル接続

[P71914-001](#)

Systems Insight Displayのケーブル接続

[P48971-001](#)

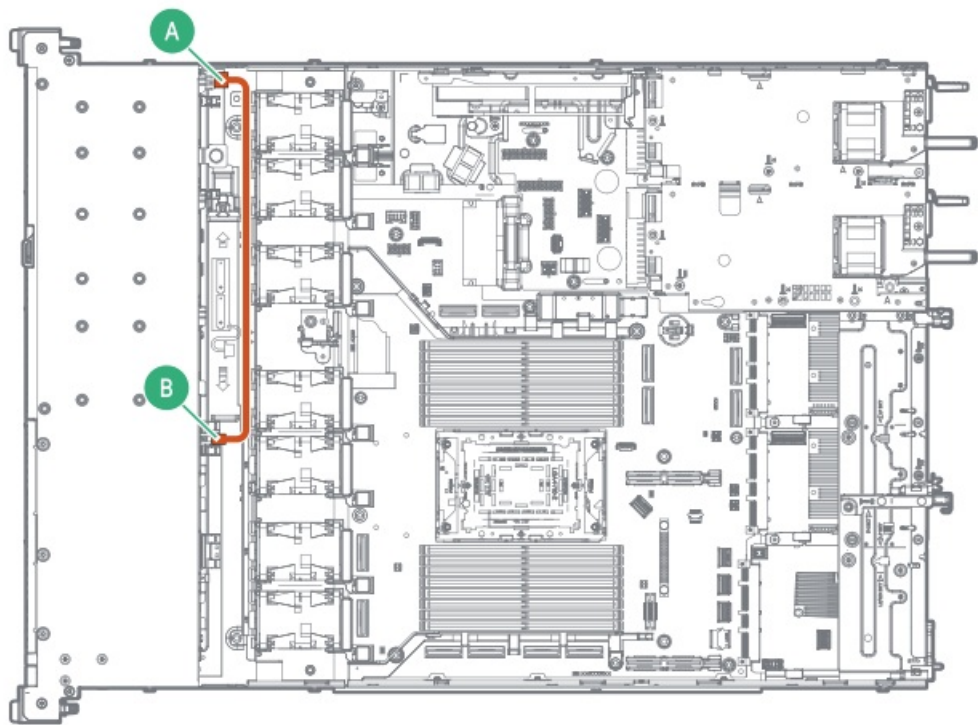
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続

[869413-001](#)

ストレージのケーブル接続

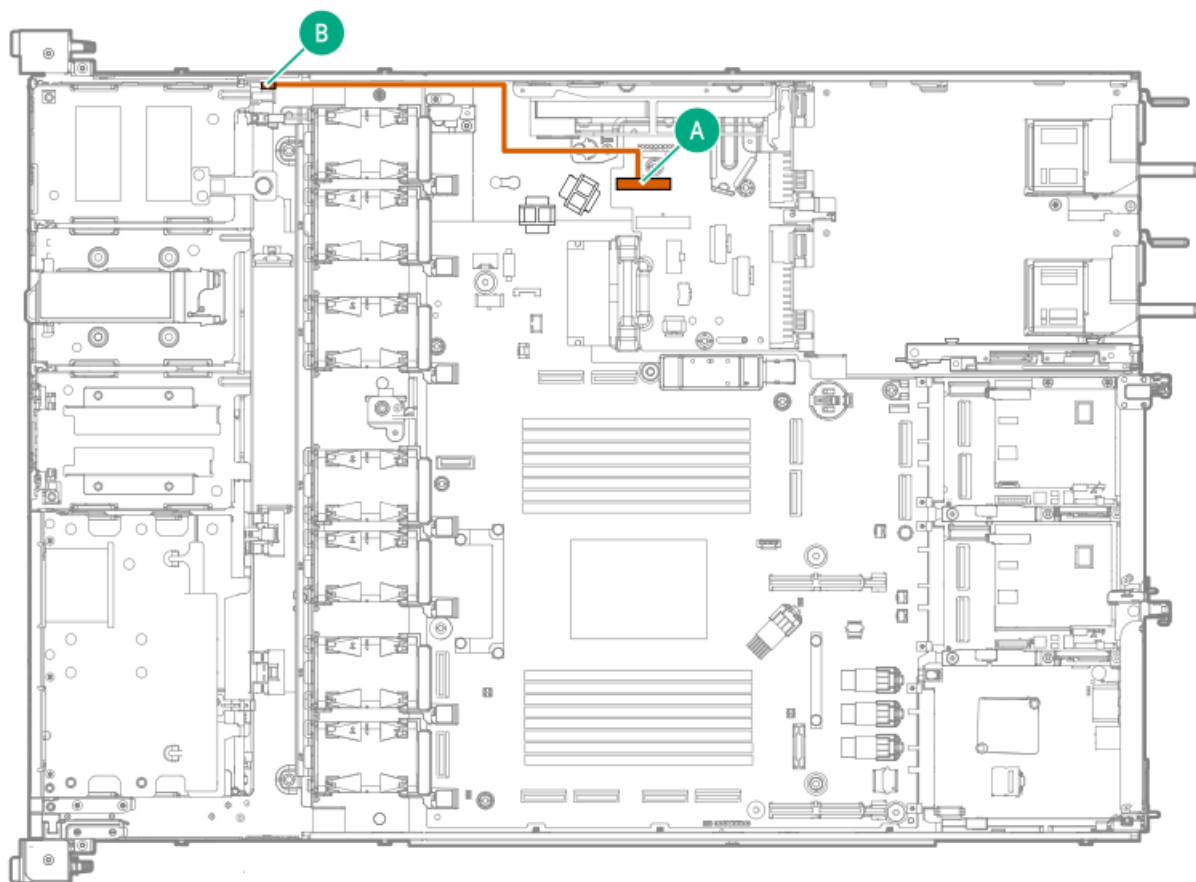
ドライブ電源のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ドライブ電源のケーブル接続



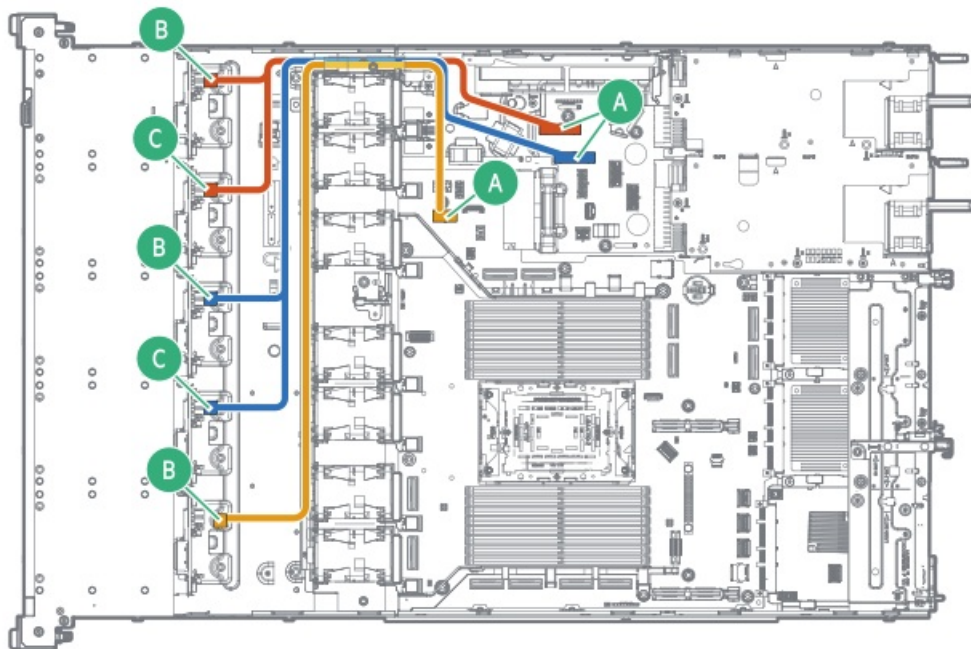
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54591-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン電源コネクタ	8 SFF (2.5型) ドライブボックス1バックプレーン電源コネクタ

8 SFF (2.5型) ドライブ電源のケーブル接続



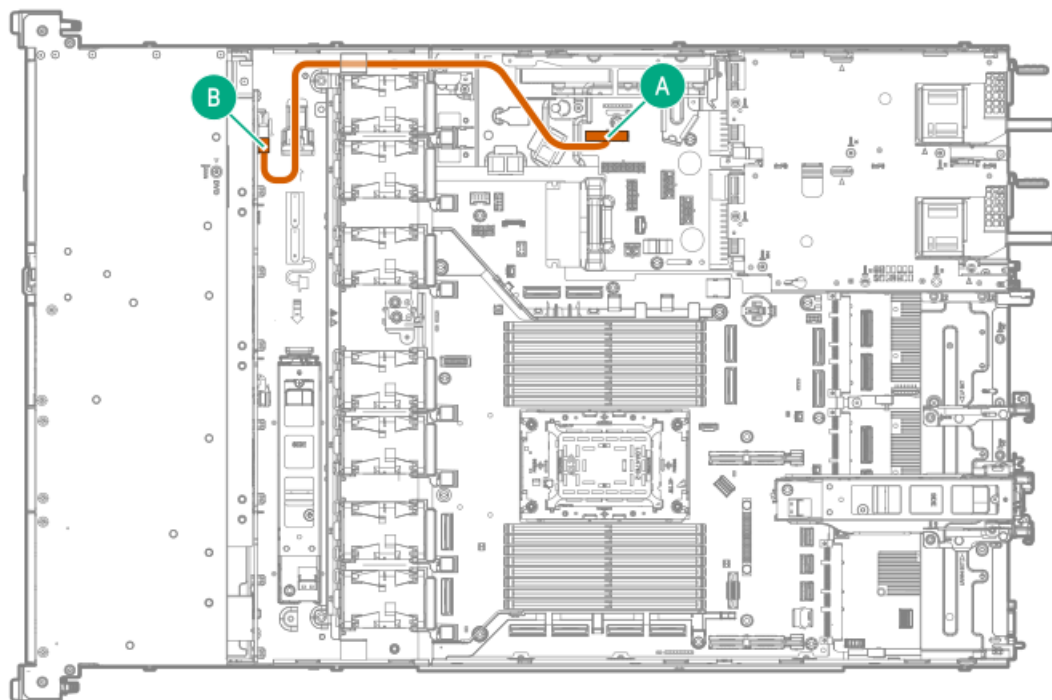
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71911-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) バックプレーン電源コネクタ	ボックス1、2のドライブバックプレーン電源コネクタ

混合ドライブ電源のケーブル接続



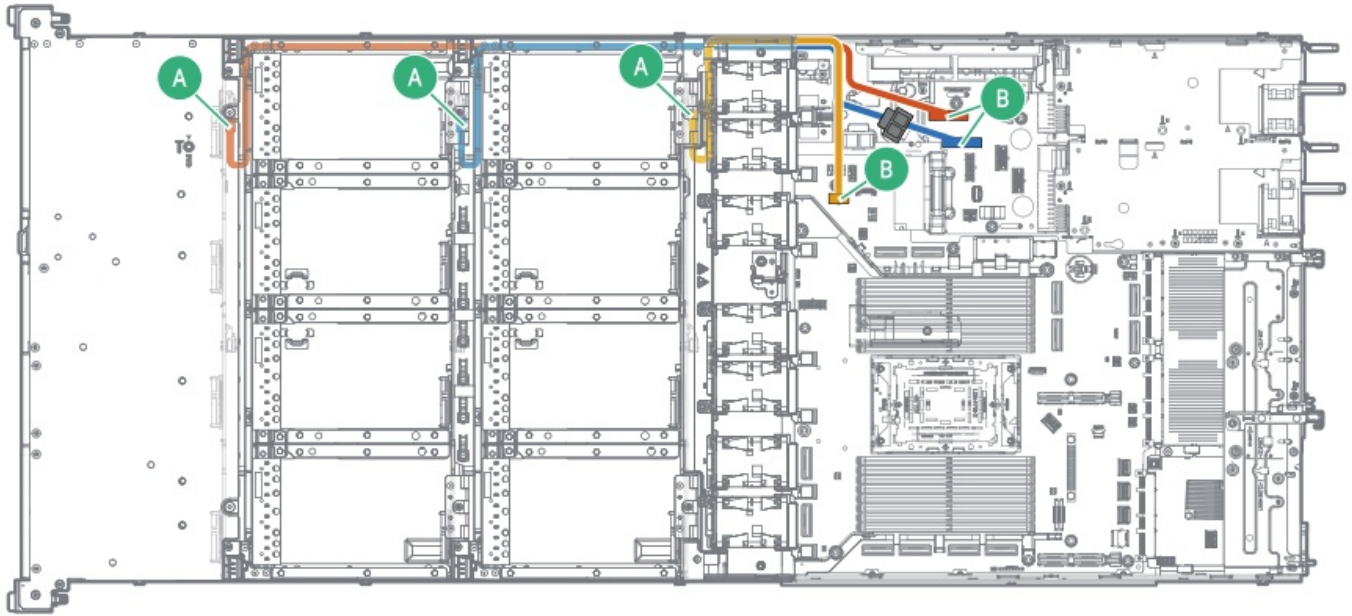
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75582-001	オレンジ色	ボックス1およびボックス2のドライブ電源コネクタ	ボックス1、2のドライブバックプレーン電源コネクタ
	青色	ボックス3および4のドライブ電源コネクタ	ボックス3、4のドライブバックプレーン電源コネクタ
P75586-001	金色	ボックス5のドライブ電源コネクタ	ボックス5のドライブバックプレーン電源コネクタ

4 LFF (3.5型) ドライブ電源のケーブル接続



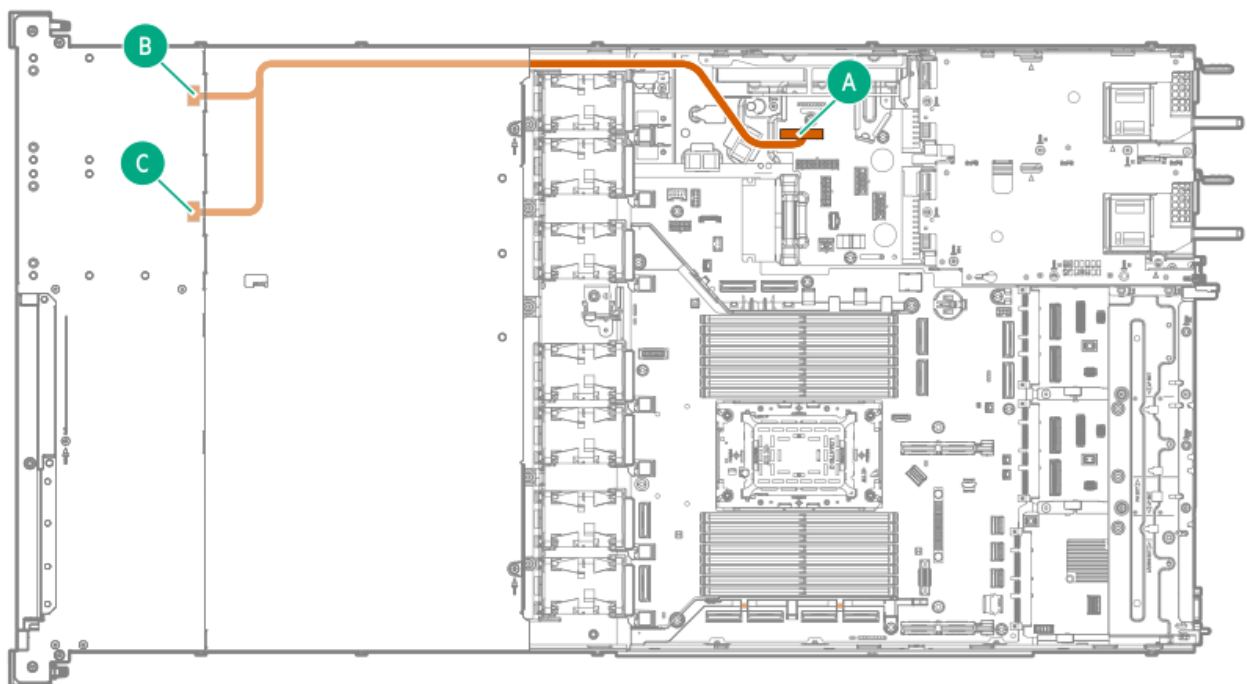
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75584-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーン電源コネクタ	ボックス1、2のドライブバックプレーン電源コネクタ

12 LFF (3.5型) ドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75585-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーン電源コネクタ (ボックス1)	ボックス1、2のドライブバックプレーン電源コネクタ
P75584-001	青色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーン電源コネクタ (ボックス3)	ボックス3、4のドライブバックプレーン電源コネクタ
P75583-001	金色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーン電源コネクタ (ボックス5)	ボックス5のドライブバックプレーン電源コネクタ

GPU最適化構成のドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75582-001	オレンジ色	4 E3.Sドライブバックプレーン電源コネクタ (ボックス1およびボックス2)	ボックス1、2のドライブバックプレーン電源コネクタ

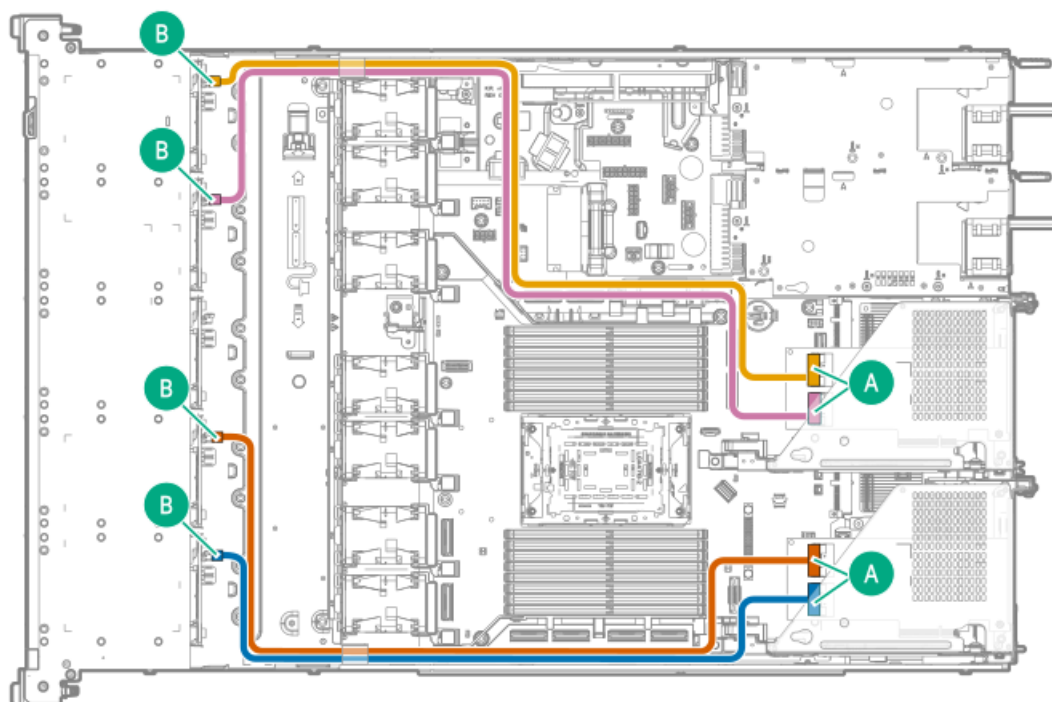
ストレージコントローラーのケーブル接続

サブトピック

- [SFF \(2.5型\) ドライブコントローラーのケーブル接続](#)
- [LFF \(3.5型\) ドライブコントローラーのケーブル接続](#)
- [E3.Sドライブコントローラーのケーブル接続](#)
- [混合ドライブコントローラーのケーブル接続](#)
- [GPU最適化構成のドライブコントローラーのケーブル接続](#)
- [Energy Packのケーブル接続](#)
- [ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続](#)

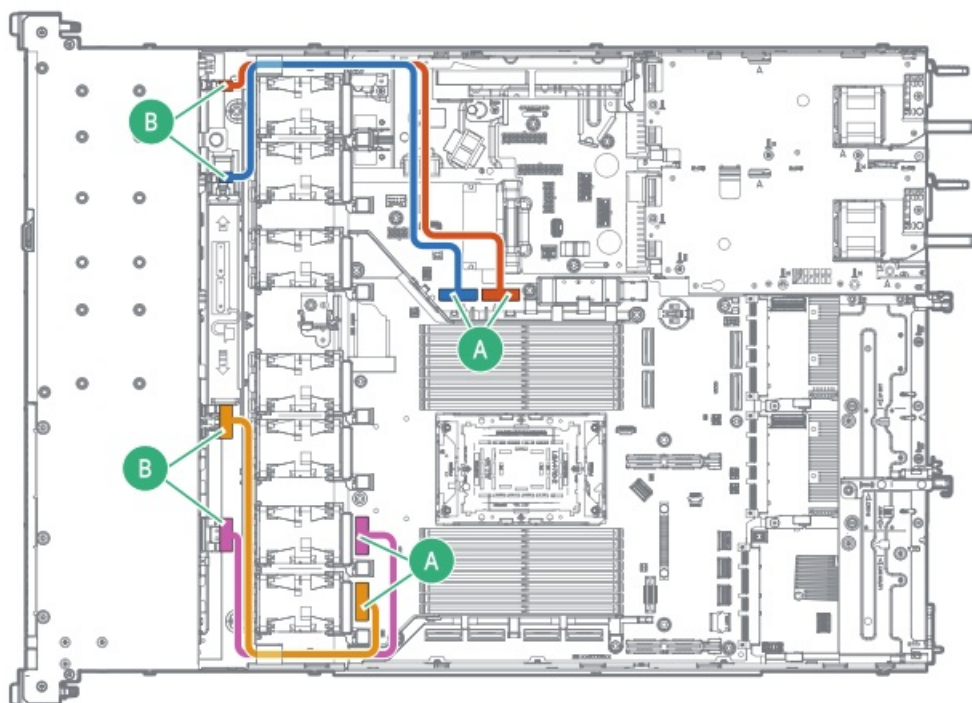
SFF (2.5型) ドライブコントローラーのケーブル接続

8 SFF (2.5型) ドライブ : タイプpコントローラーのケーブル接続



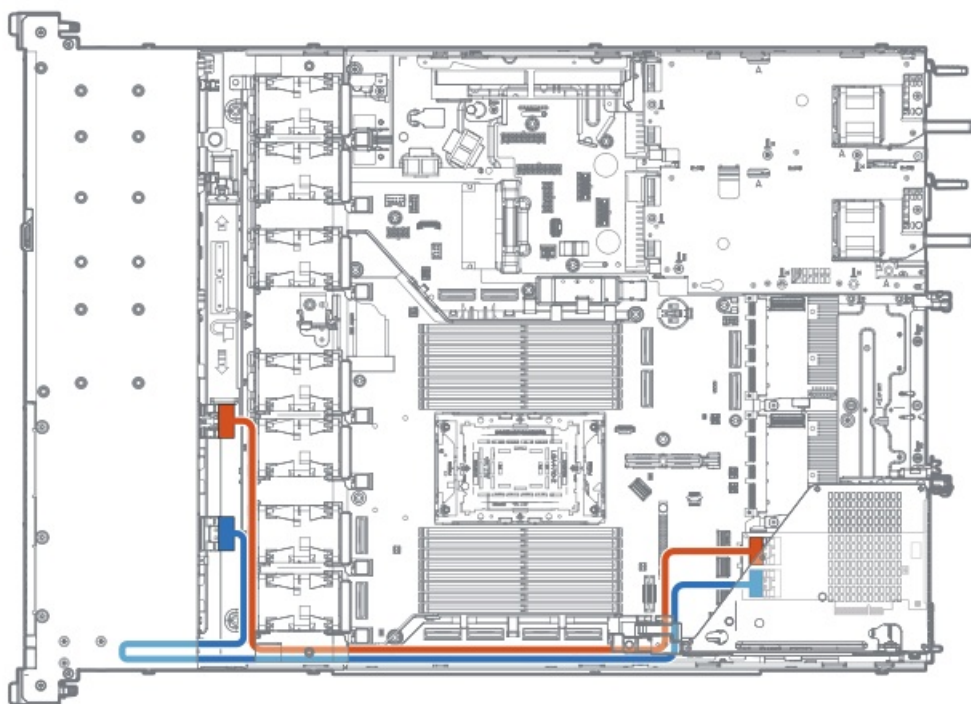
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75590-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス4)	プライマリタイプpコントローラーポート1
	青色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス5)	プライマリタイプpコントローラーポート2
	金色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス1)	セカンダリタイプpコントローラーポート1
	ピンク色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス2)	セカンダリタイプpコントローラーポート2

8 SFF (2.5型) ドライブ：直接接続のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71912-001	オレンジ色	ポート4	M-X10ポート4
	青色	ポート3	M-X10ポート6
P71910-001	金色	ポート2	M-X10ポート0
	ピンク色	ポート1	M-X10ポート2

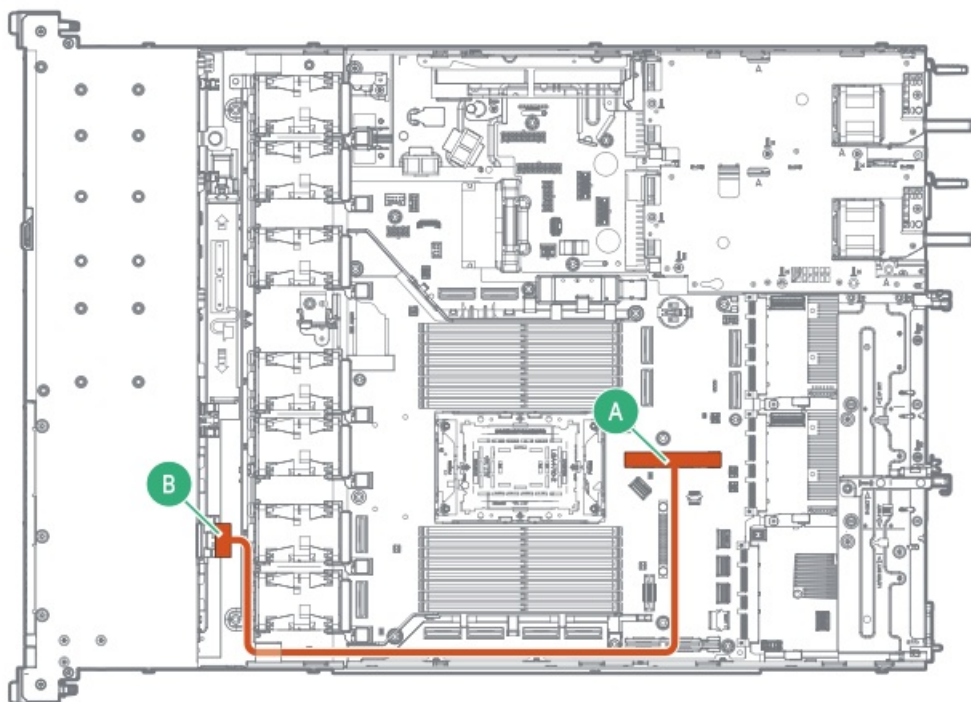
8 + 2 SFF (2.5型) ドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45611-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン	タイプpコントローラーポート1
P53972-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン	タイプpコントローラーポート2

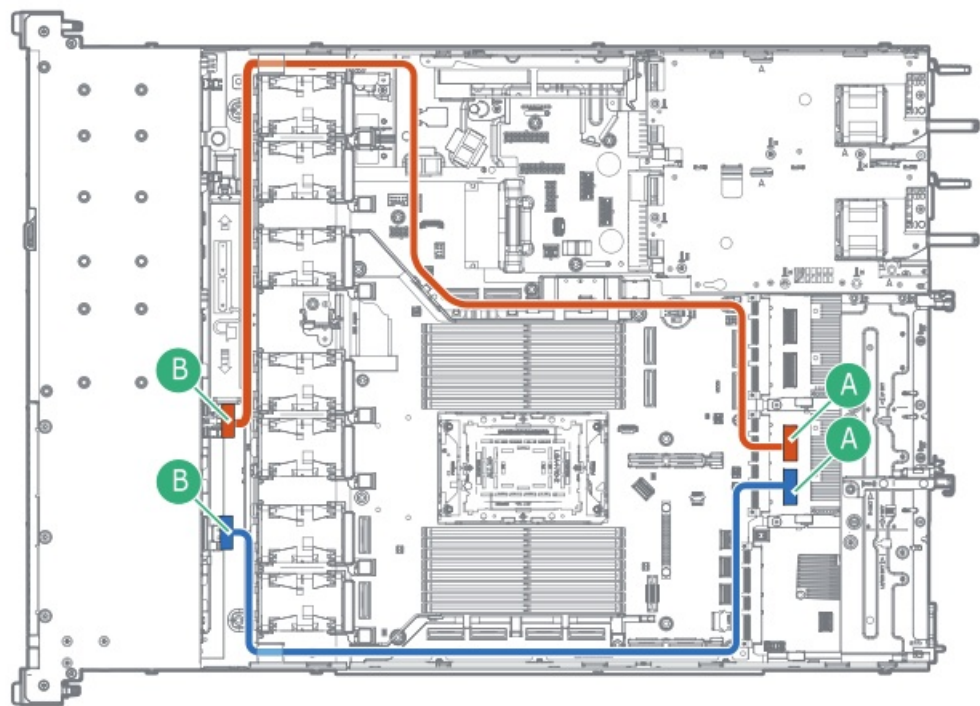
2 SFF (2.5型) ドライブ : セカンダリライザーコネクターのケーブル接続

この接続には、フルハイトのライザーケージブランクが必要です。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P74810-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレーン	セカンダリライザーコネクタ

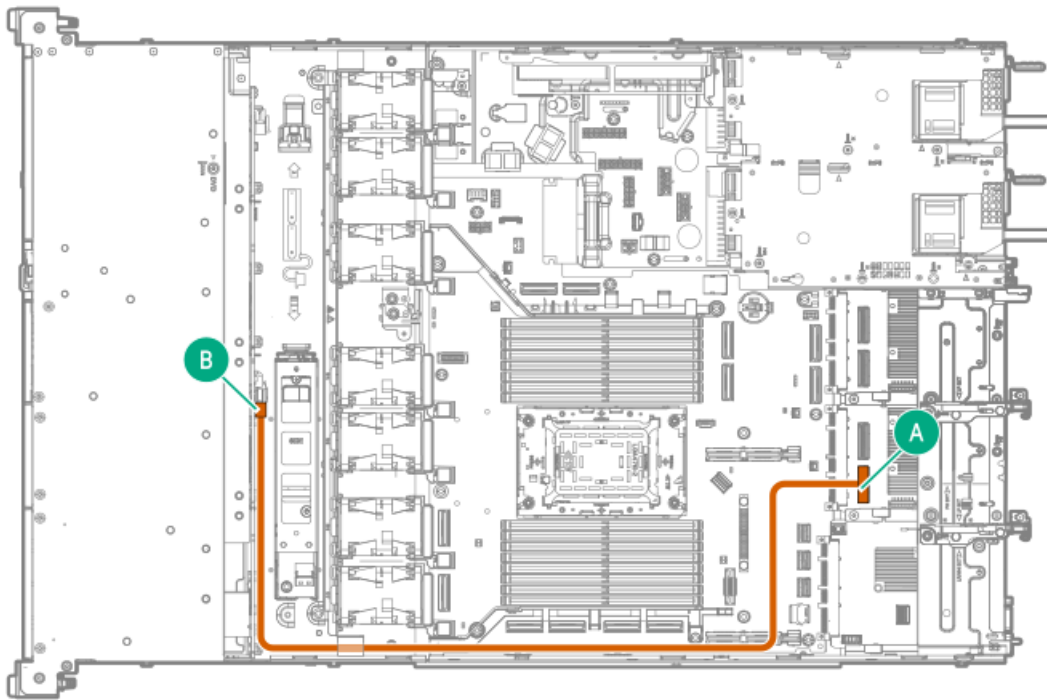
8 + 2 SFF (2.5型) ドライブ : タイプoコントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48961-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのポート1	OCP Aのタイプoコントローラーポート2
P48960-001	青色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーンのポート1	OCP Aのタイプoコントローラーポート1

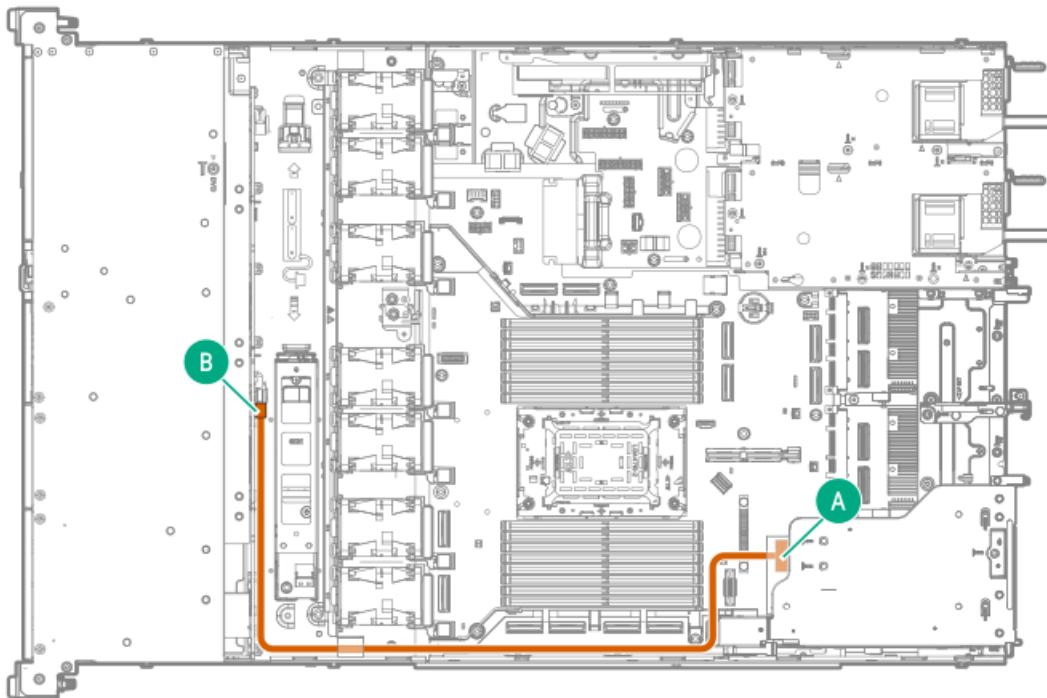
LFF (3.5型) ドライブコントローラーのケーブル接続

4 LFF (3.5型) ドライブ : タイプoコントローラーのケーブル接続



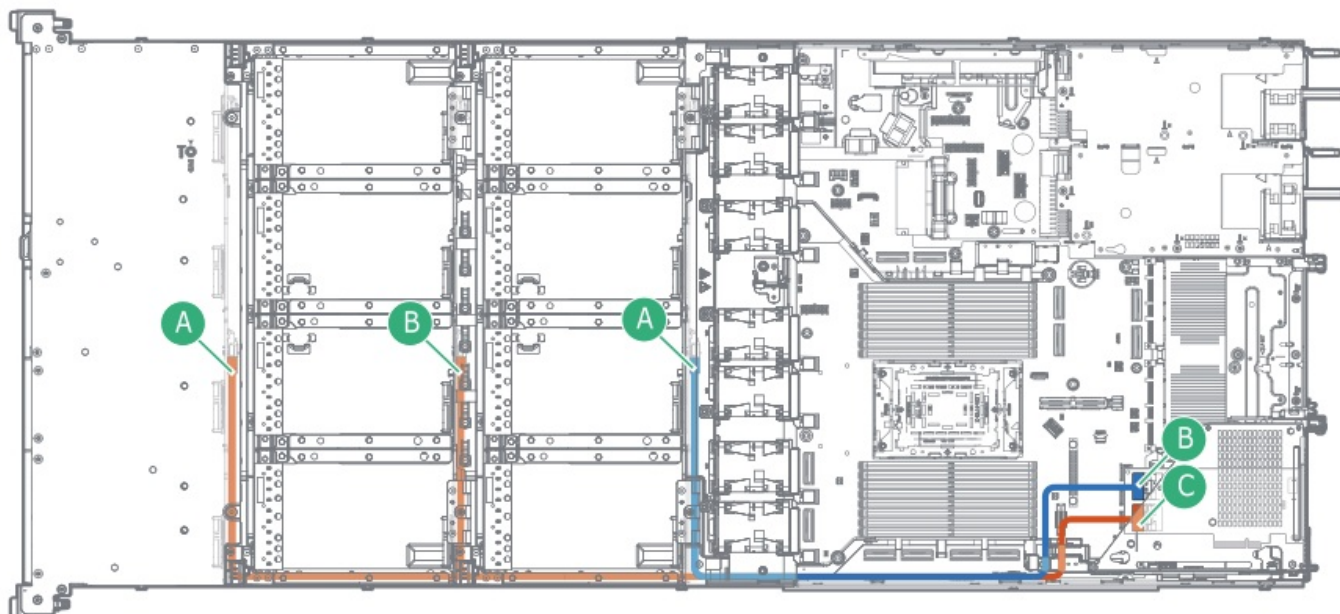
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P53989-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのポート1	OCP Aのタイプoコントローラーポート1

4 LFF (3.5型) ドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続



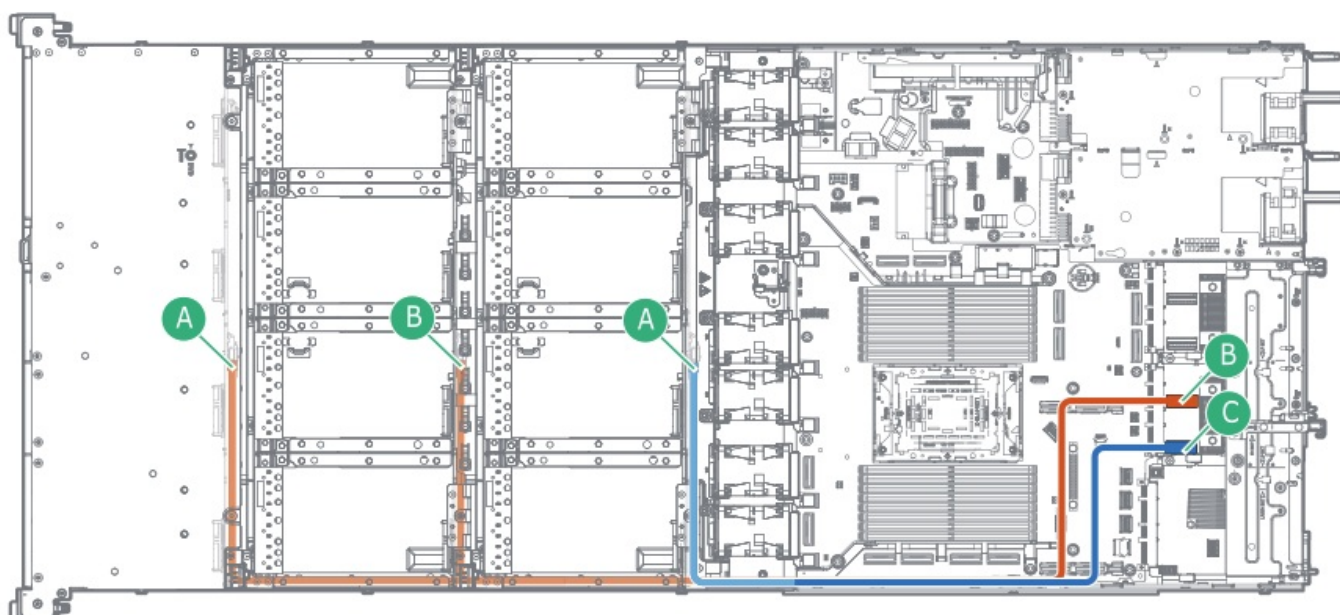
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54931-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのポート1	タイプpコントローラーポート1

12 LFF (3.5型) ドライブ：プライマリタイプpコントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54930-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのポート1 (ボックス1およびボックス3)	タイプpコントローラーポート2
P54931-001	青色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのポート1 (ボックス5)	タイプpコントローラーポート1

12 LFF (3.5型) ドライブ : タイプoコントローラーのケーブル接続

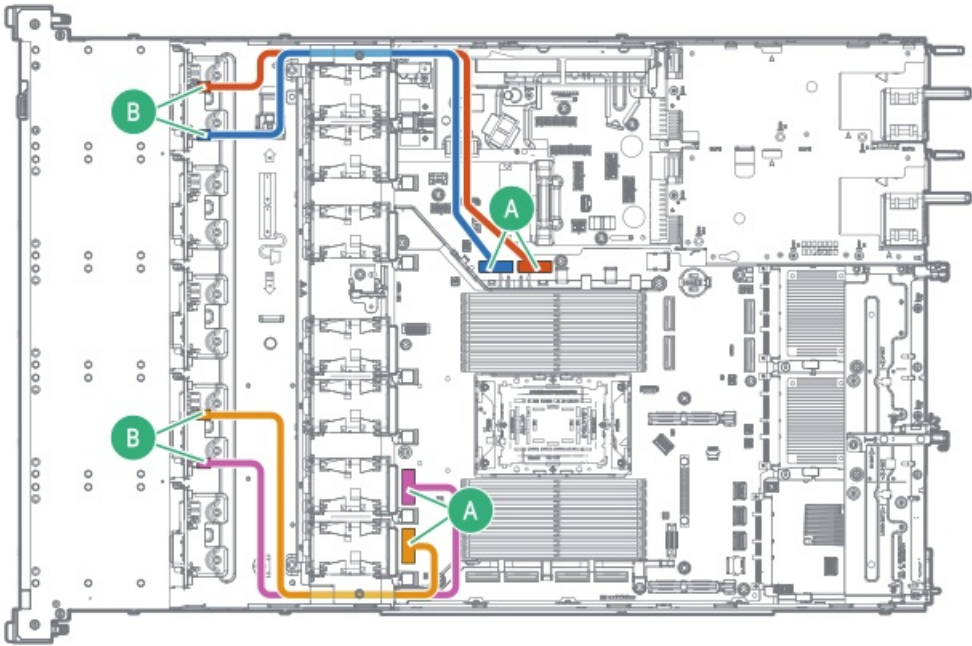


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54928-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのポート1 (ボックス1およびボックス3)	OCP Aのタイプのコントローラーポート2
P53989-001	青色	4 LFF (3.5型) ドライブバックプレーンのポート1 (ボックス5)	OCP Aのタイプのコントローラーポート1

E3. Sドライブコントローラーのケーブル接続

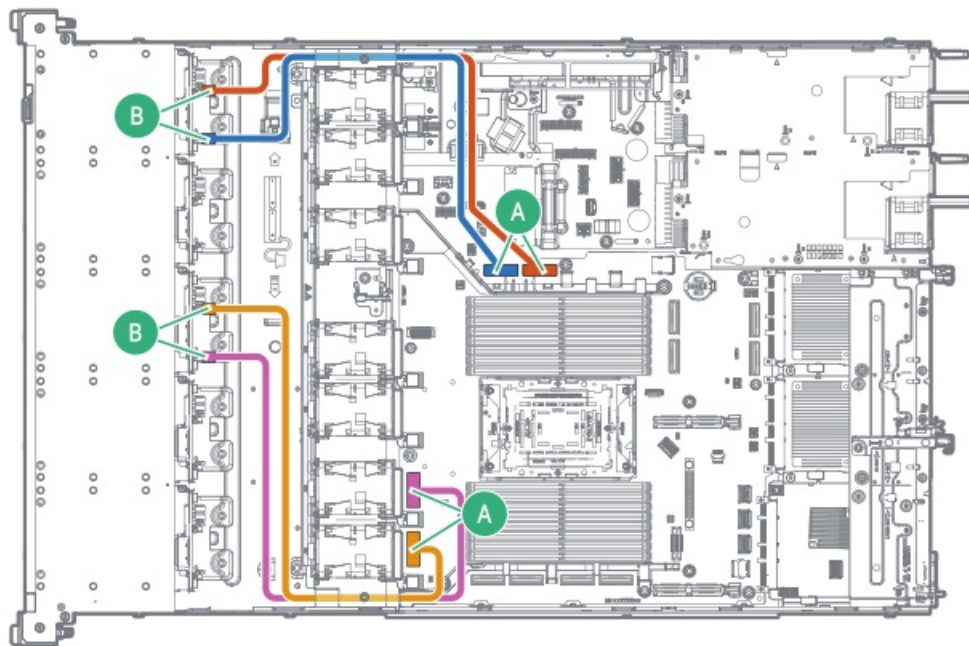
8 E3. Sドライブ：直接接続のケーブル接続

- ボックス1および4：



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75592-001	オレンジ色	ボックス1、ポート2	M-X10ポート4
	青色	ボックス1、ポート1	M-X10ポート6
	金色	ボックス4、ポート2	M-X10ポート0
	ピンク色	ボックス4、ポート1	M-X10ポート2

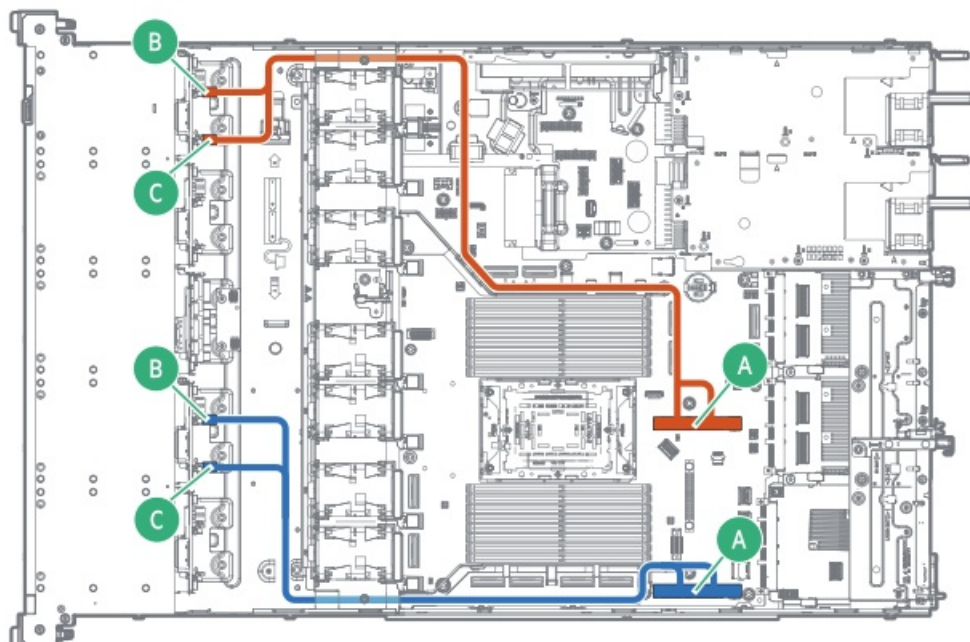
- ボックス1および3：



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75592-001	オレンジ色	ボックス1、ポート2	M-X10ポート4
	青色	ボックス1、ポート1	M-X10ポート6
	金色	ボックス3、ポート2	M-X10ポート0
	ピンク色	ボックス3、ポート1	M-X10ポート2

8 E3.Sドライブ：プライマリおよびセカンダリライザーコネクターのケーブル接続

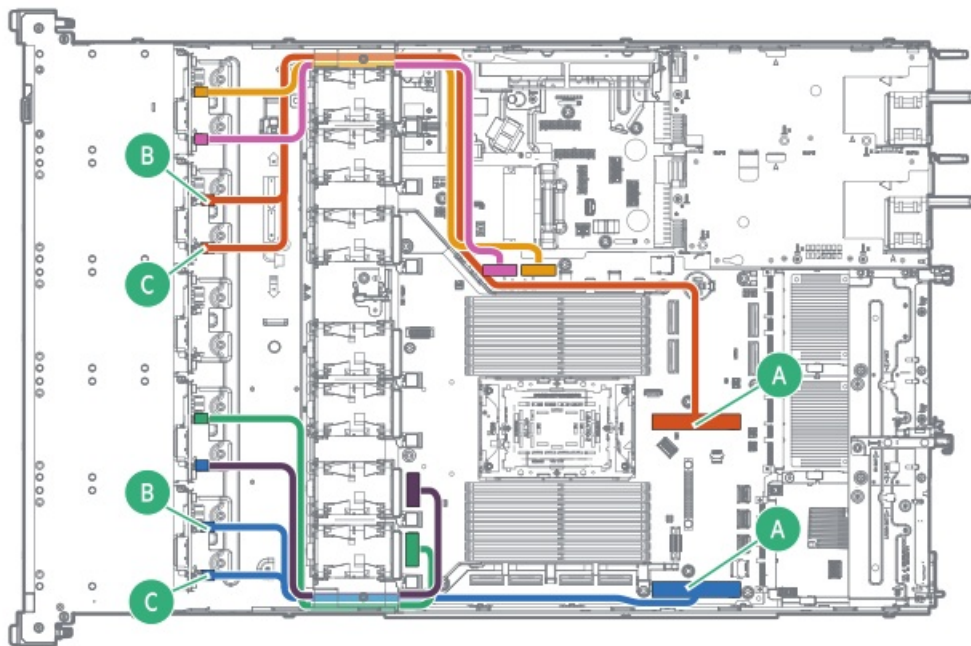
この接続には、フルハイトのライザーケージブランクが必要です。



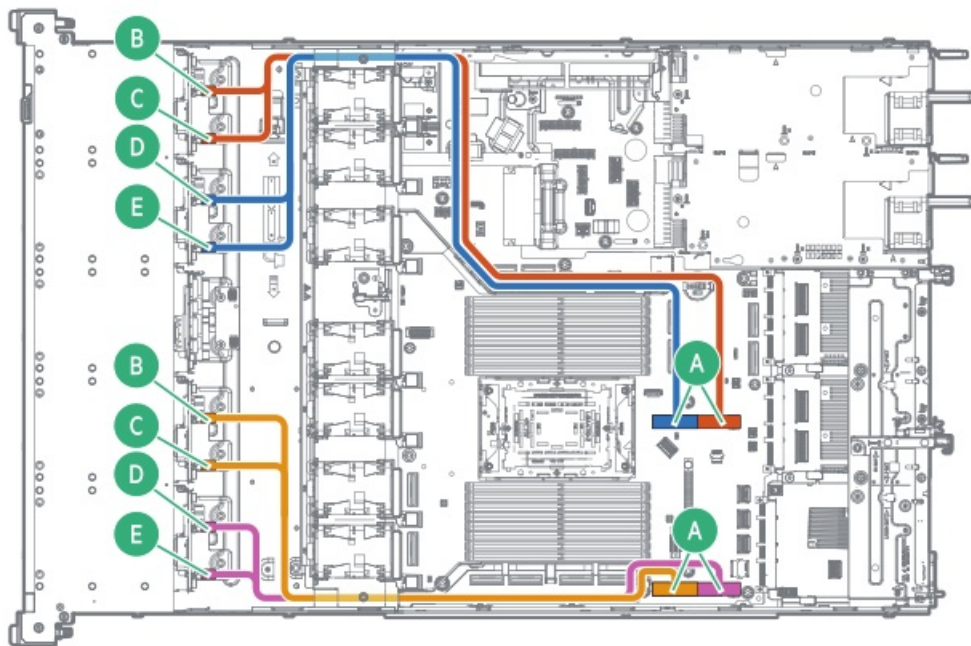
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75580-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1とポート2	セカンダリライザーコネクタ
P75577-001	青色	ボックス4、ポート1とポート2	プライマリライザーコネクタ

16 E3.Sドライブ：プライマリおよびセカンダリライザーコネクタのケーブル接続

これらの接続には、フルハイトのライザーケーシングブランクが必要です。



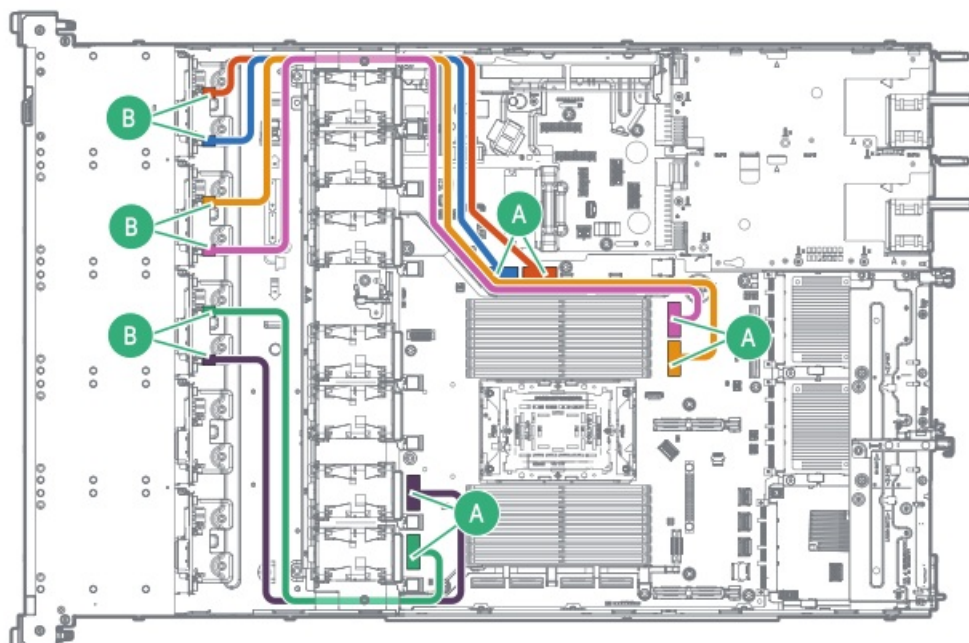
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75580-001	オレンジ色	ボックス2、ポート2 ボックス2、ポート1	セカンダリライザーコネクタ
P75577-001	青色	ボックス5、ポート2 ボックス5、ポート1	プライマリライザーコネクタ
P75592-001	金色	ボックス1、ポート2	M-X10ポート4
	ピンク色	ボックス1、ポート1	M-X10ポート6
	緑色	ボックス4、ポート2	M-X10ポート2
	紫色	ボックス4、ポート1	M-X10ポート0



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75578-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1とポート2	セカンダリライザーコネクター
	青色	ボックス2、ポート1とポート2	
P75579-001	金色	ボックス4、ポート1とポート2	プライマリライザーコネクター
	ピンク色	ボックス5、ポート1とポート2	

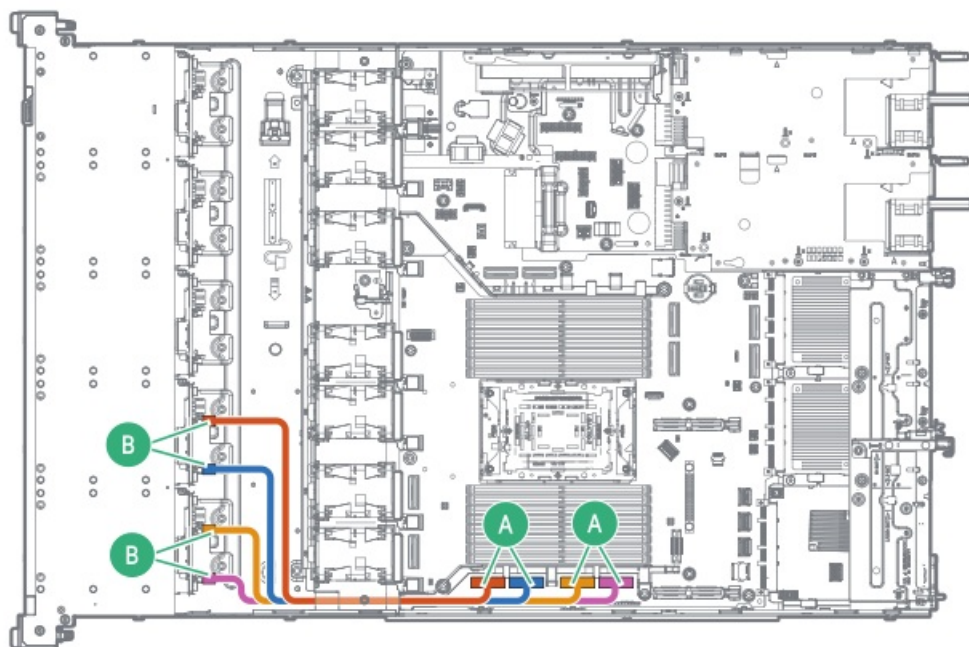
20 E3.Sドライブ：直接接続のケーブル接続

- ボックス1～3：



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75592-001	オレンジ色	ボックス1、ポート2	M-X10ポート4
	青色	ボックス1、ポート1	M-X10ポート6
P75576-001	金色	ボックス2、ポート2	M-X10ポート13
	ピンク色	ボックス2、ポート1	M-X10ポート17
P75504-001	緑色	ボックス3、ポート2	M-X10ポート0
	紫色	ボックス3、ポート1	M-X10ポート2

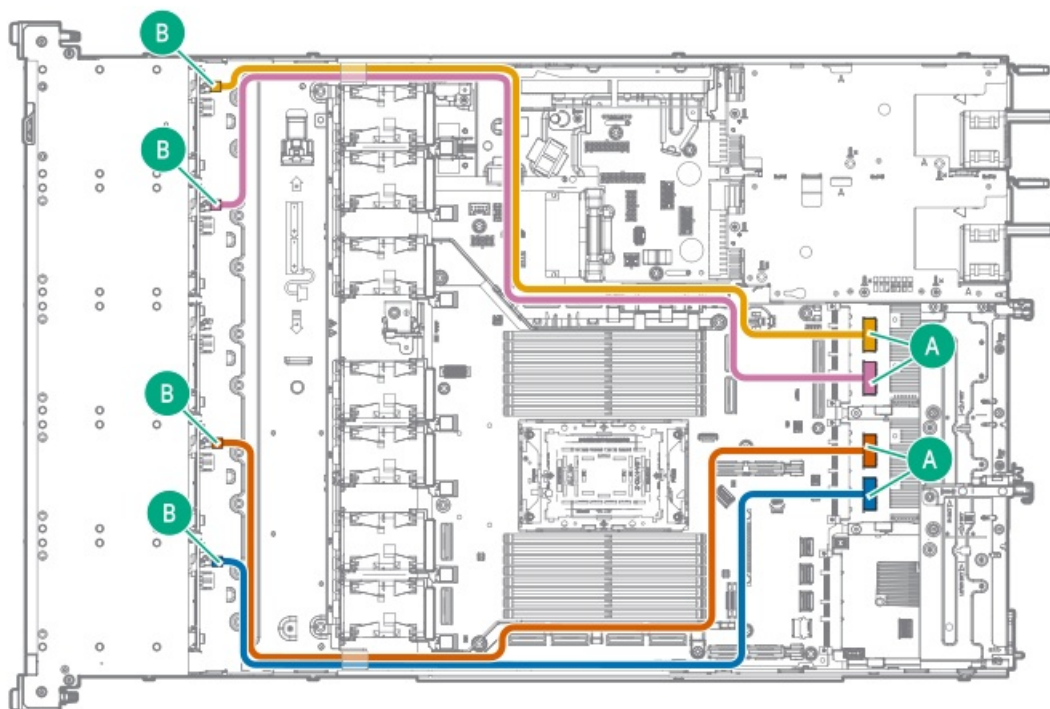
- ボックス4～5 :



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75505-001	オレンジ色	ボックス4、ポート2	M-X10ポート7
	青色	ボックス4、ポート1	M-X10ポート5
	金色	ボックス5、ポート2	M-X10ポート1
	ピンク色	ボックス5、ポート1	M-X10ポート3

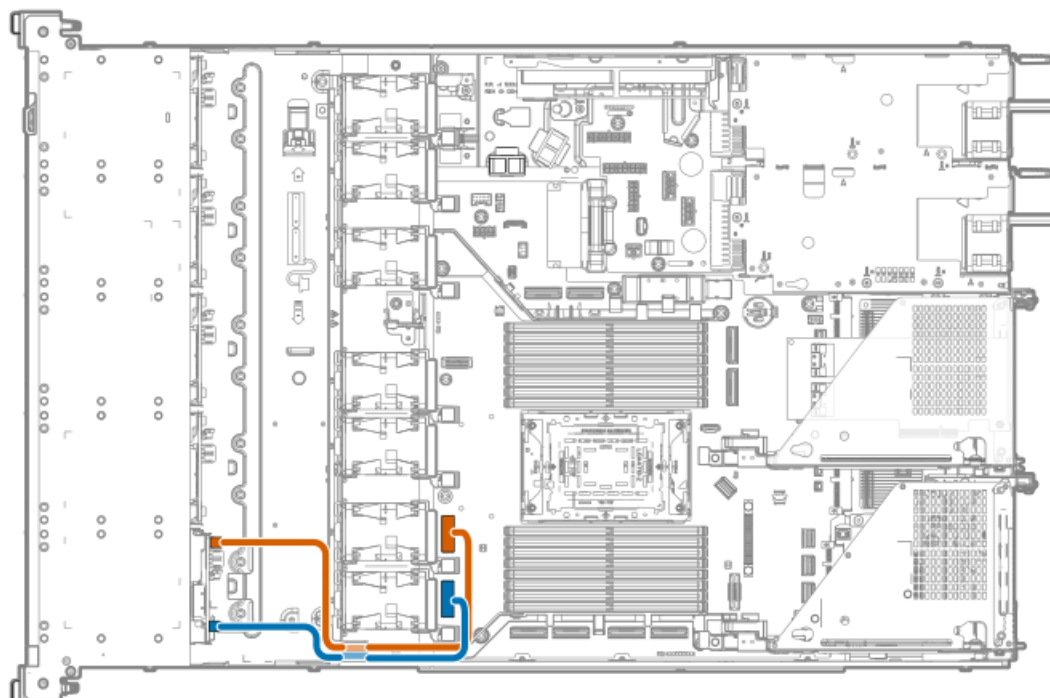
混合ドライブコントローラーのケーブル接続

8 SFF (2.5型) ドライブ : タイプoコントローラーのケーブル接続



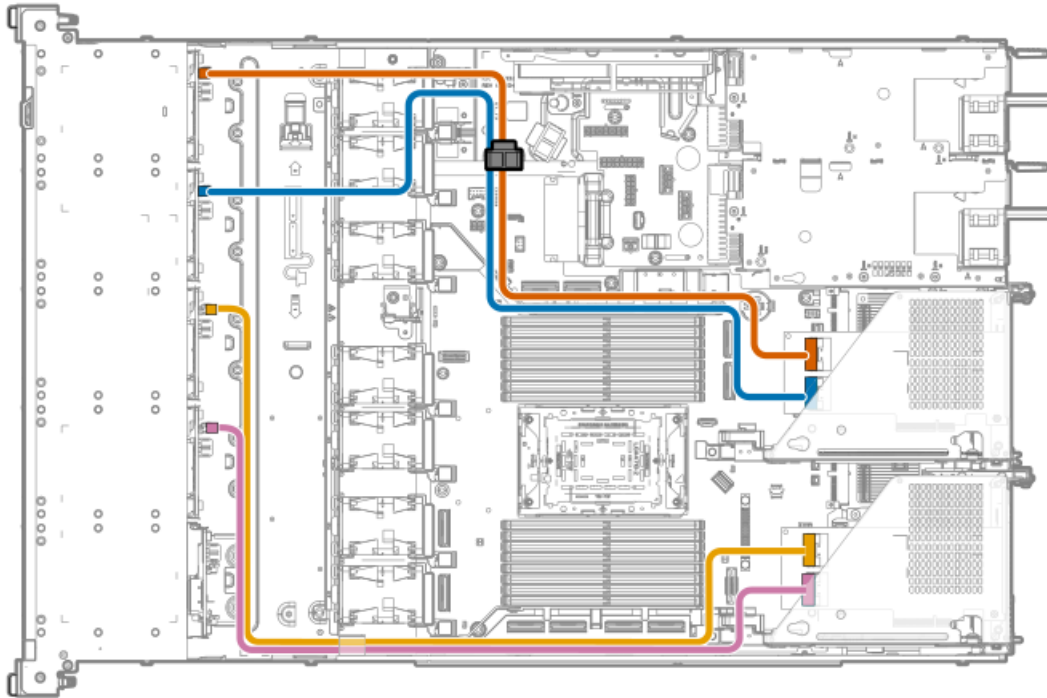
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75589-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス4)	OCP Aのタイプoコントローラーポート2
	青色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス5)	OCP Aのタイプoコントローラーポート1
	金色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス1)	OCP Bのタイプoコントローラーポート2
	ピンク色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス2)	OCP Bのタイプoコントローラーポート1

8 SFF (2.5型) + 4 E3.Sドライブ : オンボードSAS/SATA/NVMeのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75594-001	オレンジ色	4 E3.Sドライブバックプレーンのポート2 (ボックス5)	
	青色	4 E3.Sドライブバックプレーンのポート1 (ボックス5)	

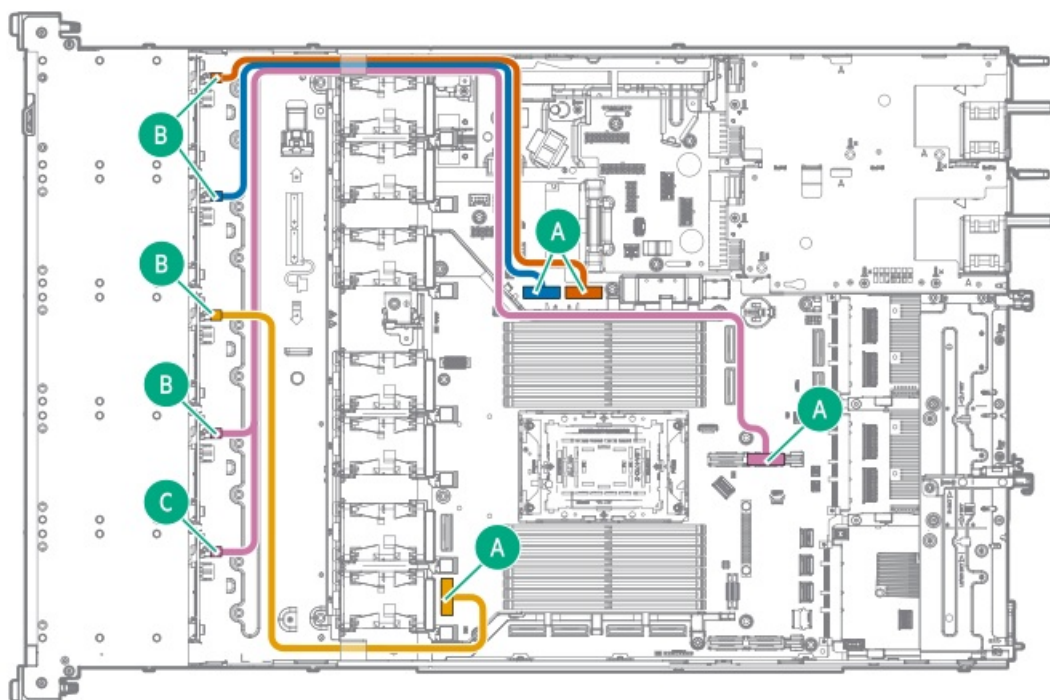
8 SFF (2.5型) + 4 E3.Sドライブ : タイプpコントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75590-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス1)	セカンダリタイプpコントローラーポート1
	青色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス2)	セカンダリタイプpコントローラーポート2
P75590-001	金色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス3)	プライマリタイプpコントローラーポート1
	ピンク色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス4)	プライマリタイプpコントローラーポート2

10 SFF (2.5型) ドライブ : 直接接続のケーブル接続

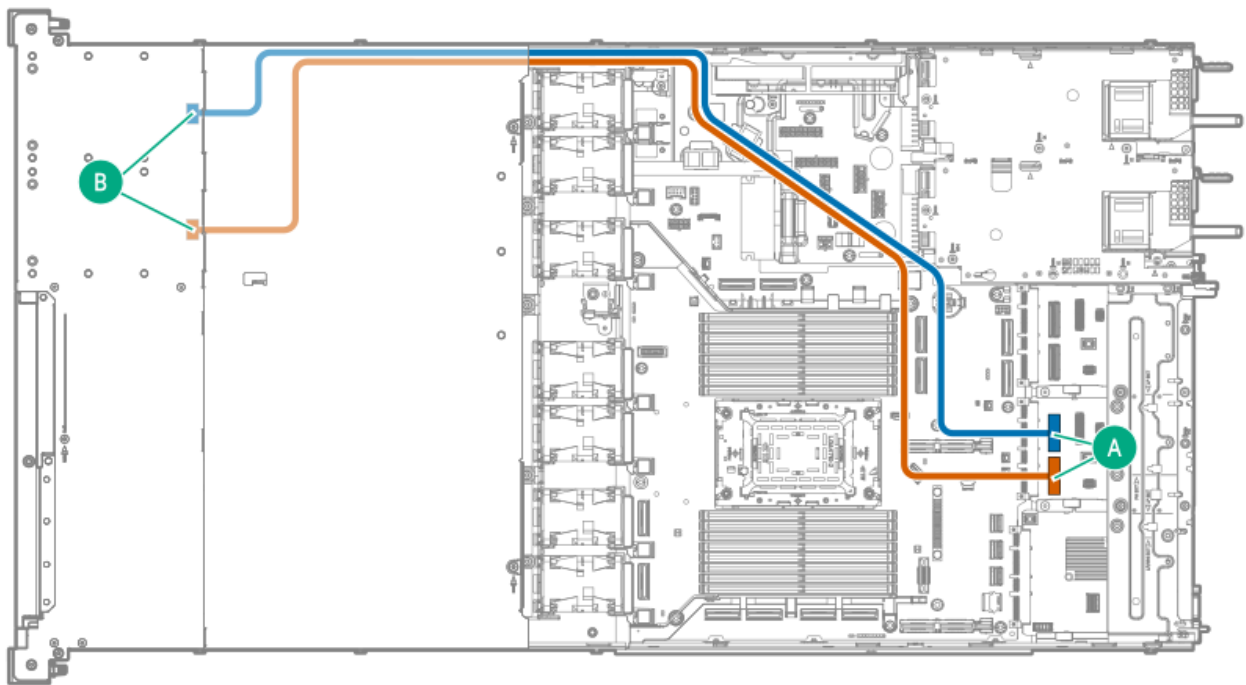
この接続には、フルハイトのライザーケーシングブランクが必要です。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75592-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス1)	M-X10ポート4
	青色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス2)	M-X10ポート6
	金色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス3)	M-X10ポート0
P75580-001	ピンク色	2 SFF (2.5型) ドライブバックプレーン (ボックス4および5)	セカンダリライザーコネクター

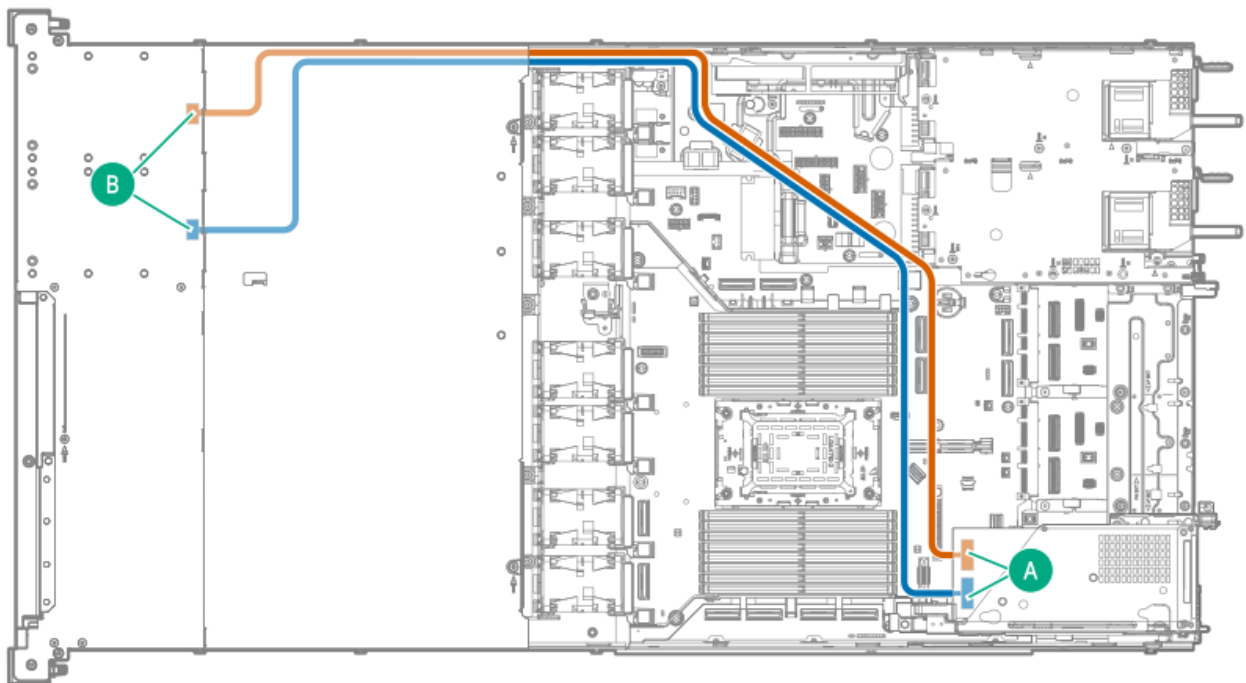
GPU最適化構成のドライブコントローラーのケーブル接続

4 SFF (2.5型) ドライブ : タイプoコントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75587-001	オレンジ色	ボックス2、ポート1	OCP Aのタイプoコントローラーポート1
P75589-001	青色	ボックス1、ポート1	OCP Aのタイプoコントローラーポート2

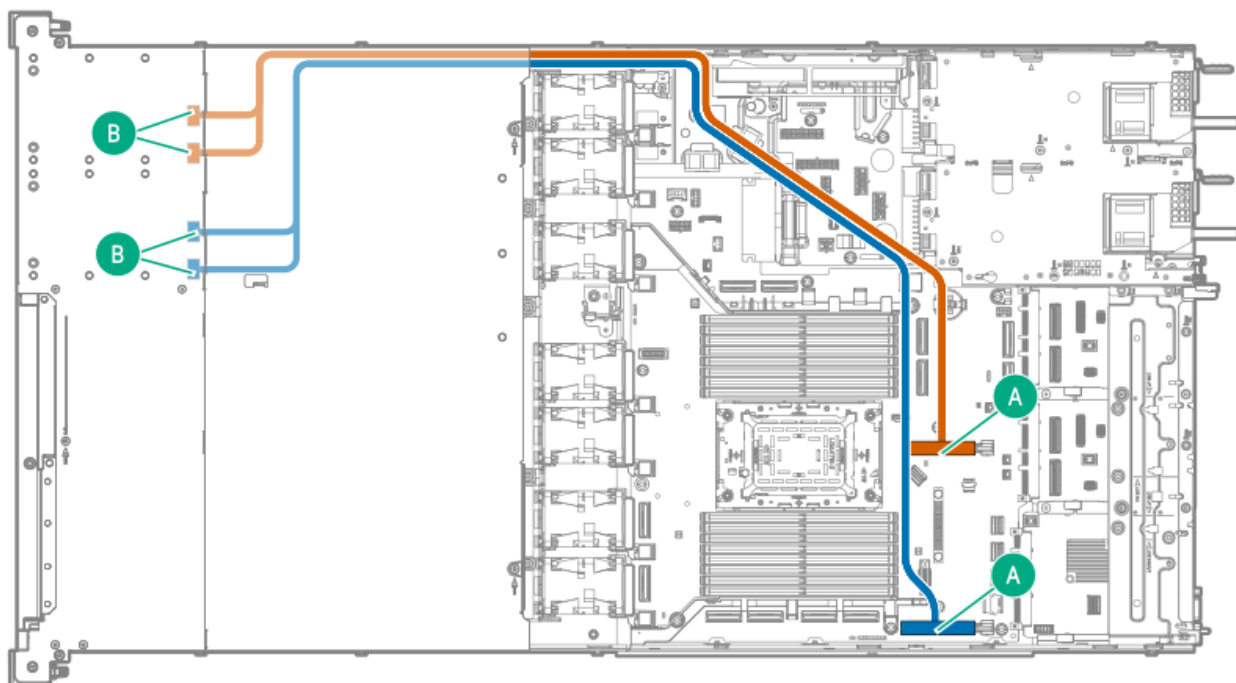
4 SFF (2.5型)/16 E3.Sドライブ : プライマリタイプoコントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75588-001	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレートのポート1 (ボックス1)	タイプpコントローラーポート1
	青色	2 SFF (2.5型) バックプレートのポート1 (ボックス2)	タイプpコントローラーポート2

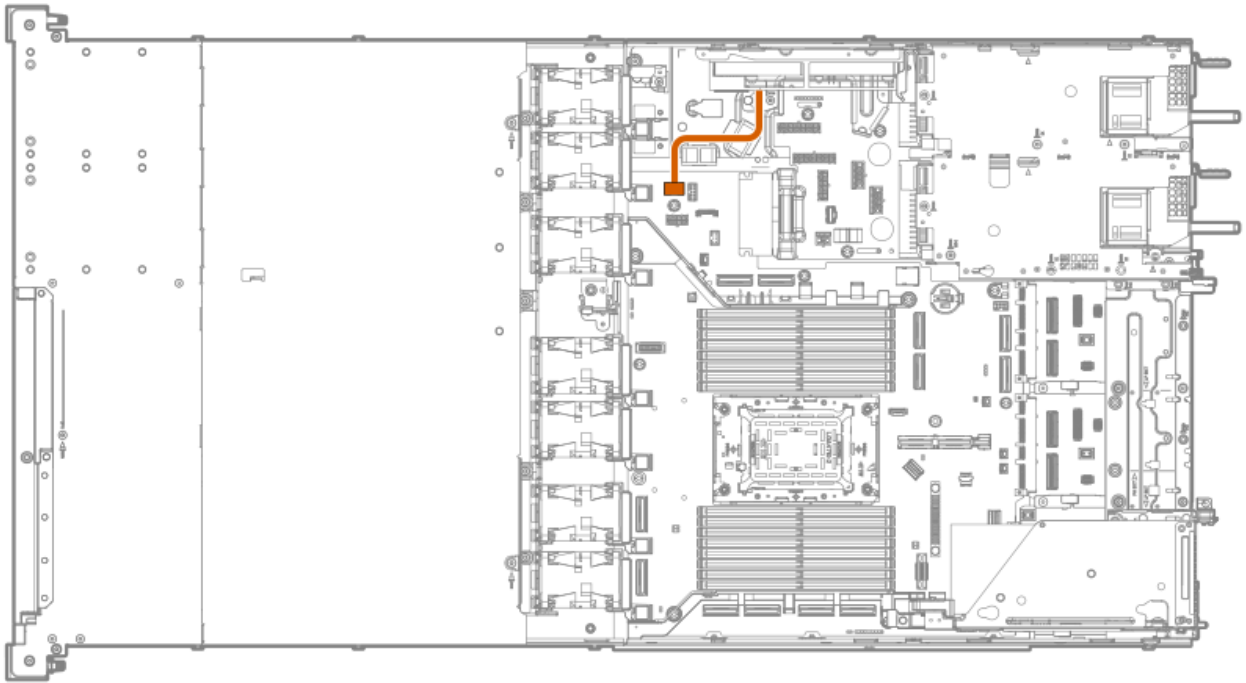
8 E3.Sドライブ：プライマリおよびセカンダリライザーコネクターのケーブル接続

これらの接続には、フルハイトのライザーケーシングブランクが必要です。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75580-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1とポート2	プライマリライザーコネクター
	青色	ボックス2、ポート1とポート2	セカンダリライザーコネクター

Energy Packのケーブル接続



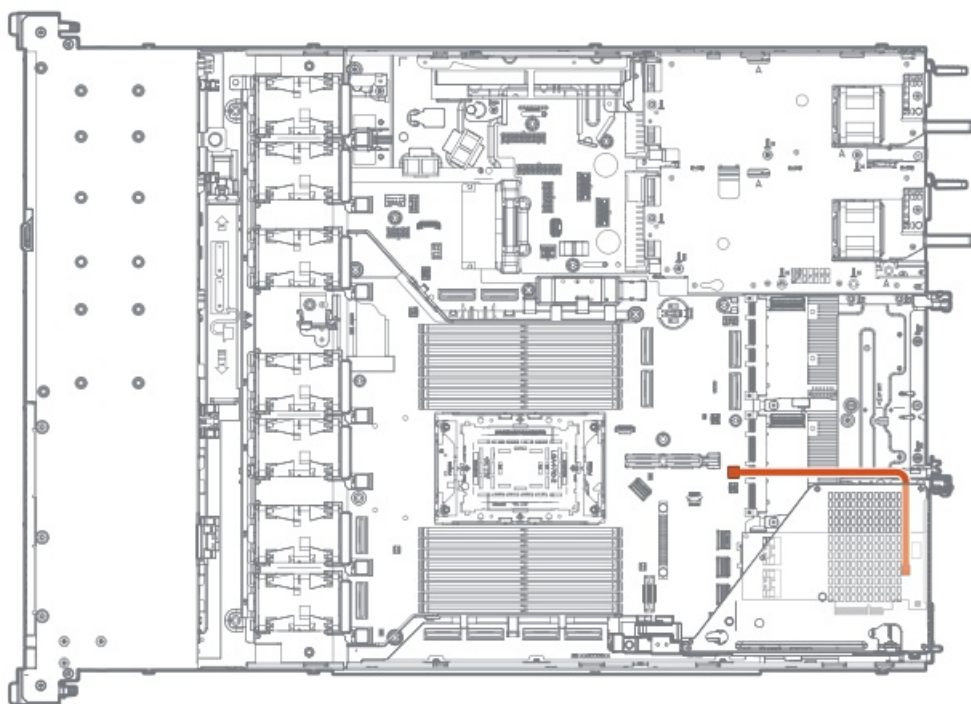
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
-	オレンジ色	Energy Pack	Energy Packコネクター

ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続

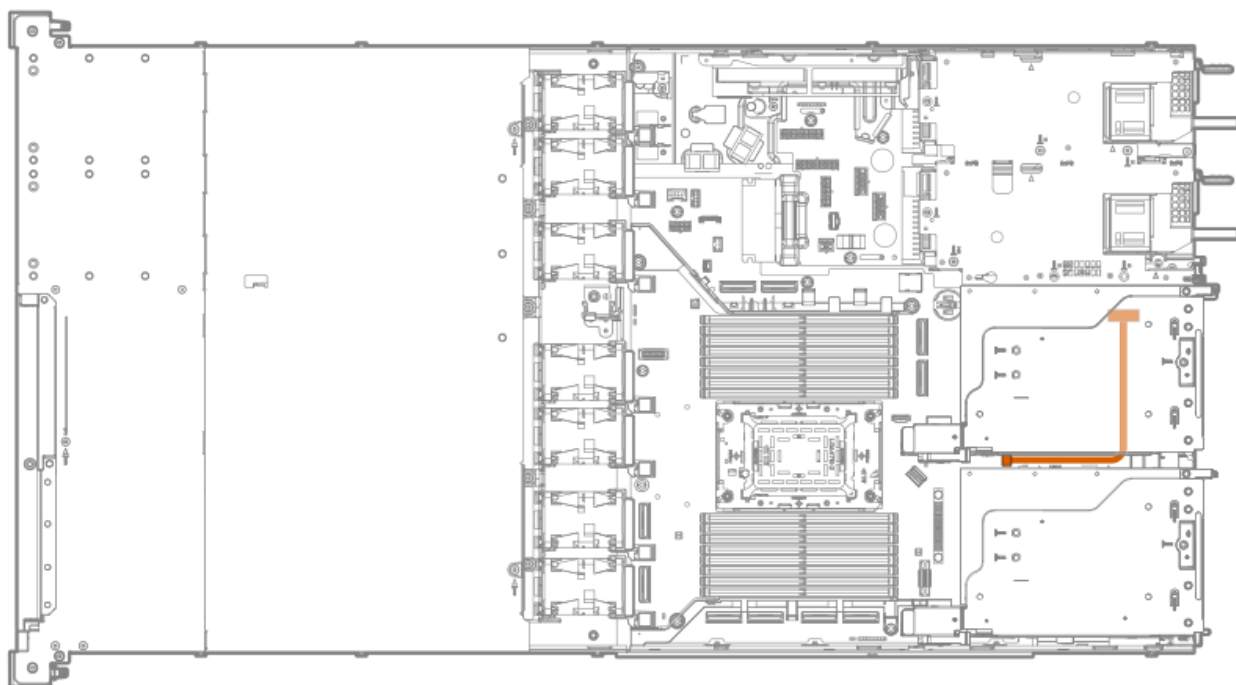
ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続の正確なルートは、以下によって異なります。

- コントローラーが取り付けられているライザーロット
- コントローラー上のストレージコントローラーバックアップ電源コネクターの位置

次の図は参照用にのみ使用してください。

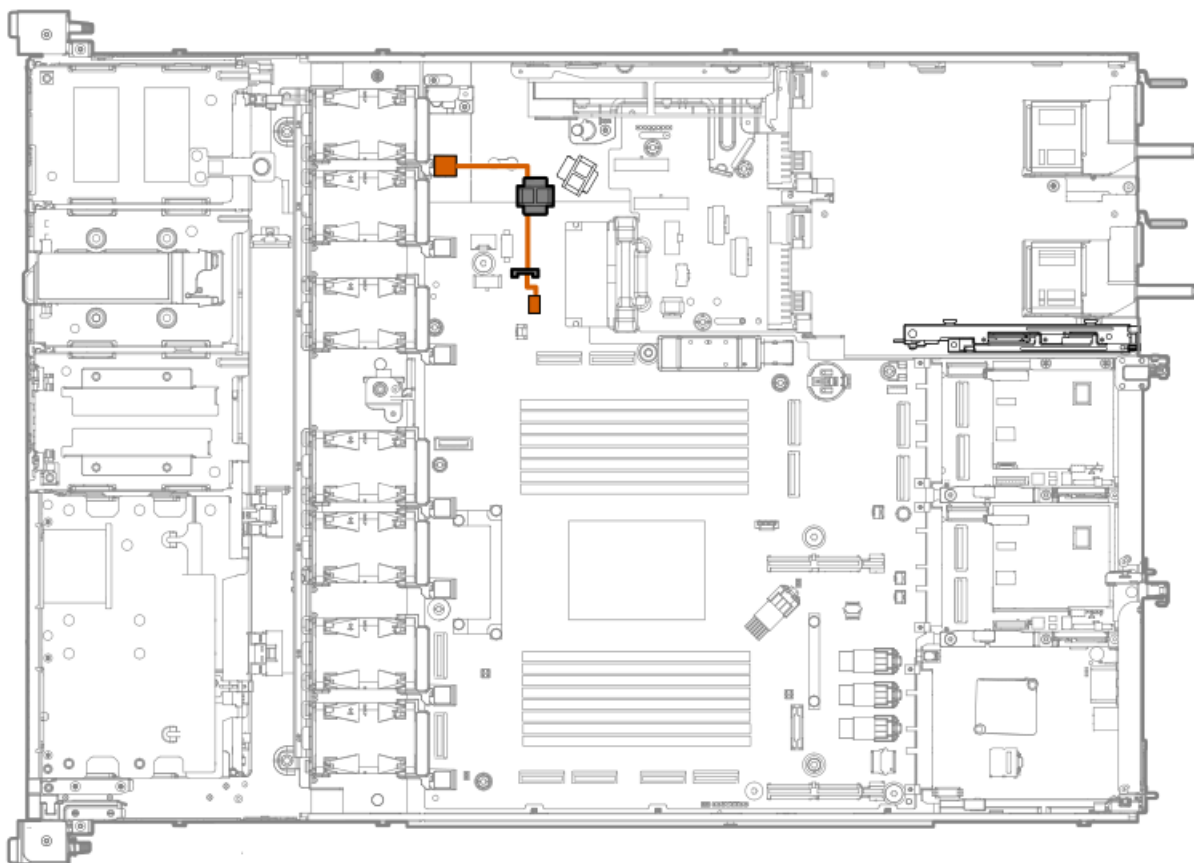


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
-	オレンジ色	プライマリタイプpコントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ



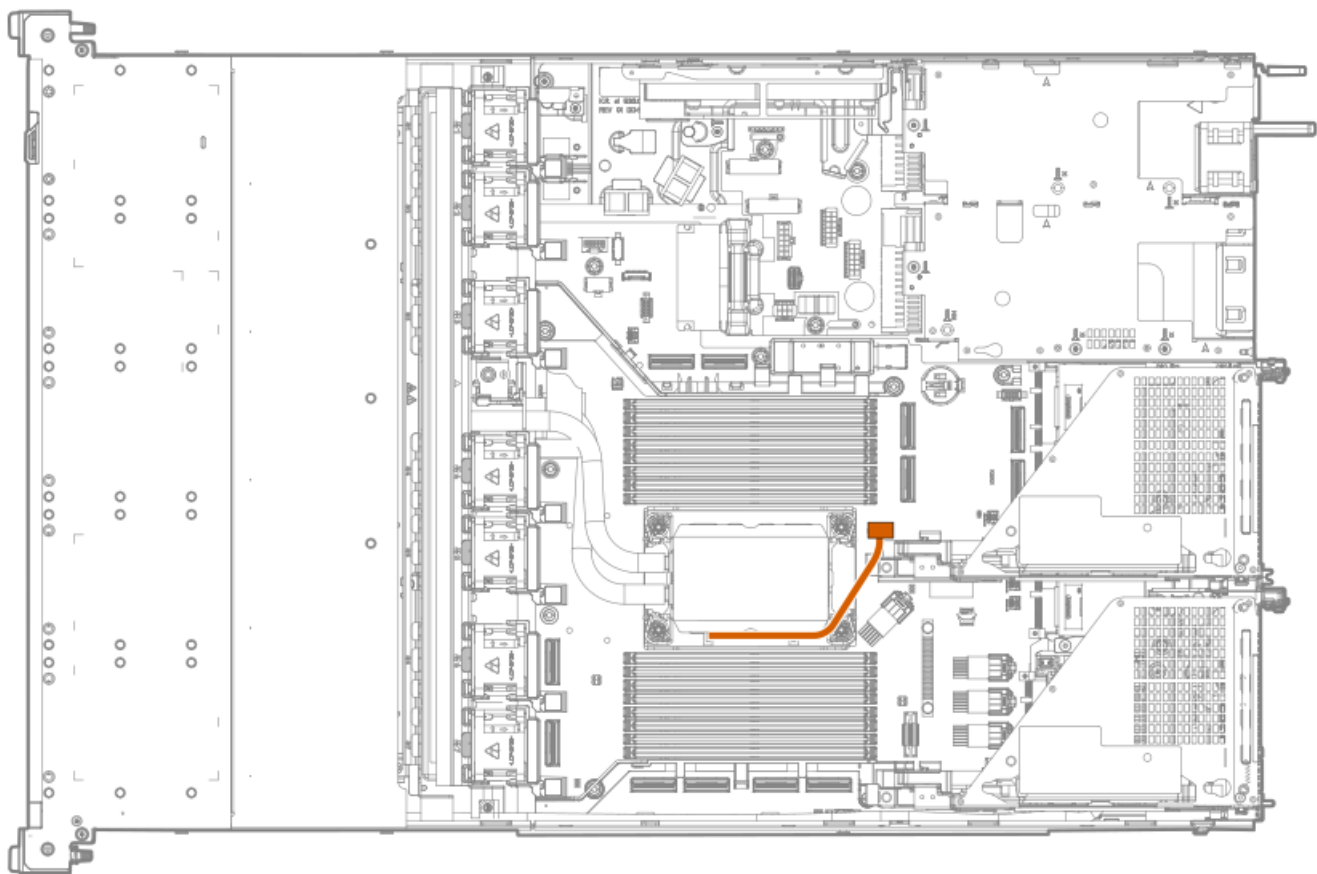
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
-	オレンジ色	セカンダリタイプpコントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ

ファンのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71914-001	オレンジ色	ファンコネクター	ファンコネクター1

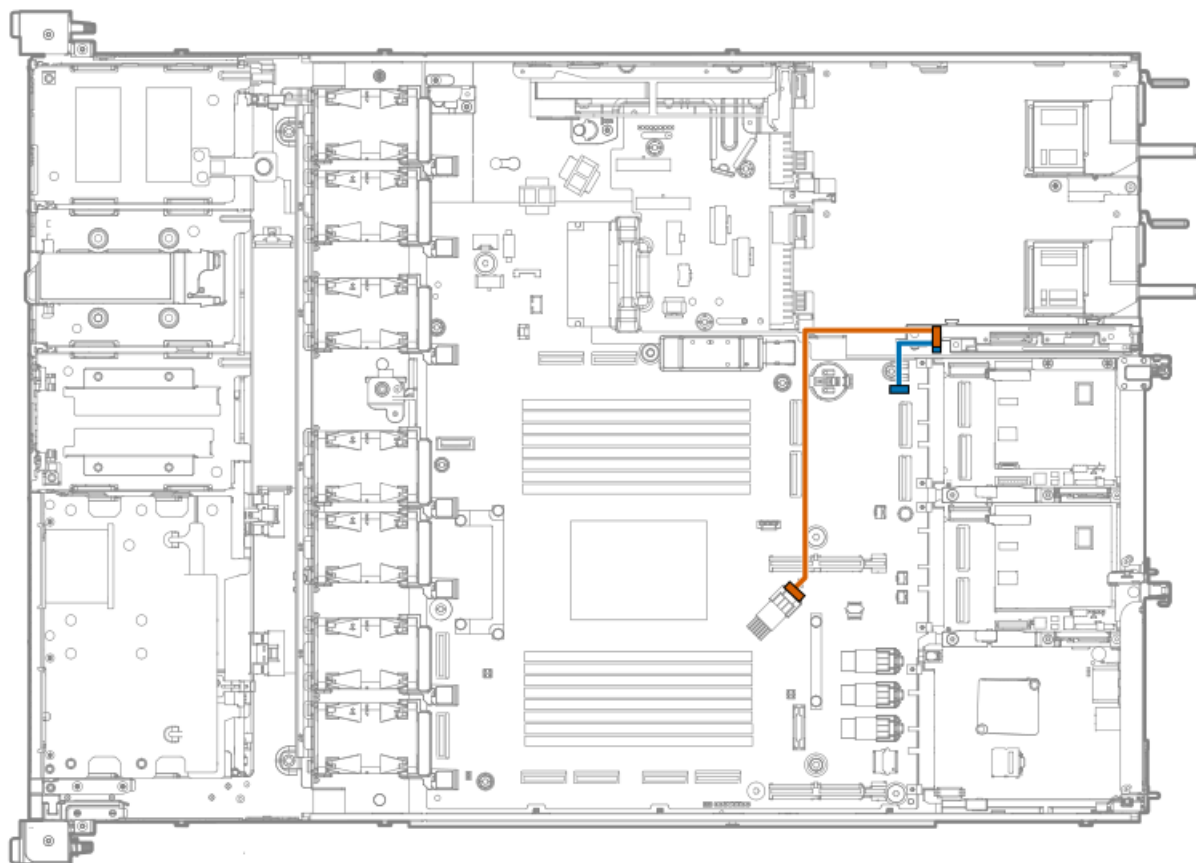
クローズドループ液冷ヒートシンクのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
-	オレンジ色	クローズドループ液冷ヒート シンク	CLCコネクタ

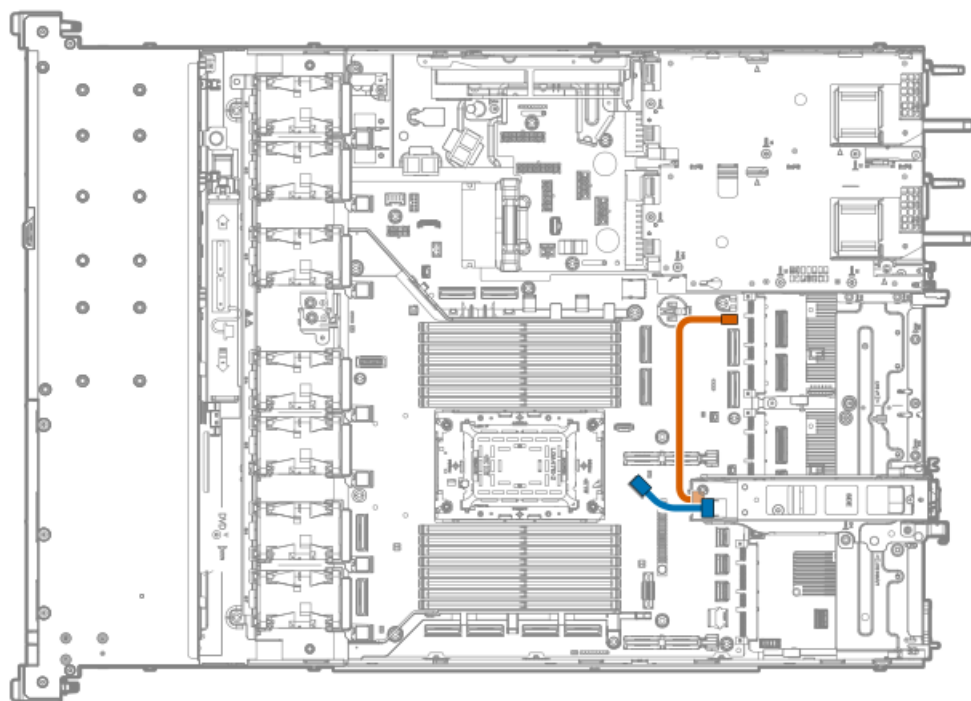
HPE NS204i-uブートデバイスV2のケーブル接続

電源装置ベイ内



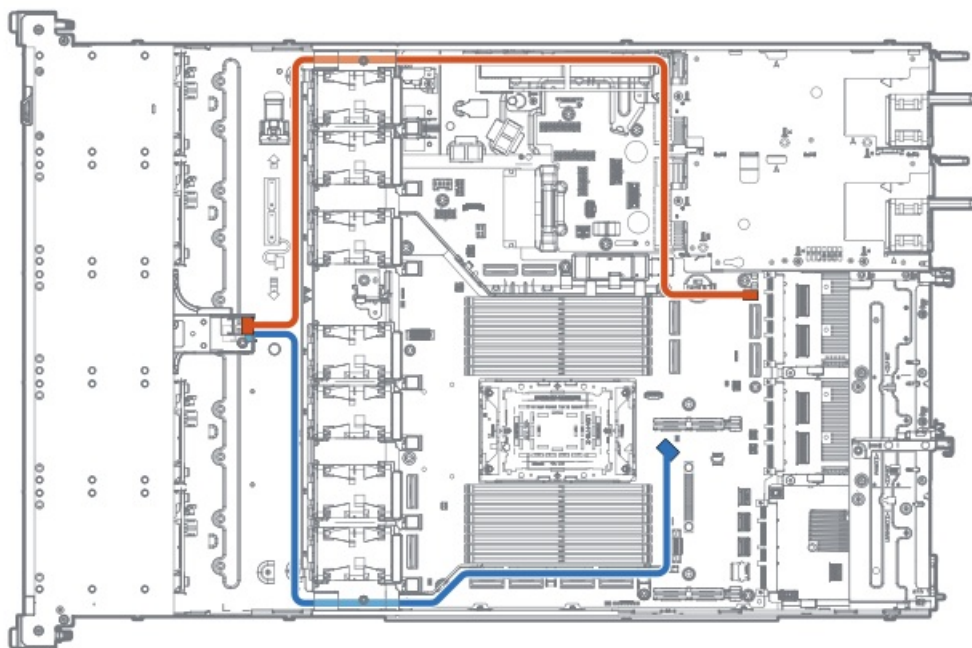
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P72024-001	オレンジ色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u信号コネクタ
P63720-001	青色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u電源コネクタ

ライザーケージの間



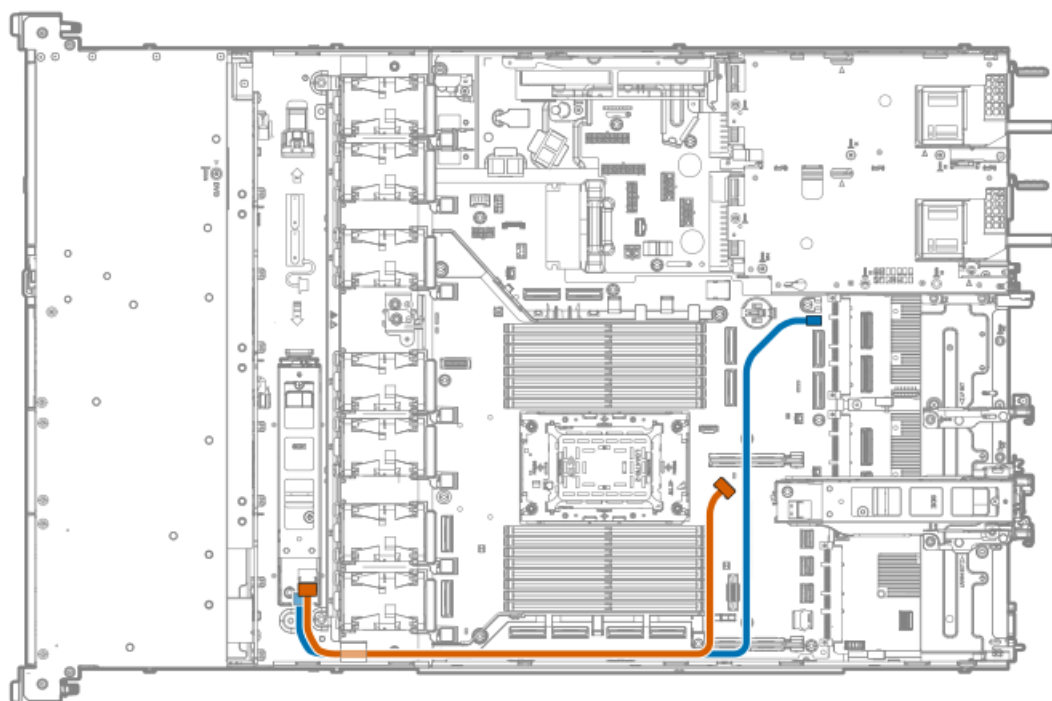
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63720-001	オレンジ色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u電源コネクター
P71913-001	青色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u信号コネクター

ボックス3内

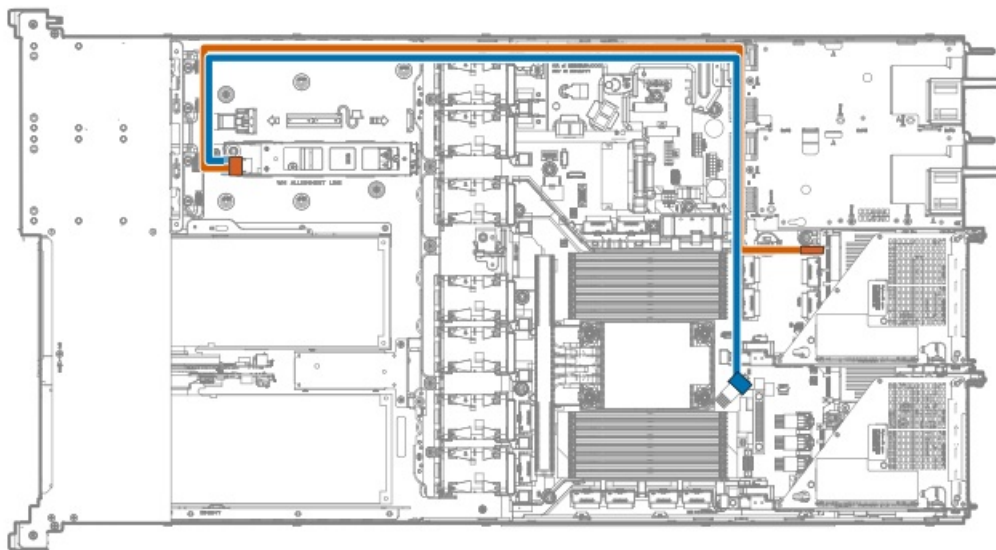


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u電源コネクター
P74730-001	青色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u信号コネクター

シャーシ上



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u電源コネクター
P74730-001	青色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u信号コネクター



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48956-001	オレンジ色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u電源コネクター
P74730-001	青色	ブートデバイスキャリア	NS204i-u信号コネクター

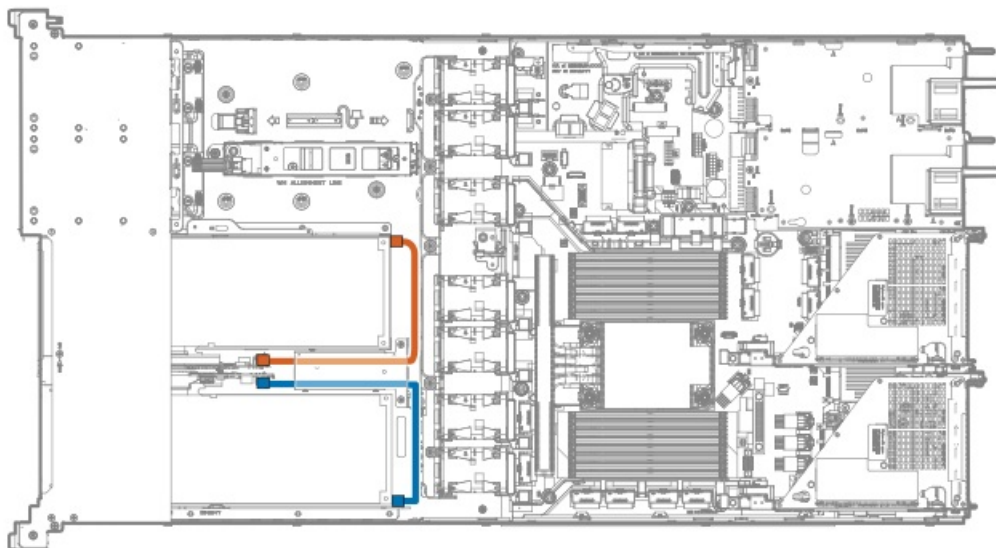
GPUのケーブル接続

サブトピック

[GPU補助電源のケーブル接続](#)

[GPUライザーのケーブル接続](#)

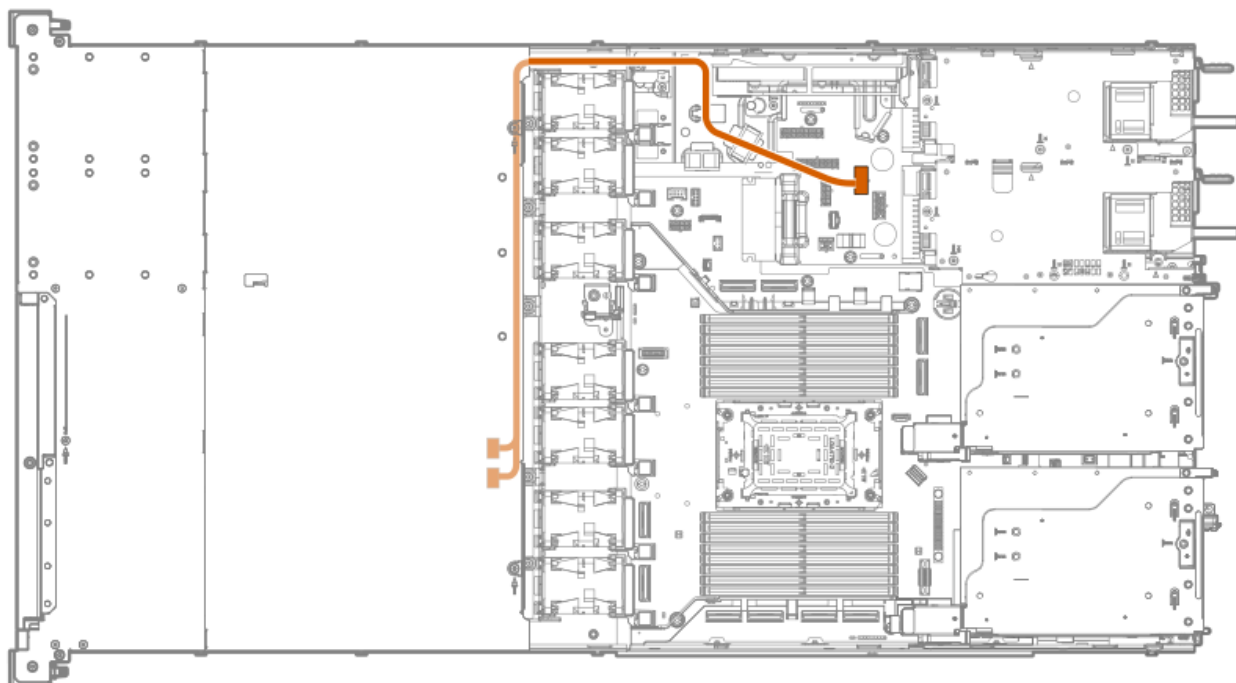
GPU補助電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75256-001	オレンジ色	スロット3 GPU補助電源コネクター	GPU電源ポート
	青色	スロット4 GPU補助電源コネクター	GPU電源ポート

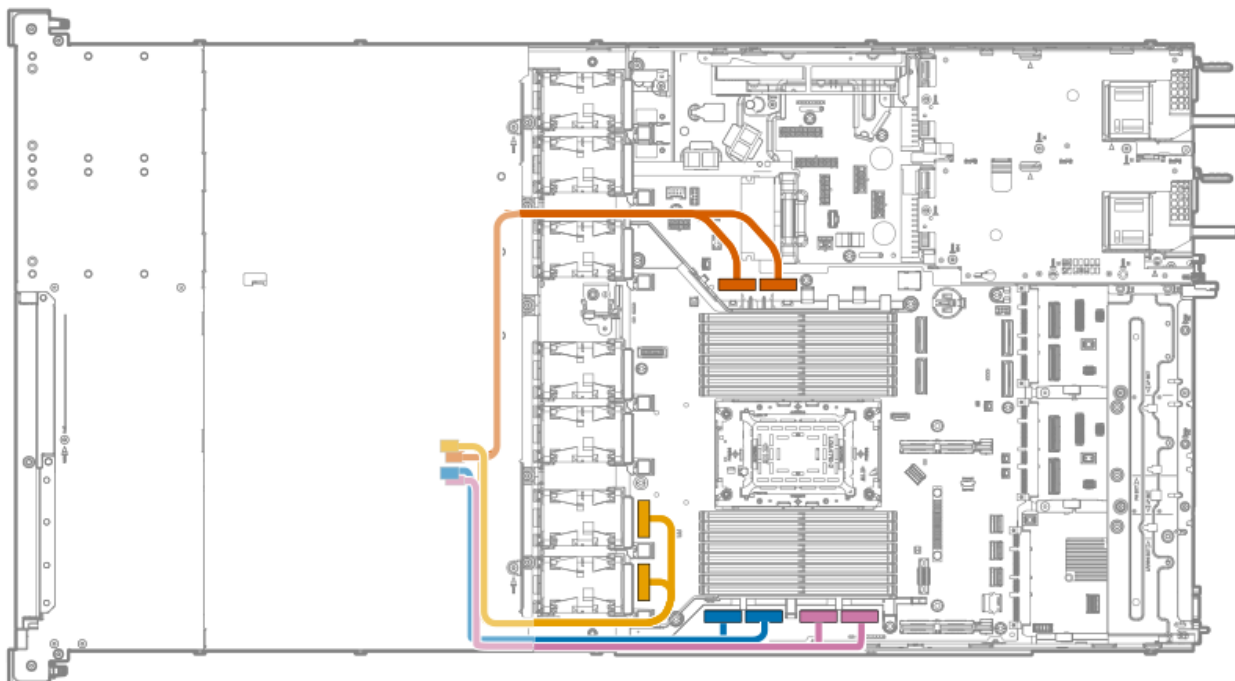
GPUライザーのケーブル接続

GPUライザー電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75594-001	オレンジ色	キャプティブライザー電源コネクタ	2 x 6 M-PIC電源コネクタ

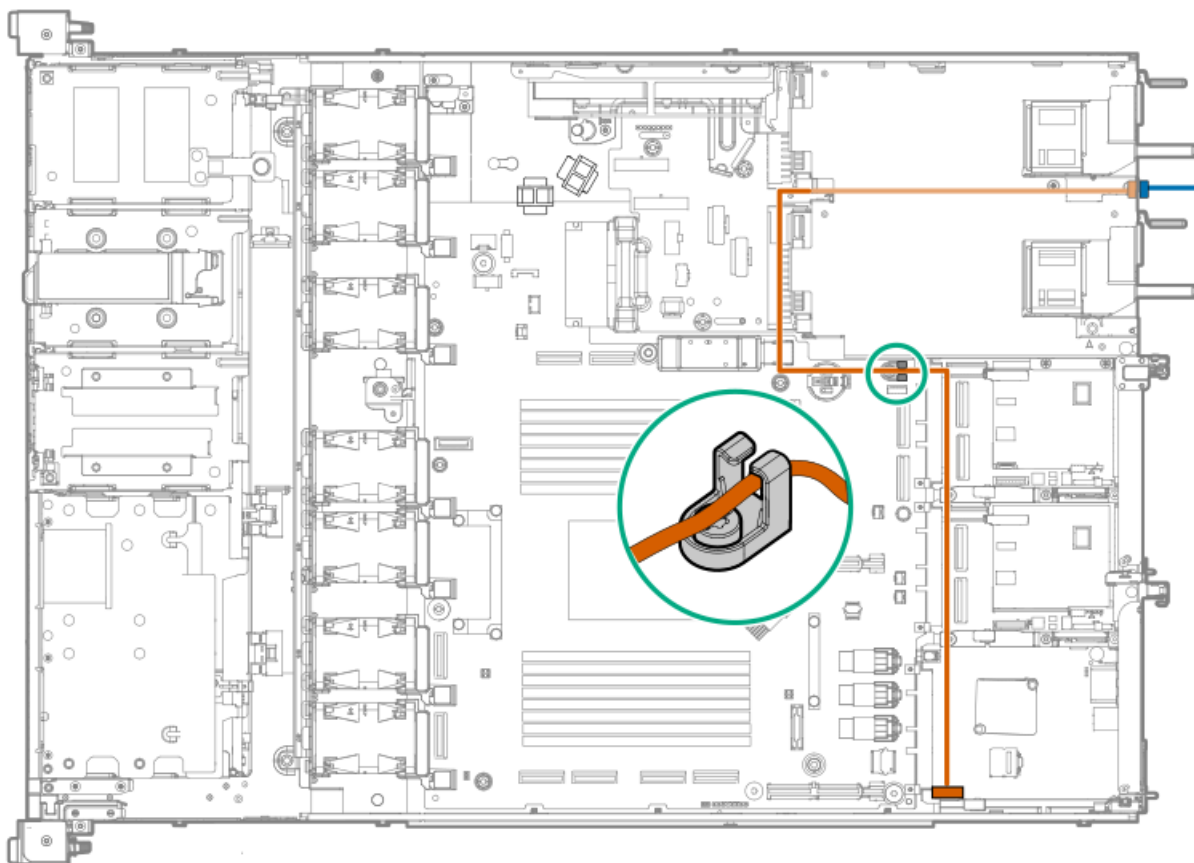
GPUライザー信号のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71886-001	オレンジ色	キャプティブライザー slots	M-X10ポート6とM-X10ポート4ト3
	ピンク色	キャプティブライザー slots	M-X10ポート1とM-X10ポート3ト6
P73415-001	金色	キャプティブライザー slots	M-X10ポート0とM-X10ポート2ト4
	青色	キャプティブライザー slots	M-X10ポート7とM-X10ポート5ト5

シリアルポートのケーブル接続

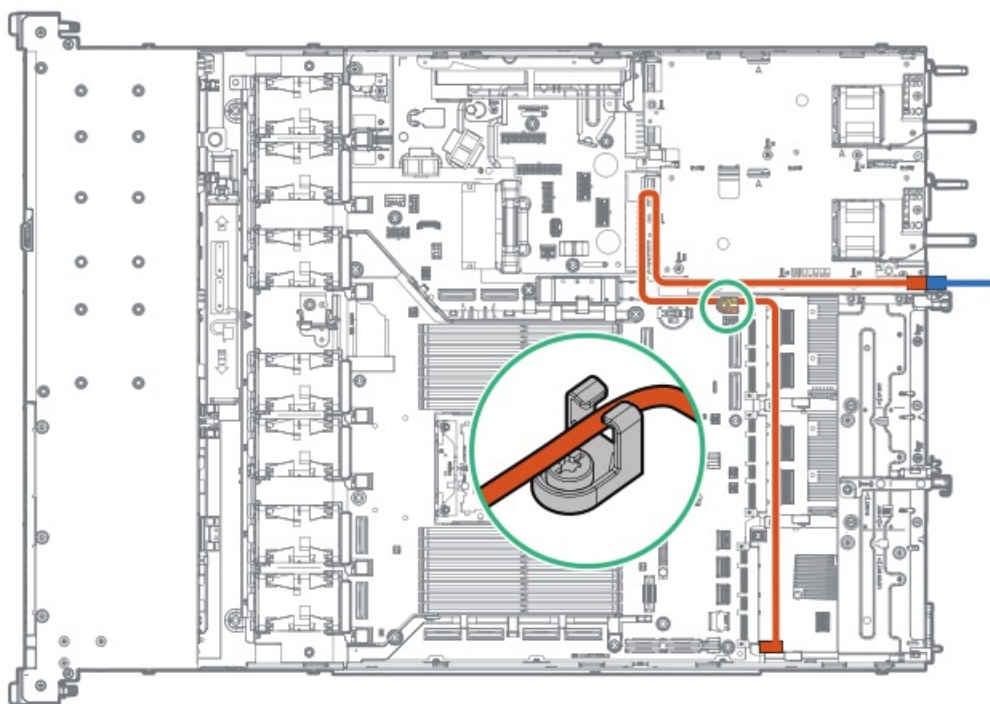
シリアルポートと60 mm電源装置のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73744-001	オレンジ色	ixポートケーブル	シリアルポートケーブルコネクタ ¹
P71826-001	青色	シリアルポートのドングル	ixポートケーブル

¹ このポートはHPE ProLiant Compute iLO 6 DC-SCM上に配置されています。

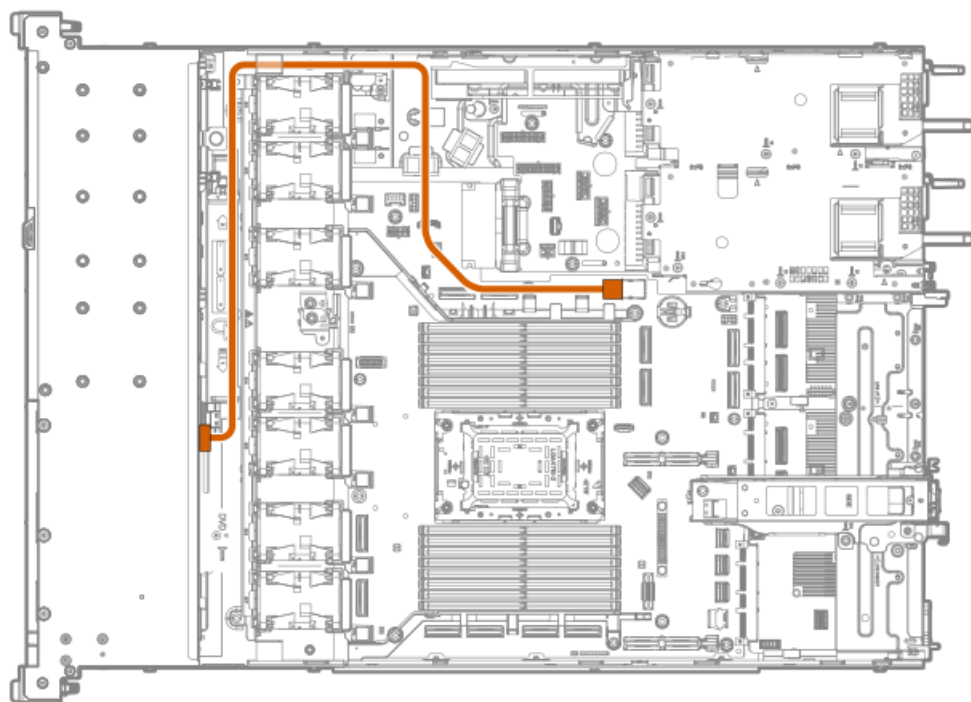
シリアルポートと73.5 mm電源装置のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73744-001	オレンジ色	ixポートケーブル	シリアルポートケーブルコネクター
P71826-001	青色	シリアルポートのドングル	ixポートケーブル

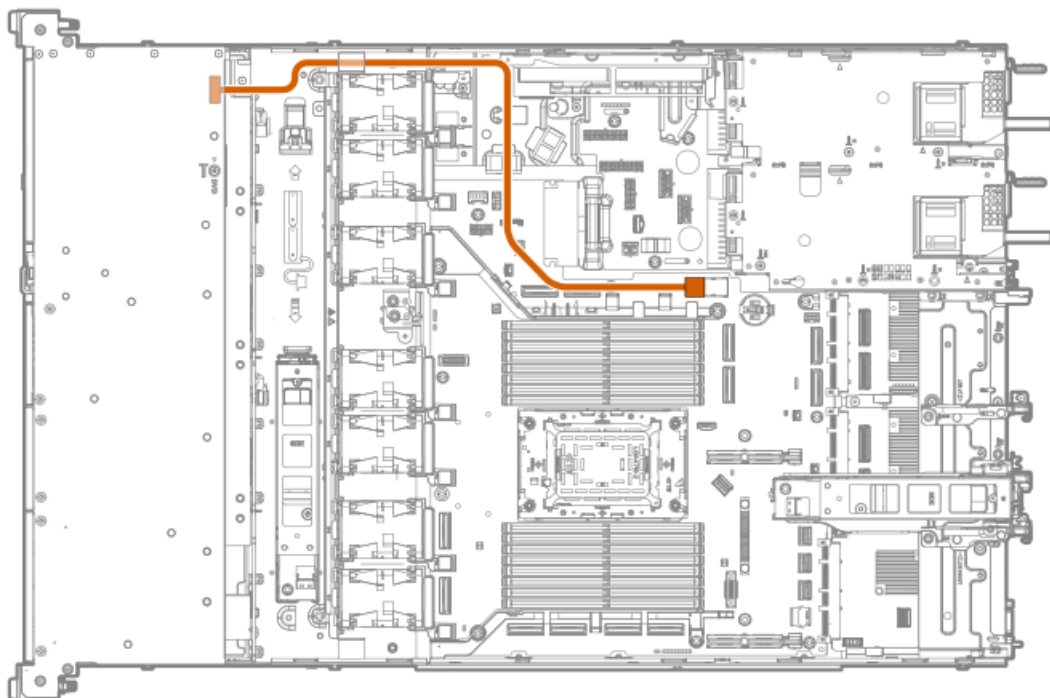
オプティカルドライブのケーブル接続

8 SFF (2.5型) および混合ドライブ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73776-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	USB 3.2 Gen1ポート

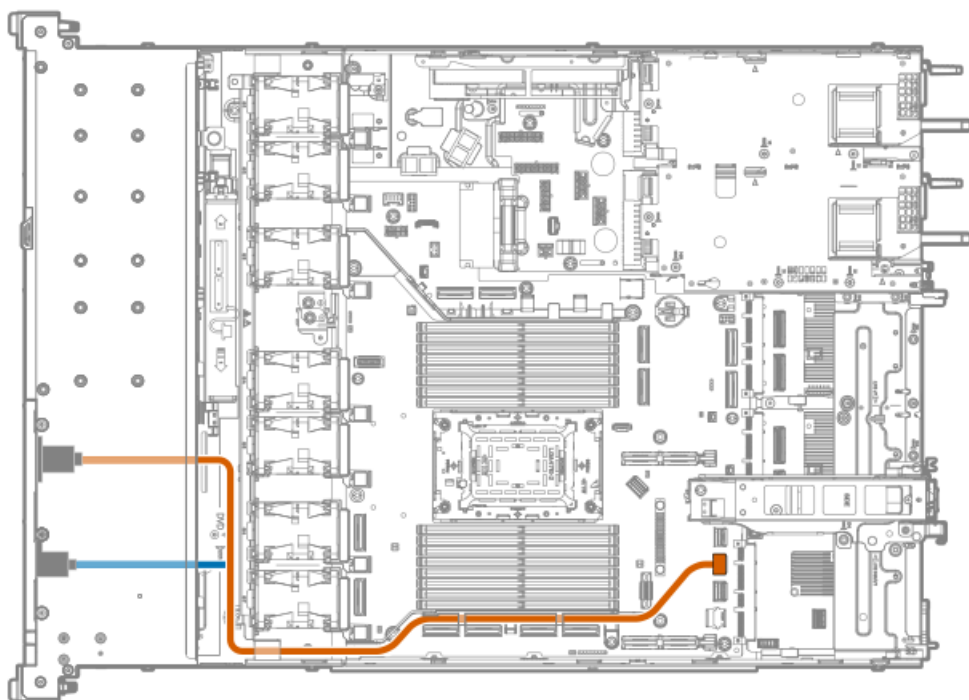
4 LFF (3.5型) ドライブ



ケーブルの部品番号	接続元	接続先
P73776-001	オプティカルドライブ	USB 3.2 Gen1ポート

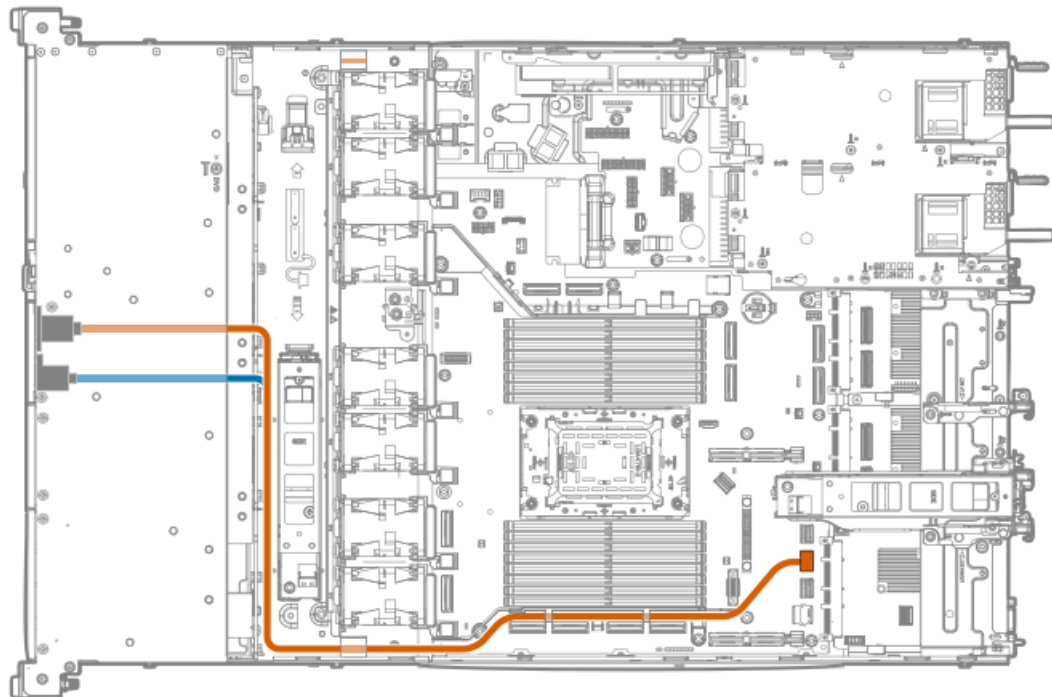
ディスプレイポートのケーブル接続

SFF (2.5型) およびE3.Sドライブ



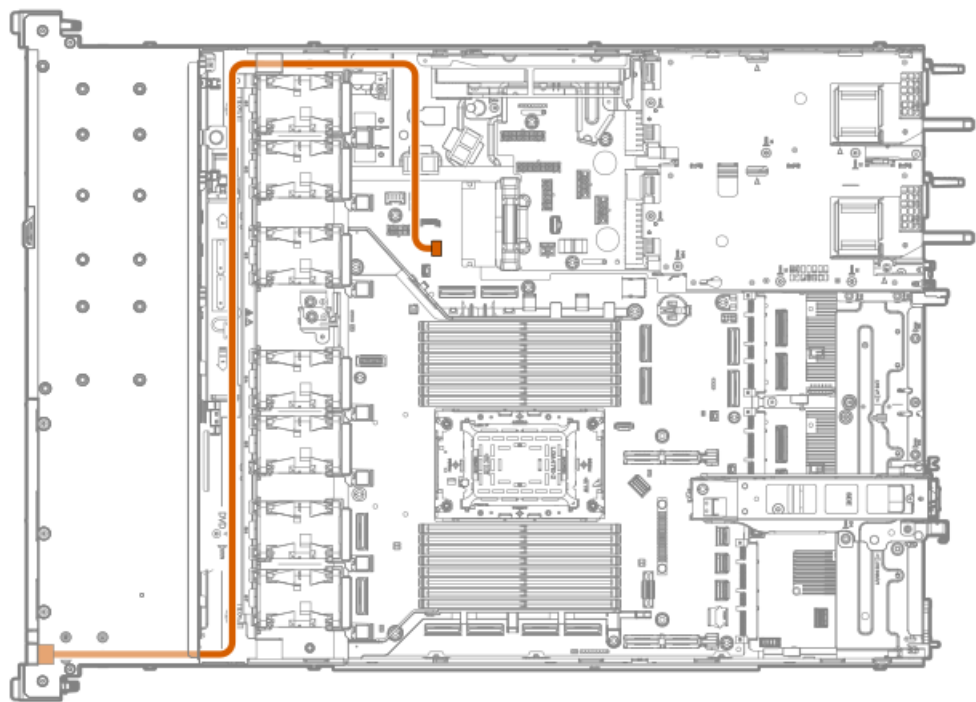
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73948-001	オレンジ色	ディスプレイポート	USB 2.0 DisplayPortケーブルコネクタ
	青色	USB 2.0ポート	

LFF (3.5型) ドライブ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73948-001	オレンジ色	ディスプレイポート	USB 2.0 DisplayPortケーブルコネクタ
	青色	USB 2.0ポート	

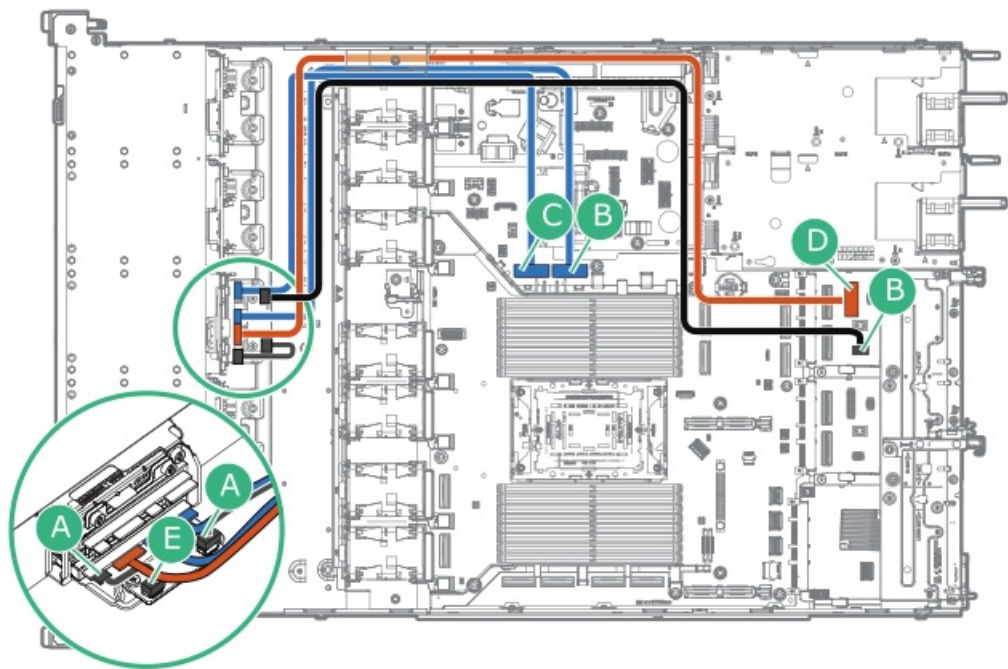
Systems Insight Displayのケーブル接続



ケーブルの部品番号色		接続元	接続先
P48971-001	オレンジ色	SID	SIDコネクター

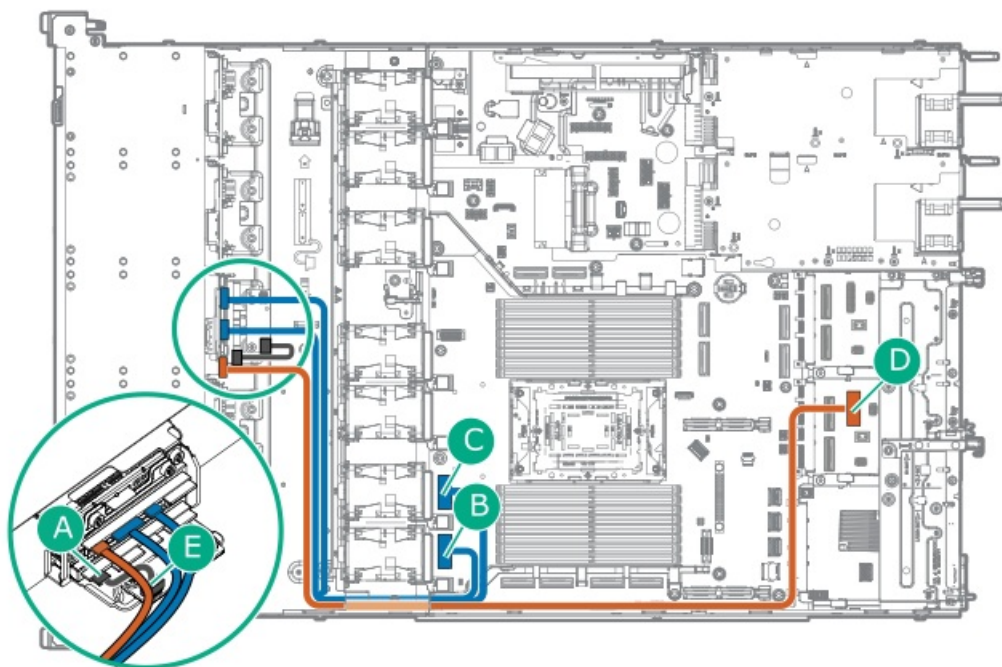
フロントOCP NICおよびPHYボードのケーブル接続

プライマリOCP



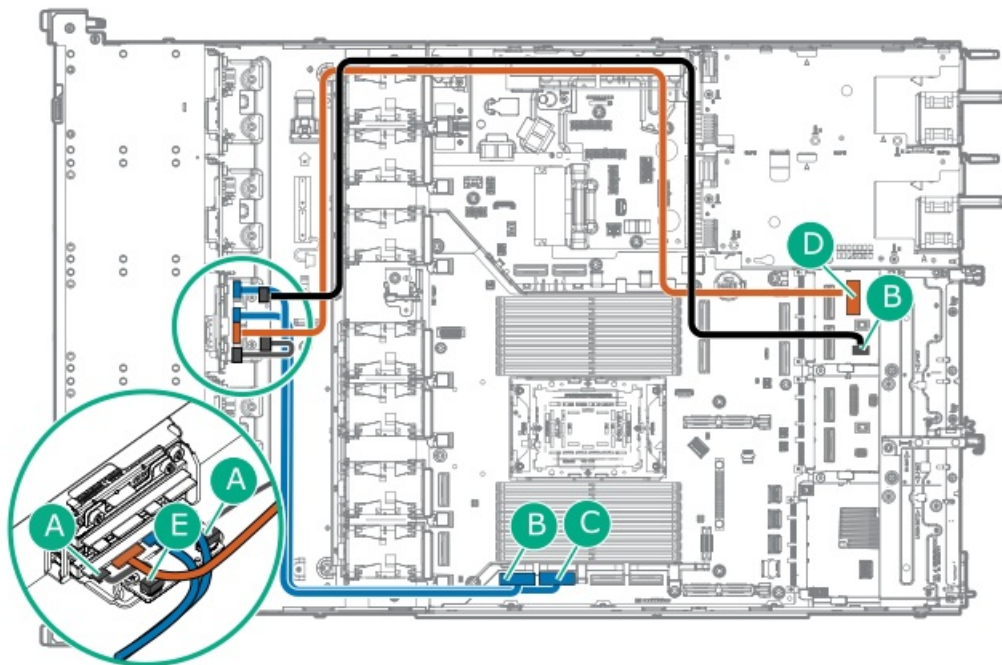
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71941-001	オレンジ色	フロントOCP NICケーブル	フロントOCP NICケーブルコネクタ
	青色	フロントOCP NICケーブル	M-X10ポート6とM-X10ポート4
P73927-001	黒色	PHYボードケーブルコネクタ	PHYボードケーブルコネクタ
—	黒色	OCP NICインターポーターコネクタ	PHYボードコネクタ

セカンダリOCP



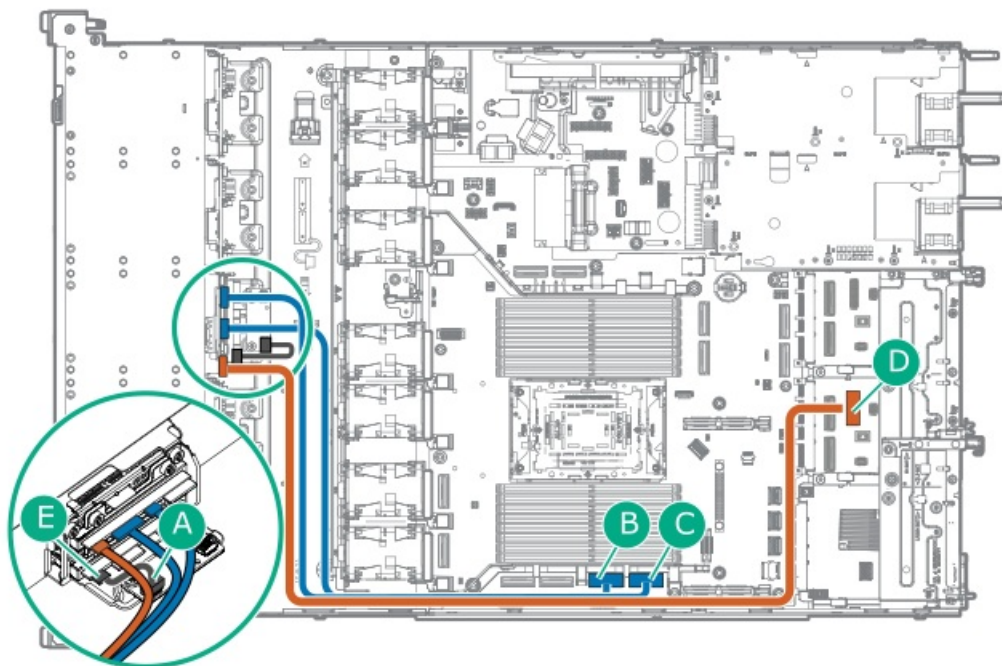
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71941-001	オレンジ色	フロントOCP NICケーブル	フロントOCP NICケーブルコネクタ
	青色	フロントOCP NICケーブル	M-X10ポート0とM-X10ポート2
—	黒色	OCP NICインターポーターコネクタ	PHYボードコネクタ

リッチI/O構成：プライマリOCP



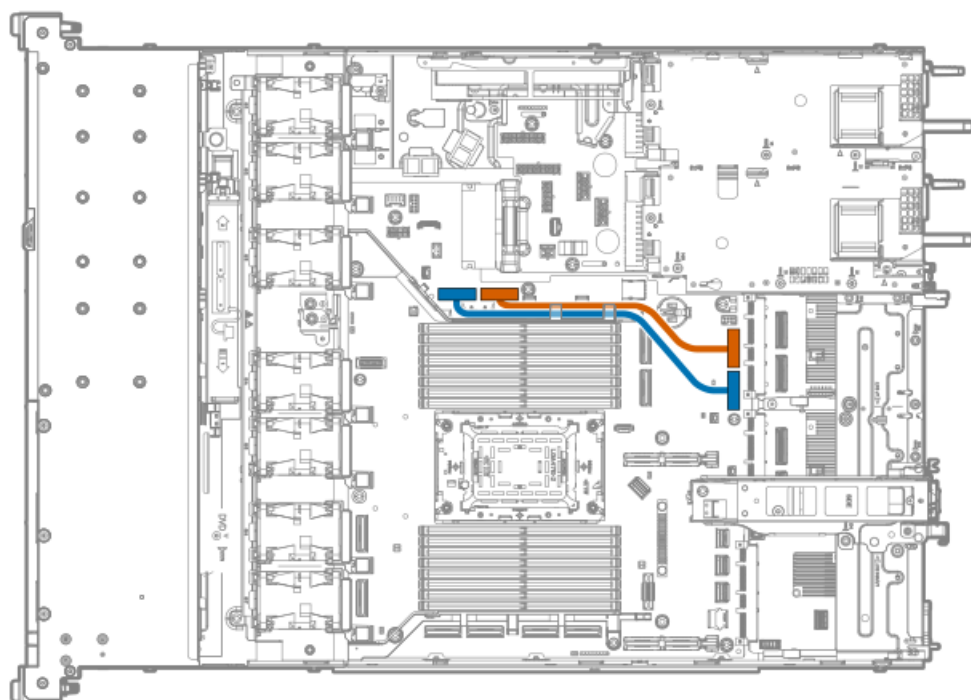
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71941-001	オレンジ色	フロントOCP NICケーブル	フロントOCP NICケーブルコネクタ
	青色	フロントOCP NICケーブル	M-X10ポート7とM-X10ポート5
P73927-001	黒色	PHYボード	PHYボードケーブルコネクタ
—	黒色	OCP NICインターポーターコネクタ	PHYボードコネクタ

リッチI/O構成：セカンダリOCP

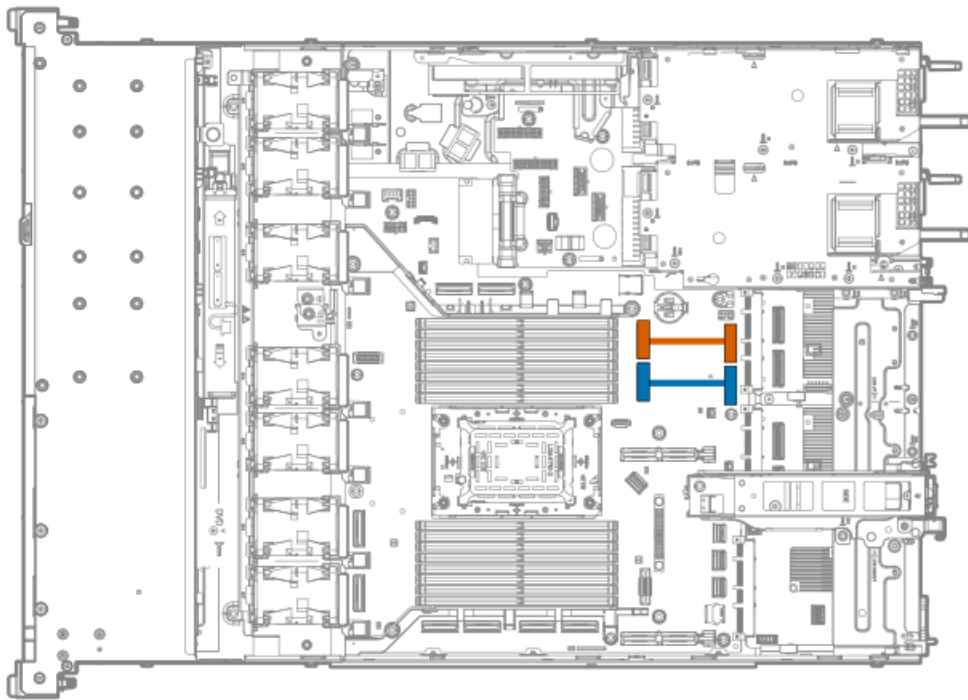


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71941-001	オレンジ色	フロントOCP NICケーブル	フロントOCP NICケーブルコネクタ
	青色	フロントOCP NICケーブル	M-X10ポート1とM-X10ポート3
-	黒色	OCP NICインターポーターコネクタ	PHYボードケーブルコネクタ

リアOCPアップグレードのケーブル接続

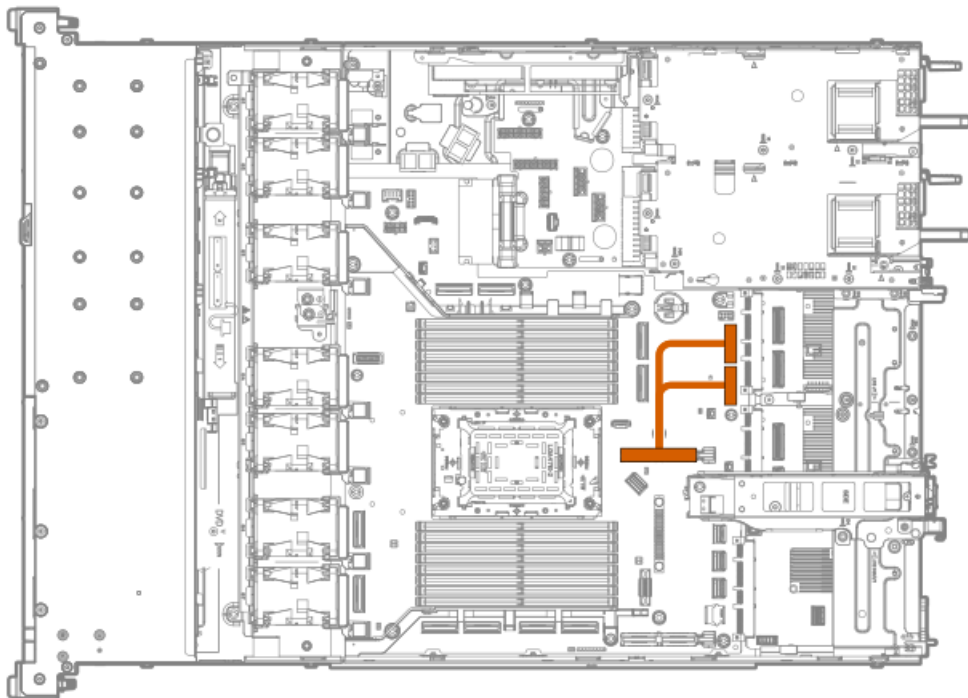


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75506-001	オレンジ色	M-X10ポート4	MC10 OCP B-1入力ポート
P75507-001	青色	M-X10ポート6	MC10 OCP B-2入力ポート



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P75591-001	オレンジ色	M-X10ポート17	MCIO OCP B-1入力ポート
	青色	M-X10ポート13	MCIO OCP B-2入力ポート

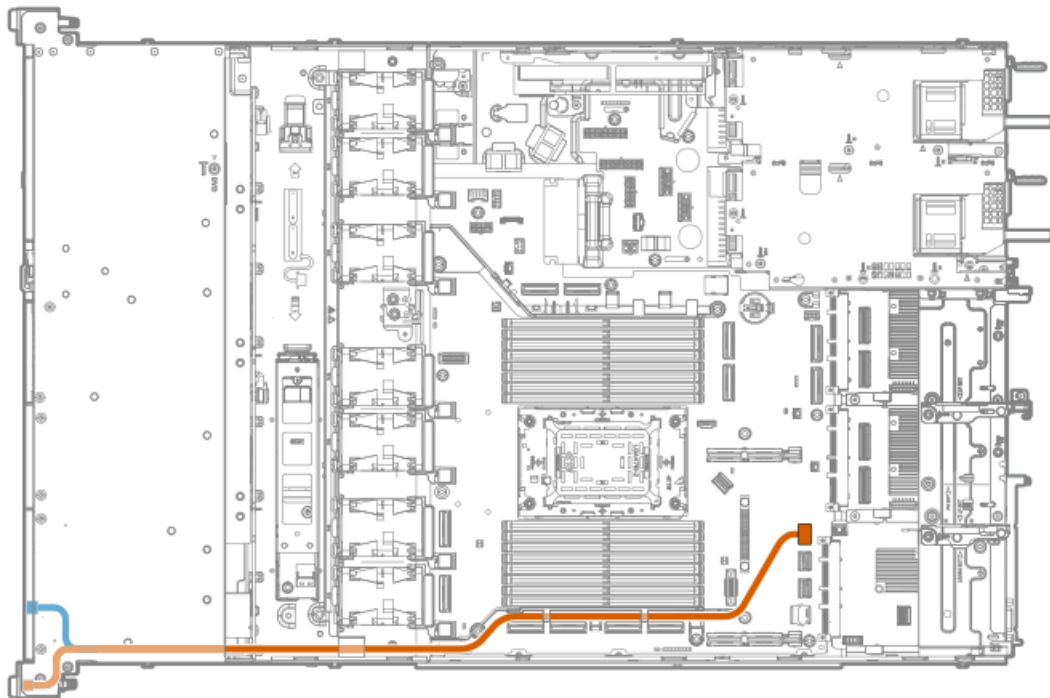
この接続には、フルハイトのライザーケージブランクが必要です。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73494-001	オレンジ色	セカンダリライザーコネクター	MCIO OCP B-1入力ポートと MCIO OCP B-2入力ポート

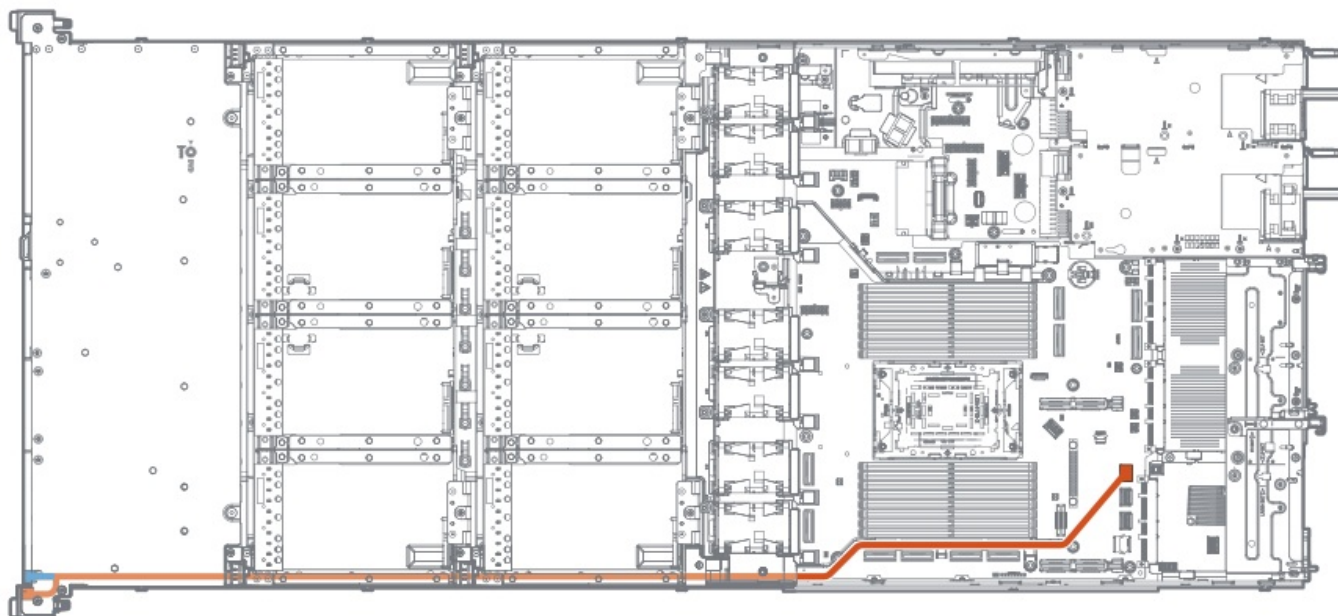
フロントI/Oのケーブル接続

SFF (2.5型) / E3.S / 4 LFF (3.5型) ドライブ



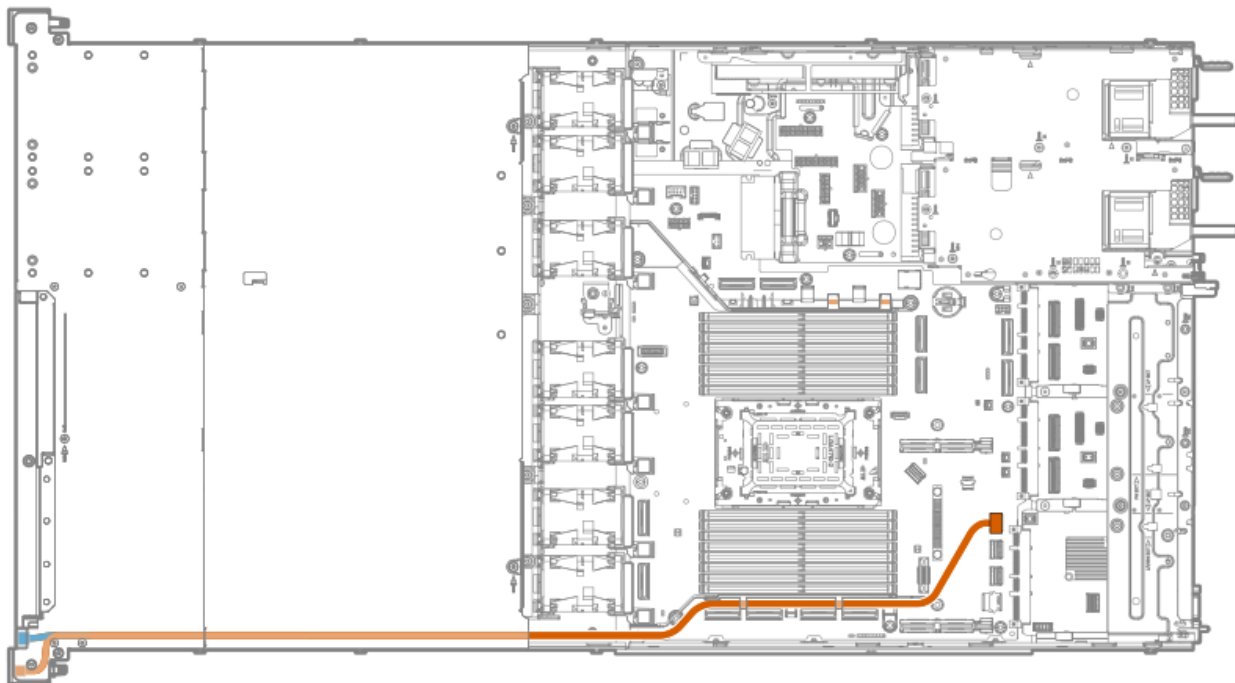
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P71909-001	オレンジ色	USB 3.0	フロントI/Oコネクタ
	青色	フロントI/O	

12 LFF (3.5型) ドライブ



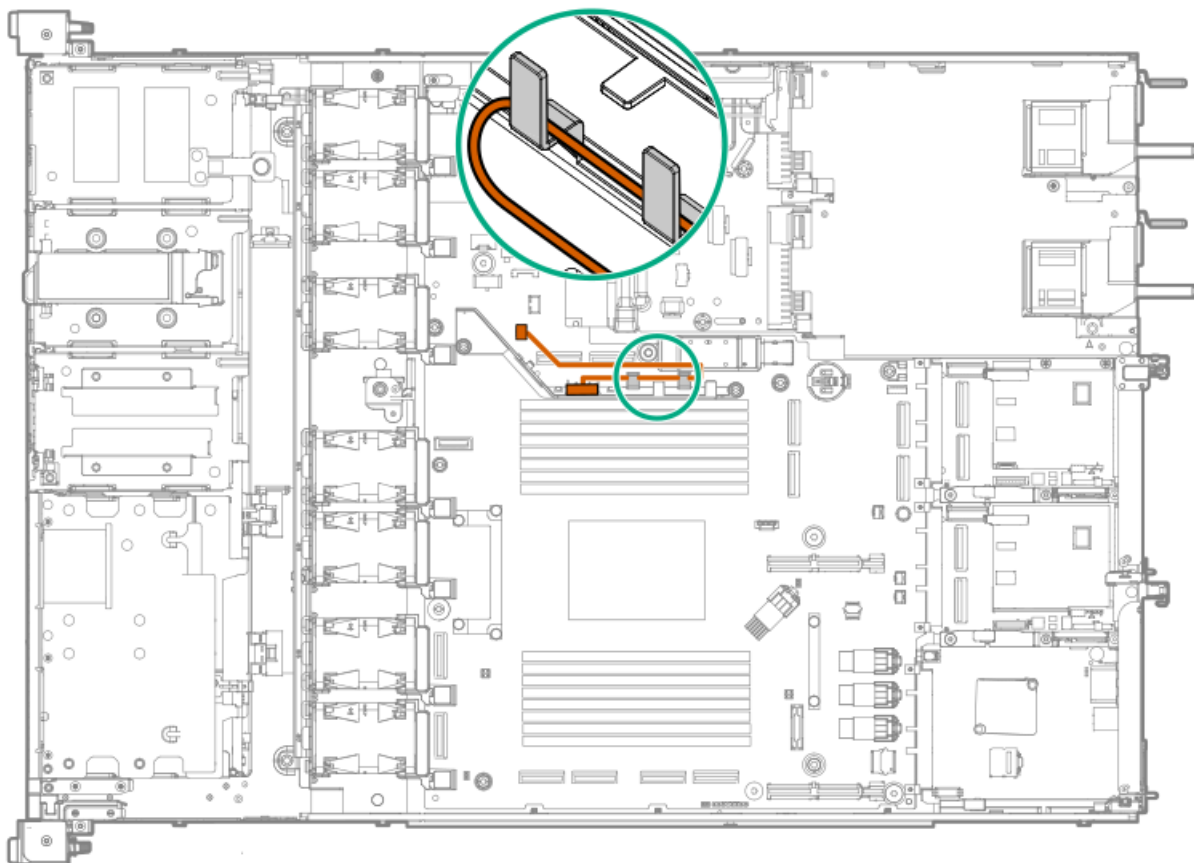
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73417-001	オレンジ色	USB 3.0	フロントI/Oコネクタ
	青色	フロントI/O	

混合ドライブ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P73417-001	オレンジ色	USB 3.0	フロントI/Oコネクタ
	青色	フロントI/O	

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
869413-001	オレンジ色	シャーシ侵入スイッチ	シャーシ侵入スイッチコネクター

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を参照してください。
- HPEファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPEファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。
<https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks>

サブトピック

[ファームウェアまたはシステムROMのアップデート](#)

[サーバーの構成](#)

[ストレージコントローラーの構成](#)

[HPE NS204i-uブートデバイスV2の管理](#)

[オペレーティングシステムの展開](#)

[セキュリティの構成](#)

[サーバー管理](#)

[Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

実行する操作	使用
Service Packのダウンロード	- Service Pack for ProLiant https://www.hpe.com/servers/spp/download - SPPとそのエコシステムの概要を理解する https://www.hpe.com/support/SPP-overview-videos-en
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-quicklinks
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一サーバーでのiLOまたはシステムファームウェアのアップデート	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
- 分散されたサーバーインフラストラクチャでサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベース管理を可能にする - 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する - 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る - ベースラインアップデートアラートを受け取る	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

サーバーの構成

単一サーバー (GUI)

- Intelligent Provisioning
<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>
- iLOリモートコンソールまたはWebインターフェイス
<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>
- UEFIシステムユーティリティ
<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>
- HPE Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks>

単一サーバー (スクリプト)

- RESTful インターフェイスツール
<https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>
- Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest-library)
<https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library>
- Scripting Tools for Windows PowerShell
<https://www.hpe.com/info/powershell/docs>
- iLO RESTful API
<https://servermanagementportal.ext.hpe.com/>
- HPE Compute Ops Management API
<https://developer.greenlake.hpe.com/>

複数のサーバー (UIまたはスクリプトのいずれか)

- HPE OneView¹
<https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks>
- HPE Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks>
 - サーバー設定: ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。
 - サーバーグループ: 関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成し、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

¹ HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法については、iLOユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ

ドキュメント

HPE MR Gen11コントローラー

HPE MR Gen11コントローラーユーザーガイド

<https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG>

構成ガイド :

- HPE MR Storage Administrator User Guide

<https://www.hpe.com/support/MRSA>

- HPE StorCLI User Guide

<https://www.hpe.com/support/StorCLI>

HPE MR Gen12コントローラー

HPE MR Gen12コントローラーユーザーガイド

<https://hpe.com/support/MR-Gen12-UG>

構成ガイド :

- HPE MR Storage Administrator User Guide

<https://www.hpe.com/support/MRSA>

- HPE StorCLI User Guide

<https://www.hpe.com/support/StorCLI>

HPE NS204i-uブートデバイスV2の管理

HPE NS204i-uブートデバイスV2のサポートされている機能とメンテナンス情報について詳しくは、HPE NS204ブートデバイスユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/NS204-UG>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

実行する操作	参照
HPE Compute Ops Managementを使用してOSを展開する	HPE Compute Ops Managementユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks
iLO仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	UEFI System Utilities User Guide for HPE Compute servers https://www.hpe.com/support/UEFIGen12-UG-en
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide

セキュリティの構成

実行する操作	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	- HPEコンピュートセキュリティリファレンスガイド https://www.hpe.com/info/server-security-reference-ja - HPE iLO 7セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo7-security-en
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
複数のサーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/support/hpe-gl-com-quicklinks

Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

実行する操作	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

NMI機能

フロントパネルのLED電源障害コード

トラブルシューティングの資料

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiLO生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサ	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
OCPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングのサポートが必要な場合は、お使いのサーバーに関する最新の記事を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/dl320gen12-ts>

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

[規定に関する情報](#)

[保証情報](#)

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、次を参照してください。

サブトピック

[Notices for Eurasian Economic Union \(ユーラシア経済連合\)](#)

[Turkey RoHS material content declaration](#)

[Ukraine RoHS material content declaration](#)

Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)



Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

- **Russia**
ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Российская Федерация, 125171, г. Москва, Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403 4677
- **Kazakhstan**
ТОО «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика Казахстан, 050040, г. Алматы, Бостандыкский район, проспект Аль-Фараби, 77/7, Телефон/факс: +7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

- **Russia**
ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей Федерациясы, 125171, Мәскеу, Ленинград тас жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403 4677
- **Kazakhstan**
ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан Республикасы, 050040, Алматы қ., Бостандық ауданы, Өл-Фараби даңғылы, 77/7, Телефон/факс: +7 727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

CCSYWWZZZZ (product serial number format)

CCSYWWZZZZ
|
| WW = Week of manufacture (calendar week)
|
| Y = Year of manufacture (decade, year)

If you need help identifying the manufacturing date, contact tre@hpe.com.

Turkey RoHS material content declaration

Ukraine RoHS material content declaration

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

仕様

サブトピック

- 環境仕様
- 機械仕様
- 電源装置の仕様

環境仕様

仕様	値
温度範囲	–
動作時	10° C～35° C
非動作時	–30° C～60° C
相対湿度（ただし結露しないこと）	–
動作時	8%～90% 28° C、最高湿球温度（結露しないこと）
非動作時	5%～95% 38.7° C、最高湿球温度（結露しないこと）
高度	–
動作時	3,050m（10,000フィート） この値は、取り付けられているオプションのタイプや数によって制限される場合があります。高度の許容最大変化率は457 m/分です。
非動作時	9,144 m（30,000フィート） 高度の許容最大変化率は457m/分（1,500フィート/分）です。

サポートされる標準動作温度

海拔0 mで10° ～35° C。海拔3,050 mまでは、高度が305 m上昇するごとに1.0° C低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

気温が30° Cを超えているか、ファンが故障している場合は、標準動作のサポート中にシステムパフォーマンスが低下することがあります。

サポートされる拡張時の動作周囲温度

承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気範囲が次のように拡大されます。

- 海拔0 mで5～10° Cおよび35～40° C。この温度は、900 m～3050 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0° C低くなります。
- 海拔0 mで40° ～45° C。この温度は、900 m～3,050 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0° C低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、Extended Ambient Temperature Guidelines for HPE Gen12 Serversを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen12>

機械仕様

仕様	値
8 SFF (2.5型) ドライブ構成	–
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き	60.94 cm (23.92インチ)
幅	43.46 cm (17.11インチ)
重量、最小	11.05 kg (24.36ポンド)
重量、最大	17.25 kg (38.03ポンド)
10 SFF (2.5型) / 20 E3.Sドライブ構成	–
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き	66.70 cm (28.26インチ)
幅	43.46 cm (17.11インチ)
重量、最小	11.42 kg (25.18ポンド)
重量、最大	18.71 kg (41.25ポンド)
4 LFF (3.5型) ドライブ構成	–
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き	66.70 cm (28.26インチ)
幅	43.46 cm (17.11インチ)
重量、最小	12.34 kg (27.21ポンド)
重量、最大	18.34 kg (40.43ポンド)
12 LFF (3.5型) ドライブ構成	–
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き	99.74 cm (39.27インチ)
幅	43.46 cm (17.11インチ)
重量、最小	17.48 kg (38.54ポンド)
重量、最大	28.93 kg (63.78ポンド)
GPU構成	–
高さ	4.29 cm (1.69インチ)
奥行き	82.18 cm (32.35インチ)
重量、最小	15.14 kg (33.38ポンド)
重量、最大	21.53 kg (47.47ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にあるQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

[HPE 1000 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1000 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

[HPE 1500 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ \(HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

[HPE 2400 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ \(HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

HPE 1000 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W M-CRPS Titanium Hot-

plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	–
定格入力電圧	低入力電圧：100 VAC～120 VAC 高入力電圧：200 VAC～240 VAC 240 VDC（中国）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	10 A（100 VAC時） 6 A（200 VAC時）
最大定格入力電力	800 W（100 VAC時） 1000 W（200 VAC時）
BTU/時	3044（100 VAC時） 3680（200 VAC時）
電源装置出力	–
安定時定格電力	低入力電圧：800 W（100 VAC～120 VAC時） 高入力電圧：1000 W（200 VAC～240 VAC入力時）
最大ピーク電力	800 W（100 VAC～120 VAC時） 1000 W（200 VAC～240 VAC入力時）
寸法	–
高さ	40.00 mm（1.57インチ）
奥行き	185.00 mm（7.28インチ）
幅	60.00 mm（2.36インチ）

HPE 1500 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ（HPE 1500 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	–
定格入力電圧	低入力電圧 : 100 VAC~110 VAC 低入力電圧 : 110 VAC~120 VAC 高入力電圧 : 200 VAC~240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	12 A (100 VAC時) 12 A (110 VAC時) 9 A (200 VAC時)
最大定格入力電力	1000 W (100 VAC時) 1100 W (110 VAC時) 1500 W (200 VAC時)
BTU/時	3792 (100 VAC時) 5560 (200 VAC時)
電源装置出力	–
安定時定格電力	低入力電圧 : 1000 W (100 VAC~110 VAC時) 低入力電圧 : 1100 W (110 VAC~120 VAC時) 高入力電圧 : 1500 W (200 VAC~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1000 W (100 VAC~110 VAC時) 1100 W (110 VAC~120 VAC時) 1500 W (200 VAC~240 VAC入力時)
寸法	–
高さ	40.00 mm (1.57インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28インチ)
幅	60.00 mm (2.36インチ)

HPE 2400 W M-CRPS Titaniumパワーサプライ (HPE 2400 W M-CRPS Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
エネルギー効率認証	80 Plus Titanium、96%
入力要件	–
定格入力電圧	低入力電圧 : 100 VAC~127 VAC 高入力電圧 : 200 VAC~240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	14.5 A (100~127 VAC時) 14.5 A (200~240 VAC時)
最大定格入力電力	1251 W (100 VAC時) 1239 W (120 VAC時) 1236 W (127 VAC時) 2512 W (200 VAC時) 2510 W (208 VAC時) 2503 W (230 VAC時) 2500 W (240 VAC時) 2503 W (240 VDC時)
BTU/時	4268 (100 VAC時) 4228 (120 VAC時) 4219 (127 VAC時) 8572 (200 VAC時) 8563 (208 VAC時) 8540 (230 VAC時) 8532 (240 VAC時) 8539 (240 VDC時)
電源装置出力	–
安定時定格電力	低入力電圧 : 1200 W (100 VAC~127 VAC時) 高入力電圧 : 2400 W (200 VAC~240 VAC入力時)
最大ピーク電力	1200 W (100 VAC~127 VAC時) 2400 W (200 VAC~240 VAC入力時)
寸法	–
高さ	40.00 mm (1.57インチ)
奥行き	185.00 mm (7.28インチ)
幅	73.50 mm (2.89インチ)

Webサイト

一般的なWebサイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

製品のホワイトペーパーとアナリストレポート

<https://www.hpe.com/us/en/resource-library>

その他のWebサイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品のWebサイト

HPE ProLiant Compute DL320 Gen12ユーザードキュメント

<https://www.hpe.com/info/dl320gen12-docs>

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス](#)

[HPE製品登録](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[カスタマーセルフリペア \(CSR\)](#)

[リモートサポート](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

収集される情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

HPE製品登録

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約と製品をHPESCのアカウントに追加してください。

- 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、合理化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=cep-help_ja_jp&page=GUID-8C7F13D9-5EC3-4E5C-9DE2-A5E7823066D6.html を参照してください。

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイHPEソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様のエンタイトルメントを表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター More Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>



重要

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品エンタイトルメントが必要な場合があります。関連するエンタイトルメントでHPEアカウントをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSRが適用されません。

CSRについて詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントをHewlett Packard Enterpriseに安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterpriseでは、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE リモート IT サポート サービス 接続 入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232_ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care Service

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、Hewlett Packard Enterprise サポート センター ポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) のフィードバック ボタン と アイコン (開いているドキュメントの下部にある) からお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。